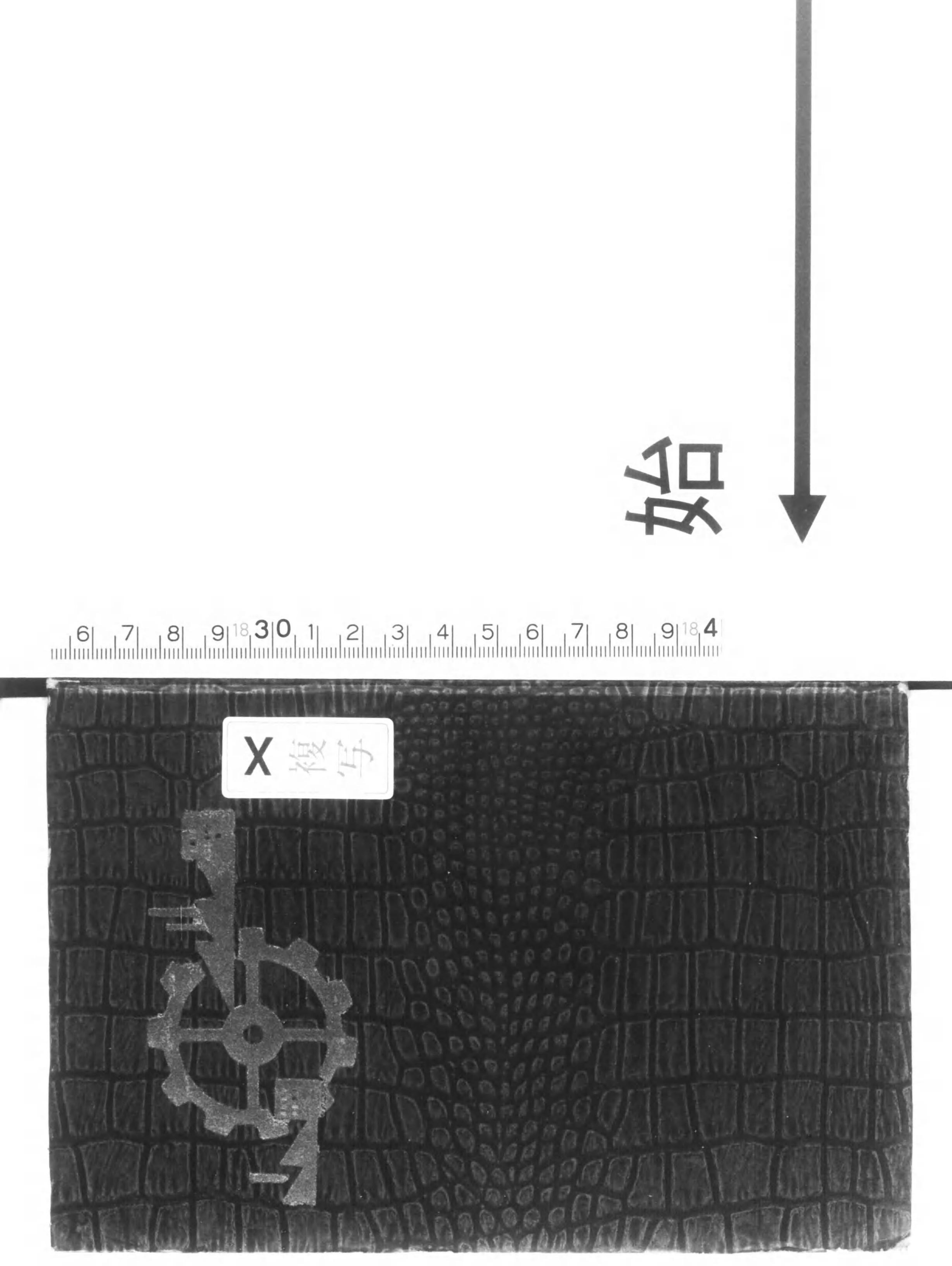
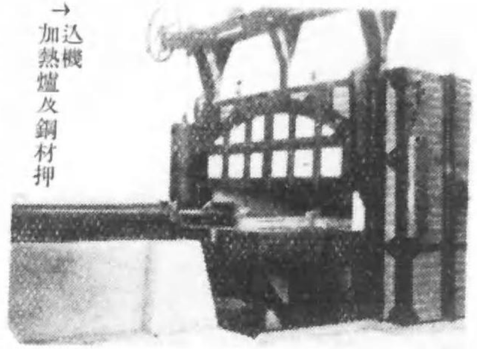

X 複写

HERO INDUSTRIAL FURNACES & MACHINERY

築爐燃燒工機界の權威

營業品目

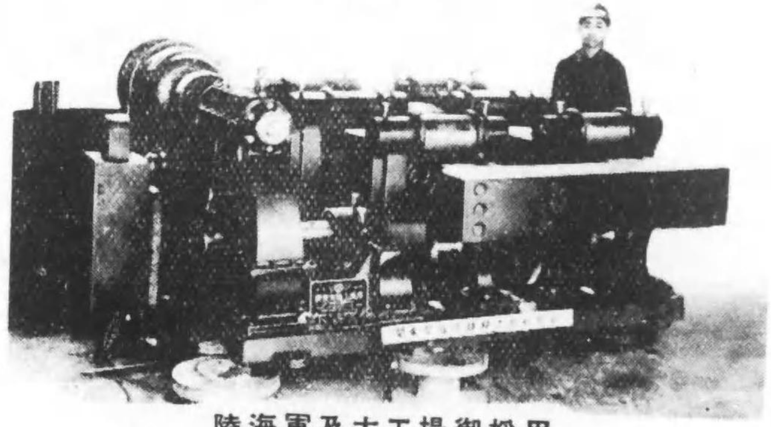
ヒーロー式工業用熱處理爐
ヒーロー式連續加熱爐
ヒーロー式各種熔解爐
ヒーロー式重油・瓦斯燃燒機
電動式鋼材押込機
自動給炭機
築爐用工機
鑛山用諸機械
化學用諸機械
工業用送風機類
各種ポンプ
高級異型耐久煉瓦
設計製作現場工事一式



→加熱爐用鋼材押込機

→連續加熱爐インゴット

↓25馬力ラック式鋼材押込機



陸海軍及大工場御採用

關東築爐工機株式會社

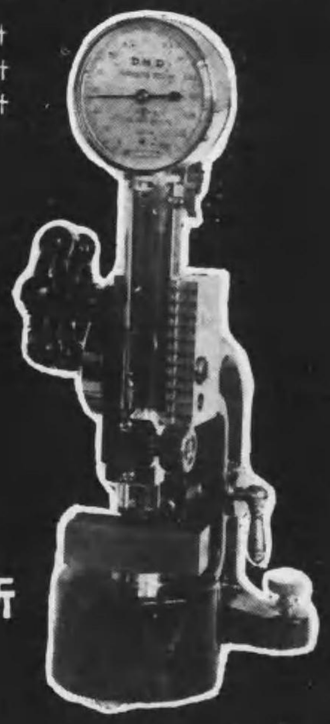
（舊稱 株式會社關東築爐工業所）

營業所 東京市日本橋區濱町一丁目一番地
電話茅場町(66)〇八四一番五八八一一番六〇一一番
工機製造工場 東京市城東區北砂町八丁目七八番地
電話本所(7.3)九六八五番
第二工場 東京市城東區南砂町七丁目九番地
陳列場 東京市本所區菊川三丁目一四番地

D.M.D.

METAL HARDNESS TESTER

シヨアー型硬度計
ロツクウエル型硬度計
ブリンネル型硬度計



株式會社 大塚製作所

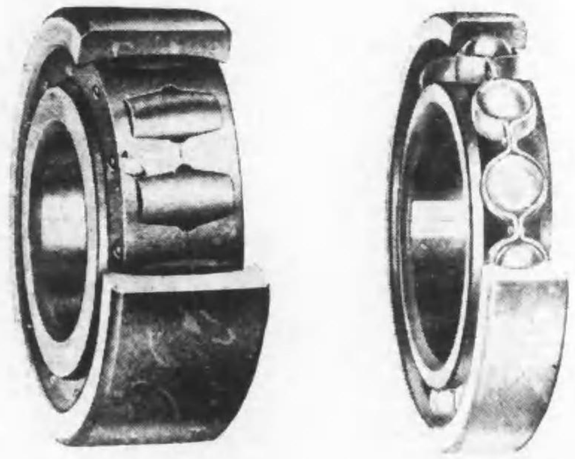
東京市淀野川區西ヶ原町1388
電話王子 3354・3860・2891・2311

本社 東京 京橋 電話京橋 2507
赤羽分工場 電話赤羽 2533
淀野川分工場 電話王子 2593
王子分工場 電話王子 463

前色 3

IKF

ボール
ローラー ベアリング



光洋精工株式會社代理店

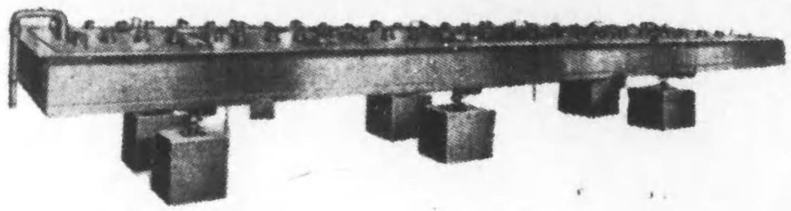
TRADE TKS MARK

東京工業社

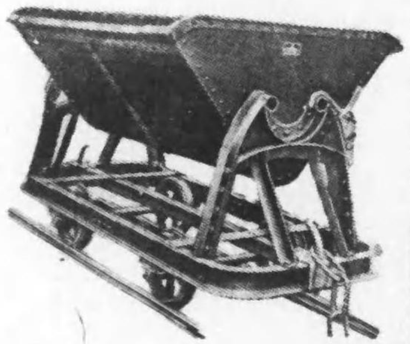
東京市芝區新橋一ノ一六(土橋際)
電話銀座(57)3850番. 1753番

2 色前

日東式横型隔膜鹽水電解槽



日東式
横轉運搬車



營業種目

水銀法・隔膜法電解苛性曹達製造裝置・臭素製造裝置・液體鹽素・晒粉・合成鹽酸・鹽化燐・鹽化硫黄・硫化炭素・壓縮水素瓦斯・其他無機有機鹽化物製造裝置・日東式眞空蒸發裝置・各種鑛山機械・各種輸送機械・タクン・汽罐・其他製鑵工事・各種瓦斯發生爐・加熱爐設計製作

（一般化學機械設計製作並据付工事請負）

日東製作所

東京市京橋區京橋二丁目七番地（商榮ビル）
電話京橋（56）0993・0063・0064
工場 東京市蒲田區糀谷町三丁目五十六番地
電話 羽田（04）0803

前色 5

ニッサン トラック バス

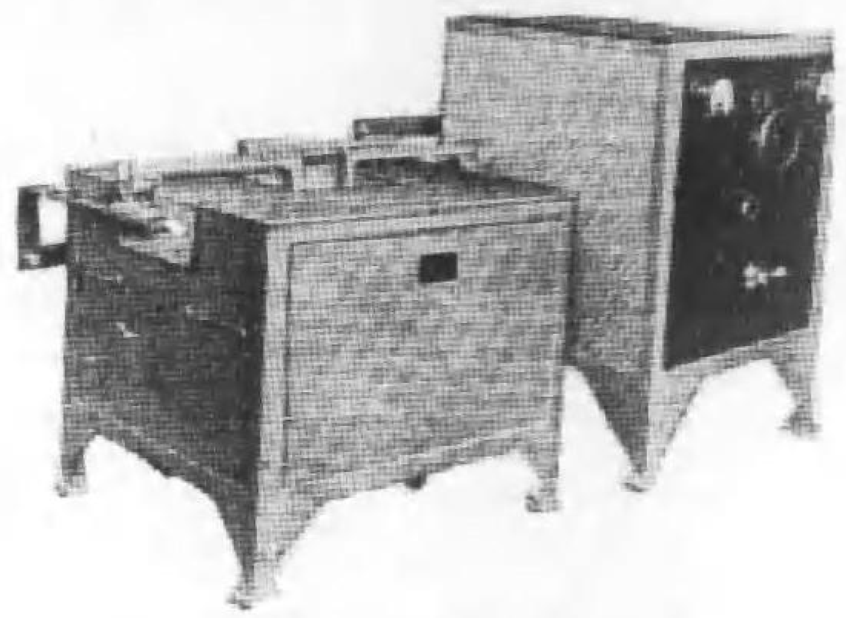
ニッサン トラック、バスは強力、耐久、經濟等幾多の特長を有する外、更に非常時下の國策車としてそのエンヂンは壓縮比高く、最も強力で薪炭自動車として最高と認められ、斯界の絶讃を博して居ります。

東京・日産自動車販賣株式會社・丸ノ内

4 色前

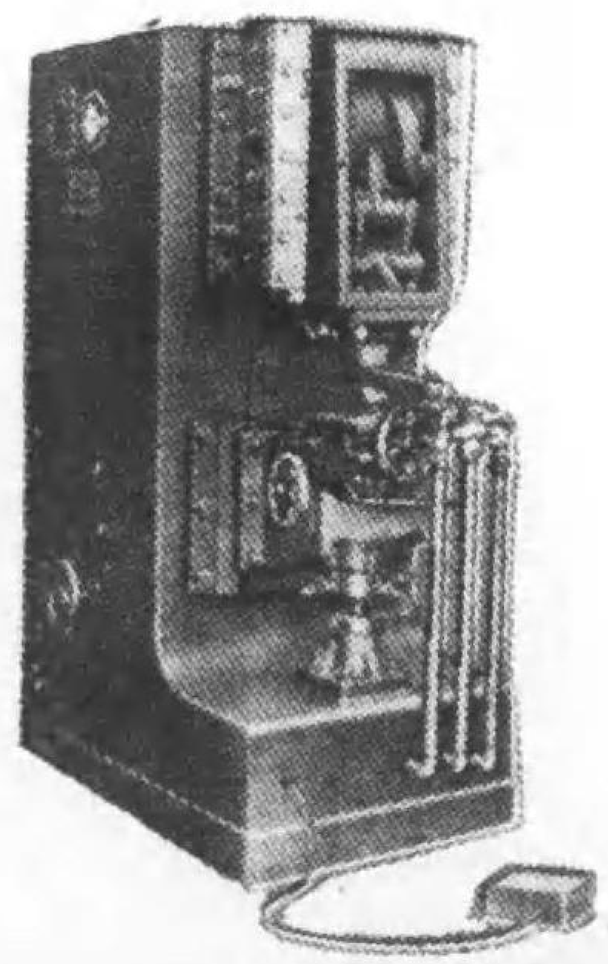
特許

エレバス電氣炉
ELEBATH



バイド刄付用

衝合熔接機



營業科目

電氣熔接機
ハイフレツクス高周波式電弧熔接機
スポツト熔接機
バツト熔接機
フラツシユバツト熔接機
サイクアーク熔接機
電氣鋲熱機(リベツトヒーター)
シーム熔接機

熔接棒
各種電弧熔接棒

電氣爐
エレバス電氣爐
エレバス熔劑各種

整流器
コレクト酸化銅整流器
水銀整流器
タンガー充電器
電壓自動調整器

株式會社 電元社

本社及工場	東京市淀橋區上落合一ノ一二二	電話大塚(86)3337番3733番 落合長崎2435番2640番
東京販賣所	東京市麹町區丸の內二ノ一八昭和ビル	電話丸の內(23)5468番
大阪出張所	大阪市西區立賣堀北通一丁目立賣堀ビル	電話新町(23)3082番
九州出張所	福岡市橋口町四七	電話西②875番

燃料報國

いすゞ型 陸式 バス用 薪自動車

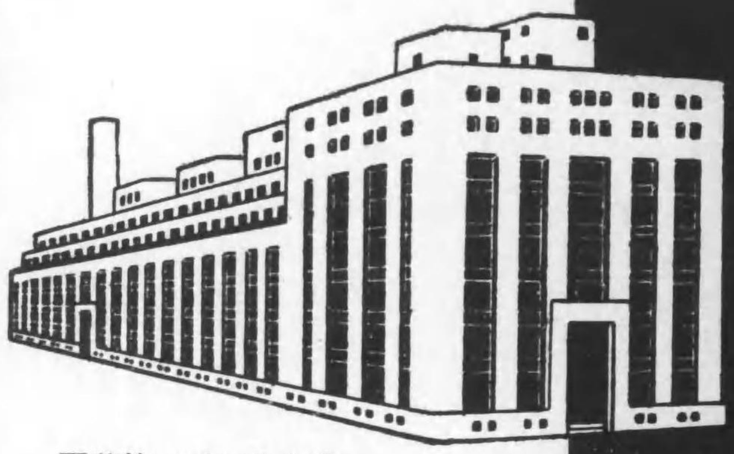
新發表

東京・東品川

東京自動車工業株式會社

日本油脂株式會社

東京・芝・日産館



圓萬拾五千五金本資

營業科目

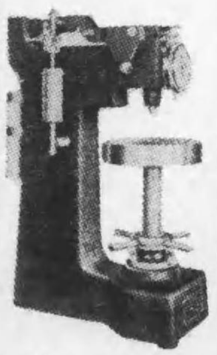
水産工業	魚粉・魚油・肥料	粗製グリセリン	火薬工業	膠質ダイナマイト・硝安ダイナマイト無煙火薬・導火線
油脂工業	石鹸・洗油・グリセリン			
塗料工業	ペイント・ラッカー船底塗料・熔接棒			
大豆工業	撒大豆・大豆油レシチン・飼料			

硬度試験機界の代表

ブリネル
指示
T-O-P

ショアー
指示
STANDARD

ロツクウェル
硬度指示
N-R-W

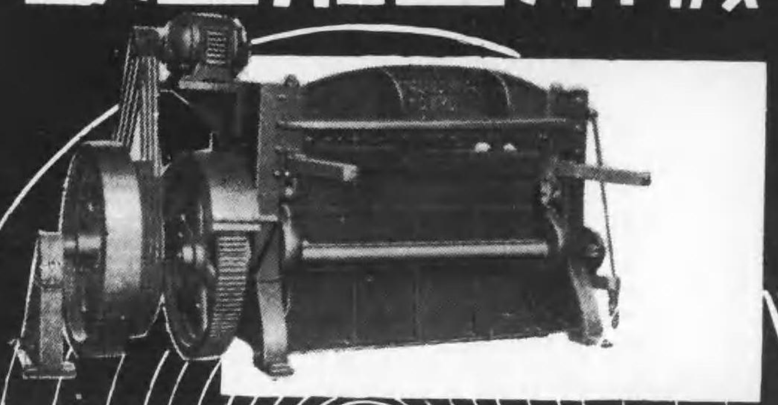


製作發売元

合資会社 泰明商會

東京・京橋・銀座二丁目三番地　電話京橋4155―4156(長)4157、4158
大阪市西區北堀江御池通リ一ノ三　電話新町4508
京城府黄金町一ノ一一八　電話本局3301

切断機と
鈑金加工用機



仕　　様

切り得ル板厚　軟鋼板	1/4″
同　全　長	4′～1″
齒車ノ割合	1～9
ブーリーノ割合	1～7
フライホヰール	幅6″×36″
同　重　量	約80貫
同　回轉數　毎分	240
ストローク毎分	34
所要馬力	3 Hp
價格（モーター直結）	
總　重　量	約3000 kg

宇津宮鉄工所

東京市葛飾區龜有町三丁目四百六十三番地

電話新宿二七四番

營業科目

重砲印研磨布製造並ニ販賣

織物製造並ニ販賣

官廳御用達業

合名會社

木下國明商店營業所

代表社員　木下國明

營業所　東京市牛込區揚場町八番地

電話牛込（34）四七五一番　一〇八九番　四二五四番

工場　埼玉縣大宮町

電話大宮一二九・二四一番

日本製鍊株式會社

取締役社長　棚橋寅五郎
常務取締役　大塚寛治
常務取締役　中野芳太郎

日本化學工業株式會社

營業品目

高周波式交流電弧熔接機
直流電氣熔接機
各種抵抗熔接機
各種電弧熔接棒
其ノ他附屬器具一式

バイト熔接機
フラッシュバット熔接機
シーム熔接機
スポット熔接機

東京電氣熔接機械器具工業組合

東京市麹町區丸ノ内二丁目一八番地(昭和ビル)
電話丸ノ内(23)自〇五九五五番至〇五九九八番

特 K. S. R 許

螺旋管

青銅・眞鍮・鋼
アルミニユーム
可撓性軸附屬物一式

他の追從し得ぬ絶
對壓力に耐へ得る
K. S. R 螺旋管

鐵道省指定工場

川崎螺旋管製作所

東京市城東區北砂町四ノ一一五三
電話本所(73)3566番・振替東京111235番
第二工場 東京・世田谷・上馬

陸海軍御指定品

國產最優秀品

製作部の製品精度を誇る

全歯車式強力精密旋盤

S M — A型電動機直結（給油裝置付）

一六五ミリ×一五六〇ミリ

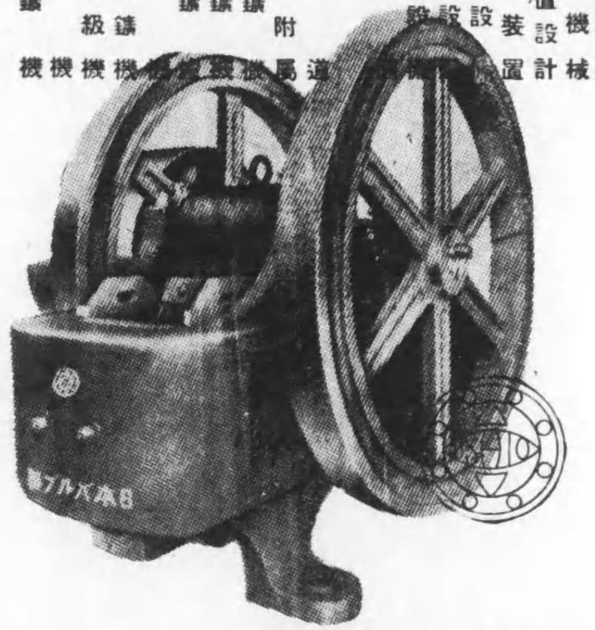
蘭部工業商會

營業部及陳列所　東京市麻布區新廣尾町一ノ一一二
電話三田(45)一〇八八・三〇三六番
製作部　東京市品川區南品川五ノ二一
電話高輪(44)八二〇三番

鑛山

製品種目

特許ウシオバルブ及コツク
化學工業用諸機械
各種試料機械
工場設備配置設計
沈澱銅採收裝置
乾式製錬設
青化製錬設
混汞製錬設
採鑛設
送鑛索道
捲揚機及其附屬
浮游選鑛
比重選鑛
各種熔鑛
磨鑛
運鑛帶及給鑛機
分粒機及分級機
搗鑛機
各種碎鑛機



鑛山機械製作

日本バルブ製造株式會社

本社	東京市麹町區丸ノ内一ノ六東京海上ビル新館八階 電話丸ノ内㉓一九三七番・一九三八番・四九三六番
蒲田工場	東京市蒲田區西六郷三丁目三〇番地 電話 蒲田三九三七番・四四一七番 大森⑥七七二八番・七七二一番
大森工場	東京市大森區大森三丁目八八番地 電話大森⑥四八八一番・七八八五番
出張所	大阪市西區土佐堀通一丁目一(大同ビル) 電話土佐堀四一一五番
滿洲駐在所	大連市山縣通一八二(三井物産内)

航空機用品……氣化器、ポンプ類、調壓器、調整器、發動機及機體用機器類
デイーゼル機關用品……噴射辨、噴射ポンプ
自動車用品……氣化器、緩衝器、オイルブレーキ、水ポンプ、油ポンプ計器盤
車輛用品……注水器、給油器、逆轉器、安全辨、水面計汽笛速度計
計器類……計壓器、試驗器、回轉計、其他精密計器類

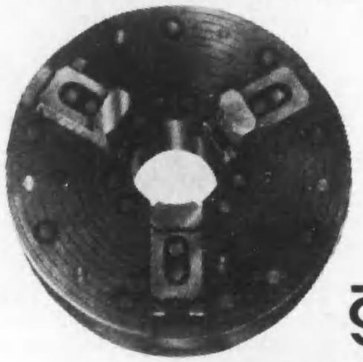
舊稱 東京瓦斯電氣工業株式會社計器部

東京機器工業株式會社

川崎市中島壹番地ノ貳

電話川崎(自三六四五番(代表)至三六四九番)

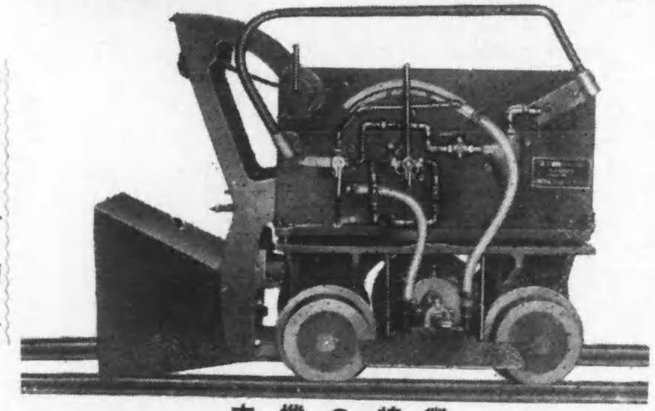
太空生爪チヤツク　6吋　9½吋　12½吋



唯一の生爪チヤツク	
ヤトヒの代用品	
利用範圍	
精密度	
耐久力	
操作簡易	
能率倍加	

98型礦出機

生産力擴充、人手及經濟節約に必要なる斯界待望の礦並に鑛石積込機の出現



カタログ贈呈

本機の特徴

（1）狹き加脊にても使用し得
（2）或る程度機關車の役目もする故切端より機械の異動頗る簡單而も迅速
（3）構造簡單・取扱容易にして運轉に特別の專門家を要せず
（4）機械は殆んど自動的に働く故人手を要せす
（5）時間も損失尠き故操作並に維持費僅少なり。一回の積込に要する平均時間10秒・一噸鑛車積込に要する時間3分20秒

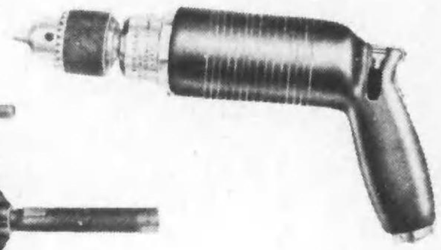
海軍指定工場

合資会社 **太陽空気機械製作所**

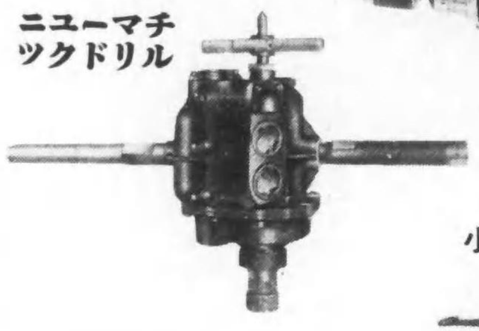
東京市蒲田区今泉町三九番地
電話蒲田二七五四・五〇三三番

太空

ロータリー式片手錐



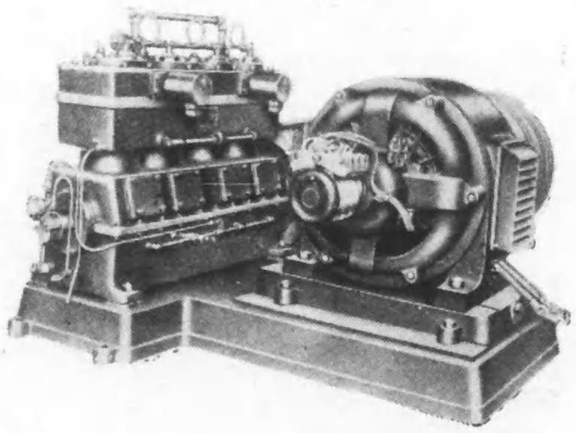
ニューマチツクドリル



小型ハンマー

リベツチングハンマー

エアーコンプレッサー



東京金屬挽物工業組合

東京市神田區東神田町三番地
電話淺花(67)四三一六・三七八一番

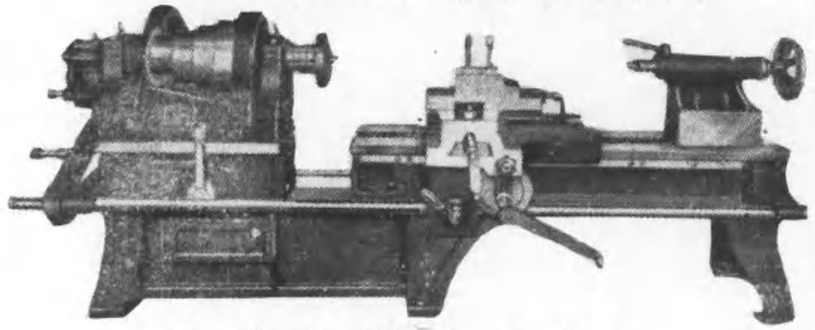
理事長　土田辰五郎
專務理事　石津貞次郎
他組合員一同

◇當組合宛御用命賜ラバ御一報次第直チニ係員參上、御相談ノ上適所ニ受註ノ御斡旋ヲ致シマス

主要製品科目

軍需品、自動車部分品
無線有線通信機械器具部分品
光學機械器具
精密機械器具部分品
醫療器部分品
精密螺子、ナット
一般輪出品及部分品
一般附屬品

工作機械專門製作



八吋大型英式旋盤

川口精機株式會社

地　川口市飯塚町一八一〇番
電話　川口二〇八七番

營業種目

一、般化學機械
輸送機分離機械
乾燥機・壓搾機・粉碎機
製鐵用熔高爐諸機械
ポンプ各種
鐵山川諸機械
土木用諸機械
ロードローラー
キヤタピラシユートラクター
農耕用諸機械
汽罐及タンク
鐵骨・鐵塔・鐵橋

城東鐵工所

代表者　柴田春太郎

營業所　東京市城東區南砂町八丁目二三〇八番地
電話　本所(73)二二五一番・三七四〇番

機械工場　東京市城東區南砂町六丁目二八五番地
殊種機械工場　東京市城東區南砂町八丁目二三一二番地
製罐工場　東京市城東區南砂町八丁目二三〇八番地

営業種目

一、ポンプ部門（渦巻ポンプ　タービンポンプ／プロペラーポンプ　ボアーホールポンプ）
二、水車部門（ペルトン水車　フランシス水車　プロペラー水車／カプラン水車　自動油壓調速機　自動壓力調整機）
三、其他水及空氣ニ關スル裝置ノ設計及施工一式

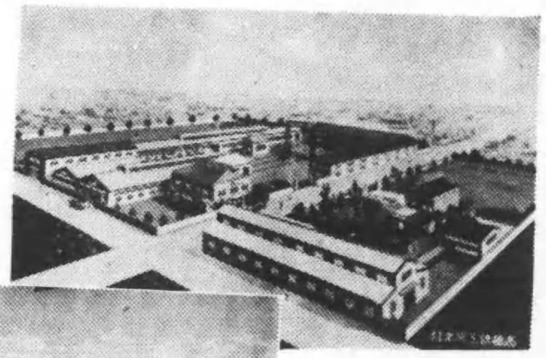
東京第一ポンプ製造工業組合員

株式會社 六王製作所

専務取締役 今泉忠彦

東京市蒲田區矢口町五七七
電話蒲田四六七七・五一三五番

髙橋の工作機械



強力旋盤
大型旋盤

営業品目
TMP型 平削盤
オープンサイド プレナー

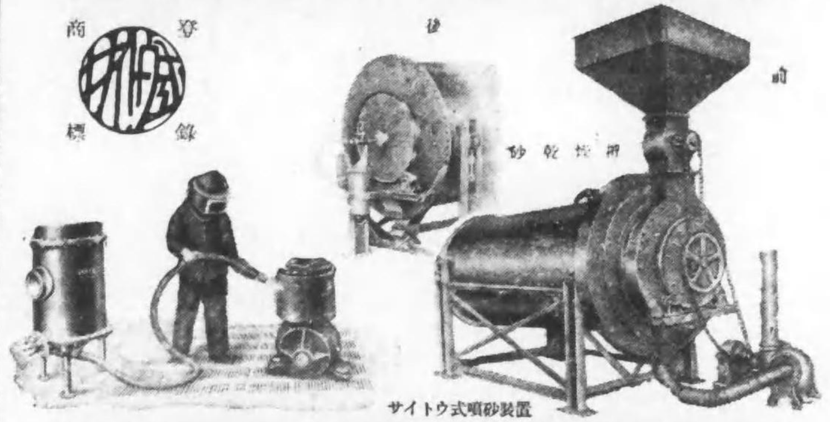
TOKYO

株式会社 髙橋鉄工所

営業所　東京市江戸川區逆井二ノ四四九番
電話城東(68)〇二五六番〇八三二番〇二四六番

逆井平削盤工場　東京市江戸川區逆井二ノ三七二番
船堀旋盤工場　東京市江戸川區東船堀二六二五番
電話江戸川三七一一番

サンドブラスト

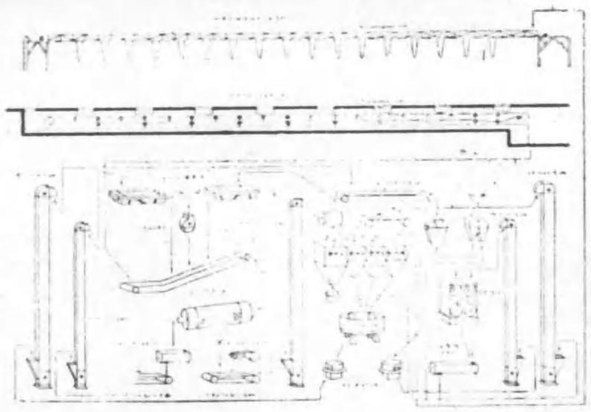


サイトウ式噴砂装置

鑄砂處理裝置

製品科目

- 鑄物機械
- サイトウ式サンドブラスト
- 收塵裝置
- 乾燥裝置
- 空氣壓縮機
- 排風・送風機
- ガソリン蒸溜機



齋藤鐵工所

東京市深川區千石町二丁目六番地

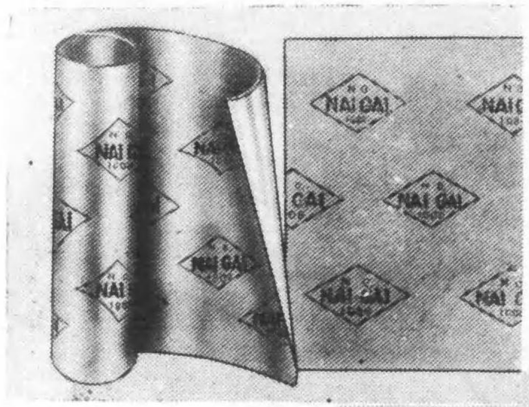
電話本所(73)六九三六番

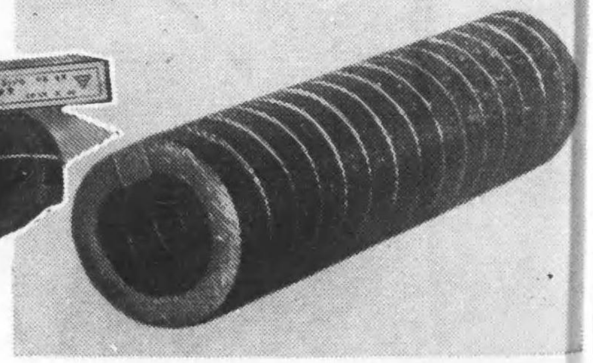
振替口座東京七六七六七番

NAIGAI PACKING

營業目品

- 高壓、高熱スチーム
- 高熱オイル、瓦斯
- 耐酸、アルカリ、アンモニヤ
- エーヤ、ウオーター用
- 各種パツキング





國產ナイガイパツキング

米國コンソルコパツキング

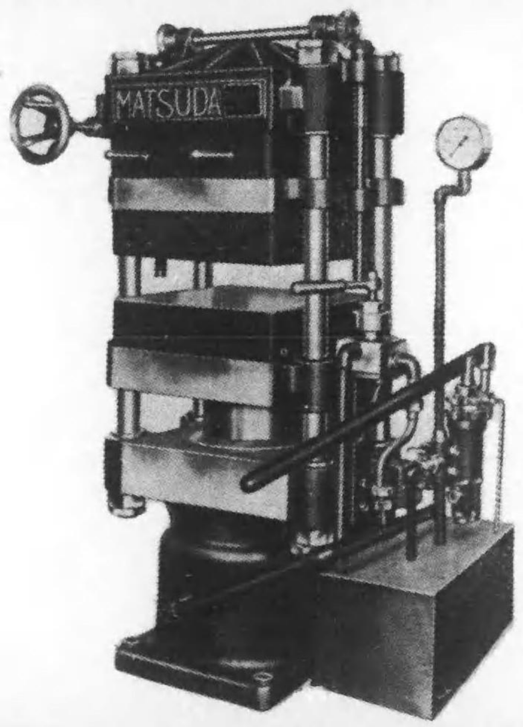
總發賣元

內外パッキング商會

營業所　東京市京橋區寶町二丁目　**電話京橋八七一五番**

倉　庫　東京市芝區海岸通二丁目　**電話三田一八八九番**

金属代用品合成樹脂
松田式
高圧成型機



油壓式壓縮機十吋型機
定盤面二十吋×二十吋、壓力一〇〇噸

（型錄進呈）

株式会社 松田製作所

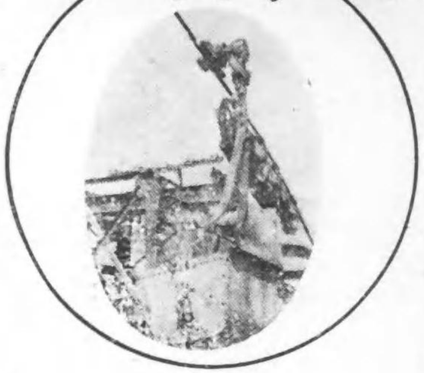
東京市蒲田區糀谷町二丁目四四一番地

電話大森（OS）5684番

振替口座東京37890番

専売特許

土持式索道



東京索道株式會社

東京市蒲田區古市町二九二番地

電話蒲田四四八八・五〇三九番

總代理店 淺野物産株式會社機械部

ラサ工業株式會社

資本金五千萬圓

營業種目

鑛業　金、銀、銅、硫化鑛、燐鑛石、石炭

工業　苛性曹達、晒粉、液體鹽素、硫酸

肥料　過燐酸肥料、化成肥料配合肥料

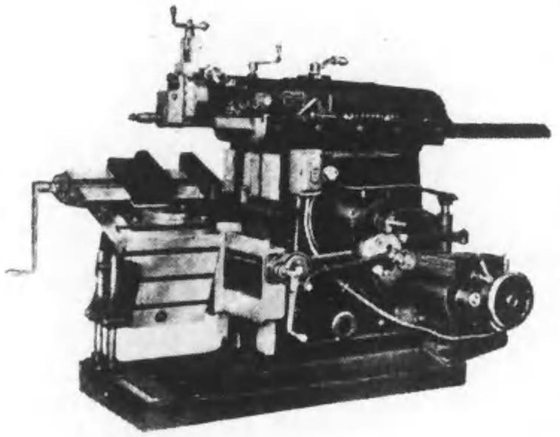
社　鑛山部長　取締役　小野義夫
化學工業部長　常務取締役　工學博士　小島甚太郎
總務部長　取締役　農學博士　横田小人大
計理部長　取締役　米山明一
本　社　大阪市西淀川區高見町一丁目六四番地
支　店　東京市京橋區京橋一丁目貳番地
電話土佐堀(44)三六九一・四三九番(工場夜間用)
五六九一・九九九番(宿直用)
電話京橋(56)九八六一―五

事業所　所在地

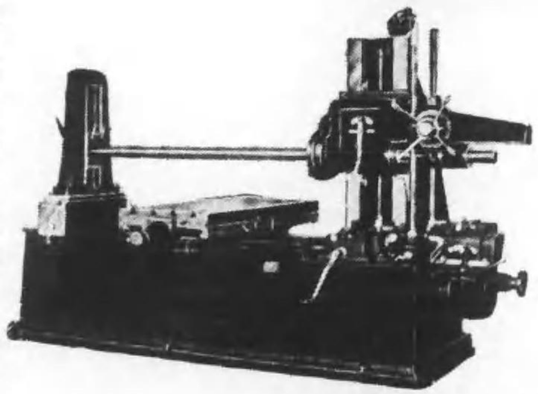
大阪工場（各種工業藥品並ニ過燐酸肥料製品）　大阪市西淀川區高見町一丁目六四番地
田老鑛山（銅、鉛、亞鉛、硫化鐵）　岩手縣下閉伊郡田老村（電話田老一七番・二一番）
田川炭坑（石炭）　山形縣西田川郡温海町字五十川（電話温海温泉三八番）
五十川出張所　山形縣西田川郡温海町字湯温海（電話温海温泉六五番）
温海出張所　朝鮮忠清南道禮山郡光時面瑞草井里
大榮鑛山（金、銀）　沖繩縣島尻郡座間味村屋嘉比島
慶良鑛山（金、銅）　岩手縣上閉伊郡上郷村
大峰鑛山（金、銀）　沖繩縣島尻郡大東島村字沖大東島
ラサ島鑛山（燐鑛石）　岩手縣下閉伊郡宮古町電話宮古五二〇―三（四）
宮古製煉所（金・銀・銅製煉）　山形縣東田川郡本郷村字大針
本郷鑛山（金、銀、銅）

特殊鋼指定販賣人　中間鋼指定取扱店
硬板指定問屋　磨帶鋼指定問屋

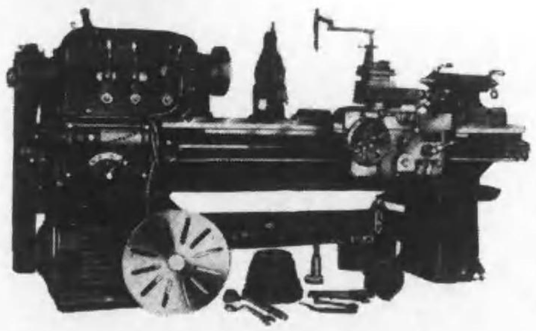
東京市神田區材木町
上野半兵衛商店
電話浪花
1487
1488
3430
3431
3432



20″ All Geard, Motor
Driven Universal
Shaping Machine



No. 2 Horizontal
Boring Machine



8′, 8—Speed Precision
Geared Head Lathe

新保製作所

東京市蒲田區糀谷三丁目XX番地

電話羽田(04)〇〇七二番

目科作製

蒸汽機關車。捲揚機
鑛山。土木機械。ロードローラー
高級工作機械

株式會社 本江機械製作所

本社工場　富山市下奥井驛前
電話四五二〇—三四一三番

出張所　東京市日本橋區通三ノ三(中將湯ビル)
電話日本橋(24)四七八八番

耐酸

ヴァルコフィックス
ゴムライニング

タンク
ポンプ
パイピング
ファン

大日本パイプ

海軍　陸軍　鐵道　造船
航空　製紙　人絹　鑛山
電氣　土木　建築　其他
化學工業用ゴム及
エボナイト製品

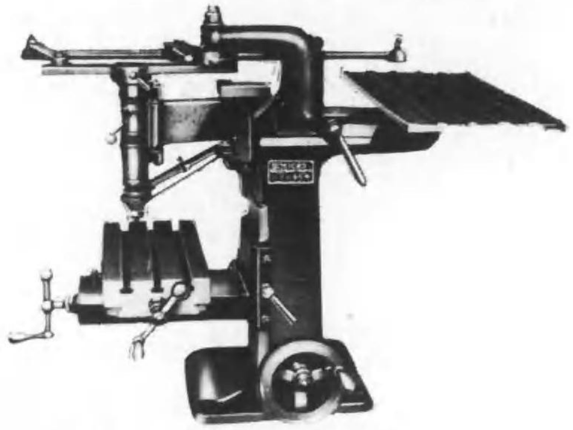
東京市向島區吾嬬町

大日本機械工業株式會社吾嬬工場

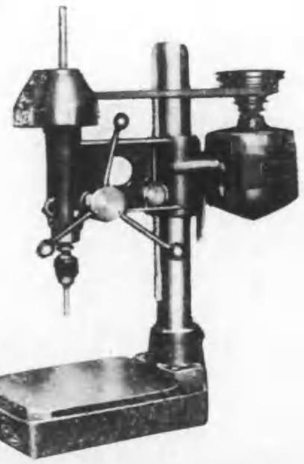
電話墨田(74) { 440 441 / 7009 8013 }

MICRO

精密彫刻機



D. O. 型彫刻機 ↑

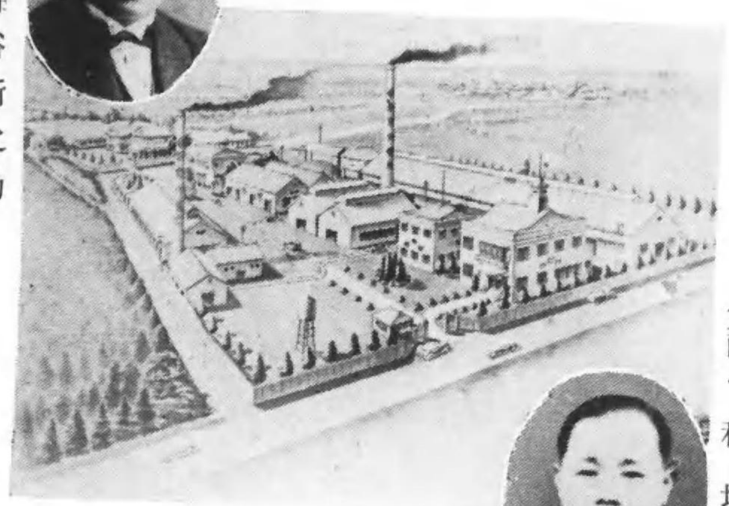


M. D. 型高速電→
動卓上鑽孔機

ミクロ製作所

東京市蒲田區南六郷二ノ二八
電話 蒲田 三三一三番

社長 綿谷新之助



支配人 稻垣要一

營業課目

製管業
銅眞鍮管
輕合金管
引拔鋼管
燐青銅管
アルミニウム管
其ノ他異形管

朝霞伸管所

埼玉縣北足立郡朝霞町一四二〇
電話朝霞34・46番

營業種目

コンスタンタン線
プラチノイド線
アドバンス線
ニクローム線
ユーリカ線

S.S

三誠社

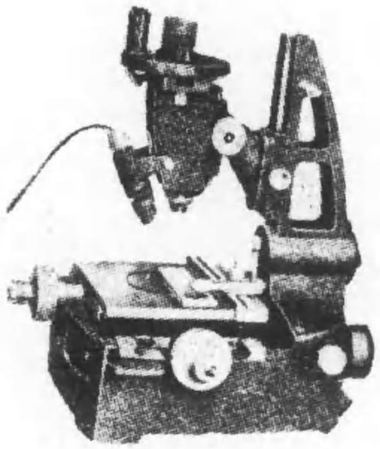
在庫豐富

其他電氣材料
製作販賣

社長 長正義

東京市品川區大井林町二七二
電話高輪(44)四六一四
六五七〇

SUZUKI TOKYO



鈴光ねぢ切バイト検査器

特　　徴

1. 機　構　簡　單
2. 故　障　絶　無
3. 取　扱　簡　易
4. 角　度　正　確
5. 交換性**ねぢ**多量製作可能

工具顯微鏡

ねぢ又は其他一般の
角度測定用
接眼鏡最小一分讀み

鈴木光學レンズ製作所

東京市神田區松住町一二番地

電話下谷(83)二六一六・九五一五・七三六番

高級鑄物
耐酸耐熱鑄物
輕合金鑄物　**特種配合並ニ鑄造**
各種機械鑄物
其ノ他機械加工並ニ製作一般

城南鑄物工業株式會社

東京市蒲田區西六郷三ノ四九
電話蒲田四〇四三・五三〇五

東都製作所

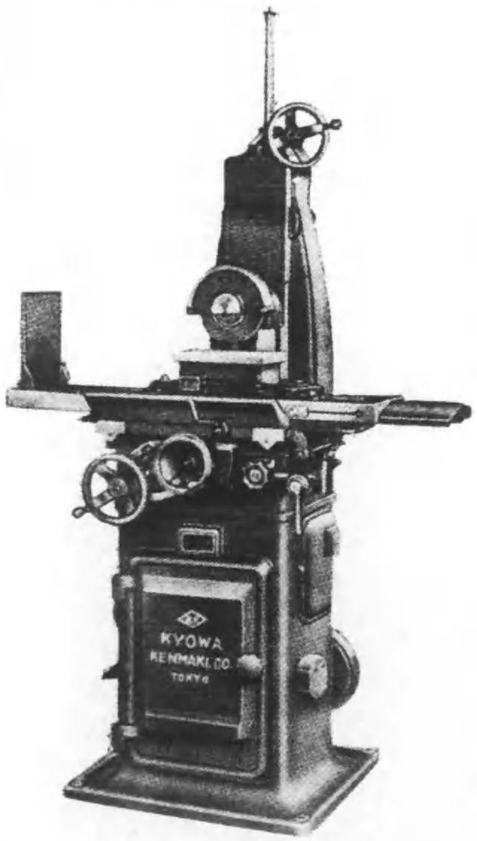
所長 與語中

東京市蒲田區西六鄉三丁目七番地ノ三

電話蒲田(三四)五四二六番

KK

平面研磨機
SURFACE GRINDER



主要寸法

テーブルの前後動き
……150粍
同　左右動き…480〃
砥石の上下調節……280〃
テーブルの作業面の
大さ……480〃
電動機馬力數……1馬力
同　回轉數……
……1500–1800 R. P. M.
總重量……約700瓩

附屬品

マグネチツクチヤツク
……6〃×24〃(面積)1個
エメリーホヰール‥
……7〃×1/2〃×32粍1個
ダイヤモンドツール
保持具……1個
スパナ及レンチ……1組

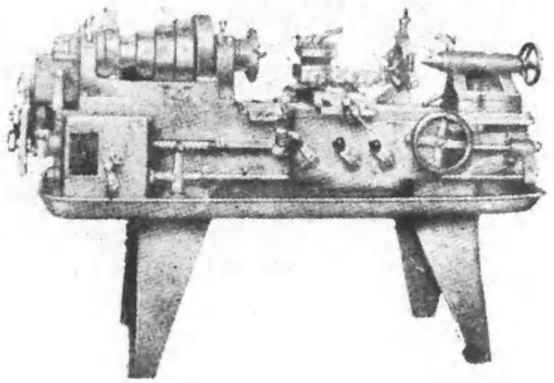
合名會社 共和研磨機製作所

工　場　東京市蒲田區西六鄉三丁目十一番地　電話蒲田五四四八番
假營業所　東京市京橋區京橋一丁目三番地　電話京橋(56)二四八〇番

高山の工作機

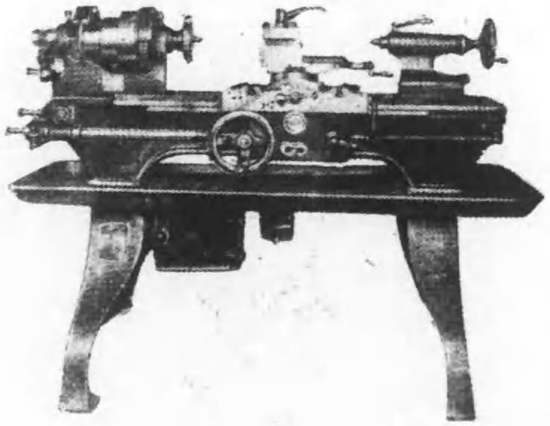
S型段車式旋盤

（300粍×1500粍精密旋盤）



Y.T

米式四呎旋盤



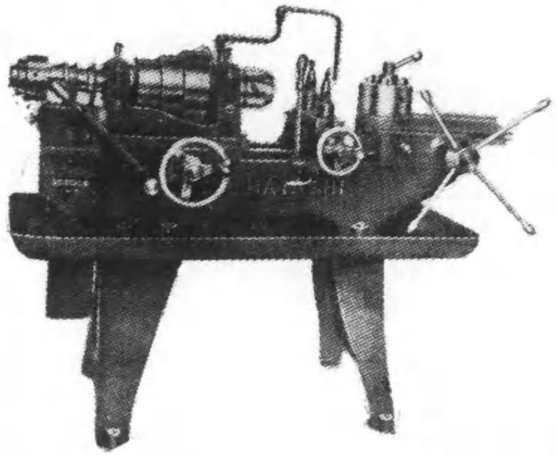
英式 米式 旋盤
其他各種高級工
作機械製作販賣

合名會社 **高 山 製 作 所**

東京市荒川區尾久町五ノ七三三
電話下谷（83）三六六五番

生 産 力 擴 充 に !!

林のターレットレース



即納

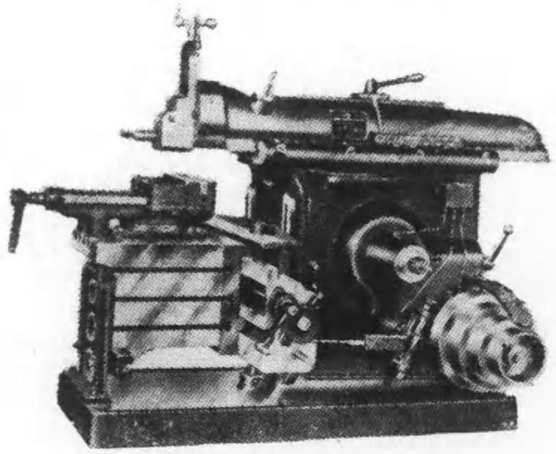
最大施削寸法

3番……$1\frac{3}{4}''\times6''$

4番……$1\frac{1}{2}''\times7\frac{1}{2}''$

（型 錄 進 呈）

24吋强力精密セーパー



大洋工機商會

本店 東京市京橋區寶町二丁目五　電話京橋(56)五九八四・二三四四番
支店 大阪市港區九條南通四丁目　電話西一九五〇・四九五九番

TOKYO ROCK DRILL

鑿岩機
シャープナー
オイルフアネス

鑿岩機用
中空鋼
ゴムホース
金具類

合資會社 **東京鑿岩機製作所東京營業所**

東京市本郷區駒込神明町三三六
電話駒込一四七九番

工場 城東區大島町七ノ二三

優良製品は優秀なる機械より生る

スーパーアーク
高周波式電弧鎔接機

（カタログ進呈）

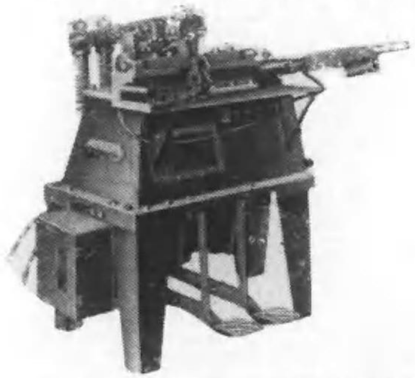
弊社は過去十數年來の經驗を基礎とし其機能の優秀、取扱簡易、電力經濟等他に追隨を許さぬ優秀品を多數產出して居りますが、就中**スーパーアーク**は代表的な生產品であります。

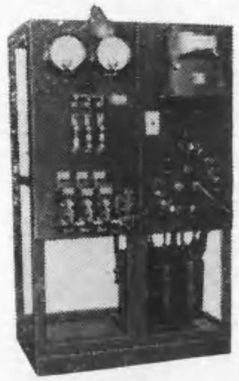
東京電鎔機株式會社
東京市品川區南品川二ノ六六　電話高輪(44)3983・4612

電氣爐

製作種目

☆金屬抵抗式（燒入）（燒鈍）（滲炭）（窒化）（調質）用電氣爐☆低周波誘導坩堝型鎔解爐☆エル型光弧電氣爐☆**クリプトル**鎔解爐☆**タンマン**爐☆**ソルトバス**（燒入）（豫熱）（熱鈍）用電氣爐及變壓器・配電盤・其他電熱工具器具一式

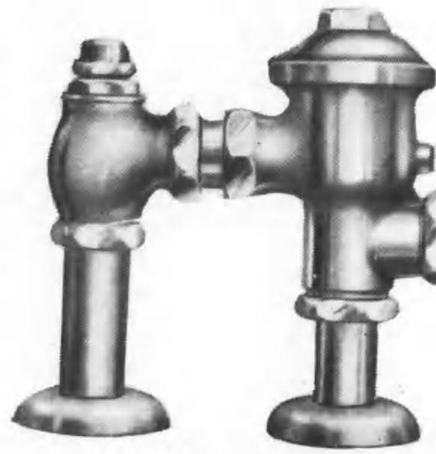




昭和電氣爐株式會社
本社及第一工場　東京市蒲田區東蒲田四ノ三二番地
電話蒲田四五七六番
第二工場　東京市蒲田區仲蒲田四ノ九番地

ヒコーキ印 フラッシュバルブ

斯界最高級品



構造・作用・共ニ優秀

耐久力絶對的!!

各官廳御指定品
專賣及ビ新案特許

『ヒコーキ印』高級衞生、水道、蒸汽
煖房工事用金具、製造販賣

合名會社 **高橋工場**

營業所　東京市芝區白金三光町一九番地

電話高輪(44) 〇二五番 六三九番 四五六番 九三二番

鑄造部　東京市澁谷區豐澤町二四番地

鋼材一般
建築金物發賣元
鐵部
HMC金物部
硝子部
ステンレス部

合資會社 **森岡平右衞門商店**

東京市日本橋區江戸橋一ノ二
電話日本橋(24)3301番(代表)

一般鋼材輸出入
東鉛鋼鈑一手販賣

株式會社 **森岡商會**

東京市日本橋區江戸橋一ノ二

建築材料
橋梁材料
車輛材料
造船材料
農具材料
鐵工材料

株式會社

入丸商店

東京市京橋區西八丁堀一丁目八番地

電話京橋(56)五二四・二六六七・五二九二
五二九三・八二五三・三五三四

歯車歯切専門

相澤歯車鐵工所

中村昌七

東京市本所區菊川町三丁目十三番地

電話本所(73)〇〇二〇〇五五六七番
受電略號(トウケウハグルマ)
振替貯金東京三六八五一番

足利工場 足利市伊勢町 電話三六三

高級工作機械製作販賣

昌和工業商會

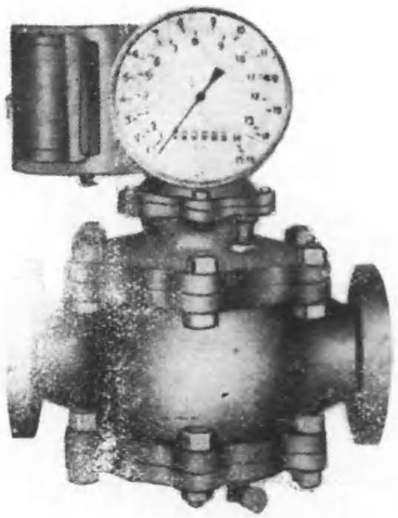
東京市本所區菊川町三丁目十一番地

電話本所(73)三八四六番

工場 長岡市西千手町 電話七九六

純国産品
世界唯一ノ性能ト機構

サンエム式流量計



（獨特ノ性能）

イ，単位量切取表示式ニ依ル絶對正確度

ロ，轉倒，震動ニ因リ表示機構ニ何等ノ影響ヲ受ケズ

ハ，本計器ハ液體ノ比重，濃度ニ左右サレヌ

ニ，獨特ノ構造ニ因リ流動物ノ運動ヲ障ゲズ

ホ，目的ニ依リ流速，減量，殘量，或ハ各積算量，並ニ時計記錄式トナスコトヲ得ル

大日本

本社營業部

東京工場
山梨工場

サンエム式回轉計

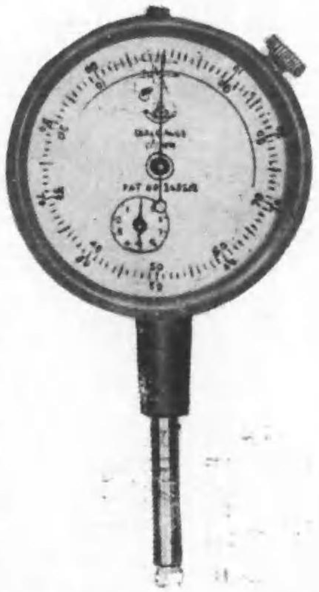
特　長

目盛盤上ノ指計ハ完全ニ安定ヲ保チ瞬時ノ回轉數ヲ正確ニ指示シ刻々變化スル回轉波動ヲモ表示ス

回轉體ニメーターヲ當テタママ表面ダイヤルヲ單ニ左右ニ回轉サセレバダイヤル指標範圍ノ回轉數ヲ讀ミトルコトガ出來マス

サンエム式ハ最新式タコメーター定置式，手持式，兩ツトモ製作シテ居マス

サンエム式
ダイヤル　インヂケーター



ダイヤルインヂケーターノ生命ハソノ側定指度ノ正確サニアル計器ノ正確ハ用材ノ精撰，精密ナル仕上，ホルダーノ完全性ニ因ル。

本製品ハ弊社多年ノ經驗ト研究トニヨリ國産品ノ通弊タル各パーツノ仕上不均一ニヨル不安ヲ除キ正確度ハ舶來品ヲ遙ニ凌駕ス。

測定ノ正確ヲ期スルニハ單ニゲージノ優良性ノミニ信賴スルハ不可デ，ゲージホルダーノ完全性ト並行セネバナラヌ。

從來ノホルダーハ測定面ノ相違ニヨリ，ソノ都度各々別ノホルダーヲ用ヒネバナラヌ不便ガアツタガ，

本品ハ單ニソノ特殊裝置ヲ加減スルノミデ高低左右如何ナル面ニ對シテモ任意ニゲージヲ當テ得ル至極便利ナモノデダイヤルゲージホルダートシテハ完璧ノモノデアル。

計機株式會社

東京市麹町區丸ノ内三丁目三番地（三菱二十一號館）
電話丸ノ内（23）一七二三・五〇八五番
東京市目黒區中根町　電話荏原三五八〇番
山梨縣南都留郡谷村町　電話谷村二九・一五三番

特225
41

年五十和昭

鑑名人業工國全

篇濱京

社聞新業工刊日

優良國產賞受領
專賣特許・實用新案

スチールサッシュバー

自動車用各種スプリング
特殊鋼鐵壓延一式
自動車リム

合資會社 **東京鋼鐵製作所**

東京市城東區大島町三丁目卅六番地
電話本所(73)3789・1960

關東代理店
合名會社 西村寅吉商店
東京市本所區綠町三丁目二〇番地 電話本所3160・3160

關西代理店
合資會社 河野商店
大阪市西區松島町一ノ十八 電話西3258

全國工業人名鑑目次

（五十音順）

あ之部

安藤龜吉 一
安藤三二 一
安藤儀三 一
安藤晉三郎 一
安藤陣一 一
安藤忠三 一
安藤信昭 一
安藤善親 二
安藤健 二
安倍小次郎 二
安藤啓次郎 二
安部藤藏 二
安齋克美 三
淺野忠良 三
淺野總一郎 三
淺野義夫 三
淺野岩吉 四
淺野八郎 四
淺野良三 四
淺利三郎 四
淺川貞治 四
淺井辰三郎 五
淺沼龍吉 五
淺利福太郎 五
有賀光豐 五
有島健助 五
有坂鉊藏 六
有田靖太郎 六
有川鷹一 六
朝比奈幸三 六
朝倉每人 六
朝木秀作 七
朝比奈幸太郎 七
朝日直次 七
青木菊雄 七
青木寅雄 七
青木弘 七
青木孝太郎 八
青木章一 八
新井愼藏 八
新井龍祐 八
新井章治 八
新井久次郎 八
秋山高 九
秋田直吉 九
赤司初太郎 九
赤松市雄 九
赤星四郎 九
相川廣作 九
相原良吉 一〇
阿久津鋭男 一〇
阿部善作 一〇
阿部壽準 一〇
阿部武夫 一〇
雨宮良孝 一一
雨森智四郎 一一
荒木重義 一一
荒井武一 一一
荒井豐吉 一二
芦田定次郎 一二
甘糟淺五郎 一二
生明市太郎 一二
芥川均一 一三
東佐緣 一三
足立格平 一三
會田啓之助 一三
明石和衛 一三
鮎川義介 一三

い之部

石川虎三郎 一四
石川寅吉 一四
石川政善 一四
石川博資 一四
川徹 一四
石川安司 一四
石川一郎 一四
石川伸庸 一四
石橋光治 一五
石橋三郎 一五
石橋治郎八 一五
石橋正二郎 一五
石井太吉 一六
井元 一六
石井林次郎 一六
石井光雄 一六
石井康友 一六
石田省一 一六
石田謙一郎 一六
石田禮助 一七
石田宇三郎 一七
石原義之助 一七
石原勵 一七
石原米太郎 一七
石崎良行 一八
石尾善勝 一八
石澤愛三 一八
石津貞次郎 一八
石毛敏雄 一八
石坂泰三 一八
石子雄亮 一九
石崎石三 一九
石山政治 一九
伊藤千代藏 一九
伊藤宗男 一九
伊藤喜一郎 一九
伊藤貞七 一〇
伊藤良助 一〇
伊藤文吉 一〇
伊藤晉次郎 一〇
伊藤勇 一〇
伊藤毅一 一一
伊藤虎雄 一一
伊藤寅吉 一一
伊藤讓一 一一
伊藤雄二郎 一一
伊藤孝市 一一
伊藤英夫 一一
伊藤周次郎 一二
伊藤琢郎 一二
伊藤一郎 一二

伊藤鈴三郎　二二
伊藤一郎　二二
伊藤保人　二三
伊東哲三　二三
伊東益治郎　二三
伊原貞敏　二三
伊集院清彥　二三
伊熊市太郎　二三
伊地知虎彥　二四
伊與田光男　二四
池田元太郎　二四
池田清藏　二四
池田一次郎　二四
池田三三雄　二五
池田三代吉　二五
池田信一郎　二五
池田清　二五
池上盛壽　二五
池田清　二五
池上寛十　二五
池邊瀧三郎　二六
池邊稻生　二六
池內慶太郎　二六
池貝杉二　二六
池貝秀雄　二六
井上道之助　二六
井上哲　二七
井上安吉　二七
井上好德　二七
井上武吉　二七
井上九一郎　二七
井上宜文　二七
井上業敬　二八
井上與三郎　二八
井上篤太郎　二八
井上雅二　二九
井澤恒吉　二九
井田幸治　二九
井川ヨシ　三〇
井坂孝　三〇
今泉嘉一郎　三〇
今泉忠彥　三〇
今井直城　三一
今井弘壽　三一
今井文平　三一
今泉平吉　三一
今泉隆藏　三一
今岡ウタヨ　三一
今村久義　三二
今谷春彥　三二
入交太兵衛　三二
入澤寅吉　三二
岩崎盾夫　三二
岩崎大次郎　三二
岩山虎雄　三三
岩瀨英一郎　三三
岩瀨亮　三三
岩井豐治　三三
岩井尊人　三四
岩井秀男　三四
岩田金之助　三四
岩田喜雄　三四
岩楯林造　三四
岩楯鉎三　三五
岩戸德之助　三五
岩城倉之助　三五
市瀨康男　三五
市川六郎　三五
市川勇太郎　三五
市川準一　三五
市川憲次　三六
稻田勤　三六
稻川與一　三六
稻田輝太郎　三六
稻垣要一　三六
稻川次郎　三七
稻越房吉　三七
稻野邊穩吉　三七
飯田久一郎　三七
飯田延太郎　三七
飯山太平　三八
飯野健次　三八
飯高達夫　三八
飯森梅男　三八
飯塚謙三　三八
飯岡千勝　三八
磯村豐太郎　三九
磯崎種吉　三九
磯貝波次郎　三九
五十嵐虎五郎　三九
五十嵐小太郎　三九
五十嵐竹次郎　四〇
諫早良三　四〇
一松政二　四〇
糸永文古　四〇
板矢長太郎　四〇
石川一郎　四一

う之部

內山復次　四一
內海清溫　四一
內田慶三　四二
內山良治　四二
宇塚善司　四二
宇高有平　四二
宇津宮寛一　四二
宇都宮顯三　四二
宇田龜代滿　四三
宇野澤辰次　四三
上甲信弘　四三
上野康治郎　四三
上田源藏　四三
植村泰二　四四
植村家治　四四
臼井千壽　四四
臼田鏻治　四四
臼杵善三郎　四四
浦山助太郎　四五
浦田清二　四五
梅崎延太郎　四五
梅本元太郎　四五
海野幸保　四五
畝岡喜市　四五
瓜生喜三郎　四六
鵜野正方　四六
魚谷傳太郎　四六
牛尾義方　四六

え之部

江頭剛　四七
江澤謙二郎　四七
遠藤壽　四七
遠藤貞德　四七

遠藤健三　四八
海老原直太　四八
榮國嘉七　四八

お(を)之部

太田金吉　四九
太田一雄　四九
太田祐雄　四九
太田啓次　四九
太田新吉　四九
太田半六　四九
大倉喜七郎　五〇
大倉發身　五〇
大倉龜　五〇
大倉和親　五〇
大塚佐平　五〇
大塚寅松　五〇
大塚寛治　五〇
大塚榮吉　五一
大橋新太郎　五一
大橋傳右衞門　五一
大橋八郎　五一
大橋光吉　五一
大河原芳五郎　五二
大河內正敏　五二
大久保麟之助　五二
大久保薫　五二
大久保源之亟　五三
大久保繁　五三
大久保八朔　五三
大川榮作　五三
大川義雄　五三
大川理作　五三
大島鐵太郎　五三
大島孝吉　五四
大澤常太郎　五四
大澤康人　五四
大脇順路　五四
大高愿　五四
大森純一　五四
大崎新吉　五五
大來修治　五五
大泉哲　五五
大上五郎　五五
大谷登　五五
大竹定吉　五五
大野定雄　五五
小野梧弌　五六
小野義夫　五六
小野耕一　五六
小野繁　五六
小川隣　五六
小川菊造　五七
小川信太郎　五七
小川勝康　五七
小川英太郎　五七
小川彌太郎　五七
小川長春　五七
小澤義一　五八
小澤浩　五八
小澤仁之甫　五八
小笠原貢橘　五八
小笠原三九郎　五八
小原喜三郎　五八
小原芳雄　五八
小原得治　五九
小濱淨鑛　五九
小穴秀一　五九
小關良平　五九
小高丑男　六〇
小屋良吉　六〇
小津鎌平　六〇
岡和　六〇
岡崎峻　六〇
岡崎久次郎　六〇
岡田大吉　六一
岡田與吉　六一
岡田壯四郎　六一
岡田顯三　六一
岡田周平　六一
岡本英　六二
岡本勸　六二
岡野悌二　六二
岡野光司　六二
岡部正樹　六二
岡村辰三　六二
奥村隆三　六三
奥田美計　六三
奥村秋三　六三
荻原孝吉　六三
尾形祐壽　六三
尾上喜市　六三
尾形直吉　六四
尾城卓二　六四
尾崎敬義　六四
押田三郎　六四
織田雄次　六四
長正義　六五

か之部

加藤幸一　六五
加藤嘉一　六五
加藤榮太郎　六五
加藤時雄　六五
加藤清治　六五
加藤武男　六六
加藤辰彌　六六
加藤郁二　六六
加藤農夫　六六
加藤顯次郎　六六
加藤藤松　六七
加藤子郎　六七
加瀨忠作　六七
加藤木保次　六七
加勢清雄　六七
加來佐賀太郎　六七
加賀山學　六八
川井源八　六八
川口達雄　六八
川勝堅一　六八
川口勝太　六八
川崎孝之助　六八
川崎守彥　六八
川合晃　六九
川合芳次郎　六九
川上八十太　六九
川上金熊　六九
川田小三郎　六九
川北福三郎　七〇
川村三郎　七〇
川野留吉　七〇
河西長三郎　七〇
河西市藏　七〇

河原正貫　七一
河村達藏　七一
河井浩　七一
河田源三　七一
河路寅三　七一
河手捨二　七一
河橋憲司　七二
金杉英五郎　七二
金森安平　七二
金井仙次郎　七二
金井潤三　七二
金澤彌三郎　七三
金澤多三郎　七三
金澤久　七三
片倉兼太郎　七三
片岡範爾　七三
片倉五郎　七三
片岡親一　七四
片山馴一　七四
門田勝次郎　七四
門田正　七四
門野重九郎　七四
門脇壯介　七四
片岸清太郎　七五
勝田悌治　七五
勝又仁四　七五
勝顯喜一　七五

勝俣英　七五
神田正吉　七五
神田兼太郎　七六
神吉英三　七六
神谷國賢　七六
笠井眞三　七六
笠島勝次郎　七六
笠原脩　七七
梶井剛　七七
樺山愛輔　七七
樺山資英　七七
各務鎌三　七七
鏡省三　七八
鏑木誠一　七八
龜井正俊　七八
香宗我部此秀　七八
香川景次　七八
風間誠一　七八
上島清藏　七九
鍵和田良平　七九
蒲田善藏　七九
柏倉吉三郎　七九
籠宮谷清松　八〇
筧正太郎　八〇
可兒信夫　八〇
葛良修　八〇

き之部

木村小左衞門　八一
木村宰明　八一
木村榮吉　八一
木村辰治　八一
木村雄次　八一
木村兼次郎　八一
木村利吉　八一
木村治助　八一
木村重三郎　八二
木村平太郎　八二
木村泰太郎　八二
木下茂　八二
木下國明　八二
木內直　八二
木內常信　八三
木全環　八三
木島秀太郎　八三
菊地金藏　八三
菊池孝　八三
菊地武一　八四
菊本直次郎　八四
菊島辰男　八四
北澤茂作　八四
北原今朝吉　八四
北上正　八四
清田房次郎　八五
清家瑩三郎　八五
岸義男　八五
岸田政太　八五
喜多正雄　八五
狐崎武夫　八五

く之部

久保田藤造　八六
久保田久夫　八六
久保田四郎　八六
久保田積藏　八六
久米又藏　八七
久埜茂　八七
久保良輔　八七
倉田猛郎　八七
倉用龜之助　八七
倉持長吉　八八
倉數定　八八
倉橋三平　八八
黑岩貞重　八八
黑澤丑之助　八九
黑川竹太郎　八九
國澤新兵衞　八九
工藤弘　八九
栗原和三郎　八九
栗山晋　八九
櫟木幹雄　八九
窪添正彌　八九
鞍掛駿郎　九〇
櫛原周一郎　九〇
窪田國和　九〇
日下部義太郎　九〇
熊澤政一　九〇
九鬼治郎　九一
藏川詠充　九一

け之部

源平恭央　九一

こ之部

小林一三　九一
小林正直　九一
小林勝馬　九二
小林隆夫　九二
小林順義　九二
小林安義　九二
小林藤次郎　九二
小林茂　九二
小林雅一　九二

小林勝馬　九三
小林義一　九三
小林清吉　九三
小林寅次郎　九三
小林久治　九三
小島敏　九三
小島憲一　九四
小島昇　九四
小島正治郎　九四
小島哲治　九四
小島亮平　九四
小出睦三　九四
小出義男　九四
小池一郎　九四
小山文吉　九五
小平浪平　九五
小藪雅也　九五
小管増太郎　九五
小穴秀一　九五
小國清　九五
小早川一夫　九五
小高榮　九六
小泉長藏　九六
小西長治郎　九六
小平濱次郎　九六
小熊信一郎　九六
小谷一郎　九六

小岩増太郎　九七
近藤利兵衞　九七
近藤賢二　九七
近藤晋　九七
近藤信雄　九七
河野哲夫　九七
河野彬　九八
兒玉謙次　九八
兒玉益彥　九八
駒井久吉　九八
越田德兵衞　九八
亘勢泰八　九九
今野幸助　九九
鄕古潔　九九
粉川竹治　九九
後藤銀作　九九
後藤叔久　九九
後藤茂　一〇〇
後藤大吉　一〇〇

さ之部

佐藤忠彌　一〇〇
佐藤圭三　一〇〇
佐藤玉雄　一〇〇
佐藤慶藏　一〇〇
佐藤保　一〇〇

佐藤諌吉　一〇一
佐藤景太郎　一〇一
佐藤嘉三郎　一〇一
佐藤助九郎　一〇一
佐藤正樹　一〇一
佐々木宗勝　一〇一
佐々木佐一郎　一〇二
佐々木民治　一〇二
佐々木清三郎　一〇二
佐々木彌太郎　一〇二
佐々木高之助　一〇二
佐々木和三郎　一〇二
佐野文司　一〇三
佐野欽太郎　一〇三
佐野利平　一〇三
佐竹庄三郎　一〇三
佐竹義一　一〇三
佐々田彰夫　一〇三
佐脇哲郎　一〇四
佐伯萬藏　一〇四
佐谷庄太郎　一〇四
佐原誠　一〇四
佐竹義文　一〇四
佐近司政三　一〇四
佐野精一　一〇五
齋藤富造　一〇五
齋藤貞二　一〇五

齋藤定藏　一〇五
齋藤幸太郎　一〇五
齋藤二郎　一〇五
齋藤松太郎　一〇五
齋藤省三　一〇五
齋川義文　一〇六
坂井克行　一〇六
坂井庄次郎　一〇六
坂口廣喜　一〇六
坂本忠三郎　一〇六
坂本正男　一〇六
坂本修作　一〇六
坂梨哲　一〇七
坂下忠雄　一〇七
坂手利重　一〇七
坂田秋生　一〇七
坂倉幸利　一〇七
酒井吉之助　一〇七
酒井金之助　一〇八
酒井一郎　一〇八
澤藤忠藏　一〇八
澤幸次郎　一〇八
崎山刀太郎　一〇八
寒川恒貞　一〇九
里見謹吾　一〇九
定近俊一　一〇九
眞田繁次　一〇九

櫻井朝則　一一〇

し之部

清水一雄　一一〇
清水井房吉　一一〇
清水莊平　一一〇
清水十四造　一一〇
清水幸三郎　一一一
清水眞一郎　一一一
清水松次郎　一一一
清水勇　一一一
清水禧　一一一
清水長鄕　一一一
清水幸一郎　一一二
清水朔郎　一一二
清水康雄　一一二
清水房吉　一一二
島田金次郎　一一二
島田利吉　一一二
島田藤　一一三
島田純一郎　一一三
島田乙駒　一一三
島田安次郎　一一三
島村一郎　一一四
島村亨二　一一四
白川儀一　一一四

田野井夫之助　田村村邊島島島島原原原中中治郎左衞門　新次敬七邦福之治昌銀之傳春
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
一一
四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四

俊四郎　藤久武順壹雄德次　喜彌太　孝東七郎信吉助助英助太雄
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四

助平郎男長三號平郎吉豐六一衞門
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四

多々良花松村口田澤內內中尾部智田井鶴山崎丸畑所沼子口野
多立立谷谷玉玉竹竹竹竹武武武武田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四

賀　侍常良源金二美　朴壽太　榮年俊直宜懸次太庄留五外啓曬　富一義
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四

郎吉介一一三成煥兒郎正吉助正道譽郎太郎義一實彥太男
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四

津津上守之退豐左衞門助治部
津津千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千
田藤左衞門

千遲千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千
葉塚葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉
恒安胤龍三四悅兵王
次郎三吉郎郎衞驥

瀧田瀧棚太多淡瀧財檀
田中澤橘川田輪口部野
榮七寅平耕敏陸倉禮
透郎郎治象雄造吉助

筒土土都堤槌角妻塚
井屋持築　田田木越
源計左右治七夫三郎造

外時栂利戶戶德德土土土
山松野光栗田江原光居井
石角里明鶴健武之助夫郎
英壽郎松次介助夫郎郎

篠荘神志下之正篠瀧瀧椎椎新新新柴柴鹽鹽白白白白白
原田園寺保賀村　田田澤谷名野開藤保田山野原川石石石川石
襲平信　常貞襲貞導敬三辰芳與廣英久基源和又脩德運元一多士
治象一達三成郎郎三三郎胤七作松吉郎郎正策郎郎市郎郎良

鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴鈴
木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木
一英正哲陸誠郎長千肇忠由鳴幸之春康正圓賢翌囚重錠武　す之部
來次平正晴一助郎吉正治郎吉平助雄助治藏郎吉一藏夫

末砂砦砦住須須須杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉杉
常谷　原吉藤吉友藤關鄉林山山浦浦　本中木木木木木木
共智榮恒勇松左衞輝重武健金聲俊啓政重義三一　武六
介導一覺郎郎門一平治郎郎九一二人藏一彌郎甫治郎元

園佐染染早相曾曾曾　關關關關瀨瀨關關關
部藤矢谷田馬我根部竹　谷　根山尾越　せ之部
守政清喜閑繁應一　光　瀧　俊正　襲
利治敏郎稔二郎一部　島　平吉男延三路昇孝

高高高橘橘榮　　高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高
橘橘橘左衞　　橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋
政衞門　　中中島野柳　　田田高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高

吉五郎藏門　　岡松品山木木山木木田田橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋橋

三三三三三　　貫大　宜繁次增之太康祐耕佐陸梅廣儀眞熊次一享治慶龍鎌是吉
辰　　三租之輔巍次郎助郎吉治綱郎郎海郎男郎三二郎三郎逸賢清

中島勝三郎　一六〇
中島孝夫　一六〇
中島齋　一六一
中川寅之助　一六一
中川正左　一六一
中川清　一六一
中山久司　一六一
中山義雄　一六二
中山龍次　一六二
中山理々　一六二
中山喜三郎　一六二
中野友禮　一六二
中野金次郎　一六三
中野鐵平　一六三
中西龍吉　一六三
中西嘉三郎　一六三
中西仲次　一六三
中込鐵一郎　一六四
中込秀作　一六四
中上川鐵四郎　一六四
中上豐吉　一六四
仲又義元　一六四
仲信治　一六四
中瀬精一　一六五
中谷保　一六五
中元好助　一六五
中曾根玄愷　一六五
中瀬拙夫　一六五
中澤宇三郎　一六五
中田義算　一六六
中松眞郷　一六六
中井四郎　一六六
永井平次郎　一六六
永井太朗　一六六
永井信二郎　一六六
永田正樹　一六六
永田隼之助　一六七
永田利行　一六七
永原仲雄　一六七
永友義啓　一六七
長坂基一（基隆）　一六七
長島未治郎　一六八
名取義一　一六八
名古屋忠七　一六八
難波雄治郎　一六八
難波又三郎　一六八
成瀬豐　一六八
成瀬文雄　一六八
鳴尾福松　一六八
長尾欽彌　一六九
内藤一之助　一六九
那須一海　一六九
奈良自由市　一七〇

に之部

新飯田大助　一七〇
新倉藤吉　一七〇
新倉文郎　一七〇
新田義雄　一七〇
西山實　一七一
西田正一　一七一
西山義二　一七一
西田利夫　一七一
西ケ谷延治　一七一
西野公敏　一七二
西源喜　一七二
西脇濟三郎　一七二
西村啓造　一七二
西川三次　一七二
西林幹助　一七二
二宮新　一七二
二瓶貞夫　一七三
二國三樹三　一七三
二宮裕造　一七三

ぬ之部

沼田伊勢夫　一七三

ね之部

根橋清二　一七四
根木彬男　一七四

の之部

野口太助　一七四
野口勇　一七四
野口榮三郎　一七四
野澤弘幸　一七四
野澤壯哉　一七四
野尻薫　一七五
野尻勇　一七五
野村千助　一七五
野村益三　一七五
野原彝夫　一七五
野崎耕一　一七五
納富純一　一七六

は之部

林正一　一七六
林原彌太郎　一七六
林寅造　一七六
林寅藏　一七六
林二郎　一七七
林清人　一七七
林久治郎　一七七
林政次　一七七
林季彦　一七七
林晋三　一七八
林邊賢一郎　一七八
林壽天　一七八
林桂二郎　一七八
原悅生　一七八
原邦造　一七八
原勝次郎　一七八
原長次郎　一七九
原幾次郎　一七九
橋田肇　一七九
橋本有隣　一七九
橋本萬之介　一七九
橋本卯吉　一七九
橋本圭三郎　一七九
橋本萬太郎　一八〇
長谷川鐵太郎　一八〇
長谷川清次　一八〇
長谷川作次　一八〇
長谷川貞成　一八〇
長谷川猪三郎　一八一
服部一郎　一八一
長谷川八重作　一八一
服部正計　一八一
服部久吉　一八一

濱野佐一郎　一八二
濱野茂　一八二
濱野三雄　一八二
早坂力　一八二
花田三郎　一八二
葉室直躬　一八二
早坂竹利　一八三
馬場忠俊　一八三
馬場正治　一八三
蓮井繼太郎　一八三
蓮沼善之助　一八三
波多野一郎　一八三
秦孝治郎　一八三
畑井智裕　一八四
畠中太郎　一八四
八田嘉明　一八四
間四郎　一八四
半澤金之助　一八四
羽村協輔　一八五
坂東舜一　一八五
伴野賢造　一八五
番田幸介　一八五

ひ之部

平林和雄　一八六
平林鑛太郎　一八六
平井茂樹　一八六
平井澄　一八六
平野寅松　一八六
平野久保　一八六
平野亮平　一八七
平沼覺治郎　一八七
平川政則　一八七
平尾太郎　一八七
平熊友明　一八七
兵頭勝　一八七
兵頭正治　一八八
日野良兼　一八八
日比辰三郎　一八八
日高晴生　一八八
博見哲太郎　一八八
比留間福太郎　一八八
疋田善太郎　一八九
廣瀬德次郎　一八九
樋口邦雄　一八九
久島精一　一八九
肥後盛秀　一八九

ふ之部

藤井誠治郎　一九〇
福井武次郎　一九〇
藤井武清　一九〇
藤井碩次　一九〇
藤井敬三　一九〇
福井藤吉　一九一
福島弘次郎　一九一
福島德太郎　一九一
福島顯眞　一九一
藤島信策　一九一
藤原銀次郎　一九一
福田榮吉　一九一
藤田信近　一九二
福田政信　一九二
藤永了三　一九二
藤波謙吉　一九二
藤野辰次郎　一九二
藤山愛一郎　一九三
福岡一藏　一九三
福永信義　一九三
福西要　一九三
古田忠德　一九三
古田慶三　一九四
古見眞熊　一九四
古市六三　一九四
古山哲郎　一九四
深尾隆太郎　一九五
深間内勇　一九五
深尾道恕　一九五
深間内篤　一九五
舟橋清一郎　一九五
二口新治　一九五
船岡林之助　一九五
船田一雄　一九五
藤田政輔　一九六
不破棄一郎　一九六
二神駿吉　一九六

へ之部

戸次創　一九七

ほ之部

堀正吉　一九七
堀洋三　一九七
堀亮　一九七
堀江貞治郎　一九八
堀江平重郎　一九八
堀内秀太郎　一九八
堀悌吉　一九八
堀越壽助　一九八
堀越壽郎　一九九
堀部英亮　一九九
細金安一　一九九
細矢尙　一九九
細金雅章　一九九
本間將次　一九九
本鄕松太郎　一九九
本多敬太郎　二〇〇
本間利雄　二〇〇
星野惠助　二〇〇
寶來市松　二〇〇
法華津孝治　二〇〇

ま之部

松田市二郎　二〇一
松田範房　二〇一
松田竹太郎　二〇一
松田雄一　二〇一
松岡敬　二〇一
松岡清次郎　二〇一
松本健次郎　二〇一
松本德三郎　二〇二
松本丞治　二〇二
松本政勝　二〇二
松本俊吉　二〇二
松方義輔　二〇三
松方五郎　二〇三
松下長久　二〇三
松下外次郎　二〇三
松村昇　二〇三
松木幹一郎　二〇三

松尾匡祐 二〇三
松浦諒助 二〇四
松澤利治 二〇四
松澤檜太郎 二〇四
松江春次 二〇四
松井鋭一 二〇四
松野鶴平 二〇五
松岡源之眞 二〇五
松繩信太 二〇五
增淵東衛 二〇五
增田次郎 二〇五
增田義一 二〇五
增田由五郎 二〇五
增井六郎 二〇六
町田數馬 二〇六
町田耕三郎 二〇六
前川萬治郎 二〇六
前原準一郎 二〇六
眞野毅 二〇七
眞下佐太郎 二〇七
眞崎正路 二〇七
丸山清男 二〇七
萬膳源五郎 二〇八
馬淵鐵治 二〇八
正子重三 二〇八
牧野元次郎 二〇八
牧田環 二〇八

み之部

宮本清三郎 二〇九
宮野春之進 二〇九
宮川儀三次 二〇九
宮井東一 二〇九
宮川丈太郎 二一〇
宮崎好文 二一〇
宮內治男 二一〇
皆川勘一郎 二一〇
皆川多三郎 二一〇
溝口新平 二一一
溝尻房藏 二一一
溝尾九一 二一一
三木清 二一一
三由藤二 二一一
三輪外次郎 二一二
三好秀眞 二一二
三島海雲 二一二
三木國太郎 二一二
三井米松 二一二
三宅善太郎 二一二
三田末吉 二一三
水野伊三郎 二一三
水木善四郎 二一三
水戸重光 二一三
水田政吉 二一三
美野田琢磨 二一三
美川佐市 二一三
嶺川富一 二一四
峯定雄 二一四
光永星郎 二一四
光永眞三 二一四
南政次 二一五
都留信郎 二一五
箕浦八洲雄 二一五
御法川三郎 二一五

む之部

村上正輔 二一五
村上喜代次 二一五
村上義一 二一五
村上盛俊 二一六
村上是助 二一六
村田兵作 二一六
村田六三郎 二一六
村田德三郎 二一六
村越政右衞門 二一六
村井治郎 二一七
村岡示康 二一七
村賀留雄 二一七
宗正路 二一七
宗像善雄 二一七
室谷猛 二一八
牟田易太郎 二一八
村山威士 二一八

も之部

森藏 二一九
森英示 二一九
森義男 二一九
森廣藏 二一九
森勝 二一九
森俊六郎 二一九
森蠹秘 二一九
森傳次郎 二二〇
森岡文三郎 二二〇
森岡平右衞門 二二〇
森永文典 二二〇
森田龜吉 二二〇
森田三吉 二二〇
森田由晉 二二〇
森田茂吉 二二〇
森山富藏 二二一
森本力三 二二一
森脇良之助 二二一
森下虎吉 二二一
森藤惣吉 二二一
森村市左衞門 二二一
本江義忠 二二一
本橋彌八 二二一
本江政治郎 二二一
本江菊次郎 二二一
望月米吉 二二二
望月修一 二二二
望月軍四郎 二二二
茂貫雅義 二二二
茂木義藏 二二二
百溪潔 二二二
持田巽 二二三
諸戸精文 二二三
元良信太郎 二二三

や之部

山口喜三郎 二二四
山口誠太郎 二二四
山口重彥 二二五
山口武彥 二二五
山口虎彥 二二五
山口菊次郎 二二五
山口平八郎 二二六
山口萬次郎 二二六
山口廣一 二二六
山崎知秋 二二六

山崎林太郎 二二六
山崎銑 二二六
山本君平 二二六
山本邁 二二七
山本精一 二二七
山本敬藏 二二七
山本一二 二二七
山本留次 二二七
山本治祐 二二七
山本榮男 二二八
山本幹之助 二二八
山本桑吉 二二八
山下英治 二二九
山下太郎 二二九
山下謙一 二二九
山下在 二二九
山下元美 二二九
山下亮一 二三〇
山下清太郎 二三〇
山田正太郎 二三〇
山田正一 二三〇
山田復之助 二三〇
山田喜滿多 二三〇
山中龍一郎 二三一
山中遜 二三一
山野憲一郎 二三一
山野邊義勇 二三一
山川六男 二三一
山高五郎 二三一
山名實雄 二三二
山谷和吉 二三二
山地土佐太郎 二三二
山內伊平 二三二
山尾陽通 二三二
山代泰 二三二
山岸慶之助 二三二
矢矧芳太郎 二三三
矢野美章 二三三
矢部又吉 二三三
矢代嘉春 二三三
矢谷信太郎 二三三
安田善五郎 二三四
安田一 二三四
安田辰治郎 二三四
安本明治郎 二三四
安住省一 二三四
保倉熊三郎 二三四
八島俊一 二三四
八木英次郎 二三五
柳田忠三郎 二三五
鎗屋正 二三五

ゆ之部

湯口嘉多治 二三五
油谷堅藏 二三五
柚木清三郎 二三五
湯川嘉郎 二三六
幸松文太 二三六
遊佐文平 二三六
吉田悠 二三六
吉田秀人 二三七
吉村惠吉 二三七
吉田豐彥 二三七
吉崎園治郎 二三七
吉岡正司 二三七
吉見靜一 二三八
横山助成 二三八
横田千秋 二三八
横尾仙太郎 二三八
横田彌作 二三八
横溝米次郎 二三八
横川孫一郎 二三九
横井貞治 二三九
横田清 二三九

よ之部

吉田精孝 二三九
吉田牛太郎 二三九
吉山史朗 二三九
吉富吉郎 二三九
米山文作 二四〇
米村敏郎 二四〇
與語中 二四〇

り之部

リチヤード、エム、アンドリユース 二四一

ろ之部

六角三郎 二四一
六鵜營輔 二四一

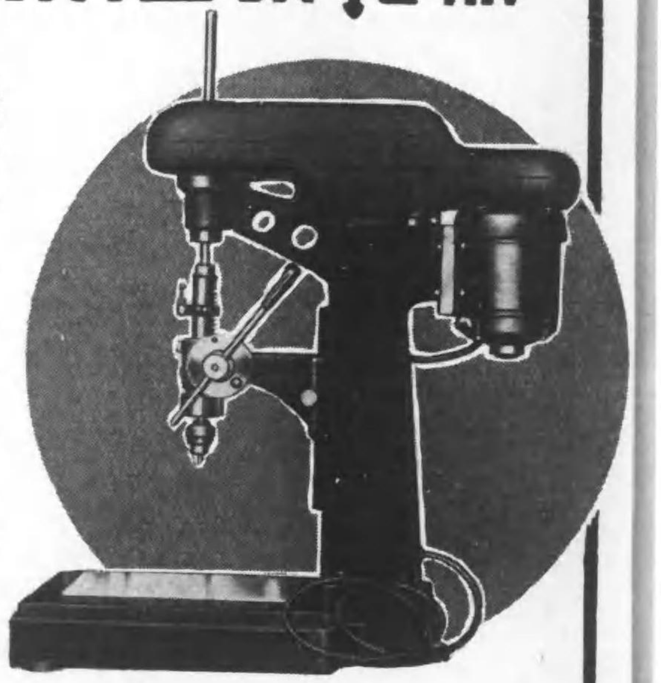
わ之部

若月國立 二四一
綿谷新之助 二四二
渡利昌弘 二四二
渡部友次郎 二四二
渡部龍 二四二
渡邊有坪 二四三
渡邊讓吉 二四三
渡邊時治 二四三
渡邊賢三 二四三
渡邊藤作 二四三
渡邊得男 二四三
渡邊勝家 二四三
渡邊與介 二四三
渡邊勝雄 二四四
渡邊龍太 二四四
渡邊雄 二四四
渡邊鎭夫 二四四
渡邊三郎 二四四
渡邊勝男 二四四

最新型

高速度小型鑽孔機

角型・丸型　二十一吋・二十四吋
自働注油總齒車式
鑽孔機專門製作



青木鐵工所

資社合會

本社工場　東京府武藏野町西窪四四〇番地
電話吉祥寺二七二番

東京出張所　東京市芝區三田一丁目三三番地
電話三田(45)二九六七番

大日本印刷株式會社

本社營業所　東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地　電話牛込(34)代表一五一〇番

榎町營業所　東京市牛込區榎町七番地　電話牛込(34)代表二四四〇番

銀座活字販賣店　東京市京橋區銀座七丁目四番地　電話銀座(57)代表〇〇七四番

大阪出張所　大阪市北區西堀川町三四

神戸代理店　神戸市神戸區榮町四丁目三六

滿洲國代理店　奉天市鐵西區嘉工街三段ノ一

優秀國産

肥料・工業薬品
アルミニウム・研磨劑
鐵合金・電極類

東京市京橋區寶町二丁目七番地

昭和電工株式會社

取締役社長　森　矗昶
取締役副社長　高橋　保

昭和肥料株式會社
日本電氣工業株式會社
合併

廣告目次（イロハ順）

い

板矢精機製作所　扉二
入丸商店　前四〇
石尾商店　後色紙二
市川鐵工所　後一
伊東商會　後八
石橋工場　後二三
石川工業所　後二三
池上鐵工所　後二四
今井健之商店　後三一
伊東商店　後三九
英章堂印刷社　後四〇
石田バルブ製作所　後四二

ろ

六王製作所　前一六

は

原機械工具製作所　後四〇

に

日產自動車販賣株式會社　前色四
日東製作所　前色五
日本油脂株式會社　前三

日本製鍊株式會社　前六
日本化學工業株式會社　前六
日本バルブ製造株式會社　前一〇
日本絹皮製作所　後五
日本エアーコンプレッサー製所作所　後一七
日本鋼鐵工業株式會社　後三〇
日產化學工業株式會社　後二三
日本高級爐材製造所　後二四

と

東京工業社　前六
東京自動車工業株式會社　前一〇
東京電氣熔接機械器具工業組合　前一一
東京機器工業株式會社　前七
東京金屬撓物工業組合　前一四
東京索道株式會社　前二一
東都製作所　前三二
東京鑿岩機製作所　前一一
東京營業所　前三六
東京電鎗機株式會社　前三七
東京鋼鐵製作所　前四四
東京フレキシブルシャフト製作所　後色紙二
東京酸素株式會社　後一〇
東京發條製作所　後一一
東洋濾紙株式會社　後一三
德原商店　後二三
東部硫酸販賣株式會社　後二八
東京工業化學試驗所　後三〇
東京熱工株式會社　後三二
東京瓦斯株式會社　後色五

ち

千代田商會　後三六
中外電氣產業株式會社　後三八

お（を）

王子製紙株式會社　後四四
大塚製作所　前色三
太田フライス盤製作所　後三
奥村商會　後三一
岡田ネームプレート製作所　後三七
小川鐵工所　後三七
小原商店　後三九

渡邊機械製作所　後四

か

關東築爐工機株式會社　表紙二
川口精機株式會社　前一五
川崎螺旋管製作所　前八
兼正商會　後三三
加藤幸一商店　後色六

よ

吉田鐵工所　後二〇
吉富商會　後三五

た

太陽空氣機械製作所　前一二
泰明商會　前二
高橋鐵工所　前一七
大日本機械工業株式會社吾嬬工場　前二六
大日本計機株式會社　前四二
高山製作所　前四三
大洋工機商會　前三四
高橋工場　前三五
大正製作所　前三八
高松工業所　後七

わ

そ
園部工業商會 前九
つ
堤水壓機製作所 後一九
ね
根元鐵工所 後三八
な
內外パツキング商會 前一九
中里合名會社 後二二
ら
ラサ工業株式會社 前二二
う
上野半兵衞商店 前二三
宇津宮鐵工所 前五
く
グリセリン販賣株式會社 後二八
や
大和興業株式會社 前色一
ヤマサ鑄造株式會社 後一四
山崎鐵工所 後三二
山本傳動機株式會社 後一二
ま
松田製作所 前二〇
丸星商店 後三三
萬代商會 後三六
松井機械店 後九
ふ
文英堂印刷社 後三四
藤崎鐵工所 後一六
こ
小早川可鍛工業株式會社 後二二
國全工業株式會社 後二三
興亞動力工業所 後三五
て
電元社 前一
鐵興社 後二〇
電友社 後三六
あ
安藤鐵工所 表紙四
阿部商店 表紙三
朝霞伸管所 前二八
相澤齒車鐵工所 前四一
青木鐵工所 前色紙一
安藤鐵工所 後一五
旭コルク工業株式會社 後二一
旭石油株式會社 後二七
アサヒ總本店 後三二
朝日機械工作所 後三二
旭鐵山機械製造株式會社 後四二
アジア機械製作所 後二七
さ
齋藤鐵工所 前一八
齋藤貞一工場 後二一
三和鋼業所 後二九
東京營業所 前二九
三誠社 後二九
き
共榮石油株式會社 後二九
木村洋行 後三〇
木村組鐵工所 後二五
木下國明商店營業所 前四
共和研磨機製作所 前三三
み
御法川工場 後色三
宮井工機製作所 後二六
宮啓商店 後二六
三笠精螺株式會社 後二
三喜本鐵工所 後六
ミクロ製作所 前二七
し
昭和機械工具製作所 後色四
城東鐵工所 前一五
新保製作所 前二四
城南鑄物工業株式會社 前三一
昌和工業商會 前四一
昭和電工株式會社 前色紙二
秀工社 後二六
城東合金工業所 後三八
昭和電氣爐株式會社 前三七
ひ
平林製作所 後二五
日立工作機株式會社 後色一
も
本江機械製作所 前二五
森永鐵工所 後四一
森岡商會 前三九
森岡平右衞門商店 前三九
森田機械製作所 後一八
す
鈴木春之助商店 後二四
鈴木光學レンズ製作所 前三〇

安藤龜吉

【現職】鐵工業機械製作業。【出生】明治三十二年三月一日【續柄】戸主【經歷事業】大正十三年一月創業、昭和十年よりマンユツール製作兼業し現在に至る。【宗教】佛教【家族】妻、ひさ子、二女四男【住所】東京市本所區菊川三ノ十四〔電話〕本所(73)一〇五四

安藤三二

【現職】株式會社菱美電機商會（東京市丸ノ內丸ビル七階）技師【出生】明治三十七年四月十八日【學歷】早稻田大學電氣科昭和六年卒業【經歷事業】卒業後直ちに株式會社菱美電機商會に入社引き續き現在に至る【趣味】柔道【宗教】禪宗【住所】東京市大森區南千束町三八二

安藤音三郎

【公職】民政黨政務調査委員【現職】東京機械工業社長、愛媛縣【經歷事業】大正七年安藤商會設立大正八年安藤鐵工所と改め現工場を開始し今日に至る【趣味】ゴルフ・玉・小唄【家族】妻松江四十三才、長女知江子十才、長男明(八才)次女道子六才【住所】東京市芝區芝公園【電話】芝三七二五

安藤陣一

【現職】安藤鐵工所營業部長、東京變速機製造株式會社取締役【出生】明治三一年二、一四【續柄】平民【學歷】東京工科學校機械科卒【經歷事業】大正七年安藤商會設立に際し兄弟三人共同營業大正三年安藤鐵工所と改め現工場を開始し今日に至る【趣味】ゴルフ、玉、大弓【宗教】眞言宗【所稅】八〇〇圓【家族】妻みね子三十二才、長女篤子七才、次女和子六才、三女知子三才【住所】東京市京橋區月島東河岸通五丁目三番地【電話】京橋(56)一七一八、五六八〇

安藤忠三

【位階勳等】正四位勳四等子爵【公職】貴族院議員【現職】大日本肥料工業(株)社長、錦江ドレッチ鑛業、有隣生命、福壽鑛業各(株)取締役、東北振興パルプ(株)監査役【出生】明二三・三【續柄】故有馬賴萬二男【學歷】東京府立園藝卒【經歷事業】大正五年宮內省六年一月二十八日生【續柄】平民【學歷】東京築地工手學校機械科卒【經歷事業】大正七年安藤商會設立大正八年安藤鐵工所と改め現工場を開始し今日に至る【趣味】ゴルフ・玉・歌澤【宗教】眞言宗【所稅】一六〇〇圓【家族】妻松江四十三才、長女知江子十才、長男明(八才)次女道子六才【住所】東京市芝區芝公園【電話】

安藤儀三

【營稅】一八、五〇〇圓【家族】妻ふじ子四十二才、長男俊明十六才、二男義明十四才、二女愛子十才、三男廣六才【住所】東京市京橋區月島東河岸通五丁目參番地【電話】京橋(56)一七一八、五六八〇、二三四二、四八四二、八五七四

安藤音三郎

【公職】民政黨政務調査委員【現職】東京機械工業社長、愛媛縣【經歷事業】大正七年安藤商會設立大正八年安藤鐵工所と改め現工場を開始し今日に至る【趣味】ゴルフ・玉・小唄【家族】妻松江四十三才、長女知江子十才、長男明(八才)次女道子六才【住所】東京市芝區芝公園【電話】

に入り內匠寮囑託及侍從補侍從昭和七年貴族員議員に推さる【功賞】昭和八年正四位に陞敍【趣味】園藝【宗教】佛教【所稅】一九五五圓【家族】妻恭子（明二九生閑院宮載仁親王殿下第一王女跡見高女卒）長男信敬（大六生學習院卒）外【住所】東京市杉並區高圓寺四ノ五四三【電話】中野二〇二

安藤善親

九安藤七寶店（名）副社長兼東京支店長美術七寶製造並輸出販賣業【出生】明一八・四福島縣石城郡錦村【續柄】鷺又市三男重兵衞養子【經歷】明治三十九年渡米滯留十四年大正七年歸朝後は養家の業たる合名會社安藤七寶店副社長兼東京支店長として經營に當る尙此間歐米支那滿洲等を視察すること數回日本美術協會第八部委員たり【趣味】繪畫音樂美術【宗教】神道【家族】養父重左衞門（安政三前名重兵衞）妻蝶子（明三一生養父長女名古屋高女卒）【住所】東京市目黑區大岡山三九電荏原四六三七安藤七寶店東京支店＝東京市京橋區銀座五ノ四電銀座〇八八八・三三九一

安藤健

昭和石炭、東邦炭鑛、櫛形炭鑛、深坂炭鑛、內外商會各（株）取締役、鶴屋煙草店主【出生】明一八・三東京府【續柄】俊明四男大三分家【學歷】專大修【經歷】初め大日本製糖會社に入社大正十一年東邦炭鑛會社に轉じ累進主事販賣部長を經て取締役に選任さる【趣味】旅行【宗教】日蓮宗【所稅】三三七二圓【家族】妻成子（明二九生）長男正彥（大三生早大經濟學部卒）【住所】東京市杉並區天沼町三ノ九四八電荻窪二五二九

安倍小次郎

日本水產（株）取締役販賣部長、共同水產、日本輸出鮪、東京魚市場各（株）取締役【出生】明一六・一一仙臺市【續柄】廣昌二男明三一分家【學歷】宮城商業卒【經歷】卒業後上京須賀甚商店に入り大正二年獨立安倍商店を經營す曩に三共水產社長大阪丸神運送取締役たり【宗教】眞宗【所稅】三五四七圓【家族】妻しづ子（明二七生東京府福井文吉五女山脇高女卒）長男友輔（昭二生）外一男三女【住所】東京市京橋區新湊町三ノ八電京橋三三五七

安藤啓次郎

橫濱市會議員、同市參事會員、所得調査委員、輸出絹織物捺染（株）社長、安達捺染工場（資）代表社員、安達運輸部經營主【出生】明二二・一一神奈川縣都築郡中里村【續柄】森淺次郎三男慶左衞門養子相續【學歷】早實卒【經歷】卒業後武相銀行神奈川縣農工銀行等に歷勤後ち家政に携はり傍ら曩に東神商事會社を設立社長に就任次で合資會社安達捺染工場を開設代表社員となり更に安達運輸部を創設し拮据經營今日に及ぶ【趣味】菊花栽培（野毛山秋香會評議員）圍碁【宗教】禪宗【所稅】七七七圓【營稅】一〇〇圓【家族】妻すみ子（明三〇生三重縣千種文右門長女三重高女卒）長男久男（大七生日大商科卒芝浦機械工作會社員）外五男【住所】橫濱市神奈川區反町三五電神奈川一〇七二・合資會社安達捺染工場＝同市中區高根町一ノ三電長者町一二八一・第二工場＝同區永田町一一七八

安部藤藏

寶島鑛業（株）社長、帝國ミシン、國際觀光事業協會各（株）監査役【出生】明七・二【續柄】大分縣虎藏長男【學歷】明治法律學校卒【經歷】卒業後實業界に投じ帝國商業銀行富士製鋼歷勤後イリドスミン鑛業常任監査役たり事業界有數の人材たり【趣味】謠曲【家族】妻要子（明一三生）長女信子（大五生日本女子商業卒）外二女【住所】東京市澁谷區大和町九二

【現職】合資會社安齋機械店店主、江東機械工具商同業組合常任理事【出生】明治三十二年三月二十五日生福島縣【續柄】戶主【學歷】福島縣立磐城中學校【經歷事業】株式會社篠原機械製作所獨立昭和六年五月

安齋克美

現住所開店昭和九年一月、法人合資會社變更昭和十年二月【趣味】音樂劇【宗教】日蓮宗【家族】男四人、女三人【住所】東京市本所區龜澤町四丁目參番地【電話】墨田(74)三一四七、四一三五

淺野忠良

日本高級爐材製造所（株）取締役、日本高級爐材製造所（資）代表社員、京橋醫師會評議員、內科小兒科醫【出生】明一八・九宮城縣黑川郡宮床村【續柄】忠五郎三男【學歷】明四二日本醫學校卒【經歷】明治四十三年醫術開業試驗合格國際聖路加病院勤務同院內科醫長鳥山南壽次郎に就きて研究傍ら現地に開業後ち同院を辭し內科小兒科醫として今日に至る尙昭和二年耐火物タイル研磨材料の製造を目的とする資本金五十萬圓の合資會社日本高級爐材製造所を設立更に昭和十三年姉妹會社として資本金百萬圓の株式會社日本高級爐材製造所を設立す【事業】合資會社日本高級爐材製造所の發明製造に係るカタロン煉瓦及アロン煉瓦はセメント工業硝子工業陶磁器工業火力發電金屬精煉業各種電爐工業瓦斯工業等一般に高熱を用ふる工業に於て窯爐を作る材料即ち爐材として使用せらるゝ所謂耐火煉瓦中の最優秀高級品にして各一流會社鐵道省等に納入して多大の好評を博しつゝあり昭和七年發賣の研磨材カタロングレイン亦た好評嘖々たり因みに當社製品にして專賣特許を得たるもの四種（內米國專賣特許一種）實用新案三種あり目下職員五十名を使用し年販賣高百萬圓を算す【所稅】一〇二九圓【家族】父忠五郎（安政元生）母シン（安政四生）妻キヨ（明二五生齋藤孫三郎二女立教高女卒）長男良夫（大五生慶大醫科卒）外一男【住所】東京市京橋區木挽町二ノ七電京橋五三四一・日本高級爐材製造所橫濱市鶴見區潮田町一五一八電鶴見二四三一・三三六七

淺野總一郎

【現職】淺野セメント、日本セメント、淺野物產、小倉製鋼其の他各（株）社長、沖電氣會長、淺野スレート、鶴見製鐵造船、秩父セメント、日本電信電話工事、各（株）取締役、淺野ブロック、淺野カーリット、關東證券、滿洲淺野スレート各（株）相談役【出生】明一七・七【續柄】從四位勳二等先代長男【學歷】早大商科卒【經歷事業】後セメント工業の視察の爲め渡米する事前後數回歸朝後先代を扶けて淺野セメント合資會社の經營に當り大正二年株式組織に變更と共に取締役に就任次で副社長たりしが先代歿後社長に就任する外全事業を繼承す【功賞】昭和三年二月紺綬褒章を賜ふ【趣味】盆栽、弓術、書道【宗教】禪宗【所稅】一五八〇四五圓【家族】妻千代子（明二六生故伯爵板垣退助四女學習院女學部卒）男一治（大五生東大理學部在）外數子【住所】東京市芝區田町五ノ一六【電話】三田(45)二〇・二一番

淺野義夫

東京シヤーリング（株）社長、小倉製鋼、尼ヶ崎築港、尼ヶ崎製銅、小倉築港各（株）常務取締役、東京灣埋立（株）專務取締役、淺野同族鐵筋コンクリート、鶴見臨港鐵道各（株）取締役、鶴見製鐵造船、日之出汽船、淺野物產、關東水力電氣、北秋木材各（株）監査役【出生】明二八・一〇【續柄】先代總一郎六男前名龍藏【學歷】大八小樽高商卒【經歷】直に渡米して紐育グレース商會に勤務同十年辭して歸朝し爾來淺野コンツエルンの主腦として活躍す【趣味】運動ゴルフ等【所稅】三七五〇三

淺野岩吉

【現職】機械工具商 淺野岩吉商店主

【經歷事業】各種精密機械工具の販賣に當る事十數年に及び現在東都に於ける屈指の店舗である。株式會社圓池製作所代理店、理研コランダム株式會社持約店、最近アデルダイヤルゲージの製作發賣をなしてゐるがその優秀品なるの聲は高い【住所】東京市淺草區七軒町二【電話】淺草四一二〇

淺野太三郎

東和鑛業、京城倉庫金融各(株)取締役、朝鮮取引所(株)理事、朝鮮貯蓄銀行(株)監査役貸家業【出生】明五・一一山口縣【續柄】下川五平四男文吉養子明三一相續【經歷】明治三十八年三月渡鮮仁川元花開洞に日用雜貨商を開業後ち京城に移轉次で湯屋を營み更に仁川米豆取引所仲買業等を經營其後現所にて貸家業に從事す曩に京城府協議會員たり又私財十萬圓を投じ財團法人淺野育英會を設立せる外寄附行爲多し【家族】妻ヨシ(明二二生)長女(大五生京城公立商業卒)外二人【住所】京城府大和町二ノ一七【電話】本局一五〇

淺野八郎

【現職】淺野カーリツト、關東電化工業、關東電氣製錬各(株)社長、關東水力電氣(株)副社長淺野セメント(株)常務取締役、關東證券(株)代表取締役【出生】明二四・八【續柄】總一郎弟【學歷】大六慶大卒【經歷事業】大正十二年造船製鐵業視察のため歐米を巡歷、昭和元年電氣事業視察のため歐米へ再度渡米翌年歸朝す、東京駐在サルヴアドル國名譽領事たり【所稅】三八六五〇圓【家族】妻ふみ(明二二生)嗣子總太郎(大一四生)外【住所】東京市麻布區永坂町一七〇電青山二〇二〇

淺野貢三

【現職】鶴見製鐵造船、鶴見證券、南武鐵道、淺野雨龍炭鑛、大同洋灰、輝春砂金各(株)社長、鶴見臨港鐵道(株)副社長淺野セメント、淺野同族取締役【出生】明二四・八【續柄】總一郎弟【學歷】大六慶大卒【經歷事業】大正十二年造船製鐵業視察のため歐米を巡歷、昭和元年電氣事業視察のため歐米へ再度渡米翌年歸朝す、東京駐在サルヴアドル國名譽領事たり【所稅】三八六五〇圓【家族】妻ふみ(明二二生)嗣子總太郎(大一四生)外【住所】東京市麻布區永坂町一七〇電青山二〇二〇

淺野利三郎

【現職】淺野カーリツト、關東電化工業、關東電氣製錬各(株)社長、關東水力電氣(株)副社長淺野セメント(株)常務取締役、關東證券(株)代表取締役【出生】明二四・八【續柄】總一郎弟【學歷】大六慶大卒【經歷事業】大正十二年造船製鐵業視察のため歐米を巡歷、昭和元年電氣事業視察のため歐米へ再度渡米翌年歸朝す、東京駐在サルヴアドル國名譽領事たり【所稅】三八六五〇圓【家族】妻ふみ(明二二生)嗣子總太郎(大一四生)外【住所】東京市麻布區永坂町一七〇電青山二〇二〇

淺井辰三郎

東京織物製造同業組合長、東京細幅織物工業組合長、東京織組紐卸商業組合理事長、東京絲問屋同業組合副長、大日本レース工業組合理事、東京製紐工業組合理事、日本製紐(株)專務取締役【出生】明元・三福島縣【續柄】淺井丑次郎弟【經歷】明治二十八年日本製紐會社に入り大阪支店長常務取締役を經て大正七年現職に就く曩に三洋印刷會社粕川電氣株式會社島崎商店重役たりしことあり【趣味】圍碁【宗教】曹洞宗【所稅】一六〇二圓【家族】妻げん子(明七生、東京府蒔田秀雄姉)男衛(明三六生早大理工科卒業日本製紐工場長)同妻信子(明四〇生高知縣西濱元姪)其の他【住所】東京市葛飾區本田若宮町七五電墨田二〇〇三

東京府商店會聯盟理事、丸ビル商店會幹事長、オリエンタル寫眞工業、極東興業各(株)監査役、淺沼寫眞機店主、淺沼ラヂオ店主【出生】明一二・一二岡山縣眞庭郡二川村【續柄】東京府鶴淵初藏孫【經歷】夙に東京淺沼商會に入り店主亡藤吉に認められて其養子となる大正元年歐米に遊び歸朝後十有余年間同商會支配人たりしが同十四年獨立して現所に淺沼寫眞機店を開業次で淺沼ラヂオ店を創め爾來業運隆々として今日に至る丸之內倶樂部評議員及び交詢社員たり【趣味】和歌、圍碁、運動、登山【宗教】禪宗【家族】妻キン子(明一七生養父藤吉長女東京女學校卒)長女茂登子(明四〇生實踐女學校卒)【住所】東京市澁谷區幡ヶ谷中町一四一〇電四谷四六一三

淺沼龍吉

淺利福太郎

【現職】機械と工具ボールドリツパー双【出生】大正二年二月十六日【續柄】平民【學歷】早稻田工科卒業【趣味】ツリ【家族】妻女、女人【住所】東京市向島區寺島町五ノ一四四【電話】スミダ(74)五八九九

【位階勳等】從四位勳三等【公職】貴族院議員企畫審議會議員農林省米穀局顧問現職日本高周波重工業(株)社長朝鮮製錬(株)會長東滿洲產業(株)相談役【出生】明六・五長野縣【續柄】光彦長男【學歷】明二七東京法學院英語法律科卒【經歷事業】長崎稅關監視部長、同事務官函館稅務署長、卅九年二月鎭南浦稅關長、後統監府財政監査官同書記官同監査部長、京畿道內務部長京畿道第一部長度支部關稅課長、朝鮮總督府參事官及事務官大正七年十月株式會社朝鮮殖產銀行創立と共に理事就任、大正九年七月頭取となる【趣味】圍碁【所稅】一六九七圓【家族】妻きみ子(明一八生)長男光則(明四三生)外子女【住所】世田ヶ谷區北澤三ノ八八五【電話】四谷五〇〇五

有賀光豐

【位階勳等】從七位勳六等【現職】明治商店、明治製菓各(株)社長、明治製糖、昭和ゴム各(株)副社長【出生】明元・八鹿兒島縣薩摩郡平佐村【續柄】謙市郎三男【學歷】七高卒【經歷事業】夙に大藏省奉職日清戰役後臺灣總督府に轉じ後稅關事務官となる明治四十一年明治製糖主事となり大正二年取締役を經て現職に就く【趣味】庭園【宗教】佛教【所稅】七五三一五圓【家族】妻ハヤ子(明二六生鹿兒島縣春田直晟四女實踐高女卒)【住所】東京市中野區千代田町四六【電話】中野(38)二四四〇

有島健助

從三位勳二等、工學博士、在鄉海軍造兵中將、東京帝國大學名譽教授、海防義會

有坂鉛藏

理事、帝國酸素(株)社長【出生】明元・一【續柄】東京府銓吉二男【學歷】明二三東大工科卒業【經歷】卒業後更に佛國に留學し造兵學を研究すること數年同廿七年歸朝後海軍少技士に任ぜられ大正九年海軍中將に陞る其間吳工廠造兵部長同砲熕部長艦政本部出仕造兵廠長に歷補し豫備役仰付けらる後實業界の人となる曩に四一式海軍砲を發明す學位論文は明治三十五年「新案速射砲及自働發射指示器論」(英文)なり【趣味】考古學繪畫【宗教】淨土宗【所税】二八一六圓【家族】妻敏子(明九生東京府士族故海軍造兵總監前田享二女)長男武夫(明二八生幼年學校卒)同妻なを(明四四生埼玉縣齋藤彥吉四女)外子女【住所】東京市世田谷區三軒茶屋八四電話世田谷三七三八

有田靖太郎

三井鑛山(株)取締役【出生】明一三・七【續柄】佐賀縣源一郎長男現戸主【學歷】明三九京大經濟學科卒【經歷】明治四十一年三井鑛山會社に入社し曩に社長秘書役人事擔當秘書役等を歷任し昭和十一年六月取締役に選任せらる【趣味】庭球・圍碁【宗教】曹洞宗【所税】二〇四四〇圓【家族】妻フク子(明一八生京都府小島龜太郎長女京都府立第一高女卒)長男宗太郎(明四〇生慶大醫學部卒同部生理學教室に於て三年間研究同部皮膚科に勤務研究中)外【住所】東京市荏原區戸越町一一四〇【電話】荏原七〇六六

有川鷹一

【位階勳等】正四位勳二等功四級、退役陸軍中將、東洋鋼鈑(株)常務取締役、大日本航空工業(株)顧問【出生】明六・四山口縣長府町【續柄】常友長男明三九相續【學歷】明二八陸士卒【經歷】累進大正十二年陸軍中將となる其間陸軍砲工學校教官陸軍大學校兵學教官陸軍技術審査部審査官同議員陸軍氣球隊長航空大隊長兼陸軍技術審査部議員陸軍航空學校長陸軍技術會議々員等に歷補此間日清日露兩戰役に參加す退役後實業界に入る【趣味】讀書、繪畫、謠曲、園藝【宗教】眞宗【所税】六一〇圓【家族】妻タツ(明九生山口縣士族尾崎宗達二女)長男源太郎(明三七明大法科卒第一銀行勤務)外一女【住所】東京府北多摩郡國分寺村戀ケ窪九三【電話】國分寺一〇

朝比奈幸三

【現職】朝比奈機工舍主【出生】明治三十五年七月二十日【經歷事業】昭和十年六月より朝比奈機工舍を向島區押上町に設立サアフエスグラインダー製作に從事し今日に至る【宗教】佛教【住所】東京市向島押上町一三七【電話】墨田五五二九

朝倉每人

【現職】日產自動車販賣株式會社專務取締役(代表取締役)日產自動車株式會社取締役、日本輕自動車工業組合理事長日本自動車輸出組合理事長【出生】大分縣直入郡豐岡村【續柄】親爲五男【學歷】京都帝國大學法科大學獨逸法律科卒業【經歷事業】富士瓦斯紡績株式會社常務取締役、第二富士電力株式會社代表取締役、富士電力株式會社取締役、大井川鐵道株式會社取締役、滿洲紡織株式會社取締役等歷任、昭和十一年衆議院議員(大分縣第一區)に當選、同年朝鮮產業經濟調査委員會囑託昭和十二年日產自動車株式會社常務取締役を經て昭和十四年六月に至る【趣味】書道、詩【宗教】禪宗【家族】妻キワ(明二十二年生)、二男敬(大正七年生)三男孝吉(大正十年生)五男剛(大正十三年生)六男(大正十五年生)【住所】東京市小石川區大塚仲町四拾壹番地【電話】大塚四〇一

朝木秀作

【現職】東京酸素株式會社長【出生】明治廿八年六月一日【學歷】法政大學法律科卒、大正十二年【經歷事業】靜岡縣人、靜岡縣駿東郡清水村出身、朝木兼吉二男、朝木合名會社代表社員、株式會社エスエー商會社長、東京酸素株式會社代表取締役、高壓工機株式會社代表取締役、東京鐵工株式會者監査役【趣味】尺八【宗教】佛教【所税】一九八五〇圓【家族】妻八重子(明治三十三年生笹井溫文姉、平壤高女卒)美惠子(大正十一年)敏子(十三年)昭三(昭和三年)一雄(昭和五年)巖(昭和八年)【住所】東京市荒川區尾久町五丁目八一八【電話】下谷(83)七二四九

朝比奈幸太郎

【現職】朝比奈鐵工所長、朝比奈化學研究所長、航空機々體部品並發動機部品製作業【出生】明三一・三【續柄】東京府小林善兵衞五男先代幸太郎養子相續前名正美【學歷】大一一東北大工學部化工科卒【經歷】爾來佐藤化學研究所大善商店等に歷勤し後東京市日本橋區に獨立小林商店を創立航空機々體部品並に發動機部品等を取扱ひ漸次發展後ち朝比奈商店と改稱す先代歿後家業朝比奈鐵工所經營に專念し現に頭揭業務を營み昨今業態頗る旺んにして資產信用亦た絕大なり【趣味】演劇、讀書【宗教】淨土宗【所税】二五九〇六圓【營税】二五一八圓【家族】養母つね子(明三生東京府吉住權次郎長女)妻鈴子(明三八生養父幸太郎二女)長男正幸(昭一〇生)外二女一妹【住所】朝奈鐵工所＝東京市芝區三田四國町二【電話】三田三二四一・三四四六

朝日直次

【現職】朝日機械工作所長【出生】明治三十二年十一月十五日【趣味】音樂、武術【宗教】佛教【家族】二男【住所】東京市澁谷區代々木新町十一【電話】四谷六七八

青木菊雄

【公職】恩賜財團濟生會理事【現職】財團法人理化學研究所、日本產業協會化學工業協會各理事、同仁會、日本工業俱樂部各監事、三菱社(株)顧問、理化學興業(株)相談役【出生】慶應三・三【續柄】奈良縣左京二男【學歷】明二五東大法科卒【經歷事業】卒業同時に三菱社入社長崎支店詰、本店勤務門司支店副長、神戸支店副長其ノ他各支店長歷任、明治四十二年大阪支店長、大正四年本社銀行部理事同六年總務部專務理事を經て常務理事となり社長室會員となる、昭和七年勇退、委囑社長室會員となる【趣味】讀書、謠曲、書畫【所税】四五五九圓【家族】妻トミ子(明五生)長男岩雄(明治三四生)同妻醇子(明四二生)其の他【住所】東京市品川區大井鹿島町三一六九【電話】高輪一六五二

青木寅雄

野村(名)東京事務所長【出生】明三五・九【續柄】東京府青木泰三郎二男【學歷】昭和二年慶大經濟學部卒【經歷】直ちに野村合名會社に入社し地方部勤務庶務課長代理同課長を經て昭和十二年十二月現職に就く【趣味】スポーツ讀書【宗教】日蓮宗【所税】二四〇圓【家族】妻たま子(明四五生東京府大野末次郎二女淺草實科高女卒)長女邦榮(昭一二生)【住所】東京市本鄉區根津宮永町三三【電話】下谷一九三四

青木弘

東京印刷同業組合副組長、大日本印刷(株)專務取締役【出生】明四・一一【續柄】舊常州牛久藩士青木又の二男明三八分家す家は牛久藩の家老格にて嚴父は廢藩後新治縣少參事に任官後女化神社司掌信太河內郡長に歷任して名あり【經歷】十八歲上京し秀英舍に入り累進工場監督營業課支配人を經て大正八年取締役に選任次で常務となる昭和十年二月日清印刷との合同に依り大日本印刷設立と共に現職に就任す【趣味】演劇讀書【宗教】日蓮宗【所税】三二

八二圓【家族】妻はる子(明七生東京府神田金七長女)長男信道(明三一生醫學博士)同妻勝子(明四〇生東京府鈴木杣藏三女)外孫二人【住所】東京市小石川區小日向臺町一ノ六九【電話】大塚六四六五

青木孝太郎

八王子三多摩土木建築請負業組合長青木組主、土木建築請負業【出生】明七・一八王子市【續柄】青木良定長男【經歷】初め家業の織物業に從事せしが明治二十七年之を廢し現業を創め東京府廳司法省陸軍東京經理部遞信省鐵道省八王子保線事務所八王子市役所等に出入し逐年業運を興し克く今日の基礎を築く曩に八王子市會議員(二期)同所得調査員(二期)同商工會議員(三期)同副會頭等たりしことあり又一面船森保育園を經營し他にも一ヶ所園舍を新築寄附し盲學校を創設する等社會事業に篤し【趣味】旅行【宗教】日蓮宗【所稅】二六三圓【家族】妻まさ(明一九生師岡勘次郎長女)嗣子保三(明三一生工手學校卒)同妻トシ子(明三六生新潟縣近藤熊藏養子)其他一男一女【住所】八王子市明神町一七一【電話】九三一・一六七

【位階勳等】陸軍工兵軍曹【現職】オールギヤー鑽孔機、小型鑽孔機專門製作青木鐵工所主【出生】明治三十一年五月十九日

青木章一

【續柄】平民【學歷】正則中學卒、夜間工手學校【經歷事業】瓦斯電機部分品ボール盤、現在東京に於けるオールギヤーボール盤元祖、先代は旋盤其他工作機械製作「第一、第二、第三及三鷹工場」【功賞】製品感謝狀【趣味】墨繪【宗教】佛教【家族】七人【住所】東京市芝區三田四國町廿九

【現職】關東鋼業所經營【出生】大正元年一月三日【學歷】神奈川縣立厚木中學校

新井愼藏

卒業【經歷事業】昭和十二年十月創立【趣味】讀書【宗教】淨土宗【家族】妻其他弟一人【住所】東京市品川區西大崎二ノ二二五芝區新橋三ノ一六【電話】芝(43)二〇八九【公職】日ノ出町青年團長【現職】合資會社新井鐵工所代表社員【出生】明治三十七年七月【續柄】東京府新井龍吉長男【經歷事業】林鐵工所、株式會社南千住製作所に勤務、昭和四年新井鐵工所を設立、十四年九月合資組織に改組、代表社員となる【趣味】スポーツ【宗教】淨土宗【所稅】營稅と合計四、〇〇〇圓【家族】父龍吉(明治十三年二生)妻コマ(明治三十七年生、三重縣柳田辰藏二女)長男祐吉(十一歲、小學校在學)次男慧次(九歲)長女邦子(六歲)次女澄子(四歲)【住所】東京市足立區日ノ出町一ノ四〇三【電話】足立二一四九

新井龍祐

新井章治

【現職】東京電燈株式會社副社長、日本輕金屬、富士川電力各取締役【出生】明治十四年十一月【學歷】明治三十八年早大政經科卒【趣味】碁【宗教】眞言宗【住所】東京市荏原區小山町五〇六【電話】荏原三九二三

新井久次郎

新井鐵工所(株)代表取締役、東洋鑿泉(株)社長【出生】明六・一二靜岡縣田方郡中里村【續柄】喜曾衞門長男【經歷】明治三十七年上京府下千住町に開業四十一年現地に轉じ昭和十年改組す【事業】新井鐵工所は資本金十五萬圓軍需關係品の外クランク自動車部分品化學工業用機械を製作最近江戸川區葛西に約二萬坪の敷地を買收工作機械ボイラー航空機自動車部分品製作に進出す資本金近く五倍となす豫定なり【趣味】釣魚【宗教】禪宗【住所】新井鐵工所＝東京市本所區江東橋二ノ一二【電話】

本所三七〇六

秋山高

太洋商店、內外化學製品、巴商店、秋山高商店各(株)社長、山王ホテル(株)取締役【出生】明八・三靜岡縣田方郡中ノ鄕村【續柄】秋山與一長男現戶主其祖は武田晴信の家臣にして家滅亡後伊豆に隱れて農す【學歷】明治二十七年苦學の目的を以て渡米紐育大學に教育學を修め同三十九年パチエラーオヴ・ペタゴシーの學位を受く【經歷】先是靜岡市の某呉服店に奉公すること八ヶ年次で渡米修學後ローチエスター市アドキンクラーク商會に入り在店三ヶ年同四十三年歸朝後雜貨煙草輸入商合資會社江副商店支配人となる大正八年輸入煙草販賣業を獨立開業昭和三年十一月株式會社太洋商店を設立次で巴商店を起し、更に株式會社秋山高商店を創立す【事業】【趣味】散步、旅行、讀書【所稅】四九一二圓【家族】長男透(大二生東亞企業合資會社勤務)二男清(大八生)二女晴子(大六生)妻清子は昭和十二年歿す、【住所】東京市赤坂區青山南町六ノ九八【電話】青山二〇六八

東京金物問屋組合長、東京銅鐵物問屋組合理事長、三都銅地金問屋聯合會長、秋田鉛管製造所、秋田直吉商店各經營主、

秋田直吉

鉛管銅鐵商【出生】明一二・一一【續柄】東京定吉三男【經歷】夙に金物商竹內喜三郎商店に入り明治四十年獨立す爾來發展今日の大を成し傍ら同業の發展向上に盡瘁して功あり現及び日本橋區會議員待遇たり【趣味】書畫骨董、讀書、運動【宗教】【所稅】二五〇圓【營稅】六〇〇圓【家族】妻壽ノ子(明一七生神奈川縣小泉民藏長女)長男惣太郎(明四〇生)【住所】東京市日本橋區小傳馬町二ノ九【電話】浪花三二五八

赤司初太郎

【現職】東邦炭礦、東邦採礦、東邦金屬製錬、茅沼炭礦、昭和製糖、滿洲製糖、滿洲造酒、東邦パルプ工業、臺灣合同鳳梨、臺灣合同電燈、臺灣軌道、臺灣纖維工業、新竹州自動車運輸、內外ビルヂング(株)各社長、其の他【出生】明七・一高知縣【續柄】庄藏長男【學歷】明道館に學ぶ【經歷事業】明治二十二年攝津米穀肥料合資會社入社、同二十七年獨力石狩國幌向原野に製材開墾事業を開始大正二年廢糖蜜を利用し酒精並燒酎製造をはじむ同七年ラミ應用の紡績會社を設立、現在の日華紡績臺灣工場なり【趣味】讀書【所稅】一三七六三二圓【家族】妻ヨシ(明九生)嗣子大介(大二生)【住所】東京市澁谷區景丘町四九【電話】高輪七一〇三番

赤松星四郎

中井商店(株)常任監査役、牛津板紙、西肥板紙各(株)監査役【出生】明九・一和歌山市【續柄】則次郎長男【經歷】夙に洋紙問屋中井商店に入り爾後勤續數十年大正五年同店の株式に改組と共に現職に就く【趣味】旅行【宗教】淨土宗【所稅】一四五五圓【家族】妻壽賀(明一八生福島縣長谷牧衞長女)長男次郎(大三生東京高等音樂學院在)【住所】東京市麴町區六番町一一【電話】九段一八二五

赤星雄市

正八位、在鄕陸軍騎兵少尉、藏王鑛業(株)取締役、日華生命保險(株)監査役【出生】明二八・五【續柄】鹿兒島縣彌之助四男【學歷】費府大學經濟科に學ぶ【經歷】歸朝後スタンダード石油會社を經て日華萬歲生命に入社同社協議役日華生命保險取締役を經て現職に就く【趣味】ゴルフ【宗教】神道【所稅】二五八圓【家族】妻瑞子(明三七生木間瀨策三長女女子學習院卒)長女久子(大一三生女子學習院在學)外二女【住所】東京市澁谷區若木町二四電青山六一八二電燈廣告、日本廣告看板工業各(株)監査役【出生】慶應二・一〇山梨縣南都留

相川廣作

郡東桂村【續柄】傳一郎二男昭五退隱す【經歷】夙に水戸の碩儒補仁學舍栗田寬氏に和漢の學を修む明治三十六年上京義弟元代議士三枝彦太郎氏と共に電燈廣告社を創立し無限責任社員となり大阪神戸横濱等の各地に斯業を興し昭和六年十一月に至り東京電燈會社に屬せる類似事業を合併し株式に改組す傍ら社會風教の事に盡す所多し昭和五年長男灝に家督を讓り相川一門の絕家を繼承す【所稅】二四一二圓【家族】妻すて子（明四生山梨縣醬油釀造業渡邊茂姉）六男陸郎（明四二生慶大卒池貝自動車株式會社に勤務）外數子【住所】東京市芝區西久保櫻川町一四（電話）芝一五二二

相原貢吉

【現職】株式會社原口電機製作所總務部購買課主任及營業部企畫課主任兼務【出生】大正二年九月廿九日生【續柄】長男【學歷】東京府立工藝學校精密機械科卒中央大學經濟學科【經歷事業】科學的管理方法に依る工場改善に努力す【趣味】讀書、寫眞、庭球【宗教】眞言宗【住所】東京市目黒區下目黒二ノ二一六

阿久津銳男

東京鋼材（株）監査役【出生】明一四・六【續柄】栃木縣强平長男【學歷】明三八東京高商卒【經歷】卒業後三菱合資會社三菱鑛業荒川鑛山三菱製鐵兼二浦製鐵所三菱本社監理課參事等に歷勤す昭和七年五月退社先是同系東京鋼材監査役に選任され今日に至る【趣味】圍碁、謠曲【宗教】神道【所稅】四八〇圓【家族】母セキ（文久三生養祖父彌惣次長女）妻ミツ（明二一・一一生栃木縣坂本八郎長女宇都宮高女卒）長男二郎（大元生東大法學部卒）外數子【住所】東京市目黒區自由ヶ丘一二二

阿部善作

【現職】保土ヶ谷製作所（株）常務取締役【出生】明二八岩手縣【學歷】同校を卒業するや業機械科卒【經歷】同校を卒業するや盤城炭礦會社に入社し坑内水の多量なること本邦炭田の第一位の稱ある同社に於て前後十八ヶ年間の久しき に亘り排水ポンプ殊にターピンポンプの研鑽に努む昭和九年四十歲を迎ふるや現所に樋口半藏氏と共同して保土ヶ谷製作所を創立拮据經營に努め銅基合金の特許實施權並にポンプ量器、及高速度金切鋸機械等各部に亘る特許權實用新案特權十四種を獲得し業務の發展に從ひ昭和十四年五月從來の個人經營を法人に改め株式會社保土ヶ谷製作所となし商工省免許量器製作販賣を開始し氏は其の常務取締役として專務取締役若月國立氏と協力奮闘を續け逐次業運を興しつゝ今日に至る【住所】保土ヶ谷製作所横濱市保土ヶ谷區神戸下車

阿部壽準

【位階勳等】從三位勳二等【現職】帝國海上火災保險（株）社長、第一火災海上保險（株）取締役【出生】明一二・一〇【續柄】山口縣光忠二男【學歷】明三八東大法科卒【經歷事業】直ちに内務屬拜命次で高文合格それより千葉、神奈川、兵庫、各縣事務官法制局參事官同書記官内務監察官兼内務省參事官鳥取縣知事、國勢院第二部長内閣統計局長特許局事務官同局總務部長、農林次官歷任昭和四年退官、同六年帝國海上社長就任【趣味】釣【宗教】神道【所稅】四一四四圓【家族】妻たみ子（明二〇生）長男光寬（明四四生）外【住所】豐島區池袋三ノ一五六三【電話】大塚一四〇七【現職】東京高壓機械製作所日本マイクロストップ製作所【出生】明治三十五年十二

阿部武夫

月二十八日【經歷事業】朝日炭素工業株式會社の取締役日本汽罐製造株式會社の取締役其他二・三の會社に關係し居れり【趣味】日本畫・カメラ・旅行【宗教】禪宗【家族】妻、長男【住所】日本橋區本町二ノ三【電話】日本橋（24）二六三七・二六三九

雨宮貢孝

大日本塗料（株）常務取締役【出生】明一六・一一【續柄】東京府士族良之長男昭五相續【學歷】明四四東大應用化學科卒【經歷】直ちに日本ペイント會社に入り大阪支店に勤務し後旭硝子會社ラッカー製造所長となり同所の大阪市大日本塗料會社と合併なるや氏も亦同社に轉じ現に其常務取締役として東京に駐在す曩に渡米せり【宗教】禪宗【所稅】六三五五圓【家族】妻ナヲ（明二七生伯爵後藤保彌太姉）長男良雄（大六麻布中學卒）外子女【住所】東京市中野區小淀町三一【電話】中野六七四六

雨森智四郎

【現職】合資會社共和研磨機製作所（東京市蒲田區西六郷三ノ一一）支配人、昭和硫黄工業株式會社（社長雨森顯三）監査役【出生】明治四十一年三月卅一日【續柄】士族【學歷】米澤高等工業學校昭和四年卒【經歷事業】卒業直後帝國製麻株式會社勤務、米國Gスポーツ【宗教】佛教【營稅】一二、〇〇〇圓【家族】長女一人【住所】東京市目黒區下目黒三丁目五七八番地【電話】大崎（49）二八六

荒木重義

【位階勳等】從六位【現職】理研紡績（株）社長、理研自動車改造、三興商會各（株）專務取締役理研重工業、理研壓延工業、理研電具、理研製機、理研チャック、理研鍛造、理研工作機、畑製作所、富國工業各（株）取締役【出生】明二八・一【續柄】卓三郎長男【學歷】大八、東大船舶工學科卒【經歷事業】遞信省管船局神戸海事部員上海總領事館付東京海事部員大正十五年退官帝國海事協會勤務、關東廳海務局海事檢查員中華民國政府海事檢查員を經て昭和八年理研ピストンリングに入社大阪出張所長本社營業部長歷任十二年取締役就任理研特殊製鋼營業部長兼任【趣味】ゴルフ【宗教】神道【所稅】一四八一圓【家族】母正子（明六生）妻時子（明三二生）長女敏子（大一三生）【住所】東京市大森區雪ヶ谷三七【電話】荏原五〇五六

荒井武一

【現職】合資會社荒井製作所代表社員【出生】明治三十七年【續柄】東京藤藏次男【經歷事業】株式會社南千住製作所、内務省土木機械工場勤務を經て昭和三年獨立創業【趣味】機械研究【宗教】眞言宗【家族】母シマ（六十一才）妻クニ（三十二才）長男廣循（八才）次男國雄（七才）三男賢三（四才）【住所】東京市足立區西新井町一四六〇【電話】足立三九三八

芦田定次郎

【現職】日產自動車販賣株式會社常務取締役【出生】明治十九年七月十九日【學歷】米國セントルイス・マッキンレー・ハイスクール【經歷事業】ニューヨーク市森村組在職六年後、同市

に絹綿布及鐵材輸出入業芦田商會を八年間經營後歸朝、大正十四年ゼネラル・モータース株式會社東京出張所入社、翌年日本ゼネラル・モータース株式會社創立と同時に同社入社、昭和十一年同社を辭し日產自動車株式會社に入社、翌年日產自動車販賣株式會社取締役就任、同十四年常務取締役就任【宗教】佛教【家族】妻秀子(東京市)【住所】東京市大森區市野倉町二七二【電話】池上七五三

甘糟淺五郎

【公職】橫濱商工會議所議員【現職】東京白煉瓦株式會社々長甘糟合名會社代表社員【出生】橫濱明治八年八月【續柄】五郎右衞門四男【經歷事業】夙に洋酒雜貨商を經營、昭和六年甘糟合名會社を創立現在に至る【所稅】二四七六圓【住所】橫濱市中區眞砂町三ノ三二【電話】長者町四〇八八

生明市太郎

【位階勳等】正八位勳六等【現職】千歲商會(株)常務取締役、川崎信託、川崎共濟會、東京索道、三德工業各(株)取締役、南洋貿易、相生無盡、七尾セメント、紅葉館各(株)監査役、計理士【出生】明一八・三【續柄】群馬縣米太郎長男【學歷】明四五東京高商專攻部卒【經歷】卒業後川崎銀行淺草富澤町京都各支店長川崎信託會社常務取締役等を歷任後ち諸會社に關係す【趣味】ゴルフ、散步、書畫、讀書【宗教】佛教【所稅】二〇八〇四圓【家族】妻愛子(明二七生東京府黑田善太郎妹東京女學館卒)長男俊夫(大六生)外一男一女【住所】東京市品川區五反田六ノ一九一【電話】大崎三六〇

芥川均一

利原鐵山、日本マグネサイト化學工業各(株)取締役、日本工業(資)有限責任社員兼技師長【出生】明一六・一〇甲府市錦町【續柄】元明長男【學歷】明四二東大土木學科卒【經歷】大學卒業と同時に王子電氣軌道會社に入り軌道敷設工事に從事せしが其後渡鮮して土木建築請負業小林組に入る大正五年辭して內地に歸來し日本工業合資會社を設立し土木建築請負業を創む曩に大和サッシュ監査役中央木材取締役たりしことあり【宗教】禪宗【家族】母トヨ子(女久元生)妻良子(明二六生長野縣增田英信長女長野高女卒)長男務(大五生慶大經濟學部在)外一女【住所】東京市田功運町二三【電話】三田二六七〇

東佐綠

【現職】東京高壓機械製作所日本機械科卒【經歷】夙に芝浦製作所に奉職す後渡米して鑄造法を研究し歸朝後戶畑鑄物會社を起し社長として經營に當る事多年本邦鑄物製造業に幾多の新機軸を出すマルエーブル鑄物は實に氏によりて始めて我國に紹介せられたるものなり曩に日本產業社長たりしが昭和十二年十二月滿洲國と提携同社を母體とし日滿折半出資により資本金四億五千萬圓を以て滿洲綜合計畫產業開發への新國策會社滿洲重工業開發株式會社を新設初代總裁に就任す新興財閥日產コンツエルンの總帥として日滿產業の最高峰に君臨す【功賞】昭和三年多年我國工業界の發達に盡せる功により從六位を賜ふ【家族】母ナカ(安政三生山口縣士族小澤正路二女)妻三代子(明二六生高島屋專務取締役飯田藤二郎長女東京女高師附屬高女卒)男彌一(大一二生)外一男二女(住所)東京市麴町區三番町六ノ一八【電話】九段長一五二・長一五三新京特別市東順治路二一二

會田啓之助

【現職】會田鐵工所(株)社長【出生】明一一・一【續柄】岩手縣萬吉男【學歷】明三二東京高師物理科卒【經歷事業】卒業後栃木縣立宇都宮中學校に奉職明治四十一年東京府高田町澤藤電氣工業所を開設自動車及飛行機マグネット發電機等の製作を開始し次で航空機用マグネット研究の爲外遊歸朝後航空機用高壓磁石變電機を完成す國產マグネット製作の嚆失なり昭和九年六月株式に改組現在資本金百萬圓【宗教】佛教【家族】妻みほ(明一八生)長男忠(明三五生)外四男【住所】澤藤電機株式會社=東京市板橋區志村中臺町三九八【電話】大塚

石和衛

【公職】日本陸上聯盟理事長【現職】明石製作所(株式會社)社長、岡本工作機械、山本商會、屋井乾電池各(株)監査役【出生】明治二一年八月生東京市【續柄】言語三男【經歷】大正二年東大機械工學科卒【學歷事業】大學卒後更に同大學院に研究大正五年合資會社明石製作所を設立し後株式に改組す、昭和十一年七月精密測定用の實驗裝置室を有する現在の品川區東品川五丁目の新工場落成之に移轉す現在資本金二十五萬圓製品種目は各種精密測定器試驗機類なり【趣味】運動【宗教】禪宗【所稅】二八三七圓【家族】妻久子、長男和彥、外二女【住所】東京市荏原區中延町一〇八七【電話】荏原六七五七

鮎川義介

【位階勳等】從六位、【現職】日本貿易振興會顧問、滿洲重工業開發(株)總裁日產自動車、日立電力各(株)社長、日本鑛業、昭和製鋼所、日本水產、日本產業ゴム、日產火災海上保險、滿洲鑛山各(株)取締役會長、滿洲輕金屬製造(株)理事會長、日產化學工業、日本油脂滿洲鉛鑛各(株)取締役、滿洲飛行機製造、滿洲自動車製造各(株)理事、宇部窒素工業、日產水產研究所、臺灣化學工業各(株)相談役【出生】明一三・一一山口縣長府町【續柄】彌八長男大一三相續【學歷】明三六東大機械科卒【經歷】夙に芝浦製作所に奉職す後渡米して鑄造法を研究し歸朝後戶畑鑄物會社を起し社長として經營に當る事多年本邦鑄物製造業に幾多の新機軸を出すマルエーブル鑄物は實に氏によりて始めて我國に紹介せられたるものなり曩に日本產業社長たりしが昭和十二年十二月滿洲國と提携同社を母體とし日滿折半出資により資本金四億五千萬圓を以て滿洲綜合計畫產業開發への新國策會社滿洲重工業開發株式會社を新設初代總裁に就任す新興財閥日產コンツエルンの總帥として日滿產業の最高峰に君臨す【功賞】昭和三年多年我國工業界の發達に盡せる功により從六位を賜ふ【家族】母ナカ(安政三生山口縣士族小澤正路二女)妻三代子(明二六生高島屋專務取締役飯田藤二郎長女東京女高師附屬高女卒)男彌一(大

石川虎三郎

【現職】石川バルブ工業株式會社取締役社長、九州球弁製作所社長【學歷】藏前高工【經歷事業】東京瓦斯株式會社に技師として勤務しつゝ球弁の研究を完成、昭和十四年三月、獨立石川バルブ工業を創設、今日に至る【住所】東京市京橋區槇町一ノ五ノ二【電話】京橋(56)七九三四

石川寅吉

興文社（株）專務取締役、日本製紙（株）取締役、東京書籍（株）監査役【出生】明二一七・二東京市深川區【續柄】金子市左衞門二男壽々養子明三四相續【學歷】大元開成中學卒【經歷】直ちに出版業興文社に入り現時專務取締役にして更に上揭重役を兼ぬ【趣味】書畫將棋圍碁謠曲號龍舟【宗教】眞言宗【所稅】二一二五圓【家族】妻よし子（明三四生東京府鈴木友三郎二女實踐高女卒）【住所】東京市牛込區南町二五【電話】牛込一七四七

石川政善

【現職】歐米諸機械工具商石川政善商店主【出生】明治四十四年、東京市に生る【經歷事業】昭和十一年東京市京橋區木挽町一ノ九に營業所を設けて新たに機械工具商石川政善商店を創立し、同十三年、營業所を同町一ノ二三番地に移轉、同十四年十月同町昭和通に移轉す【住所】東京市京橋區木挽町一ノ七【電話】京橋三九五五・三九五六

石川博資

【現職】帝國產金興業、日本漆器工業、深戸大和水銀鑛業、日本鑛山各（株）社長、日高電燈、北海電氣興業各（株）取締役【出生】明治二四年十一月【續柄】秋田縣士族、石川光毅二男【經歷事業】大正二年海外視察の途に上り、同十年歸朝す、後實業界に入り昭和九年一月帝國產金興業株式會社を創立爾來業務飛躍的に發展を遂げ本邦產金界に其名を謳はる、著書に「日本產金史」あり、昭和十四年四月產金事業視察の爲渡米す、【所稅】三二〇〇〇圓【家族】妻幸子、長男良平、外一男一女【住所】東京市大森區池上德持町六五【電話】池上五〇〇

石川一郎

【現職】石川工業所代表社員【出生】明治三十四年五月十八日【學歷】大倉商業學校卒業【經歷事業】月島機械製作所の技師として敏腕を振ひ昭和十年東京區毛利町九二石川工業所を設立主なる製品は鑛山用諸機械、齒車【家族】四人【住所】東京市杉並區關根町一一八【電話】荻窪二五一三

石川安司

【現職】株式會社東京ステンレス化工機製作所社長【出生】明治四十二年【學歷】早大卒【經歷事業】月島機械製作所の技師として敏腕を振ひ昭和十年東京ステンレス化工機製作所を創立同十二年株式に改組工作機械竝化學鑛山機械を製作新興製作會社として其の高度化に邁進、製品は既に定評あり【趣味】カメラ、狩獵、劍道其他趣味廣し【住所】東京市向島區寺島町六ノ二九【電話】墨田(74)二二一

石川一郎

【現職】東洋窯素工業株式會社取締役【出生】明治十八年十一月十五日【學歷】明治四十一年東大卒【趣味】圍碁、音樂【家族】五人【住所】東京市瀧野川區西ヶ原三五七【電話】小石川一七七七番

石橋伸庸

【現職】石橋工場代表社員【出生】明治三十一年十月九日【經歷事業】昭和二年東京市荒川區に鐵工所を獨力にて設立後昭和七年東京市本所區龜澤町に自動車部分品製作並修理工場を設立したが同十四年事業擴張と共に本所竪川町新工場を新築移轉現在に至る【宗教】日蓮宗【家族】十人【住所】東京市本所區竪川町一ノ三ノ九【電話】本所(73)六九三五番

石橋光治

【現職】東京建物常務取締役【出生】岡山縣王島町松三郎四男【學歷】岡山商業卒【經歷事業】夙に二十二銀行に入り次で安田銀行尾道・廣島各支店長正隆銀行總務部長、安田保善社業務部員、三十六銀行監査役、後滿洲興業常務取締役昭和十二年現職に就く【趣味】讀書繪畫【宗教】曹洞宗【家族】妻仲與男恭一郎外【住所】東京市杉並區荻窪三ノ一五五【電話】荻窪三七〇二番

石橋三郎

【現職】東洋商會店主【出生】明治三十七年七月一日【續柄】藏吉三男【經歷事業】元來事務的才能の豐富な石橋氏は螺旋界の古い歷史を持つ合名會社室谷商店に入社、專ら事務的方面で活躍、現在東洋商會を創設今日に至り、業務益々多端を極めつゝあり【趣味】碁、將棋【宗教】天臺宗【家族】妻イク【住所】東京市芝區汐留十三【電話】銀座(57)五三四六番

【現職】靜岡縣製絲聯合會組合長、橫濱生絲問屋業組合評議員、豐橋乾繭取引所理事、石橋商店（株）社長【出生】明二一・三兵庫縣氷上郡黑井町【續柄】作太郎長男明三四分家【學歷】大阪高商卒【經歷】明治四十五年神戸神榮會社に入り營業部橫濱支店詰となり昭和三年二月獨立して資本金二十萬圓の鹽絲貿易商株式會社石橋商店を創立し七年八月三十萬圓を增資し現資本金五十萬圓（內拂込三十五萬圓）を擁するに至り神戸に支店を有し同十二年より千葉縣我孫子町に高級生絲製造を目的とする石橋我孫子製絲所を開設し從業員三百名を使用す尙十二年五月豐橋に乾繭取引所の開設せらるゝや直に營業所を設けて乾繭取引員となり現に同乾繭所理事たり尙昭和八年五月沼津市に製絲業を開始現に從業員八百五十名を使用し是亦業態良好なり【所稅】四〇六一圓【營稅】六三三圓【家族】養子久澄（明四〇生京大法學部卒前宇治山田市長澤潟久富四男）長女一江（大四生フエリス女學校卒養子久澄妻）【住所】橫濱市中區靈ヶ丘四一電長者町一七七六・石橋商店本店橫濱市中區北仲通五ノ五七【電話】二三四五・二三五八・東京帝鹽ビル內電本局三五三五(5)・長一一八一

【現職】日本ゴム、ブリッヂストンタイヤ

石橋治八郎

事、石橋商店（株）社長、滿洲國）各（株）社長、滿洲爾來逐年發展今日に至る【事業】昭和七年二月獨立して資本金二十萬圓の鹽絲貿易商株式會社石橋商店を創立し同十二年より千葉縣我孫子町に高級生絲製造を目的とする石橋我孫子製絲所を開設し從業員三百名を使用す尙十二年五月豐橋に乾繭取引所の開設せらるゝや直に營業所を設けて乾繭取引員となり現に同乾繭所理事たり尙昭和八年五月沼津市に製絲業を開始現に從業員八百五十名を使用し是亦業態良好なり【所稅】四〇六一圓【營稅】六三三圓【家族】養子久澄（明四〇生京大法學部卒前宇治山田市長澤潟久富四男）長女一江（大四生フエリス女學校卒養子久澄妻）【住所】橫濱市中區靈ヶ丘四一電長者町一七七六・石橋商店本店橫濱市中區北仲通五ノ五七【電話】二三四五・二三五八・東京市麻布區永坂町一【電話】赤坂五六一・事務所同區飯倉片町二五電赤坂二四九〇

石橋正二郎

太陽ゴム（滿洲國）各（株）社長、滿洲合成ゴム製造（株）常務理事、昭和飛行機、九州曹達、三和鑛業、日曹人絹パルプ（各）株取締役、鑛山經營、九州醫學專門學校副理事長【出生】明二二・二福岡縣久留米市【續柄】德次郎男累代足袋製造小賣業たり【學歷】明三九久留米商業卒【經歷】卒業後家兄と協力父業に從事大正三年アサヒタビの商標を附し二十錢均一制を實施ヒットす同七年六月日本足袋を創立同十一年アサヒゴム底足袋の研究に成功次で支那靴外國向運動靴學生靴等の製造に着手し三井物產と提携海外進出昭和十二年改稱す昭和十年來九州北海道樺太朝鮮滿洲各地に鑛業所を有し同十一年人造ゴム化學研究所建設人造再生ゴムに成功す曾て久留米師團に戰車其他軍器を獻納又同地方產業文化教育開發のため數十萬圓の寄附をなす秩父宮殿下同妃殿下昭和五年同六年の二回九州本邸に御滯泊遊ばさる【功賞】紺綬褒章【家族】妻マサ子（明二九生福岡縣太田惣三郎長女）長男幹一郎（大九生福岡高校在）外四女【住所】久留米市櫛原町四ノ七〇【電話】二三四五・二三五八・東京市麻布區永坂町一【電話】赤坂五六一・事務所同區飯倉片町二五電赤坂二四九〇

石井太吉

【位階勳等】勳八等功七級【現職】東京鐵工機械同業組合副組長、石井鐵工所、石井證券、箱島水力電氣、日本化學機械、桐生機械各(株)社長、其の他【出生】明一三・三【續柄】神奈川縣內田長吉長男【學歷】橫濱工手學校卒【經歷事業】夙に先代の創業に係る石井鐵工所經營に從ひ大正九年現組織に改め社長就任今日に及ぶ傍ら多數の會社に關係す【趣味】旅行、機械研究【宗教】淨土宗【所稅】三七〇五八圓【家族】妻エイ(明一九生神奈川縣關川重吾長女)嗣子寬(明四一慶大卒)同妻和子(吉成坦二女東京音樂學校卒)【住所】東京市澁谷區南平臺町四八【電話】澁谷二九四番

石井元

【現職】株式會社電元社專務取締役、東京電氣熔接機械器具工業組合、東京電氣爐製造工業組合理事長【出生】明治三十一年八月秋田縣【經歷事業】氏は電氣學に通じ常に苦心研究昭和九年株式會社電元社を創立し益〻その業績の發展に努力之日も尚足らざる樣である。現在電元社は東都隨一の熔接機、電氣爐、バイト及付熔接機の專門メーカーであり資本金全額拂込百萬圓を擁してゐる。【趣味】撞球、ゴルフ【住所】東京市中野區昭和通一ノ四【電話】中野五六三八、東京市淀橋區上落合一ノ一二【電話】大塚(86)三三三七・三七三三番

石井光雄

【現職】群馬水電取締役技術部長【出生】明治二十二年一月【學歷】明治四十五年仙臺高工、土木科卒【經歷事業】昭和九年群馬水電に入社現職に就く【趣味】謠曲【宗教】曹洞宗【家族】妻纖子、長男和博外二男一女【住所】中野區仲町九【電話】中野二三三五番

石林次郎

【現職】日本勸業銀行總裁【出生】明治三十四年十月十九日【學歷】東京大正九年朝鮮殖產銀行理事を經て日本勸業銀行理事に就任昭和三年副總裁を仰つけらる、尚同十一年總裁となる【趣味】禪研究【宗教】禪宗【家族】妻ふみよ、長男涼【住所】東京市目黑區上目黑一ノ一一〇【電話】澁谷二八二八番

石井康友

【出生】明治二十二年三月より工作機械鑛山機械の製作に從事す【家族】妻富美子、長女信子長男優【住所】(自宅)東京市神田區鎌倉町五番地(店舖)東京市神田區旅籠町三ノ六【電話】下谷(83)九五四〇番

石田省一

【現職】八幡精機製作所【出生】明治三十二年【學歷】專修大學經濟科卒業【經歷事業】直ちに內燃機に身を投じ二十年以上冒頭昨年春八幡精機製作所石田內燃機研究所を設け主に航空機、自動車、部分品製造【趣味】精密機械の完成【住所】東京市大森區上池上町六三二東京市大森區新井宿一ノ二三三四【電話】大森(06)三三八八・四〇四七番

石田謙一郎

【現職】株式會社石田バルブ製作所代表社員【出生】三十三歲【經歷事業】石田バルブ製作所を起し、耐酸、耐熱等各種高級バルブ、コックを製作二年前火災に遇ひ全燒せしも昭和十三年復興と共に工場擴張、組織を株式會社に改め代表社員となり今日に至る【趣味】讀書【住所】東京市芝區白金志田町一〇【電話】高輪(44)〇六四六・一八七六番

石田禮助

【現職】三井物產株常務取締役、沼津毛織、東洋棉花、東洋絹織、東洋レーヨン各(株)取締役【出生】明一九・二靜岡縣松崎町【續柄】房吉二男大四相續【學歷】明四〇東京高商卒【經歷】直に三井物產に入り大連支店勤務次で北米シヤトル出張所首席孟買支店長カルカッタ支店長大連支店長紐育支店長歷任昭和八年一月取締役に選任同十一年五月現職に就く【趣味】運動讀書【宗教】キリスト教【所稅】四九六六〇圓【家族】妻ツュ(明二七生東京府中村善五郎二女高女卒)【住所】東京市赤坂區青山南町五ノ八一【電話】青山六五五六

石田宇三郎

東京ラヂオ工業組合理事、ゲエリーストロング商會代表者【出生】明二七・八【續柄】群馬縣音藏二男昭二分家【經歷】大正十四年ゲエリーストロング商會を創設し現業を開始し更に昭和七年日本無線電視工業株式會社を創立してテレビジヨン用品及高周波應用鑛石處理並に石炭液化等を研究し後ち日本高振電氣興業株式會社と合併後重役を辭任す【事業】クラス受信機キットクラスラヂオ部分品及石田式特許品各種の製造を行ひ大森區入新井三ノ八三に工場を同區入新井四ノ八二に研究所を設け東都業界に獨自の地步を占む【趣味】旅行盆栽等【宗教】禪宗【家族】妻ます〻(明三一生山梨縣安富忠藏長女同縣立高女卒)嗣子輝治(大七生府立化工卒日產自動車社員)外五男二女【住所】商會＝東京市大森區入新井三ノ八三【電話】大森二三三八

石原義之助

【現職】合資會社石原義之助商店代表社員【出生】明治廿九年十月十七日【經歷事業】大正三年先代石原熊次郎氏個人經營に係はるもので其後家督相續と同時合資會社に改組す主なる製品は陸海軍航空機各規格品並に機械工具用附屬チエン各種【家族】八人【電話】浪花二二六六、六六

石原勵

【現職】大日本兵器(株)取締役【出生】明三〇・三岡山縣吉備郡福谷村【續柄】晴藏長男【學歷】大九東大工學部機械科卒【經歷】直に浦賀船渠會社に入社調査課勤務次で舶用機械學研究の爲め英國に留學歸朝後能率係主任調査課長副支配人に歷任昭和十一年瑞西へ出張歸朝支配人に進み昭和十三年七月現職に就く【趣味】座談讀書【宗教】神道【所稅】五六〇圓【家族】歌子(明三七生中野勇治郎長女東京府立第一高女高等科卒)長男勝(大一五)外【住所】東京市杉並區阿佐ヶ谷町二ノ五八〇【電話】荻窪三三八一

石原米太郎

【現職】東京鐵工機械組合第八部副部長、特殊製鋼(株)社長【出生】明一五・九【續柄】群馬縣石原儀八三男【經歷】明治三十七年八幡製鐵所特殊鋼課に入り專ら特殊鋼の製造に從事すること多年大正四年八月日本特殊鋼會社設立に當り其製鋼課長に迎へられ主として航空機材及び自動車材其他困難なる諸機材及び自動車材其他困難なる諸機械構造材の製造に從事し同十三年退職と共に日本鋼管株式會社囑託となり傍ら合資會社互光商會を創設昭和二年八幡製鐵所との間に特殊合金鋼及平爐鋼規格品を鋼塊又は鋼片にて供給を受け鍛鋼品壓延品の棒鋼類を加工販賣するの特約成立に依り主として之が販賣に從事す昭和四年同商會を母體として特殊製鋼株式會社を創立其社長に就任し今日に至る【所稅】五四七六三圓【家族】妻ちよ子(明二四生)二男正美(大二生早大卒業東北大金屬科三年修)外三女【住所】東京市大森區入新井二ノ一四二【電話】大森二八四六

石崎艮行

【現職】日本產金興業(株)常務取締役 日興商事(株)專務取締役、茨城鐵道(株)取締役、カナヱ石綿工業(株)監査役【出生】明一八・二宮城縣栗原郡高清水町【續柄】宮城縣士族元宮城縣警察部長高清水町長石崎雅之助二男分家【學歷】明四四東京高商卒【經歷】直ちに名古屋銀行に入り累進して一宮、豐橋、大阪各支店長を歷任せしが昭和二年同行を辭して茨城鐵道會社に入社取締役に就任し次で同四年日興商事會社專務取締役同十二年日本產金興業會社常務取締役に各就任す曩に仙都ビルヂング取締役たりしことあり【趣味】ゴルフ、讀書【所稅】二八〇五圓【家族】妻きよし(明二一生宮城縣大沼彥六郎長女宮城縣立高女卒)男良彌(明四四生九大法學部卒)其他【住所】東京市澁谷區幡谷笹塚町一〇六七【電話】四谷五二六七

石尾善勝

【現職】石尾商店主【出生】明治三十四年八月五日【續柄】平民【學歷】東京高等工藝學校【經歷事業】鑄物材料一式問屋として東都に名聲を馳す【家族】母、妻、子供三人【住所】東京市芝區新堀河岸二五號【電話】三田(45)三五三〇・四〇三九

石澤愛三

【現職】日產自動車販賣株式會社相談役【出生】明治拾壹年八月貳拾六日【學歷】早稻田大學卒【經歷事業】東京日日新聞經濟部長、日本自動車株式會社取締役社長、ダットサントラック販賣株式會社取締役社長、日產自動車販賣株式會社相談役【趣味】園藝【家族】妻、男一、女一【住所】小石川區關口臺町七四【電話】牛込(34)一五五〇【公職】東京金屬挽物工業組合事務理事【現職】石津金屬挽物製作所主【出生】靜岡縣(明治二十一年四月)【續柄】勘十次男【經歷事業】十七歲より業界に身を投じ大正四年獨立開業、明治四十五年獨立開業、明治四十五年工業組合結成の必要を痛感し發起人總代となつて同志を募り東京金屬挽物工業組合を創立、爾來自ら專務理事の激務に携り業界のために貢獻しつゝある【趣味】スポーツ、登山【家族】妻ツネ(明治廿三年生)他男女子四名【住所】東京市淺草區鳥越町一ノ三【電話】淺草八八一四(組合事務所)神田區東神田町三【電話】浪花四三一六・三七八一

石津貞次郎

石毛敏雄

【現職】浦賀船渠(株)橫濱工場設計課長【出生】明二九・一一秋田縣能代町【續柄】高橋十郎二男東京府兼吉養子【學歷】大九東京高工卒【經歷】大正三年兵庫縣伊丹中學卒業、昭和七年浦賀船渠會社橫濱工場に入り設計主任に同十一年橫濱工業所の株式會社改組に際し其の取締役兼工場長となり海賀船渠橫濱工場囑託を兼ね其の後橫山工業所改組の任を終へて浦賀船渠に復歸現職につく【趣味】事業の研究【宗教】曹洞宗【家族】養父兼吉(現戶主)妻ふみ(明三三生養父兼吉長女成女高卒)長男一夫(大一二生神奈川縣立二中在)一男一女【住所】橫濱市神奈川區齋藤分町一五七【電話】神奈川三五五二

石坂泰三

【位階勳等】從七位【現職】生命保險會社協會監事、日本工業俱樂部評議員、第一生命保險相互社長京城電氣、第一相互貯蓄銀行、日本特殊鋼各(株)取締役、朝鮮化學工業、日本特殊鋼管、生保證券、日本ビクター蓄音器各(株)監査役【出生】明一九・六【續柄】埼玉縣義雄三男大六分家【學歷】明

四・四東大獨法科卒高文合格【經歷事業】爾來爲替貯金局、振替貯金課長貯金課長等歷任大正四年第一生命に入社翌年保險業視察の爲め歐米に派遣され歸朝後支配人に擧げられ次で取締役に選任更に專務を經て昭和十三年社長となる【趣味】育英事業【宗教】眞言宗【所稅】三二五八五圓【家族】妻雪子(明二七生愛知縣織田一長女學習院卒)長男一義(大・一〇生)外【住所】東京市澁谷區代々木初臺町六三三【電話】四谷七〇一

石子雄亮

【現職】高速度鋼接合劑、滲炭鋼化劑製造、石子製作所主【出生】明治三三・二東京小石川【學歷】官立一ッ橋高等商業學校卒【經歷事業】大正十三年より昭和二年迄株式會社安田銀行丸ノ內本店に勤務當時より高速度鋼接合劑に付き研究昭和二年右を退社と同時に昭和三年迄一ヶ年間學術實地共に研究の結果優良品を見るに至り昭和三年S・S・Pなる名稱の下に製造を創業【趣味】旅行【家族】妻康江、男子一、女子一【住所】東京市瀧野川區瀧野川町二二〇二、瀧野川區瀧野川町二二四九

東京麻絲紡績、高崎セロファン、棉麻通商、日本輸出麻織物各(株)社長、日本絖麻、奈良染織工業各(株)代表取締役、早山石油、日本礦油、ラサ工業、ラサ證券日本礬泉各株取締役、ラサパルプ、大山鋼索鐵道各(株)監査役、小松屋株式店、東京木工所各店主、東京株式取引所短期實物取引員【出生】明一八・一〇新潟市【續柄】石松弟明四三祖父和三郎方より分家【經歷】夙に株式界に身を投じ大正四年獨立小松屋株式店を興し東株短期實物取引員として堅實なる營業方針を以て各方面の信用篤し曩に東京乘合自動車會社專務取締役に就任其復興に成功せるを初め東京麻絲紡績、ラサ工業其他沒落會社數社の更生發展に非凡の手腕力量を發揮し特異の才幹を謳はれつゝあり【趣味】釣魚、日本畫等【宗教】淨土宗【家族】妻ちよ(明治二三年生東京府秋山新藏長女)【住所】東京市神田區鎌倉町一ノ三【電話】神田五一一一店舗同市日本橋區本町一ノ八【電話】日本橋四六・四七・四八

石山政治

【現職】石山鐵工所主【出生】五十三歲【經歷事業】昭和十四年前記場所に工場を新設、諸機械、自動車部分品、火造一式を製作【趣味】旅行【住所】東京市蒲田區羽田一丁目九七一

石崎石三

【現職】電氣熔接學校理事長【出生】明治三十一年二月十一日【學歷】帝大工科卒、米國(移)學電氣熔接科卒【經歷事業】電氣熔接技術を體得のため米國へ遊び學理と實際とに研鑽を極め現在電氣熔接學校を銀座に創設理事長として學理と實驗に教鞭を執られつゝあり【趣味】讀書、著述、謠曲【宗教】眞宗【家族】妻、二男二女【住所】京橋區銀座西七ノ六【電話】銀座(57)三九三三

伊藤千代藏

【現職】東京製線株式會社工場長兼裸線課長【出生】明治三十一年【續柄】愛知縣平民【學歷】大正十一年東京帝國大學工科卒業【經歷事業】卒業と同時に東京製線に入社專ら技術方面を擔當し今日の地位を得川崎工場に勤務【趣味】讀書、盆栽【住所】橫濱市鶴見東寺尾一六二一【電話】鶴見三六五六

伊藤宗男

【現職】伊藤鐵工所(資)代表社員【出生】明十三・十二愛媛縣伊豫郡砥部村【續柄】吉五郎次男【經歷事業】明治二十八年、大阪永江鐵工所に入り其間西野田工業學校に學、後大阪鐵工所を經て現在に至る【趣味】旅行【宗教】曹洞宗【家族】キミ(明十六生)長男和吉(大二生)外一男二女【住所】東京市京橋區月島通七ノ一

伊藤喜一郎

伊藤貞七

【現職】藤金製油所代表社員【出生】明治三三・二【續柄】愛知縣金七二男【學歷】名古屋商業卒【經歷事業】卒業後家業に從事今日に至る【家族】妻ヨネ子(明四二)長男悦次(昭八)【住所】名古屋市東區古出來町九七

伊藤良助

【現職】京濱塗裝工業所主、京濱金屬工業所主【出生】明治四十一年十一月廿九日宮城縣亘理郡逢隈村字田澤一三八【續柄】故傳左衞門四男【學歷】法政大學法文科卒業【經歷事業】學校卒業後塗裝業に掌り現工場を設け現今に至る尚京濱金屬工業所を設立し機械製作を營む【宗教】淨土宗【家族】妻さく(大正三年高女卒)長男良毅(昭十三年生)【住所】神奈川縣川崎市南町拾壹番地(營業所)川崎市南町二十番地【電話】川崎四四〇七

伊藤文吉

【位階勳等】正四位勳三等男爵【公職】貴族院議員【現職】日本鑛業、日本產業汽船、横荘鐵道各(株)社長、東亞興業日產、北樺太石油、日產火災海上保險、中央土木各(株)取締役【出生】明一八・一二東京市【續柄】山口縣木田幾三郎長男故博文公養子明三九分家【學歷】明四一東大英法科卒高文合格【經歷事業】農商務省山林事務官兼農商務書記官、内閣總理大臣秘書官、特許局事務官兼農商務省參事官、同省商務局商工課長、製鐵所理事等に歷任、後實業界に轉ず尚日本トロール滿洲紡績等各會社社長たり此間大正七年貴族院議員に列す【趣味】讀書、ゴルフ【所税】七七一八八圓【家族】男俊夫(大三生、東京府立一中卒)外一男四女【住所】東京市芝區三田小山町二七【電話】高輪一六〇〇

伊藤音次郎

【現職】帝國飛行協會評議員、日本輕飛行機俱樂部常任理事、伊藤飛行機(株)社長【出生】明二四・六大阪市浪速區惠美須町【學歷】大阪市立工業學校及奈良原男爵經營の飛行學校に學ぶ【經營】大正四年二月獨立千葉縣津田沼町に伊藤飛行機製作所を創設爾來專念之が經營に當り同五年より同七年迄自ら愛機操縱日本全國に航空宣傳を行ひ尚此間大正五年民間最初の夜間飛行をなし同七年には是亦最初の宙返り飛行を敢行同十年東京大阪間往復無着陸の飛行記錄を敢行同十一年時速百四十哩の機體製作に成功し速力記錄を作り同年遞信省指定工場となり同十二年東京大阪間定期航空を創始し同十四年從來の練習部を廢して東亞飛行專門學校を創立す昭和二年合資會社組織となし其の後昭和十二年十二月株式に再改組自ら取締役社長に就任今日に及ぶ【趣味】航空、盆栽【宗教】眞宗【家族】妻キチ(明二八生)長男德治(大正九生日大中學卒)外一男二女【住所】千葉縣千葉郡津田沼町鷺沼一四四〇【電話】津田沼一九

伊藤勇

【現職】東京紡毛糸工業組合理事、關東纖維工業(株)取締役、伊藤毛糸紡績所主、毛糸紡績業【出生】千葉縣【學歷】大九東大經濟學部卒【經歷】直ちに日本原毛會社に入り營業部に勤務同十四年米澤毛糸絲紡績所に轉じ支配人に就任昭和三年獨立現所に伊藤毛糸紡績所を開設し爾來愛知縣森菊商店を主なる取引先として遂年業運を興せしが昭和五年八月森菊商店の整理に遭ひ多額の損失を蒙りたるも爾來獨逸製機械を据付けて高級優良品に力を注ぎ業勢挽回に努めたる結果遂年業績向上して現に事務員職工百三十餘名を算す【所税】六四二七圓【住所】東京市瀧野川區西ケ原町一〇一三【電話】王子二九〇六(伊藤毛糸紡績所)同市王子區豐島町六ノ九【電話】王子三二四四・三一五六

【現職】合資會社村田機械販賣所(東京市麻布區新堀町六)主任【出生】明治廿四年【學歷】藏前高等工業紡織科明治四十四年

伊藤毅一

卒業【經歷事業】明治四十五年東京モスリン工務科、大正二年から九年まで京都府立工業試驗所勤務、大正九年から大正十一年迄株式會社日本機械製作所勤務、大正十四年から昭和二年迄關東プロダクションを經營並にオートバイ自轉車製作販賣を營む昭和十二年村田機械販賣所主任【家族】滿子(關東軍司令部附陸軍省技師澁谷敏夫に昭和十四年一月嫁す)君子(廿一歲)まち子(十七歲)長男弘眞(十歲)【住所】東京市豐島區長崎町四ノ四一

伊藤虎雄

【現職】伊藤商店店主【出生】明治四十一年十月五日【學歷】日本大學卒業【趣味】旅行、ゴルフ【家族】一男【住所】東京市澁谷區千駄谷五ノ九三七

伊藤寅吉

【公職】川口鑄物工業組合理事【現職】東洋精工業株式會社社長、伊藤合名會社專務取締役【出生】明治二九・〇〇【經歷事業】昭和六年伊藤林藏氏を援けて伊藤合名會社を創設高級特殊鑄物、センオーストーブの製造並に各種工作機械を製作昭和十四年埼玉縣蕨町に各種航空機用品、ピストンリング製作すべく東洋精工業株式會社を創設社長に就任【趣味】讀書、旅行【家族】妻一、男子三、女子二【住所】川口市元鄉町二三八六、埼玉縣蕨町塚越【電話】川口二七〇三

伊藤讓一

【現職】久保田鐵工所東京支店(東京市有樂町東日會館)庶務係長【出生】明治三十五年十二月三十一日東京市麻布區仲町【續柄】則忠の三男【學歷】慶應義塾大學經濟學部昭和二年卒業【經歷事業】學校卒業後直ちに株式會社久保田鐵工所東京支店に入社現在に至る【趣味】スポーツ、音樂【宗教】佛敎【家族】妻壽枝(明治四三・七生澁谷雄太郎長女佐藤高女卒)長女嘉奈子(昭和九・二生)次女信久枝(昭和一三・三生)【住所】千葉縣市川市菅野二〇六二【電話】市川六七五

伊藤雄二郎

【現職】滿鮮產業(株)社長、滿鮮鑛業(株)代表取締役、鶴城金鑛(株)取締役【出生】明二八・一奈良縣吉野【續柄】庄一郎七男大一五分家【學歷】慶大理財科卒【經歷】卒業後材木業土木建築請負業等に從事し次で日本度量衡會社々員等に歷職其後滿鮮鑛業會社專務を經て代表に就任現時上揭重役たり【趣味】讀書、スポーツ、演劇、音樂【宗教】禪宗【家族】嗣子榮一(大一〇生京華中在)外二男三女【住所】東京市本鄉區本鄉四ノ二八【電話】小石川五八四九

伊藤孝市

【現職】大洋ベニヤ(株)事務取締役、丸共ベニヤ工所(資)代表社員、ベニヤ板製造販賣業【出生】明二六・八【續柄】岐阜縣伊藤鐵次郎三男通稱隆康【經歷】夙に上京丸共商店に入りて木材販賣に從事し床廻り用材及天井板の改良普及に盡瘁す大正五年獨立銘木商を創始杉材ベニヤ板の製造販賣を主とし昭和四年橫濱市に支店を開設同八年前揭合資會社に改組す尚現時上揭重役を兼ぬ【事業】使用職工百餘名工場動力百七十馬力年商約百萬圓本支店並に直屬販賣店の外三井物產其他都下同業者に販賣す【宗教】神道【所税】六三九圓【家族】妻きん子(明三一生川島孝三郎長女、山脇高女卒)嗣子忠三(昭四生)外一男五女【住所】東京市麻布區新廣尾町三ノ九〇【電話】三田四六八四(營業所)同市城東區南砂町二ノ八二四【電話】本所一四〇〇

伊藤英夫

【位階勳等】正八位、在鄕陸軍步兵少尉【現職】昭和產業(株)取締役社長、日東鑛業汽船、寶城興業、早山石油各(株)取締役、飼料配給、燐酸肥料各(株)監査役【出生】明二〇・五千葉縣匝瑳郡榮村【續柄】芳松二男【學歷】明四〇早實卒【經歷】直ちに肥料商鈴鹿商店に勤務後其株式改組と共に重役

に就任今日に及ぶ【宗教】曹洞宗【所税】八〇〇圓【家族】妻タケ子(明二六生福島縣小松四郎治四女)長男雅夫(大七生)【住所】兵庫縣明石郡垂水町舞子一七六六【電話】舞子三〇六・東京市杉並區西荻窪町三七〇五

伊藤琢郎

(明三三生千葉縣福原壽夫姉)長男琢也(昭五生)外一女【住所】月島スプリング製作所東京市京橋區月島東河岸通三ノ二四八六五七圓【家族】妻實子(大四生貴族院議員濱口儀兵衞二女双葉高女卒)【住所】東京市品川區五反田五ノ六〇【電話】大崎一三一四

伊藤一郎

【現職】東京工場懇話會副委員長、東京工場協會理事、社團法人吾嬬工場協會長、東京輸出織物染色工業組合關東スフ染色工業組合、汽罐協會各理事、やまと工業(株)監査役、伊藤染工場主、織物染色業【出生】明二

同所長に進み昭和七年辭し同年九月貴族院議員に互選さる同十二年六月現職に就き爾に三菱讀業會社參事たり【所税】二三九六圓【家族】妻久米子(明三一生神奈川縣陸軍大佐小野田健二郎長女)長男圭一(大六生)外二男二女【住所】東京市豐島區巢鴨一ノ一一〇【電話】大塚七三二〇

伊藤周次郎

【現職】月島工業會理事、月島スプリング製作所主、スプリング製作業【出生】明三〇・一宮城縣【續柄】伊藤健男長男【經歷】大正五年現業を開始し業務の發展に從ひ昭和十四年春從來の京橋區新佃島東一の工場を廢して月島東河岸通なる現所に工場を新築移轉せり其敷地約八百坪建物約六百坪【趣味】謠曲讀書等【宗教】禪宗【所税】二八七圓【家族】妻綾子

伊藤琢郎

(明三三生千葉縣福原壽夫姉)長男琢也(昭五生)外一女【住所】月島スプリング製作所東京市京橋區月島東河岸通三ノ二四八六五七圓【家族】妻實子(大四生貴族院議員濱口儀兵衞二女双葉高女卒)【住所】東京市品川區五反田五ノ六〇【電話】大崎一三一四

伊藤一郎

【現職】東京工場懇話會副委員長、東京工場協會理事、社團法人吾嬬工場協會長、東京輸出織物染色工業組合關東スフ染色工業組合、汽罐協會各理事、やまと工業(株)監査役、伊藤染工場主、織物染色業【出生】明二

伊藤琢郎

【現職】朝日興業(株)社長、三綿商店誠工舍各(株)取締役、松坂屋、伊藤銀行各(株)監査役、伊藤產業(名)出資社員【出生】明三八・一一【續柄】名古屋市富豪伊藤次郎左衞門三男同松之助同銃次郎各弟昭六分家【學歷】昭四慶大經濟科卒業【經歷】更にロンドン大學に遊學滯英三年歐米各地を巡遊歸朝實業界に活躍し現に前揭諸職に在り【趣味】寫眞、ゴルフ、音樂、旅行【所税】四八六五七圓【家族】妻實子(大四生貴族院議員濱口儀兵衞二女双葉高女卒)【住所】東京市品川區五反田五ノ六〇【電話】大崎一三一四

伊藤鈴三郎

【現職】伊藤商店主【出生】明治三十年五月長野市【經歷事業】氏はオイルポンプ界の元祖にしてその製品は優秀他を凌駕して一・四【續柄】岐阜縣上野源左衞門三男伊藤琴三養子昭九相續【學歷】明四四東京高工染織科卒【經歷】卒業直に同校助教授となり大正六年東京工業大學附屬工學專門部講師に轉じ傍ら伊藤染工場の業務に携はりしが昭和六年來專ら家業に沒頭す【趣味】讀書、旅行等【宗教】日蓮宗【所税】一四七八四三圓【營税】七七〇六圓【家族】養母富貴(明三生)妻まつ子(明二八生養父琴三長女跡見女學卒)長女和子(大八生白百合高女卒)外二女【住所】東京市麹町縣一番町二〇【電話】九段三三・七三(工場)同市向島區吾嬬西二ノ二一【電話】墨田二〇三(4)

伊藤保人

【現職】日本皮革(株)技師長【出生】明三〇・七愛媛縣西條町【續柄】主計長男【學歷】大一一東大理學部卒【經歷】直に現社に入り技師を經て曩に現職に榮進す【趣味】庭球、讀書【宗教】眞言宗【所税】七三八圓【家族】妻年子(明三二生清水義彰長女日本女大家政科卒)長男彰彦(昭三生)外一女【住所】東京市淀橋區下落合四ノ一六三七【電話】落合長崎二七二四

伊東哲三

【現職】東京機械工業株式會社總務取締役【出生】明治三十五年八月十九日【學歷】中央大學法科卒業【趣味】旅行【宗教】日蓮宗【家族】妻、二男一女【住所】東京市世田ヶ谷區玉川奥澤町一ノ三八九

伊東益治郎

【現職】工學博士、早稻田大學理工學部教授、理研水力機(株)常務取締役【出生】明二九・五【續柄】東京府福田町一【電話】浪花四六一九

伊原貞敏

朝鮮理研鑛業、朝鮮製鋼所各(株)取締役【出生】明二九・五【續柄】東京府貞次郎長男大九相續【學歷】大九早大理工科機械科卒【經歷】直に新潟鐵工所に入社次で母校早稻田大學助教授となり昭和五年教授に進む傍ら昭和十三年三浦鐵工取所締役に就任し現時上揭會社重役たり此間昭和四年學位を受け同五年歐米に留學す【家族】母こたま(文久三生)妻しづ子(明三八生三重縣星合甚之助長女)長男貞雄(昭八生)外二女【住所】東京市牛込區原町三ノ五三【電話】牛込一〇五四

伊集院清彥

【現職】橫濱商工會議所議員、三菱重工業(株)取締役兼橫濱船渠所長【出生】明一〇・九【續柄】鹿兒島縣士族伊集院榮次郎弟先代幸八養子現戶主【學歷】明三七東大船用機械科卒【經歷】三菱造船會社參事神戶造船所機械部長、長崎造船所副長、三菱航空機會社名古屋製作所長兼東京製作所長同取締役を經て現職に就く【所税】三四四六九圓【家族】妻ろく子(明一九生東京市平野不二彥長女)長男武雄(明四一生東大應用化學科卒三菱石油勤務)外數子【住所】東京市大森區山王二ノ二一〇〇【電大森】五五二四

伊熊市太郎

【現職】伊熊商店(株)代表取締役、合金原料商【出生】明三七・一一東京市淺草區千束町【續柄】鈴木家男伊熊家養嗣子【學歷】早稻田工手學校卒【經歷】直ちに芝區津田商店に勤務現業に從事大正十五年淺草區山之宿に於て合金地金ブローカーを創始昭和三年現所に店舗を設置し同十三年二月資本金二十五萬圓の株式會社に改組す現に都下一流會社工場方面を取引先とし年商約三百五十萬圓に達す【所税】五〇四圓

【住所】東京市下谷區入谷町二九一【電話】根岸一〇五〇・四七六二

伊地知彦虎

【現職】液化炭酸(株)社長、大洋海運(株)常務取締役、下村汽船、日滿亞麻紡織各(株)取締役【出生】明一一・三【續柄】故海軍中將彦次郎弟明四五相續【學歷】明三七東京高商卒【經歷】卒業後三井物產上海、倫敦支店船舶部等に歷勤し大正四年獨立海運業を經營す後大洋海運液化炭酸其他諸會社の設立經營に關與す【趣味】ゴルフ(東京霞ケ關武藏野程ケ谷茨木廣野六甲各倶樂部會員【宗教】神道【所稅】一六〇〇〇圓(家族)母コト(天保一〇生鹿兒島縣士族高崎正風妹)妻良子(明二四生元鐵道大臣仙石貢長女女子學習院卒)長男清(明四三生京大經濟學部卒日本化成工業株式會社勤)【住所】東京市麻布區材木町二二【電話】赤坂四三六五

伊與田光男

【現職】資生堂(株)取締役兼研究部長資生堂ゾートス、關東ゼラチン各(株)取締役【出生】明二八・八大分縣【續柄】同縣市藏五男大一五兄春治方より分家【學歷】大九東京帝大理學部化學科卒【經歷】大正九年資生堂に入り累進工場長となり次で取締役に選任現に研究部長を兼務し社業の發展に活躍しつゝあり【趣味】圍碁、將棋、旅行等【宗教】禪宗【所稅】五五八圓【家族】妻マツ子(明三一生神奈川縣石井建吾養子跡見高女卒)長男英夫(大一一生)外三男一女【住所】東京市牛込區矢來町五〇【電話】牛込五五八二

池田元太郎

【現職】池田化學研究所長、池田化學工業(株)社長【出生】明一五・一一【續柄】東京府安之助長男明四五相續【學歷】明三八大阪高工卒【經歷】夙に色素化學の研究に沒頭明治四十五年渡獨して伯林シャルロンテレブルヒ大學に學び大正四年歸朝池田化學工業所を創設染料及色素顏料の製造を開始し昭和四年池田化學工業株式會社と改む【事業】資本金二十萬圓染料中間物色素顏料の製造を主とし年產三十萬圓に達する專賣特許製造法四件を有し業界に特異の存在を稱せらる【趣味】散策、旅行、運動【宗教】淨土宗【所稅】三五〇圓【家族】妻愛子(明二三生東京府榮國傳右衞門二女梅田高女卒)長女春江(明四五生東京府立第三高女卒)【住所】東京市淀橋區下落合一ノ七一【電話】大塚二九七

池田清藏

【現職】東京市麴町區丸ノ內二ノ六(八重洲ビル五一六)盛工社社主【出生】明治二十七年九月十日【續柄】神奈川縣人民藏次男【經歷事業】米國貿易株式會社機械部に販賣係主任として長年在職し會社の一手販賣に係る米國、インガーソル、ランド會社製鑿岩機及空氣壓縮機の販賣に從事する事多年昭和八年に至り國產鑿岩機、空氣壓縮機、其他鑛山及土木用諸機械の販賣業盛工社を起し、社主として今日に至る【宗教】眞宗【所稅】九二七【營稅】二五六【家族】妻シズ、長男(大・九)次男(大十一)長女(昭元)三男(昭三)【住所】橫濱市中區藤棚町一ノ六五【電話】長者町二八七七(營業所)東京丸ノ內ニノ六盛工社【電話】丸ノ內(23)一七一四・四九六九【現職】千駄木機械製作所(株)專務取締役

池田三三雄

砂町製作所(株)取締役【出生】明治二五・二愛媛縣產【學歷】東京工科學校卒【經歷事業】川崎造船所勤務、大正十五年本郷區千駄木町に義兄安星亮一郎氏經營の千駄木製作所に協力昭和二年同氏死亡後同所を承繼す昭和六年工場を深川區石島町二五に移轉化學機械製造に主力を注ぐ昭和十年六月海軍造機少將吉田仙之助氏を社長に迎へ株式會社に改組し加ふるに技術的陣容を整備し殊にアルミニューム製造用電極糊製造プラント、石油精製諸プラント及青寫眞機械に特技を持つ現在五十萬圓(全拂)淺野總一郎氏を相談役とす【趣味】スポーツ【所稅】一八〇〇圓【家族】長男輝雄(早大工經科在學中)長女(廿歲私立第一高女卒)次男(尋六)三男(尋三)次女(七歲)【住所】東京市深川區石島町二五【電話】本所九九五九

池田三代吉

【位階勳等】勳六等【現職】池田工業事務所主、池田式蒸氣汽罐設計販賣業【出生】明七・一二吳市【續柄】權平三男【經歷】明治二十四年吳海軍工廠造機部に奉職し同卅二年上京して艦政本部第四部技手となり同三十九年十月英國に出張專ら汽罐製作上の研究を積むこと三年同四十二年六月歸朝直ちに吳海軍工廠に復職し主として汽罐並に補助機械の製作に從事し大正六年に至る同年獨立池田工業事務所を創立し海軍省在職中發明せる池田式汽罐の製作販賣に從事す【事業】同汽罐は日英米の特許權を有し陸軍運輸本部、海軍省、鐵道省、內務省、其の他民間各方面に使用さる【宗教】眞宗【所稅】四四一圓【家族】妻きち(明一四山口縣國村利平長女)【住所】東京市淀橋區西大久保二ノ二三五【電話】四谷六二八六

池田信一郎

【現職】清水式無砂精米麥機製造發賣元合資會社清水商會代表者【出生】明治三十五年【學歷】東京帝大工學部機械科卒【住所】東京市神田區五軒町三清水商會內【電話】下谷一六八〇・五九三四

池田清

【現職】合資會社池田ゲージ製作所代表社員【出生】三十一歲【經歷事業】機械工具製作池田ゲージ製作所を昭和十四年合資會社に改組主としてゲージ類の製作【趣味】旅行【住所】東京市芝區新堀町三十番地【電話】三田(45)四四七八

池田寬

【現職】工作機械製作業池上製作所主【出生】明治三十五年十月一日生栃木縣上都賀郡南摩村字油田九七九【續柄】庄多四男

池上盛壽

【學歷】高等小學校卒【經歷事業】幼にして上京東京市深川區深川製作株式會社へ入社廿六歲の折退社の上獨立して現業を經營今日に至る【趣味】都山流尺八指南【宗教】眞宗【所稅】三五〇〇圓【營稅】一五〇〇圓【家族】妻てる子(明卅七生)長女弘子(昭五生)長男惠藏(昭七生)次男劫壽(昭十生)【住所】蒲田區安方町一七八【電話】蒲田三九六〇

池田清

【現職】工作機械、工具商池田商店主【出生】二十九歲【經歷事業】諸機械工具商碌々商店に永年勤務昭和十四年前記場所に獨立營業工作機械、工具バイト檢査器を販賣【住所】東京市京橋區西八丁堀四丁目八【電話】京橋(56)二八三一番

池上寬十

【出生】明治十年十月五日【經歷事業】大正八年紡織機製作を現住所なる芝區三田豐岡町十四番地に開始す後化學機械の有望なるを察知し大正十五年粉碎機製造に製作方針を變更す以後幾多の特許權を獲得し粉碎機專門製作として終始一貫し斷然他を壓して優秀品との譽れ高し【趣味】盆栽【家族】十名【住所】東京市芝區三田豐岡町十四【電話】三田八七八

池邊瀧三郎

【現職】三井鑛山（株）目黑研究所長【出生】明一八・三長崎縣【續柄】政五郎六男【學歷】明四三東大應用化學科卒【經歷】直に工業試驗所技師を拜命し大正六年現社に轉じ目黑試驗所勤務同分析主任同主事同鑛務三部研究所主事兼分析主任等に歷任後現職に榮進す【趣味】旅行【宗教】佛教【所稅】二八〇三圓【家族】妻道子（明三二生長崎縣林長太郎二女長崎高女卒）長男淸（大九生）【住所】東京市世田谷區上馬町一ノ七六四【電話】世田谷三〇六九

池邊稻生

【位階勳等】從四位【現職】水力協會經理部長、小田原急行鐵道（株）副社長東京高速鐵道取締役、鬼怒川水力電氣、帝都電鐵、鬼怒川興業各（株）監査役【出生】明一六・一二【續柄】大分縣瓢平長男【學歷】明四一東大土木科卒【經歷事業】直に北海道廳に奉職後鬼怒川水力電氣建設部長となる次で再び官途に就き朝鮮總督府技師たる事七年小田原急行鐵道取締役に就任す後山手急行電鐵常務帝都電鐵副社長等を經て小田原急行副社長となる【趣味】謠曲、圍碁【宗教】禪宗【所稅】四〇九〇圓【家族】妻ミサオ（明二二生茨城縣栗原恭敬三女）嗣子展生（大元生京都帝大理學部卒同大學講師）外數子【住所】東京市世田ヶ谷區北澤五ノ八〇三【電話】四谷五九〇五

池内慶太郎

【現職】池内製作所（株）社長、近與商店（株）取締役、岩崎商店（株）監査役引拔シャフト製作及壓延並伸線業、日鐵熔接棒指定工場【出生】明二一・三埼玉縣志木町【續柄】由太郎長男昭二相續【學歷】浦和中學卒【經歷】爾來祖業鐵工業に從事し大正五年河合佐兵衞商店の援助に依り東京池袋工場を新設移轉し更に大森工場を新設株式に改組す現時尙上揭重役たり【趣味】讀書、旅行【宗教】眞言宗【所稅】三六一圓【家族】母タカ（元治元生）妻マサ（明二一生東京府高橋濱太郎妹）長男正夫（明四三生立大卒）外一男二女及弟妹【住所】埼玉縣志木町上町電志木四一（營業所）東京市芝區田町八ノ八【電話】三田四三四七・四六六八（池袋工場）同市豐島區西巢鴨二ノ一一〇七【電話】大塚一四三七（大森工場）同市大森區新井宿七ノ七七【電話】大森四〇三七

池貝杉二

【現職】東京重機製造工業組合常務理事、品川精機（株）社長、池貝鐵工所東京鍛工所、東京機械製作所、日本ピストンリング、山本商會（株）取締役【出生】明一八・一一【續柄】曾我部次八郎二男先代庄太郎養子【學歷】明四〇東京商工機械科卒【經歷事業】三菱造船、長崎造船補機設計課勤務を經て池貝鐵工所に轉じ內燃機關設計部製作主任取締役製造部長等に歷任【趣味】野外運動、ゴルフ、觀劇【宗教】淨土宗【所稅】一五三七〇圓【家族】妻けい（明二六生）長男正一（大三生）外三男一女【住所】東京市品川區五反田五ノ六〇【電話】大崎二八八九

池貝秀雄

【現職】東京ラヂエーター製造（株）社長、池貝鐵工所、池貝自動車製造（株）常務取締役、池貝鑄造所（株）監査役【出生】明三五・五【續柄】先代喜四郎長男昭八相續【學歷】昭三慶大經濟學部卒【經歷】事業卒業後池貝家の諸事業に携はる、日本鈑金工業會社々長【宗教】禪宗【所稅】四二一二圓【家族】母喜彌（明一四生）妻田鶴子（明四五生）長女美代子（昭八生）外【住所】東京市品川區北品川六の三九四【電話】大崎〇七五一

井上道之助

【現職】井上製作所所主【續柄】長男、平民【經歷事業】京橋區八丁堀に土木鑛山用機器製作販賣を營む【住所】東京市京橋區八丁堀三ノ一四【電話】京橋(56)六〇三

【公職】味の素本舖鈴木商店取締役【出生】明治八年十一月東京市【續柄】潤之助長男【學歷】東京高商卒【經歷事業】スタンダー

井上哲

ド石油會社、日本ペイントを經て現在に至る【趣味】讀書【宗教】淨土宗【所稅】七七〇圓【家族】妻ます、長男均、他二男【住所】東京市杉並區下高井戸四ノ一〇四三【電話】荻窪四四四四

井上安吉

【現職】熱處理業大東社硬化工業所主【出生】明治三十六年四月廿四日生茨城縣東茨城郡上野合村小幡一二五七【續柄】井上勝藏弟【學歷】水戸工業學校卒業【經歷事業】學校卒業後上京本鄕區駒込町尙工社に入社熱處理業修得の上退社獨立し大東社硬化工業所を創設し現今に至る事業は金屬熱處理、サントブラスト、燒入業【趣味】魚釣運動【宗教】日蓮宗【所稅】一五〇〇圓【營稅】六〇〇圓【家族】妻あい（明三八生）長女靜江（大正十二生高女卒）次女信子（昭元生高小卒）【住所】東京市蒲田區糀谷町五丁目一二五八（工場）東京市芝區金杉川口町二三【電話】三田一七一六

井上好德

【現職】奉天造兵所（株）理事【出生】明一〇・九東京市【續柄】舊山形藩士好敏三男【學歷】明三一東京高商卒【經歷】高商卒後直に三井物產に入り滿洲各地支店詰臺北支店次長を經て大正五年參事に任じ本社穀物部に勤務同十二年以來檢査員として內外各支店を巡視す昭和六年末同社を辭し翌年新設の奉天造兵所に入り會計課長を經て現職に就く【趣味】旅行【宗教】日蓮宗【所稅】二二〇圓【家族】妻千代（明一八生神奈川縣人馬場喜久松妹）【住所】東京市豐島區目白町二ノ一六五七【電話】牛込四〇七一

井上武吉

【現職】井上鋼商會主、鋼鐵商【出生】明二三・九【續柄】島根縣五一郎三男【學歷】松江高校卒【經歷】卒業後大阪東洋製鋼所東京支店長となり同支店閉鎖後獨立す現在資本四十萬圓使用人二十名輸入先は歐洲各地及內地一圓販路は內地及植民地なり年賣上高約百餘萬圓に上る【趣味】謠曲、スポーツ一般【宗教】神教【家族】妻恭子（明三八生）外一男一女【住所】東京市神田區東紺屋町五〇【電話】浪花一五五八・五〇九〇・五〇九一・五五五八（出張所）芝區高濱町七號【電話】三田二八二六

井上九一郎

【現職】警視廳健康保險理事、町會副會長、井上鐵工所（資）代表社員、鐵骨橋梁、土木建築、金物一般機械製作業【出生】明二一・七滋賀縣蒲生郡安土村【續柄】松藏長男【經歷】明治卅五年七月長崎三菱造船所に入り同卅八年五月辭去翌年七月鹿島組旅順出張所に入り同四十一年滿洲長春に於て獨立井上鐵工所を創む大正二年三月朝鮮黃道瑞興郡に移り同五年之を廢し鶴見造製所等に歲勤同十一年二月上京再じ井上鐵工所を開設昭和三年八月資本金五十萬圓の合資會社に改組す事業昭和十年度枝川町の新工場に電氣熔接機及リベッター、電氣ドリル、シヤーリングマシン等を設備し事變後滿洲北支に進出年產三千萬圓に達す【趣味】運動航空の研究【宗教】佛教【家族】長男九（海城中學在）【住所】東京市麴町區平河町一ノ一

井上宜文

【現職】勳六等、井上藥品部（資）代表社員、藥種商、農業、鑛山業【出生】明元・一一京都市【續柄】東京府武敬長男現戸主【學歷】京都府中學校を卒業して東都に遊學す【經歷】明治二十六年鐵道車輛製造業を開始し日本最所の京都電車を創作し續て名古屋豐洲大師京城の電車も其の手に收め又北海道廳鐵道部及其他の諸鐵道會社の車輛をも製造したため同二十八年第四回勸業博覽會審査官に任ず同三十二年渡韓し度量衡の純亂を匡正すべく法を改正するの議を韓國政府に建白し容るゝ所となり宮內府に平式院を置かれて之れに從事し全然我邦と出基本を同一に爲さしめ後農商

輪、前川製作所各(株)監査役【出生】明元・六岡山縣牛窓町【續柄】眞佐衞長男【學歷】明二一岡山縣師範學校卒【經歷】卒業後同縣訓導勝南高等小學校長東京赤坂小學校長等に歷任後守谷商會に入り九州支店長本店支配人を經て大正七年一月其株式改組と共に現職に就く【趣味】讀書、圍碁、旅行【宗教】神道【所稅】八七八圓【家族】妻しな(明三生廣島縣長寬四女)【住所】東京市大森區馬込町東一ノ一二一七【電話】大森三四四三

井上與三郎

【位階勳等】勳四等【現職】日本萬國博覽會參與、日本萬國博覽會協會監事東京鐵道局交通協議會委員、小運送業審查委員會委員、內務省都市研究會內帝都々市問題研究會特別委員、鐵道同志會理事、鐵道同志會評議員、警視廳石油消費委員會委員、山脇高等女學校顧問、京王電氣軌道(株)取締役會長、東洋鐵網製造相模瓦斯、中津川砂利、東都乘合自動車鳩ヶ谷自動車、愛國燃料機、京王砂利各(株)社長、東京高速鐵道、南武鐵道、日本人造羊毛、玉川製氷各、株多摩川水力、日本モータース工業、藤澤自動車、中野乘合自動車各(株)相談役【出生】安政六・六【續柄】神奈川縣愛甲郡三田村松羅長男現戶主【學歷】夙に上京して獨逸學を修め後明治法律學校を卒業す【經歷】少壯自由黨の鬪士として政治運動に身を投じ二十六歲にして神奈川縣會議員に列し累選三期に及べり次で實業界に入り初め橫濱鐵工會社理事となりしが明治二十三年十二月日本絹綿紡績會社の經營困難に陷るに際し其支配人に就任し克く其社運を輓回す此間蠶繭解舒液絹絲紡績用原料精練法等を發明し特許權を獲たり現在の富士瓦斯紡績會社保土ヶ谷工場は同社の後身なり明治三十四年和田豐治の招聘を受け富士瓦斯紡績に入り工場長を經て商務部長となり兼ねて上毛撚絲會社顧問たり此間屢々支那及印度に航して蠶絲絹織物棉花絹綿絲布の對外貿易を研究し幾多の特許權を得後年富士絹を創製して我國の紡績發達史上顯著なる功績を貽せり後玉川電氣鐵道會社取締役兼支配人に就任次で大正四年六月京王電氣軌道會社專務取締役に擧げられ現に其會長たり傍ら前揭其他多數公私の要職に在り明治四十五年衆議院議員に當選昭和三年實業功勞者として藍綬褒章を又紺綬褒章を下賜せらる【趣味】刀劍【所稅】五三二五圓【家族】妻トヨ(萬延元生神奈川縣高井岡

井上篤太郎

事三年此間屢々英佛獨を始め中央亞細亞ベルシヤ、トルコ、ロシヤ、バルカン諸邦をも漫遊同三十六年十月歸朝同三十七年二月遞信省の囑託により京城に駐在特別任務に服す同三十八年朝鮮政府に聘せられ財務官宮內書記官等に歷任す同四十三年第二次世界周遊後專ら南洋の富源開發に力を注ぎ株式會社南亞公司を起して專務取締役となり大正十三年海外興業株式會社を創立して各社長となり昭和六年二月東洋拓殖株式會社常務顧問に推さる又曾て朝鮮日日新聞社長たりし事あり大正十三年兵庫縣第一區より衆議院議員に當選す「支那論」其他著書十數種あり【功賞】韓國在官當時勳三等八卦章勳四等大極章を贈らる昭和大典に當り功勞者として內務大臣より又昭和八年渡伯移民二十五周年に當り拓務大臣より各表彰せらる【所稅】八三三〇圓【家族】妻秀子(明八生養父藤兵衞長女日本女子大學校長、櫻風會長、文檢委員、家庭科學研究所長、婦人平和協會、大日本女子青年團、大日本婦人聯合會、婦人同志會各理事)長男陽一(明四五生東大卒三菱商事カルカッタ支店駐在)【住所】東京市豐島區目白三ノ三五五三【電話】大塚三六一七

三三女)長男正幹(明一三生東大應用化學科卒東洋鐵網製造會社專務)及其妻子其他【住所】東京市澁谷區代々木本町七八八【電話】四谷七七八〇

井上雅二

【現職】日伯中央協會、海外協會中央會、日蘭協會各副會長、南洋協會相談役、人口問題研究會、東亞同文會海外移住組合聯合會、日土協會、日墨協會、八紘學園、辛未同志會各常務理事又理事、日本國際協會、日本經濟委員會、國際植民協會、暹羅協會、同仁會、東洋協會、ヒリッピン協會、日秘協會、日希協會、日瑞協會、日濠協會、新西蘭協會、海軍協會、大日本回教協會、東亞振興會、ラテン亞米利加協會各評議員、文部省實業振興中央會委員、海外高等實務學校、海外植民學校各校長、昭和護謨(株)取締役、東洋拓殖(株)常務顧問【出生】明九・六兵庫縣氷上郡神樂村【續柄】足立多兵衞二男井上藤兵衞養子現戶主【學歷】攻玉社を經て明治廿五年海軍兵學校に入り同廿七年退學同卅七年早大卒業【經歷】明治二十八年十月陸軍通譯官として渡臺次で支那各地を巡遊して歸朝し早大卒業後東亞同文會幹事として再び渡支同三十四年渡歐ウイン及ベルリン大學に植民地及經濟學を專攻する

井澤恒吉

【現職】東京合金鑄造工業組合理事、井澤合金鑄造所(資)代表社員、鑄物製造並加工一式【出生】明三五・一【續柄】神奈川縣幸太郎二男【經歷】夙に上京鈴木鑄鐵工場に入りて現業を研鑽し昭和二年獨立開業同八年現組織に改め同十二年七月五萬圓に增資同年十月機械加工々場を增築機械器具を整備せり【事業】扱品自動車船舶用氣化器バルブコック類年產六萬六千貫年商約五十萬圓【趣味】銃獵、讀書【宗教】佛教【所稅】一五〇〇圓【營稅】三〇〇圓【家族】父幸太郎(文久元生現戶主)妻親子(明四一生神奈川縣河野金之助長女)長男照明(昭五生)外四女【住所】井澤合金鑄造所)東京市品川區東品川四ノ七五【電話】高輪八三九七・〇七五九

井田幸治

【現職】石川芝浦タービン、奉天製作所各(株)取締役、芝浦製作所(株)商事部長兼參事【出生】明一八・一一神戶市【續柄】幸介二男【學歷】明三七神戶商業卒【經歷】直に三井物產株式會社に入り木材部に勤務後芝浦製作所に轉じ營業部長を經て現職に就く【趣味】運動【宗教】眞宗【所稅】三一六六圓【家族】妻いと(明二一生新潟縣丸田治太郎長女日本女子大學卒)嗣子幸一(大四

生慶大卒）【住所】東京市淀橋區西大久保一ノ四〇二【電話】四谷四四八二

井川ヨシ

【現職】井川商店（株）社長、貿易商【出生】明一一・三【續柄】島根縣千代太郎長女、昭八相續【經歷事業】明三十二年山口縣防府町の末富啓之進に嫁し四十一年南米秘露に渡航苦心慘憺商業を營む大正十三年故ありて離別歸朝後獨力現地に貿易商を起し株式組織に改め其の社長に就任今日に及ぶ【宗教】眞宗【所稅】三〇〇〇圓【家族】長女節子（大一〇生）【住所】横濱市中區本牧荒井一八【電話】本局二五六五

井坂孝

【位階勳等】正六位勳六等【現職】東京瓦斯株式會社社長【出生】明治二年十二月【續柄】茨城縣士族【學歷】東大英法科【經歷事業】日本商工會議所副會頭、横濱商工會議所副會頭、横濱取引所理事長【趣味】園藝【住所】東京市芝區高輪南町五三

今泉嘉一郎

【位階勳等】從四位勳三等【現職】工學博士、工業品規格統一調査會、製鐵事業委員會各委員、社團法人鐵鋼聯盟理事、日本鐵鋼協會名譽會員、ルクセンブルグ太公國名譽總領事、日本鋼管（株）顧問取締役兼技術研究部長、南洋鐵鑛（株）取締役、日滿鋼管（株）監査役【出生】慶應三・六【續柄】群馬縣常子長男相續【學歷】明二五東大工科卒【經歷】直に任農商務省技師試補次で獨逸に留學ファライベルグ鑛山大學及伯林鑛山大學に學び明治二十九年製鐵所技師に任じ同三十年歸朝工務部長代理を命ぜられ製鐵所の建設起工を指揮す同三十四年製鋼部長として作業を開始し同三十六年鋼材部長に任じ次で工務部長を兼任す同三十九年勅任技師となり明治四十三年退官同四十五年學友白石元次郎氏協力の下に日本鋼管會社を創立し取締役兼技師長として爾來二十有八年以來揭諸會社の外曩に岸本製釘所、日本エナメル、大嶋製鋼所、大日本自動車、電氣製鐵所、中央製鐵、帝國人造肥料等の諸會社創立に盡力し重役として其創業を助成したるもの尠からず又明治二十七年以來我國製鐵業の爲め歐米各國を視察する事前後七回大正四年二月工學博士の學位を授與せらる明治三十七八年戰役の功に依り敍勳三等賜旭日中綬章又昭和九年ルクセンブルグ太公國よりコンマンデール勳章を昭和十三年獨逸ヒットラー總統より後株式會社日立製作所に於て十三年餘り年推されて衆議院議員に當選任期中塙國維納に開催の第十九回萬國議員總會に日本帝國議會代表派出議員團長として參列せる外帝國經濟會議、臨時財政經濟調査會、度量衡改正委員會等の委員に任命さる【趣味】ゴルフ、圍碁、讀書【宗教】禪宗【所稅】二五〇三〇圓【家族】妻マリー（明二四生勳四等プロスペル・フック三女學習院女學部卒）長男嘉秋（明三〇生農業大學卒）外子女多し【住所】東京市澁谷區穩田一ノ四【電話】青山八二三〇

今泉忠彥

【公職】財團法人武藏高等工科學校機械工學科教授【現職】株式會社六王製作所代表取締役（水力機械設計製作）東京第一ポンプ製造工業組合員【出生】明治二十五年四月十二日生名古屋市【續柄】光太郎長男【學歷】舊東京高等工業學校附設工業教員養成所機械工學科本科大正五年卒業【經歷事業】神奈川縣立工業學校教諭在職

工業所（水力機の設計製作指導）を藏前工業會舘内に開業昭和十二年末現蒲田區矢口町に六王製作所（水力機械の設計製作）を開設自營昨年末株式會社に組織變更今日に及ぶ【趣味】登山、音樂【宗教】禪宗【所稅】五五〇〇【營稅】八〇〇【家族】妻絢子。長男忠太（大十四生早稻田中學三年）長女和子（昭元生）市立目黑高女一年）次男忠（昭昭七生永田町小學校二年）【住所】東京市赤坂區表町三丁目二十六番地【電話】赤坂（48）三一五六

今井直城

【現職】日本水產株取締役【出生】明一九・七【續柄】東京府直江長男大二相續【學歷】明四一東京商船機關科卒【經歷】夙に郵船會社東京石川島造船所、日本トロール株式會社、日本捕鯨共同漁業各會社常務取締役、蓬萊水產、博多トロール、蓬萊漁業公司、豐洋漁業、南米水產各會社取締役、日本捕鯨會社取締役、共同漁業株式會社取締役等に歷任、昭和十一年九月現職に就く【所稅】一五〇九圓【家族】母ひさ子（明元生山口縣士族丸山良信二女）妻ヒサ子（明二六生東京府人山本庫吉長女）長男直哉（大八生）外一男一女【住所】東京市世田谷區野澤町一ノ二三【電話】世田谷二二三四【現職】今井ハンドル製作所主、自動車及自轉車部分品製造業【出生】明二四千葉縣【續柄】菊松長男【學歷】築地工手學校卒【經歷】卒業後海軍造兵廠に勤務大正八年今井ハンドル製作所を設立す爾來發展現在販路は內地、朝鮮、臺灣、滿洲等に及び製品の優秀を稱さる【趣味】讀書【宗教】淨土眞宗【所稅】八五〇〇圓【家族】はな子（明三三生千葉縣花澤道郎妹）嗣子秀壽（昭七生）外一女【住所】東京市城東區龜戶一ノ六九【電話】墨田三〇五一

今井弘壽

【現職】大倉商事株取締役、中央工業（株）會長、北京麥酒（株）取締役、日本曹達、大倉銃砲店各監査【出生】長野縣諏訪郡、兼助長男【學歷】明治四十三年東大工學部機械科卒後大學院に學ぶ【經歷事業】大學卒業と同時に大倉組技師、早稻田大學講師等を經て大正五年大倉商事紐育支店長となり後監査役大倉鑛業取締役に歷任す【趣味】旅行、讀書【宗教】佛教【家族】妻信子、長男兼一郎外三男【住所】東京市麻布區新龍土町六【電話】赤坂二六八九

今井文平

【現職】正五位勳三等、在鄉海軍機關大佐、理研アルマイト工業（株）東京工場長【出生】明二二・九【續柄】群馬縣嘉造四男【學歷】明四四機關學校卒【經歷】夙に足柄、長門各艦機關長、横須賀防備戰隊機關長等に歷補昭和十二年海軍機關大佐に陞る曾て日獨戰役に從軍す退役後理研アルマイト工業株式會社東京工場長に就任す【所稅】一九五圓【家族】壽子（明三二生群馬縣井上浦造長女桐生高女卒）長男鎭雄（大一〇生青山學院中學在）外三男二女【住所】東京市世田谷區玉川等々力町二ノ四七〇【電話】田園調布二七五六

今泉平吉

【現職】今泉電機器具商會店主【出生】群馬縣山田郡【續柄】平民【學歷】鄉里中學卒【經歷事業】昭和三年同町に獨立電機器具一般部分品商を設立す【趣味】釣【家族】妻、子供五人【住所】東京市淀橋區上落合二ノ六六五

今泉隆藏

【現職】株式會社目黑計器製作所專務取締役【出生】明治十九年一月二十三日生【學歷】日本女子大學英文科卒業【經歷事業】昭和七年東京市品川區上大崎に工場を設立し精密國產メーターの研究試作を始む昭和八年東京市麹町區內幸町大阪ビル第二百十五號室に資本金拾萬圓也の合資會社目黑計器工場を設立す昭和十一年東京市蒲田區下丸子町六十一番地に工場を新設し移

今岡ウタヨ

轉擴張をなす昭和十二年資本金五拾萬圓也の株式會社に組織變更をなし稱號を株式會社日黑計器製作所と改稱す昭和十三年五月工場を增築し設備擴張をなす【趣味】スポーツ【住所】東京市本鄉區駒込追分町三〇【電話】小石川(85)四六四六

今村久義

【現職】日本電機產業(株)社長、日本精器(株)取締役、今村電氣(株)監査役【出生】明二三・一〇【續柄】山梨縣義一郎三男【學歷】錦城中學卒【經歷】實兄に就きて電器器具販賣業を實習後神田區仲猿樂町に獨立昭和九年今村電氣株式會社を設立社長たりしが同十二年監査役となる【趣味】旅行、觀劇【宗教】日蓮宗【所稅】三二六圓【家族】妻いそ(明二三生山梨縣北村爲十郎三女)長男久茂(大四生慶大卒)外數子【住所】東京市世田ヶ谷區北澤町二ノ三一【電話】世田ヶ谷三〇〇二

入谷春彥

【現職】淺野セメント(株)理事【出生】明一二・四三重縣田丸町【續柄】中村寬夫四男同縣正養子【學歷】明三六京大機械工學科卒【經歷】明治四十年淺野セメントに入り累進中央研究所技術部機械課長となり昭和八年末同社系土佐セメント常務取締選任同十三年夏淺野セメントに復歸す【趣味】讀書、旅行【宗教】神道【家族】養母まつ(萬延元生)妻とし(明二一生東京府小池惠吉妹日女大家政科修)長男正也(明四二生慶大經濟學部卒、淺野セメント北海道工場勤)同妻千壽子(大四生東京府藤好南海生二女)其一女及二男三女【住所】東京市淀橋區西大久保一ノ三八九【電話】四谷一〇七四

入澤萬吉

【現職】共同石炭株式會社常務取締役【出生】明治三十四年高知【學歷】慶應大學卒業【經歷事業】直ちに同社に入り今日に及ぶ【趣味】ゴルフ、乘馬

入交太兵衛

【位階勳等】勳四等【現職】日本海員救濟會理事長、倉田重工業、青木運送各(株)取締役【出生】慶應二・一一月靜岡縣【續柄】入澤萬吉長男現戶主【經歷事業】明治十八年日本郵船會社に入り船員たること多年累進して船長の要職に在ること十八年其の時伏見丸船長たること五年勳功章を授けられ又日清戰爭の功により勳四等に叙せらる大正九年同社を辭し日本海員救濟會理事にあげらる【趣味】讀書、將棋【宗教】日蓮宗【所稅】五九二圓【家族】妻カノ(明八生石田彌一郎女)長男俊作(明四三明大法科卒)長女イヨ、二女カネは嫁す【住所】橫濱市中區本牧町四ノ一〇七二【電話】本局四一二九番

岩崎大次郎

【現職】橫河橋梁製作所(株)奉天出張所長【出生】明一八・三【續柄】京都府子爵川村景敏弟工學博士彥松養子明四四相續【學歷】明四一京大工科土木科卒【經歷】卒業後鐵道院技師アメリカン・ブリッヂ・コンパニー橫河橋梁製作所大阪工場技師長取締役東京工場長兼任、日本蓄音機商會取締役兼川崎工場長等に歷任後橫河橋梁製作所に復歸す【趣味】尺八、園藝【宗教】禪宗【家族】妻晴子(明二〇生東京山內堤雲四女)男信彥(明四二生)【住所】東京市目黑區下目黑四ノ九九三【電話】大崎九五〇・(橫河橋梁製作所奉天出張所)奉天市八幡町二【電話】長春日六一八九

岩崎盾夫

【現職】日本機械製造工業組合聯合會理事、橫濱川崎製鐵鍛造工業組合理事長、神奈川縣鐵工製品工業組合聯合會理事長、二葉製作所(株)社長、服部製作所(株)常務取締役【出生】神奈川縣由次郎三男【經歷事業】夙に實業界に投じ各種の事業に關係現に昭和十三年十二月自ら中心となつて創立せる二葉製作所社長たる外上掲各會社の重役として夫々經營に關與す【趣味】茶道

義太夫、繪畫【家族】妻ゆう子外二男一女【住所】本鄉區湯島三組町三六【電話】下谷四〇七三

岩山虎雄

【現職】富士航空計器(株)取締役【出生】明三三・五岩手縣一ノ關町【續柄】士族清野知直二男岩山家を相續【學歷】大三九大電氣工學科卒【經歷】直にシーメンス・シュッケルト電氣會社門司支店に入り次で桑野電機製作所東京電機工業會社等に歷勤す大正十一年再びシーメンス・シュッケルト電氣會社に入社翌十二年同社營業を主體とする富士電機製造會社創立と共に其營業部員となり當時全く顧みられざりし自働交換式電話の普及に努力す其間東京大阪各營業所の係長を歷任昭和十年富士電機の電話事業を分離して新に富士通信機製造會社の創立せらるゝに及び同社營業全班を主宰し社礎を確立すると共に自働交換電話の普及に多大の貢獻をなせり昭和十二年富士電機の事業擴張に伴ひ同社弱電部長となり精密機器の製作に努力更に同十三年二月同社の子會社富士航空計器會社の設立と同時に其取締役に就任す【趣味】庭球、將棋、讀書【宗教】曹洞宗【所稅】四三四圓【家族】妻いま(明二六生東京府古仁所豐妹東洋高女卒)長男隆一(大七生北大農學部在)外一男一女【住所】東京市豐島區巢鴨三ノ三〇【電話】大塚六五三六

岩瀨英一郎

【續柄】神奈川縣與之助三男昭三分家【學歷】大七慶大理財科卒【經歷】卒業後三井銀行に入り累進スラバヤ支店長紐育支店次長、同支店長等歷職昭和十二年六月三井系を代表して東京電燈株式會社に入社取締役を經て十三年七月現職に就く【家族】妻貞子(明三五生東京府谷八造妹御茶の水高女卒)長男敬一郎(昭一三生)外二女【住所】東京市大森區北千束町六六三【電話】荏原二九三六

岩瀨亮

【位階勳等】勳四等【公職】衆議院議員(千葉縣第三區選出)立憲政友會所屬【現職】櫻組商事、櫻組工業、辰巳倉庫各(株)社長、樺太炭業、昭和炭業各(株)專務取締役、大江山ニッケル鑛業、昭和火藥各(株)取締役、森興業、朝鮮鑛業、昭和產業、日本電氣工業、昭和鑛業、寶城興業各(株)監査役【出生】明治三十一年十二月千葉縣興津町【續柄】元衆議院議員森轟昶弟定吉養子【學歷】東京植民貿易語學校卒【經歷事業】大正八年南洋新嘉坡に渡航しマ來半島トレンガヌ王國に於て煉瓦製造事業を經營す歸朝後櫻組工業株式會社に入社して東都實業界に第一歩を印し爾來實兄と相携へて着々事業界に亘歩を印し今日に及べり森コンツエルンの中樞人物たり一方昭和七年實兄政界引退の後を承けて鄉里千葉縣第三區より衆議院議員に當選し爾後累進今日に至る【趣味】圍碁、麻雀、將棋【宗教】日蓮宗【所稅】二九五四圓【家族】養父定吉、妻きみ子、長女千賀子【住所】東京市本鄉區菊坂町八六【電話】小石川二五二五

岩井豐治

【現職】國產電機、第二國產電機各(株)社長、日本橋梁、關西ペイント工業、昭和鑛業、寶城興業各(株)監査役【出生】明治三十一年十二月千葉縣興津町【續柄】元衆議院議員森轟昶弟定吉養子【學歷】明治四十四年東京高商卒業【經歷事業】高商卒業後直に大阪市の岩井商店に入り、大正元年同店が資本金二百萬圓の株式會社に改組せらるゝに及び其取締役支配人となり次で常務取締役に進む現在同店は資本金一千三百萬圓にして經營養弟雄二郎氏に委ね氏は單なる取締

役たり一方現に國產電機會社々長たる外頭揭諸職を兼ね至誠の士として知らる【所稅】六七〇三六圓【家族】妻ツミ、長男一郎外二男【住所】大阪市東區南久太郎町四ノ二九【電話】船場一九二七

岩井尊人

【現職】鴨川ニッケル(株)專務取締役【出生】明二五・六神武大帝の荒魂布都の魂石上神宮の氏子として奈良縣丹波市に生る【續柄】岩井尊美五男【學歷】大六東大英法科卒【經歷】直に三井物產入社倫敦支店詰として渡英滿支特產取引に當る事五年偶々英コートルド人絹社々業に着目し本社に進言して研究する事滿一年歸朝直に三井物產の子會社たる東洋レーヨン會社滋賀工場の創設を主掌し其竣成を待つて再度歐洲に出張す其後同社の南米營經に擢んぜられて三井を代表して訪伯經濟使節として渡伯す其間合成輕金屬工業の調査等幾多の土產を齎したり昭和十一年三月平生文部大臣の秘書官となり同十三年平生釟三郎、藤原銀次郎、中根貞彥等財界有力者の支持の下に鴨川ニッケル株式會社を設立し現に其專務取締役たり【趣味】ゴルフ、文藝、和歌、洋畫、彫刻等を好み文筆に長ず【宗教】天理教【家族】妻七子(明三三生)長女昭子(昭八生)【住所】東京市杉並區堀之內一ノ一九六【電話】中野四〇一二

岩井秀男

【位階勳等】正八位、在鄉陸軍步兵少尉 【現職】旭硝子(株)取締役【出生】明二四・三【續柄】高知縣人矢野初太郎男福藏養子【學歷】大三東大工科應用化學科卒【經歷】夙に旭硝子會社に入社技師牧山工場副長、尼崎工場副長、鶴見工場長、本社工務部長等に歷任昭和十二年現職に就く曩に歐米各國を視察す【宗教】神道【所稅】六九八八圓【家族】妻美惠(明三〇生山本秀樹女)長男津一(大八生甲南高校在)外一男【住所】東京市芝區高輪南町三〇【電話】高輪一二一一

岩田金之助

【現職】帝國毛絲紡績、岩友商店各(株)常務取締役【出生】明一七・二【續柄】東京府友右衞門弟因に岩田家は元愛知縣の出なり【經歷】夙に家業綿絲商に從事し株式會社岩友商店設立と共に常務取締役に就任更に昭和八年九月岩田家事業の一として帝國毛絲紡績株式會社を設立して之亦常務取締役に就任し以て今日に及べり【趣味】演劇、野球、書畫【宗教】眞宗【所稅】五一三八圓【家族】妻ひさ子(明二五生名古屋服部兵助四女)長男敏男(大五生成城高校卒)外數子【住所】東京市麻布區仲之町二四【電話】赤坂〇四六六

岩田喜雄

【現職】南洋栽培協會常務理事、熱帶農產(株)專務取締役、昭和護謨(株)常務取締役、南洋企業(株)取締役【出生】明二二・一一千葉縣【續柄】僖助二男大一四相續【學歷】明四五千葉高等園藝卒【經歷】夙に南洋に渡り南洋護謨南洋拓殖興業各株式會社に歷勤大正九年日東護謨會社常務取締役に就任在任十有餘年明治護謨工業會社常務取締役を兼ね昭和十二年六月昭和護謨常務に十三年十一月熱帶農產專務に就任す【趣味】ゴルフ、圍碁、園藝、テニス【宗教】佛教【所稅】一八二七六圓【家族】父僖助(嘉永四生)妻婉子(明三四生大分縣渡邊範七二女大分縣立第一高女卒)長女喜惠子(大一〇生精華高女在)外四女【住所】東京市荏原區小山町五〇二【電話】荏原三三二〇

岩楯林造

【現職】朝鮮皮革(株)取締役【出生】安政三・二【續柄】東京府士族吉二男明一六分家【經歷】夙に實業界の人となり各種事業に關與し漸次業界に於ける地歩を高め現に朝鮮皮革取締役たり【趣味】書道、讀書等【宗教】日蓮宗【所稅】一一六二圓【家族】養子銓三(明一一生東京府西田德三郎二男福島合名會社代表社員)同妻まつ子(明二二生東京府大西八五郎四女)【住所】東京市中野區昭和通二ノ三四【電話】中野三八六一

岩楯銓三

【現職】福島(名)代表社員、東京機械製作所(株)監査役、東京スレート(株)取締役【出生】明一一・一二東京府【續柄】西田德三郎二男【經歷事業】明治三十年二月福島合名會社に入り爾來勤續累進代表社員に就任す【趣味】書道、讀書【宗教】日蓮宗【所稅】二一〇昭和通二ノ三四【電話】中野三八六一

岩戸德之助

【現職】小原製作所營業部長、株式會社芳德商會專務取締役【出生】明治三三東京【學歷】海軍機關學校卒【經歷事業】昭和四年—昭和七年綿金鑄工所所主、昭和十二年小原製作所營業部長として入社、昭和十三年十二月右製作所營業部を株式會社芳德商會として創設同社專務取締役に就任【趣味】旅行【宗教】淨土宗【家族】妻、男子二【住所】川口市榮町三ノ一三一【電話】川口二八六一

岩城硝子株式會社

【現職】岩城硝子株式會社長、滿州岩城硝子株式會社社長【續柄】瀧次郎次男【學歷】米國オハイオ州大學工科卒【經歷事項】大正五年歸朝後日本工學工業技師となり大正九年岩城硝子製造株式會社專務に就任す昭和十三年九月滿州岩城硝子株式會社專務取締役に就任す【趣味】讀書、旅行【宗教】淨土眞宗【住所】東京市赤坂區新町五ノ一一

岩城倉之助

【現職】航空機自動車用精密螺子及び螺子製作用工具(ゲージ、タップ・ダイス類)製作販賣、物理化學實驗裝置設計製作業たる精興舍(東京市京橋區銀座西七ノ四)經營【出生】明治三十八年八月九日【學歷】藏前高等工業附屬工業學校大正十二年卒業【經歷事業】芝浦製作所、日立龜戸工場歷任大正十三年より三菱造船研究所に勤務昭和六年同研究所閉鎖と共に辭任昭和七年理化學研究所昭和九年理化學興業昭和十四年辭任現在の精興舍經營【趣味】カメラ【宗教】神道【家族】長男定男(五歲)長女和子(二歲)【住所】東京市本所區綠町二ノ六【電話】本所九六八一

市瀨康男

【現職】陸海軍規格ボールトナットリベット各種、鐵道纖山用ボールトナットリベット製作販賣市川鐵工所主【出生】明治三五・二群馬縣【經歷事業】大正六年兒玉治郎を援け株式會社市川鐵工所を創立昭和十三年迄同社の副社長の要職にあり昭和十三年十月現在の地に自力にて市川鐵工所を創設爾來業務益々繁忙にて各官衙指定工場と認定さる【趣味】旅行【家族】妻せん、男子一、女子二【住所】京橋區月島通三ノ十二、京橋區銀座三ノ三【電話】京橋九二〇二・二九八八・八五八

市川勇太郎

【現職】毛織工業(株)社長、濱信證券中央製糖、日東美唄炭鑛各(株)取締役、山一證券(株)監査役【出生】明一七・八松本市【續柄】量造長男明四一【經歷】量造は源義高にして伯父甲斐源氏駿河國信義公より市川氏を賜ふ先代量造松本市の發展に功あり【經歷】夙に第七十四國立銀行橫濱貯蓄銀行主任を經て橫濱米穀株式取引所仲買人たり後小池合資會社に入り山一合資會社出資

市川準一

【現職】大三工機社(東京市芝區今入町十一)經營、インダックス(專賣特許)バルブ、ヤスリ、バイト其他工具【出生】明治三十年十月【續柄】源三郎次男【學歷】同志社大學經濟學部大正八年卒業【經歷事業】對歐米輸出貿易、滿洲特產物の輸入商、次に昭和十三年大三工機社を創立、經營に當り現在に至る【宗教】淨土眞宗【住所】東京市赤坂區新町五ノ一一

藝卒東洋製罐勤）【住所】東京市豐島區高田本町一ノ三三三【電話】牛込五五三四

稻田勤

明治生命保險（株）本店主事兼近縣信越營業部長【出生】明三二・一一【續柄】舊山形水野藩士實長男明三六相續【學歷】大一一慶大理財科卒【經歷】直に明治生命保險入社人事課に勤務爾來累進して專務取締役秘書となり後業務調査課を擔任す此間社命によりてペンシルバニア大學院に學び卒業後同國及び歐洲諸國を遍歷して保險事業界の實狀を調査研究し歸朝後外務總務營業各部助役を歷任して現職に就く【趣味】スポーツ、尺八（號春童）書道（號竹雲）繪畫【宗教】眞宗【所稅】二〇三圓【家族】母老幸（明九生）妻繁子（明三八生東京府田島晴一郎妹女子英學塾高等部卒）長男敬（昭六生）二男詢（昭一一生）【住所】東京市芝區三田四國町一五【電話】三田三九七〇

稻川與一

【位階勳等】從四位勳三等在鄉海軍造機少將、【現職】松尾工場、大阪三和合金各（株）取締役、勝間計器製造（株）取締役【出生】明九・六【續柄】東京印刷（株）常務取締役、ダイヤモンド事業、日本手帳各（株）取締役【出生】明二二・二長野縣松本市【續柄】先代量造二男當家は甲斐源氏の正統後ち信州に移る先代明治五年松本市に新聞を創始後縣會議長たり【經歷】明治四十二年橫濱に於て藥種醫療機械卸商を創業大正八年橫濱油脂工業支配人たりしが震災後美術印刷入社累進昭和七年專務取締役となる同社は經濟雜誌ダイヤモンド社の姉妹會社にして多年都下印刷界の一權威たりしが同十四年三月東京印刷と合併し同時に其の常務取締役に就任す【趣味】繪畫、音樂等【所稅】一八七圓【家族】妻千枝（明三六生長野縣醫博木下哲妹）養嗣子正典（明四五生東京高等工業學校卒業）【住所】東京市大森區池上德持町四八六【電話】池上四五

稻川憲次

【現職】東京印刷工業組合常務理事、東京印刷（株）常務取締役、ダイヤモンド事業、日本手帳各（株）取締役【出生】明二二・二長野縣松本市【續柄】先代量造二男當家は甲斐源氏の正統後ち信州に移る先代明治五年松本市に新聞を創始後縣會議長たり【經歷】明治四十二年橫濱に於て藥種醫療機械卸商を創業大正八年橫濱油脂工業支配人たりしが震災後美術印刷入社累進昭和七年專務取締役となる同社は經濟雜誌ダイヤモンド社の姉妹會社にして多年都下印刷界の一權威たりしが同十四年三月東京印刷と合併し同時に其の常務取締役に就任す【趣味】繪畫、音樂等【所稅】一八七圓【家族】妻千枝（明三六生長野縣醫博木下哲妹）養嗣子正典（明四五生東京高等工業學校卒業）【住所】東京市大森區池上德持町四八六【電話】池上四五

稻田輝太郎

【位階勳等】正五位勳三等【現職】在鄉海軍機關大佐、東洋通信機（株）監査役【出生】三重縣長之助長男【學歷】大正三年海軍大學卒【經歷事業】累進大正十一年海軍機關大佐に任じ此間日進、和泉等の機關長に歷任退役後同十三年浦賀船渠囑託となり次で株式會社吉村商會顧問監査役を經て昭和十三年十一月現職に就く【趣味】運動、謠曲【宗教】禪宗【家族】妻鉞子、長男光外數子【住所】東京市世田谷上北澤町三ノ八九三【電話】世田谷三二四八

稻垣要一

【現職】朝霞伸管所支配人【經歷事業】朝霞伸管所今日の隆盛をもたらしめた功勞者として豐かなる體驗と古き製作歷史を有し天津より乞はれて同所に入り覇氣熱誠に富める事業的才腕所內外活躍を見せて居る【住所】埼玉縣北足立郡朝霞町一四二〇【電話】朝霞三四・四六

稻越房吉

【現職】株式會社双葉鑄造所社長【出生】明治三十六年【學歷】札幌工業學校機械科卒業【經歷事業】昭和七年三月創業逐年業務繁忙を加へ今日の大をなす敷地三千坪、建坪千坪に及び他に分工場を有し主要製品として工作機械鑄物、鑛山機械鑄物、理化學機械鑄物、高壓窒氣壓縮用三壓式汽筒、內燃機關部分品鑄物、バーライト鑄物、オーステナイト鑄物【家族】三人【住所】埼玉縣川口市橫曾根原十八番地【電話】川口三五三一・三〇九六・三二二九

稻川次郎

【現職】東京鐵工同業組合第二部長、同組合代議員、稻越鑄造所大岩鐵工所各（株）社長【出生】明一四・八【續柄】東京市金田直道四男石之助養子大九相續【經歷】明治二十八年日本鑄鐵會社鑄造部に勤務次で三宅鑄造所、汽車製造會社鑄物部、內務省土木工營所鑄物部等に歷勤し同四十年二月獨立鑄物工場を起し深川區猿江裏町を經て同四十三年現所に移轉大正十二年五月資本金二十萬圓の現組織に改組し社長に就任す現時尚上揭社長にして曩に旭製作所取締役鈴木工業所監査役等に就任す【趣味】將棋、謠曲【宗教】禪宗【所稅】一六四三圓【家族】妻せい子（明二一生東京中村佐兵衞三女）長男兼房（明三八生工手學校卒稻越鑄造所副社長）同妻まさ子（明四五生新潟縣川瀨文藏四女新潟高女卒）外一男三女養子及孫【住所】千葉縣市川市眞間五五【電話】市川一三七（稻越鑄造所）東京市城東區大島町二ノ五四【電話】本所三五三一・六三九一（第二工場）同町四八

稻野邊太郎

【現職】稻野邊工作所々主【出生】明治二十九年八月二十九日【學歷】水戶工業學校卒業【經歷事業】幼時より機械類の研究することが好で種々研究に專念したが今回現住所に工場を新築中なり【趣味】研究すること【宗教】神教【住所】東京市江戶川區西之江一ノ五七八

飯田延太郎

【現職】天寶山鑛業（株）副社長、北海道採炭、南滿洲太興各（株）取締役、南滿洲太興（名）社員【出生】明四二・九【續柄】福岡縣延太郎長男【學歷】昭七東大經濟學部卒【經歷】卒業後南滿洲太興合名會社有限社員となり昭和九年南滿洲太興株式會社設立取締役に就任す現時更に上揭重役たり【趣味】讀書、音樂、洋畫、スポーツ【宗教】佛教【家族】父延太郎（明六生）母ちよ子（明二一生）外一弟【住所】東京市麴町區三番町九ノ二【電話】九段〇二〇九

飯田久一郎

【現職】南滿洲太興、天寶山鑛業各（株）社長、北海道採炭、中日實業各（株）監査役、南滿洲太興（名）代表社員【出生】明六・五福岡縣嘉穗郡桂川村【續柄】久助長男明四五相續【學歷】明三一中央大學法律科卒【經歷】卒業後辯護士試驗に合格原嘉道博士の法律事務所に勤務せしが後鑛山業に轉じ北海道夕張登川鑛山、美唄炭鑛、南滿洲太興合名會社、中日合辦天寶山銀銅鑛、中日官商合辦老道溝煤鑛公司等を經營又圖們天圖兩鐵道を敷設經營昭和四年之を政府に賣却す又現在昭和製鋼所の經營に係る弓長嶺鐵山に氏が大正八年鑛業權を獲得せるもの尙往時より氏の手により經營を續けつゝありし東滿の天寶山鑛山は昭和十二年秋資金七百萬圓の株式組織と

なし金銀銅鉛亞鉛の大量產出に邁進す尙曩に有隣生命社長たる事多年に及ぶ【所稅】四一四二圓【家族】妻ちよ子（明二一生東京府士族加治嘉太郎妹）長男久一郎（明四二生）外一男【住所】東京市麴町區三番町九ノ一【電話】九段〇二〇九

飯山太平

【現職】日本油脂、朝鮮油脂各（株）取締役、日本フイッシュ・ミール統制販賣（株）專務取締役【出生】明二四・五【續柄】茨城縣人門太二男【學歷】大二農商務省水產講習所卒【經歷】直に同省水產局に入り後日本魚糧株式會社常務取締役、日本食料工業株式會社取締役等に歷任昭和十二年六月日本油脂成立と共に取締役に就任す曩に魚糧事業視察の爲外遊す【趣味】讀書【所稅】九三四一圓【家族】妻クラ子（明二九生茨城縣前田福次郎女茨城下館高女卒）長男仁平（昭七生）外一男四女【住所】東京市板橋區板橋町三ノ四三二【電話】大塚五四五七

飯野健次

【現職】飯野洋行（株）社長、昭和炭礦（株）專務取締役、伏木埋立土地（株）取締役【出生】明一七・七富山縣下新川郡荻生村【續柄】清太郎長男明四四相續【學歷】明治大學に學ぶ【經歷】夙に日露戰役に出征し勳八等を賜ふ凱旋後實業界に活躍し今日の地位を築く曩に飯野鑛業社長、樺太炭礦代表取締役大連株式商品取引所理事、大勢新聞主幹たり【趣味】讀書【宗教】佛教【家族】妻くに（明二五生東京府三橋榮太郎妹）長女昌子（大一一生）【住所】東京市豐島區駒込町一ノ八九【電話】大塚五二五三

飯高達夫

【現職】清水組（株）取締役兼營業部長【出生】明二二・三千葉山武郡豐海村【續柄】晋長男【學歷】明四三東京高工建築科卒【經歷】夙に工學博士辰野片岡建築事務所に入り設計並に現場監督等の實地を研鑽大正三年清水組に入社工事部工事係主任、工事部副部長、大阪支店長等に歷勤昭和十二年十一月株式に改組と共に現職に就く【趣味】旅行、讀書【宗教】日蓮宗【所稅】二九二三圓【家族】妻タケ（明二六生神奈川縣古谷善太郎長女成女高女卒）長男尙（大四生日大工學部在）外二男三女【住所】東京市澁谷區幡ヶ谷笹塚町一一一【電話】四谷三九三六

飯森梅男

【現職】日本火藥製造（株）取締役兼支配人兼總務部長兼爆藥部長、南滿タルク、朝鮮火藥製造、中外產業各（株）取締役、共和レザー、帝國染料製造日本針布、中外鑛業各（株）監査役【出生】明一六・二【續柄】石川縣陸軍步兵少佐則正二男明三一相續【學歷】明四〇京大法科卒【經歷】大正八年日本火藥製造會社支配人となり後現職の儘取締役に選任され現時尙上揭諸職を兼ぬ【趣味】果實及蔬菜栽培【宗教】禪宗【所稅】一八一四圓六【家族】妻道子（明二七生東京府坪野平太郎長女三輪田高女卒）長男正康（大九生武藏野高校在）外二男一女【住所】東京市淀橋區下落合二ノ六二五【電話】大塚三八六七

飯塚謙三

【現職】柏崎瓦斯專務取締役【出生】明一五・一〇【經歷事業】明治三十八年渡米羅府及桑港に於て發行する兩日米新聞社の總支配人となり傍らホーム洗染株式會社の專務取締役に就任し令名ありしが大正十四年歸朝後柏崎瓦斯會社專務取締役に就任し今日に至る【趣味】園藝【宗教】曹洞宗【家族】養父彥次郎、養母イワ、妻八重子【住所】本鄕區吉祥寺町二六【電話】小石川六三九〇

飯岡千勝

【現職】各種理化學機械製作販賣飯岡千勝製作所所主【出生】明治三八・三【續柄】戶主【經歷事業】日本アルマイト醫療機械工業株式會社に大正十二年—昭和八年迄技術部に於て理化學機械に付いて研究昭和八年現在の地に創業現在に至る【趣味】謠曲【宗教】

佛教【家族】妻芳枝、長女孝子【住所】本鄕區金助町【電話】小石川（85）二六四〇

磯村豐太郎

【位階勳等】勳三等【現職】貴族院議員貿易局顧問、人口食糧問題調査會、勞働保險調査會、重要產業統制委員會、中央防空委員會、特別都市計畫委員長、實業教育振興委員會、北海道拓殖計畫調査會各委員、濟生會、同潤會、啓成社、日本經濟聯盟、日本貿易協會、石炭鑛業聯合會、鑛山懇話會、日本鑛山協會、癌研究會、食糧研究會各理事、日本工業倶樂部理事長、交詢社常議員、東京商工會議所、日本貿易振興協議會、全國產業團體聯合會各顧問、セメント製造業改善委員會委員、慶應義塾大學評議員兼監事、國民工業學院理事、北海道炭礦汽船、日本製鋼所、輪西鑛山各（株）會長、日本製鐵、東京瓦斯各（株）取締役、日本發送電（株）監事、富士瓦斯紡績、夕張鐵道、室蘭電燈、北海道人造石油、昭和石炭各（株）相談役【出生】明元・一一【續柄】大分縣鴛二長男明一九相續【學歷】明二二慶大卒【經歷】夙に遞信大臣後藤象次郎伯の秘書官となる後暫く母校に教鞭を執り次で時事新報社記者、日本銀行、三井物產會社雜貨係主任、營業部長兼機械金物首部長、倫敦支店長等を經て大正二年北海道炭礦汽船會社の三井經營に移るに及んで其專務取締役に就任爾後之が經營に當る昭和四年七月實業功勞により貴族院議員に勅選さる【功賞】鄕里中津市に公會堂を建設寄附し紺綬褒章拜受【所稅】七七八〇三圓【家族】妻ヨネ子（明八年大分縣士族磯村眞五郎長女）養嗣子文雄（明四三生大分縣磯村盛彌二男）【住所】東京市世田谷區上馬三ノ九〇六【電話】世田谷三一八〇

磯崎種吉

【現職】磯崎木工所主【出生】明治卅八年九月十二日生【經歷事業】大正十五年獨力にて磯崎製箱所を創設爾來十餘年間に亘る氏の力闘にて現在分工場を四ヶ所設立（本鄕分工場、日暮里分工場、足柄分工場、小田原分工場）するに至たが更に今般新に荒川區三河島にベークライト加工所を增設した陸海軍納箱、捻型掘込、高級工具、精密機械收容木箱等軍民各方面に好評嘖々たり【趣味】讀書【家族】六人【住所】下谷區仲御徒町一ノ廿六【電話】下谷四三六九

磯貝波次郎

【現職】田島應用化工株式會社監査役【出生】明治二十四年七月生【學歷】群馬縣立中學校卒【經歷事業】田島應用化工株式會社に入社會計部長として會計部門擔當【趣味】圍碁【住所】東京市足立區小臺町六三三【電話】淺草（84）六七九七・五五一三

五十嵐虎五郎

【現職】五十嵐鐵工所所長【出生】明治二十一年七月三十日本所にて生る【學歷】東京府立實科工業學校【經歷事業】卒業後櫻田機械に入社し、大正二年獨立し現在に至る【趣味】書畫義太夫【家族】妻トメ、長男平次郎、次男和夫、長女チヨ、次女トモコ、三女久子【住所】蒲田區仲六鄕三ノ九【電話】蒲田三五六四

五十嵐小太郎

【現職】全國鋼材特約店聯合會理事長五十嵐商店、日本レール、粕川水電、鞍山鋼材各（株）社長、上毛電氣鐵道（株）專務取締役、日滿鋼管、電熔鋼業各（株）取締役、若松服部製作所（株）相談役、各種レール鐵道材料販賣業【出生】明一四・九東京市【續柄】甚平長男現戶主【學歷】富山中學卒【經歷】夙に上京明治四十年獨立して鐵道建設材料直輸入商五十嵐商店を開業し其後更に鐵道材料及び附屬品の製作業に進出し組織も合資會社を經て現在の株式會社に改む現に札幌、九州、若松に出店を有す傍ら餘力を以て大正二年日本レール會社を創立其社長に就任全國にレール配給の統制を圖り輸入品を防遏し更に昭和九

年滿洲國鞍山に鞍山鋼材會社を創立其社長に推され滿洲に於ける中型鋼材の生産工場を新設せり曾て三井物産の依頼を受け歐米各國を巡視する事二回【功賞】東京淺草本願寺境内に圓照寺を郷里高岡市に西光寺を建立寄附昭和元年紺綬褒章を賜ふ【趣味】美術音樂南畫歌道【宗教】眞宗【所税】四〇二三〇圓【家族】妻さを子(明一七生石川縣岡田半兵衞四女)長男榮一(明四一生宇都宮中卒)外一男及榮一の妻子【住所】(自宅)東京市品川區北品川三ノ一九四【電話】高輪五八〇〇(五十嵐商店)同市日本橋區江戸橋三ノ五【電話】日本橋〇二五七・〇二五八・〇二五九・〇二六〇

五十嵐竹次郎

【現職】東京ベアリング製作所主、五十嵐商店々主、ボールベアリング商【出生】明二四・七函館市外上磯町【續柄】梅松長男現戸主【經歴】夙に上京して日本精工會社に入社し大正八年其大阪支店主任に拔擢さる同九年圓滿同社を辭すると共に五十嵐商店と號してボールベアリング商を開業し現に東京ベアリング製作所を併せ經營す今や東都屈指の工具商を以て目され特に國産フレキシブル・ベアリングの發賣元として知られ三菱重工業、東京瓦斯電氣工業、池貝鐵工所、住友鑛業等の有力會社に納入せる外軍部關係工場よりも引續き用命を承け業態旺んなり尚氏は曩に東京自動車商組合副組長たりしことあり【趣味】乘馬旅行【所税】七八〇圓【營税】二三〇圓【家族】母ハッ子、妻ツミ子、長女シマ子【住所】(五十嵐商店)東京市京橋區銀座西五ノ五【電話】銀座五三五・五三六・四三八一(東京ベアリング製作所)東京市王子區稻付町二ノ一八一【電話】赤羽二一八一

諫早長三

【現職】日本鑛業(株)取締役兼査業部長、臺灣鑛業(株)取締役【出生】明一七・一一山口縣豐浦郡長府町【學歷】明三八大阪高工冶金科卒【經歷】直に農商務省に奉職し次で明治四十二年現社に入り累進査業部長となり昭和十二年現職の儘取締役に選任さる【所税】二〇九四四圓【住所】東京市牛込區矢來町二八【電話】牛込五二二五

一松政二

【現職】東京油脂(株)社長、中山製鋼所、日本炭業、江戸川石油、大日本化學機械、東京色素工業各(株)取締役【出生】明二六・九中津市【續柄】嘉藏二男昭八兄寛司方より分家【學歷】大五東京高商卒【經歷】直ちに久原鑛業會社に入社後日本鑛業會社に轉じ第三本科卒業及文部省實檢機械科合格す二十五歳より二十七歳迄荒川區日暮里關根鐵工所設計部入所二十八歳卽ち昭和十年十月日本鑛業を代表して中山製鋼所取締役に就任し現時尚前揭重役を兼ね瀰達宏量事業界一方の逸材たり【趣味】義太夫ゴルフ、尺八、圍碁、將棋【宗教】眞宗【所税】五四六八圓【家族】妻孝子(明三四生東京府與石和夫姉東京女學卒)嗣子榮(大九生早稻田第一高等學院理科在)外二男一女【住所】東京市麻布區本村町二二五【電話】三田二二三五

糸永文古

【現職】株式會社昭和化鑛機製作所社長朝日鋼材工業株式會社社長、朝日シヤッター株式會社社長【出生】明治二十一年二月十三日生【趣味】スポーツ、ゴルフ、コットウ【住所】東京市豐島區西巢鴨四丁目一八三番地

板矢長太郎

【出生】明治四十一年五月二十五日生【續柄】戸主【學歷】東京府立實科工業機械科第三本科卒及び文部省施行實業學校卒業程度檢定機械科合格【經歷事業】大正十三年(十七歳)鄉里岐阜縣より上京深川區石原町板矢鐵工所見習工として入所二十四歳迄技術を得其の內東京府立實科工業に入學第三本科卒業及文部省實檢機械科合格す二十五歳より二十七歳迄荒川區日暮里關根鐵工所設計部入所二十八歳卽ち昭和十

年三月深川區扇橋三ノ七に於て板矢精機製作所創立し爾來擴張に次ぐ擴張したが面積狹く依つて現在の葛飾區青砥町二丁目二九七番地に壹阡坪購入新築移轉せり(昭和十四年六月)因に同所は高速度精鐵機專門にして軍民各方面の註文殺到せり【趣味】旅行・カメラ・植木【宗教】佛教【所税】二百圓【營税】五百圓【家族】妻登代子廿四歳、長男一郎(二歳)、長女和子(五歳)【住所】東京市葛飾區青砥町二丁目二九七【電話】新宿五一本田〇五七八

石川一郎

【位階勳等】正七位【現職】日本曹達工業組合聯合會、日本重解曹達工業組合、臺灣化學工業代表取締役、過燐酸肥料製造業組合、鹽素聯合會各理事長、窒素協議會理事、日產化學工業(株)專務取締役、保土谷化學、東部硫酸販賣、晒粉販賣、關西硫酸各(株)會長、燐酸肥料配給、化學鹽業、大日本燐礦(株)社長、日東硫曹大阪アルカリ肥料、臺灣肥料、日本硫黃

う之部

內山復次

【現職】千代田精機株式會社、千代田被服工業株式會社各代表取締役、株式會社千住鉛工場取締役【出生】明治二十二年六月一日佐賀縣西松浦郡東山代村【學歷】東京高等商業學校【經歷事業】大日本製糖株式會社社員、東京鉛板株式會社支配人經歷【趣味】刀劍【宗教】神教【所税】拾萬圓【營税】參萬圓【家族】妻つや子(五十歳)長男道良(陸軍中尉二十七歳)【住所】東京市淀橋區西大久保一ノ四三九【電話】四谷〇二七〇

內海清

【位階勳等】從七位、【現職】東洋鐵網製造、富士川電力各(株)取締役、東京帝國大學、日本大學各講師【出生】明二三・一二鳥取縣【續柄】清太郎二男大一四相續【學歷】大四東大工科卒【經歷】大正五年任內務技師同八年電氣化學工業土木課長黑部川電力、越後電力各顧問技師歷勤後昭和八年東洋鐵網製造取締役に就任す【趣味】ゴルフ【宗教】禪宗【所税】二七八三圓【家族】妻滿津子(明三一生東京府安田登長女日本女大附屬高女卒)長女廣子(大七生府立第三高女卒)外二女【住所】東京市目黑區中目黑二ノ五八〇【電話】大崎一八一一

溫

內田慶三

【現職】日產自動車販賣(株)取締役ニッサン部長【出生】明二三・一〇靜岡縣【續柄】先代市郎左衞門三男分家【學歷】大二東京高工電氣機械科卒【經歷】卒業後シーメンスシュッケルト電氣入社次で三井物產に轉じ印度、漢口アメリカ各支店本店勤務、三昭自動車販賣部長歷勤後昭和八年日產自動車に入社す【趣味】ゴルフ【宗教】禪宗【所稅】六五〇圓【家族】智惠子(明二四生東京府山本庄兵衞三女共立女卒)長男豐治(大八生)外一男二女【住所】東京市世田谷區等々力二ノ五二〇【電話】田園調布三一三八

內山夏治

【現職】丸山製作所(株)社長【出生】明四四・五【續柄】東京府信治長男昭八相續【學歷】早大專門部商科卒【經歷】直に家業に從ひ昭和八年十二月先代の遺業を繼ぎ現に株式會社丸山製作所社長たり【事業】明治二十八年五月の創業現在資本金十五萬圓(拂込濟)消火器、湯沸器、噴霧器、醫療用消毒器、精密機械部分品、銅眞鍮板金加工一式を營業課目とし就中農業用動力噴霧器及移動式塗裝用噴霧器は優良國產品として多大の好評を博し年產額五十萬圓を下らず業績向上の一途にあり尙弘前市驛前東町通に販賣所を置き東北方面にも活躍す【趣味】寫眞、ゴルフ【宗教】淨土眞宗【住所】(營業所)東京市神田區鍛治町二丁目【電話】神田一三三一・一三三三(工場)同瀧野川區昭和町三ノ四六【電話】駒込一四三五

宇塚善司

【位階勳等】正八位【現職】在鄉陸軍步兵少尉、明治製菓(株)常務取締役【出生】明一七・六栃木縣上都賀郡清洲村【續柄】善四郎長男大三分家【學歷】明治四十年古河鑛業に入社足尾鑛業所會計課勤務となり翌年明治製糖に轉じ爾來調度課長、明治製菓練乳部長、同會計課長兼調度課長、同川崎工場長、明治商店取締役兼上關支店長等を經て昭和十二年現職に就任す【宗教】佛教 所稅】三一五二【家族】妻美智子(明二五生愛知縣今井讓長女青山學院卒)長男範吉(大九生東京府立第二中學卒)外一男四女【住所】東京市杉並區永福町一八【電話】松澤二四二七

宇津宮寬一

【現職】宇津宮鐵工所經營【出生】山口縣佐波郡西浦村明治廿一年九月【續柄】直吉長男【學歷】私立工手學校機械科卒【經歷事業】大正九年現營業開始現在に至る金屬板切斷機、其他板金加工用機械製作專業【趣味】旅行【宗教】基督教【所稅】二一六〇【營稅】一〇五〇【家族】妻明治廿五年十一月生、福岡縣宗像郡西鄉村三田高女卒【住所】東京市葛飾區龜有町三丁目四六三【電話】新宿二七四

宇都宮顯三

宇都宮電機製作所(株)專務取締役【出生】明二五・三松山市【續柄】正重郎長男【學歷】大五東京高工電氣科卒【經歷】卒業後芝浦製作所入社配電盤設計係となり發變電所關係並自動方式配電關係に從ふ事四年次で企業計畫係に轉じ工業電化に關する施設計畫を命ぜられ幾多電氣用品の改良新案に苦心せるが大正十三年一月獨立宇都宮電氣營業所を起し主として工業電化設備用機械器具設計製作、特許及實用新案に據る製作販賣に從事逐次に發展昭和十一年三月工學博士中原岩三郎氏を會長に推し株式に改組す【趣味】音樂、運動、旅行【家族】妻あや子【住所】東京市芝區三田四國町二ノ一【電話】三田三六六五

宇田龜代滿

【現職】日本紙業(株)常任監査役【出生】明一七・一二高知市【續柄】佐平長男大二相續【經歷事業】高知銀行爲替課長、土佐紙會社監査役を經て大正十五年現職に就任す【趣味】弓【宗教】基督教【所稅】六〇二圓【家族】長男俊雄(明三八生同志村大學法科卒)三女惠美子(大四生第三高女卒)【住所】東京市杉並區阿佐ヶ谷五ノ一二【電話】荻窪二六三一

宇野澤辰次

【現職】宇野澤組鐵工所專務取締役【出生】明治三十一年一月十一日【續柄】平民【學歷】大正二年早大理工學部機械科卒業【趣味】ゴルフ【宗教】曹洞宗【住所】東京市中野區櫻山町八【電話】中野二〇一六

【現職】神奈川縣多額納稅者、橫濱商工會議所常議員、絲價安定委員會委員、船舶管理委員會專門委員、日本貿易振興協議會常務理事、橫濱生絲問屋合會橫濱雜貨北米輸出組合、橫濱絹人絹輸出組合、神奈川縣輸出組合協會、日本絹紬輸出組合各理事長、橫濱自由通商協會各會長、全日本貿易聯盟會副會頭、商工組合中央金庫評議員、上甲貿易、橫濱代行、橫濱木材倉庫各(株)社長、矢野上甲(名)代表社員、朝日スレート(株)監査役、寶來護謨(株)相談役、橫濱取引所取引員組合委員長、上甲信弘商店主、橫濱取引所取引員、鹽絲貿易商【出生】明四・一愛媛縣吉田町【續柄】謙七長男明五相續【學歷】明二四・一高卒【經歷】直に南洋に渡航雜貨商を營み傍ら諸般の調査に從事し明治卅一年歸朝と共に現地に於て鹽絲貿易を開始明治卅八年矢野上甲合名會社を組織し大正二年橫濱取引所取引員となり同十年一月上甲貿易株式會社を創立す現時上揭諸職に在り【功賞】大正十二年紺綬褒章、昭和三年綠綬褒章各下賜其他受賞屢次【趣味】觀劇【宗教】眞言宗【所稅】二九五四三圓【營稅】二五九

上甲信弘

六圓【家族】妻つた(明八生群馬縣天野半次郎二女)長男久次郎(明三六生慶大經濟學部卒上甲貿易取締役)同妻政子(明四二生神奈川縣宇田喜太郎二女東京女學館卒)外二男三女並二男妻及孫二女【住所】橫濱市中區山手町一七一【電話】本局一太二二二・(店舖)同市中區南仲通三ノ三〇【電話】吳代表本局五七三一

上野康治郎

【現職】特殊鋼指定販賣人、磨帶鋼指定問屋、硬板指定問屋、中間鋼指定取扱店上野半兵衞商店主【出生】明治三十二年【經歷事業】明治十四年先代半兵衞氏の創立に係り先代の超人的な努力により業界に確固たる地盤を獲得更に現經營者上野康次郎氏の堅實にして時代に順應せる經營方針は圖に當り飛躍的發展を遂げ現在の年扱高五百萬圓を優に突破す【趣味】カメラ【住所】東京市神田區材木町十八【電話】浪花(67)自三四三〇至三四三二・一四八七・一四八八

上田源藏

【現職】日立電氣商會主【出生】明治四十年四月五日生【續柄】戶主【學歷】專修大學卒業【經歷事業】日立製作所龜戶工場及び泰東社並びに光明電氣に奉職後現在に至る【趣味】旅行【宗教】佛教【家族】妻滿江【住所】千葉縣市川

市八幡町西耕地一四五【電話】北八幡一一二、神田區旅籠町二ノ二十一番地【電話】下谷(83)九四四三・六四七六・八八〇六

【現職】植村科學研究所長、東寶映畫第一興行各(株)社長、寫眞化學工業(株)副社長、オリエンタル酵母工業(株)取締役【出生】明二九・八【續柄】東京府澁三郎二男【學歷】北大農業化學科卒【經歷事業】卒業後理研に入り後オリエンタル寫眞工業取締役なり昭和四年外遊同年オリエンタル酵母工業創立取締役となり七年六月寫眞化學研究所を創設す後東寶映畫社長となる昭和九年再度外遊す【趣味】野球、乘馬、ゴルフ【宗教】キリスト教【所稅】一一五七三圓【家族】妻まさ(明三一生東京府太田長佐次女東京女高師卒)長男泰一(昭九生)外五女 住所】東京市世田ヶ谷區成城町三〇【電話】砧三四四

植村泰二

【位階勳等】正四位勳四等子爵【公職】貴族院議員【現職】東亞高等鐵道學校長、滿洲バルプ工業、日本產金興業各(株)監査役【出生】明二〇、三【續柄】先代從二位子爵家壺三男大九襲爵【經歷事業】夙に鐵道省に奉職次で實業界に轉ず曩に日本金沓鑛業會社專務取締役たり昭和八年萬國議員商事會議並に列國議會同盟會議に貴族院代表として列席す【趣味】圍碁【宗教】天臺宗【家族】嗣子家隆(大九生學習院在)外一女【住所】東京市世田ヶ谷區池尻町二一三【電話】青山六九二〇

植村家治

【現職】商工省專門委員、日本スフ製造工業組合、日本スフ紡績工業組合監事、日本紡績(株)常務取締役、福島電燈(株)取締役、福島電氣鐵道(株)監査役【出生】明二〇・一長野縣忠兵衞長男【經歷】夙に片倉家に奉職し爾來精勵恪勤多年曩に日本紡績會社取締役兼福島工場長たりしが昭和十三年三月同社職制改正と共に現職に就く傍ら頭揚諸職を兼ね業界の代表人物として衆望を負ふ【趣味】和歌、書畫、登山等【宗教】佛教【所稅】三六〇〇圓【家族】父忠兵衞(安政五生)母リラ(元治元生長野縣士族稻垣正路姉)妻リク(明二七生福島縣熊田民之助叔母)嗣子博一(大七生)外數子【住所】東京市世田ヶ谷區代田二ノ一〇五八、【電話】大崎二四二四

井口千壽

【現職】八戸銀行(株)頭取、東信電氣扶桑紙業、旭電化工業各(株)取締役【出生】明二〇、三【續柄】先代從二位子爵家壺三男大九襲爵【經歷事業】夙に鐵道省に奉職次で實業界に轉ず曩に日本金沓鑛業會社專務取締役たり昭和八年萬國議員商事會議並に列國議會同盟會議に貴族院代表として列席す【趣味】圍碁【宗教】天臺宗【家族】嗣子家隆(大九生學習院在)外一女【住所】東京市世田ヶ谷區池尻町二一三【電話】青山六九二〇

田篠治

【現職】商工省專門委員、日本スフ製造工業組合、日本スフ紡績工業組合監事、日本紡績(株)常務取締役、福島電燈(株)取締役兼經理部長昭和四年外遊同年オリエンタル酵母工業創立取締役となり七年六月寫眞化學研究所を創設す後東寶映畫社長となる昭和九年再度外遊す【趣味】野球、乘馬、ゴルフ【宗教】キリスト教【所稅】一一五七三圓【家族】妻まさ(明三一生東京府太田長佐次女東京女高師卒)長男泰一(昭九生)外五女 住所】東京市世田ヶ谷區成城町三〇【電話】砧三四四

植村泰二

【位階勳等】正四位勳四等子爵【公職】貴族院議員【現職】東亞高等鐵道學校長、滿洲バルプ工業、日本產金興業各(株)監査役【出生】明二〇、三【續柄】先代從二位子爵家壺三男大九襲爵【經歷事業】夙に鐵道省に奉職次で實業界に轉ず曩に日本金沓鑛業會社專務取締役たり昭和八年萬國議員商

【所稅】五二〇圓【家族】長女禎子(大一二生)【住所】東京市目黑區中目黑三ノ一一九二【電話】大崎二四二四

浦山助太郎

【現職】八戸銀行(株)頭取、東信電氣扶桑紙業、旭電化工業各(株)取締役昭和肥料、姬川電力、犀川電力各(株)監査役【出生】慶應元・一〇【續柄】青森縣夏目彌平長男太郎兵衞養子大一一分家【學歷】明二〇明治義塾修【經歷】爾來青森縣農工銀行、東京市街鐵道、桂川電力、吾妻川電力、岩越電力各社創立に參畫す後上揭各現職に就く曩に東洋水力電氣社長、八戸水力電氣、秩父電氣工業各取締役、東信電氣常務、日本電氣工業監査役等たり大正十三年代議士に當選【功賞】昭九紺綬褒章下賜【趣味】書畫、碁【宗教】佛教【所稅】三一〇三六圓【家族】長男春雄(明四二生京大法科卒)外二男三女【住所】東京市小石川區水道町四五

浦山助太郎

【現職】浦田商店々主、三笠精螺株式會社取締役【出生】明治三十四年二月八日富山【經歷事業】夙に鋲、螺子界に蘊蓄を傾注、業績日々向上、昭和十四年七月右三笠精螺株式會社創立取締役となる【趣味】魚釣、スポーツ【宗教】眞宗【所稅】七五五【營稅】二三〇【家族】一女【住所】(自宅)埼玉縣浦和市高砂町四ノ一一八(事務所)京橋區京橋二ノ十一【電話】京橋(56)八七三七

浦田清二

【位階勳等】從三位勳一等【現職】在鄉陸軍中將、南鮮合同電氣(株)監査役【出生】明一三・七【續柄】信量長男大五相續【學歷】陸軍幼年學校及陸士卒業【經歷】明治三十四年陸軍騎兵少尉任官爾後累進昭和六年陸軍中將に任ぜらる其間大正三年獨逸及び瑞典に留學後丁抹各公使館附武官、騎兵第十八聯隊長、陸軍大學校兵學教官、陸軍騎兵學校長、騎兵第一旅團長、軍馬補充部本部長、第二十師團長等に歷補昭和十年三月豫備役被仰付後實業界に轉ず【趣味】謠曲【宗教】日蓮宗【所稅】一一六〇圓【家族】妻くに(明二三生東京府肥田金一郎妹女子美術學校卒)嗣子國夫(大元生會社員)外一男二女【住所】東京市淀橋區上落合一ノ五三二【電話】落合長崎三三〇九

梅崎延太郎

【現職】理研壓延工業(株)社長、理研重工業(株)取締役【出生】明治二七、九【續柄】福島縣景影三男眞田幸村の末裔【學歷】大六早大商科卒【經歷事業】東京電燈に入社後明治興業貿易商會社に轉ず、大正十一年明治貿易商會創立同十四年日暮里ゼンマイ工場を設立昭和十一年七月日暮里ゼンマイ工場及王子ロール東京鋸研究、大阪ロールの四社合併し日本鋼材工業(株)會社を設立社長就任【趣味】釣魚、哲學【所稅】八八七〇圓【家族】妻千代(明三〇生)長女幸子(大七生)外一女【住所】世田ヶ區船橋町一四三【電話】世田谷二七五〇

梅本元太郎

【現職】梅本鐵工所長【出生】東京府八王子明治三十八年十一月生【續柄】東京府平民【經歷事業】澁谷區長谷戸町小川機械製作所入社、昭和七年下谷區大門町に獨立豐島區池袋六丁目一在に至る【趣味】寫眞【宗教】佛教【家族】歌子(二十九年)子一男二女【住所】豐島區池袋六ノ一九三一【電話】(86)一二三二・六七七三

海野幸保

【現職】理研壓延工業(株)社長、理研重工業(株)取締役【出生】明治二七、九【續柄】福島縣景影三男眞田幸村の末裔【學歷】大六早大商科卒【經歷事業】東京電燈に入社後明治興業貿易商會社に轉ず、大正十一年明治貿易商會創立同十四年日暮里ゼンマイ工場を設立昭和十一年七月日暮里ゼンマイ工場及王子ロール東京鋸研究、大阪ロールの四社合併し日本鋼材工業(株)會社を設立社長就任【趣味】釣魚、哲學【所稅】八八七〇圓【家族】妻千代(明三〇生)長女幸子(大七生)外一女【住所】世田ヶ區船橋町一四三【電話】世田谷二七五〇

岡喜市

【現職】合資會社岡製作所代表社員【出生】明治廿九年四月十日【學歷】獨學力行【經歷事業】大正十二年、品川區五反田に微粉炭燃燒機、オートクレーブ粉碎機の製作を開始爾來十數年苦心研究成果報いられ昭和十二年工場移轉と同時に大擴張を斷行、現在職員徒弟員共で二百名を算す【功賞】溫厚篤實なため陪審員に選擧さる【趣味】釣【宗教】臨濟宗【家族】母一人、妻、子供共四人【住所】東京市品川區東品川四ノ

四四【電話】高輪(44)二六六九

瓜生喜三郎

【現職】經國聯盟理事長、日本大學財務員、修養團後援會常務委員、滿洲セメント、相互土地建物各(株)取締役、經國新聞社長【出生】明一八・一二【續柄】福島縣常松三男分家因に瓜生家は嵯峨源氏に發し瓜生保の末裔十四世重次は會津大守蒲生氏鄕に仕へしが天正十九年七月吉下邑に住す後吉志田村と改む重次二子あり直次隆直隆直新屋敷に住す爾來十二代を經て當主に至る實に遠祖保よりすれば二十七世を數ふ【學歷】明四五日大政治經濟科卒【經歷】澁澤子爵の推挽により實業界に身を投じ曩に東海窯業會社支配人兼東京出張所長、株式會社大木鐵工所取締役、相互土地建物會社長となり滿洲事變後日滿經濟開發の先驅として滿洲セメント會社を計畫し昭和九年創立以來同社取締役並に滿日合辦滿洲洋灰股份有限公司董事となる早くより道德政治經濟三位一體を力說し所謂三系統の協和哲理を主唱し經國聯盟を結成し修養團を援け其實現に努め又惟神の大道を奉じ禊の行を實修し天照殿を建設して政治家の修禊を力說し以て政治の淨化祭政一致の實を顯現せんと經國運動に餘念なし其著書に「永遠の光」「青淵餘香」「明るき世界の建設」「白色倫理運動の實際」「向上日記」「献歸十年」等あり【趣味】書畫、園藝、旅行【宗教】曹洞宗【家族】妻不二(明三〇生東京府城田駒次郎二女山脇高女卒)長男充(大七生日大在)外一男一女)【住所】東京市目黑區洗足一四七二【電話】荏原二八五一

鵜野正方

【位階勳等】正五位勳三等功五級【現職】在鄕海軍大佐、理研酒販賣常任監査役、理研電具、理研重工業、理研護謨工業各監査役【出生】明一四・一一熊本縣上益城郡飯野村【續柄】中根正武二男先代キクの入夫【學歷】明三五兵學校卒【經歷】大正十三年海軍大佐に陞り翌年豫備役被仰付其間横須賀鎭守府幕僚、軍事參議官海軍大將出羽重遠附副官、海軍々令部出仕、同參謀歷補職に理化學研究所主事たり【宗教】日蓮宗【所稅】一三二一圓【家族】妻キク(明二一生鈴木利亨長女)長男太郎(明四四生東京工大卒)外二男【住所】東京市芝區二本榎西町二【電話】高輪四〇八四

魚谷傳太郎

【現職】商工省財務管理委員會委員、富國工業、理研鋼材、理研壓延工業、理研輕合金各(株)監査役、理化學興業(株)監査課長【出生】明二六年九月【學歷】工手學校卒業【經歷】卒業後理化學研究所に勤務其の間特許權二十有餘を獲得昭和三年大森三丁目に、パルプ製造工場を設立、八年一月之を改組して日本パルプ製造會社を創立、その常務取締役となり十二年三月第二日本パルプ製造會社を設立翌年十一月之を合併引續き常務として今日に至る【功賞】昭和十三年三月帝國發明協會より大賞並に恩賜記念賞拜受【趣味】釣魚【家族】妻母きさ、妻雛子、長男一郎、外四男一女【住所】東京市大森區調布嶺一ノ四一〇

牛尾義方

大學卒【經歷】歸朝後東事務所に勤務昭和二年十一月理化學興業會社創立と共に入りて其監査課長に擧げられ今日に及ぶ尙現時理研財閥傘下の前揭諸會社監査役を兼ね各關係方面の信望頗る厚し著書「原價計算」「例解原價計算」あり【趣味】讀書、旅行等【宗教】淨土宗【所稅】四九四圓【家族】妻信子(明二七生桝本猛夫妹津山高女卒)嗣子眞善(大八生)外一男一女【住所】東京市杉並區下井草町二〇四【電話】荻窪四一三九

え之部

江口忠夫

【現職】江口商店主人、工作機械販賣業【經歷事業】十四年五日より獨立營業す【住所】日本橋區蠣殼町一ノ卅六忠勇ビル【電話】(66)六一八三

江頭剛

【公職】工場協會理事【現職】二葉製作所長【出生】佐賀縣佐賀市出明治十九年生【續柄】佐賀縣士民【學歷】藏前機械科專科出身【經歷事業】東京瓦斯入社三十六大正三年十一月一身上都合上退社、田中中金砲金工場池袋六丁目一九一八番地。現在の場所に工場經營し現在に至る【趣味】旅行、讀書【宗教】眞宗【家族】妻スミ、長男秀男(十八)【住所】豐島區池袋六ノ一九一一番地【電話大塚(86)一七一四・二八一〇

江澤謙二郎

【現職】日本ケネーザメタリコン工業所【出生】明治二十四年五月生【續柄】江澤富吉氏二男【學歷】東京高等商業學校卒業、スキス、チューリッヒ大學ウインセン氏に就て研究十ケ年【經歷事業】スキスより歸朝するや直ちに本邦最初のメタリニン研究所を設立した、其の發明にかゝる特許數だけでも三十餘氏の創立したる日本メタリニン工業所は昭和二年七月の創立にかゝり、資本金五十萬圓全額拂込濟であるが尙此の外に滿洲メタリニン工業所、新興メタリニン工作研究所等を經營し江澤氏は一人一業のモットウの下に始終一貫メタリニンの研究に捧ぐべくあらゆる困難を克服して日夜研鑽を續けて居る、其の眞摯なる態度は襟を正しふせしめるものがある【趣味】書畫、骨董【住所】赤坂區青山南町六ノ一一二【電話】青山五七七九

遠藤金線

【現職】金線編組業遠藤金線編組工場主【出生】明治廿六年一月七日山形縣南置賜郡南原村南原新町二八五五

藤助壽

【續柄】壽助長男【學歷】神田電機學校卒業後藤倉電線【經歷事業】學校卒業後藤倉電線株式會社に入社大正七年退社す後世田谷區東京イージー工業株式會社創立し大正十一年獨立して現在に至る【宗教】眞宗【所稅】二五〇〇【營稅】二〇〇【家族】妻その(明卅六生)長女幸子(大十三生澁谷女子商業卒)次女和子(大十四生)四女信子(昭五生)長男貞雄(昭十二生)【住所】世田谷區太子堂二三七

遠藤昻

【現職】日本染絨(株)常務取締役兼工場長【出生】明一三・二東京市芝區宇田川町【續柄】龍伯長男【學歷】明四二東大工科機械科卒【經歷】直に東洋紡織會社に入り同四十四年東京毛織會社に轉じ原料課長兼紡績課長、大阪大垣、大井、王子、南千住各工場長を歷任、昭和六年日本染絨會社常務取締役兼工場長に就任す會て農商務省關東都督府囑託たりし事あり尙曩に南アフリカ支那を視察す【趣味】寫眞旅行【宗教】禪宗【家族】母ユウ(安政二生)妻慶(明三一生千葉縣齋藤勝次郎五女)長男容弘(昭八生)長女安紀(昭一〇生)妹タマ(明一九生)【住所】東京市下谷區上野櫻木町三六岩機製作所を起し代表者となり今日に及ぶ【功賞】郡賞授與【趣味】釣音樂【宗教】曹洞宗【家族】妻ッタエ(二八)長女弘子(二)【住所】東京市本鄕區駒込神明町三三六【電話】駒込(82)一四七九

【電話】下谷六八六八

遠藤健三

【現職】岐阜商工會議所常議員、岐阜稅務署管內所得調査委員、エンド建築工務所(資)代表社員、木材商、土木建築請負業【出生】明三一・九【續柄】爲三郎長男【學歷】早大建築科卒【經歷】卒業後東京アメリカ屋に奉職數年後獨立現業を開始す曩に約一ケ年を費して歐米二十六ケ國殊に北極を視察す【事業】名古屋鐵道局岐阜建設事務所、福岡市役所、岐阜市簡易圖書館、富國人絹パルプ、岐阜縣廳、岐阜農工銀行、共同毛織、岐阜市役所、岐阜劇場、日本合金、日本鋼管、東京建設事務所、大日本活性炭等の諸建設工事を完成現に大藏省營膳管材局、鐵道、遞信省、陸海軍省、農林省指定請負人たり【趣味】書畫、野球(岐阜商業野球部後援會長)・ゴルフ【宗教】禪宗【所稅】二一一圓【家族】父爲三郎(明六生)母ふさよ(明一一生)妻道子(明三五生大分縣中妻佐作養子)【住所】岐阜市湊町電三二(事務所)同市上材木町【電話】五六四四、一七〇(支店)東京市京橋區京橋三ノ四福德ビル內【電話】京橋一八八

老原海

【現職】岐阜縣源藏長男【經歷】大正五年梁瀨自動車商會に入社同十年創業す曩に東京自動車商組合々庫業組合副組合長、東京自動車商組合名譽會計たり【事業】同所は國產フエンダーの始祖にして全國一圓及南洋に輸出各種展覽會受賞屢次現時工場五百餘坪、職工二百五十餘名本邦六大メーカーの一として業運隆々たり【所稅】三一〇七圓【營稅】五六八圓【家族】妻康子、長男彌太郎(大一二生)外一女【住所】東京市蒲田區羽田四七一(營業所)品川區南一〇【電話】羽田四七一(營業所)品川區南品川三ノ一五八九【電話】高輪四七〇

直太

【現職】東京瓦斯電氣工業(株)取締役兼造機部長、日本エヤーブレーキ、池田化學工業、東京機器工業各(株)取締役【出生】明一六・五【續柄】天阪府傳右衞門三男大六分家【學歷】明三九大阪高工卒【經歷】卒業後神戸川崎造船所鐵道省に歷勤次で米國留學歸朝後大阪汽車會社技師を經て大正七年東京瓦斯電氣工業に轉じ技師取締役兼技師長を經て取締役兼造機部長に就任し今日に及べり【趣味】讀書、運動【宗教】眞宗【所稅】四六八圓【家族】妻文子、明三五生金澤第一高女卒)男嘉一(大元生慶大法科卒)外數子【住所】東京市大森區山王二ノ一八二四【電話】大森五一六五

榮國嘉七

お(を)之部

太田一雄

【現職】太田フライス纏製作所主【出生】明治三十九年五月一日【續柄】東京府平民鈴太郎長男【學歷】昭和五年明治大學政治經濟學部卒業【經歷】事業亡父の創業にかゝはる工作機械製造業を繼承し今日に至る【趣味】讀書、音曲【宗教】淨土宗【所稅】八五五〇圓【家族】母てい、妻房子、長女滿喜子、次女和子、妹千鶴子【住所】東京市品川區大井南濱川町一七三六番地【電話】大森(06)五八一二

太田金吉

【現職】株式會社太田鐵工所社長【出生】明三十三・十二月二七日富山縣【經歷事業】大正十三年十月太田鐵工所を創立昭和十一年株式に組織現社長【趣味】角力【宗教】日蓮宗【家族】妻つぎ(明四十年五月)長男金一、次男三男【住所】東京市葛飾區上小松町二九六

太田祐雄

【現職】高速機關工業(株)取締役兼技術部長【出生】明一九・七茨城縣新治郡志筑村【經歷】明治四十年上京芝浦製作所に入る次で飛行機模型製作業自動車修繕業等に從事大正六年神田區柳原河岸に工場を移轉擴張其間小型發動機の發明を完成昭和四年同區東龍閑町に移り同八年以降右發動機の裝備の七五〇C・C四氣筒小型乘用車並に小型貨物車を發賣「オオタ」の商號を以て知られしが同十年九月其事業一切を現社に合併現職に就任す【趣味】園藝【所稅】一八二圓【家族】六人【住所】東京市芝區田町七ノ七

太田新吉

【現職】和泉商會支配人【出生】明治二十四年四月【經歷事業】大阪井上坩堝商會營業部長【趣味】讀書、旅行【家族】妻、子供二人【住所】東京市品川區南品川二丁目五三番地【電話】高輪(44)五四五番

太田啓次

【現職】第一徵兵保險、太藏實業、九州勸業各(株)社長、生命證券、留萠鐵道各(株)取締役【出生】明二六・八【續柄】貴族院議員太田清藏長男【學歷】大法科【經歷事業】後三井銀行に入り大正十年渡歐同十二年六月歸朝父の社長たる第一徵兵常務取締役兼庶務課長に就任副社長を經て昭和十一年十月社長となる【趣味】洋畫、登山【宗教】禪宗【所稅】三八三三九圓【家族】父清藏(文久三生現戶主)妻淑子(明三五生)長男新太郎(大一四生)外數子【住所】東京市澁谷區穩田三ノ一六四【電話】青山二六四

太田半六

【現職】東京瓦斯(株)常務取締役兼財務部長、日本バルブ製造、北海瓦斯各(株)社長、東京瓦斯副產、東洋耐火煉瓦、山川製藥各(株)取締役、中外鑛業、鶴見瓦斯、東京瓦斯化學工業(株)監査役、日本油脂、東京回漕各(株)相談役、太田(名)社長【出生】明治七年九月【續柄】滿直二男【學歷】東京專門學校政治經濟科卒【經歷事業】卒業後大藏省に勤務主稅局勤務退官後北海道炭礦汽船販賣主任となり爾後各事業に關係す尙家產保全機關として太田合名會社を創立し其の社長たり【趣味】運動、美術、事業【宗教】佛教【所稅】四五四六二圓【家族】妻光(明治一〇生)【住所】東京市麴町區富士見町二ノ五【電話】九段(33)〇二三八

【位階勳等】正四位勳三等男爵【現職】東京府多額納稅者、大倉組(名)頭取、帝國ホテル、赤倉觀光ホテル、大倉製糸工場、東海紙料、大倉スマトラ農場、鴨綠江製

糸、國際產業各(株)會長、日本電池日本皮革、汽車製造、大倉火災海上保險、秋田木材、新大阪ホテル各(株)取締役、宇治川電氣、朝鮮麥酒、日本製靴各(株)監査役、日本自動車、大阪殖産、東京寶塚劇(株)相談役【出生】明一五・六【經歷事業】昭和二年家督相續と共に諸事業を繼承し現時合名會社大倉組頭取たる外前掲諸會社重役たり昭和十二年國民使節として渡伊す【功賞】昭和三年紺綬褒章を又白耳義、諸威、伊太利、暹羅各國皇帝陛下より勳章を賜る【趣味】數學、圍碁【所稅】九二八一三七圓【家族】妻久美子(明二二生伯爵溝口直亮妹)男喜六郎【住所】麹町區二番町七二【電話】九段〇二二五

大倉喜七郎

【現職】日本放送協會評議員、日本ミシン、大和製油、大發商事各取締役社長【出生】明七・一一【學歷】明三三東大文科西洋史科卒【經歷事業】卒業後大倉組倫敦紐育各支店、大倉商事專務、大倉鑛業監査役等に歷任現時上掲會社長に就任曩に瓦斯發生器を創製次で島津製作所感應起電機を發明す、【趣味】謠曲散歩【宗教】眞宗【家族】妻子供女一人男一人【住所】東京市淀橋區下落合四ノ二〇九六【電話】大塚三五三一

大倉發身

【現職】東京菱油商會、菱油商事各(株)會長、日本電池(株)常務取締役、逸見製作所(株)常務取締役、共同酒造(株)取締役【出生】明二五・二東京市四谷區【續柄】東京府大塚氏男【學歷】大正六年東大法科政治科卒【經歷事業】卒業後大阪合同紡績に入社勤續十ヶ年昭和六年東京菱油商會創立と共に專務取締役に任ず【宗教】淨土宗【所稅】一〇四六六圓【家族】妻久子(明二九生京都府大倉恒吉長女京都府立第二高女卒)長男恭(大九生成蹊高校在)【住所】東京市中野區千光前町一四【電話】中野二六七七

大倉龜

【現職】東洋陶器、日本碍子、伊奈製陶各(株)社長、森村組(株)取締役、大華窯業經營者、大倉陶園主【出生】明八・二四【電話】三田二六三五

大倉和親

【現職】日本製鍊、日本化學工業各(株)常務取締役、磐城電氣、東洋電氣工業、鐵興社、昭和特殊製鋼、東部硫酸販賣、木戸川水力電氣、日本電化工業、横濱耐火煉瓦、北海電氣興業各(株)取締役【出生】明治二十一年新潟縣新井町【續柄】柳吉五男【學歷】明治四四年東大星學科卒大正三年同大學

大塚佐平

【現職】株式會社大塚製作所社長【出生】明治二十三年十一月十日【經歷事業】大塚寅松氏は東京計器株式會社技師長として敏腕を振ひ同社を圓滿退社後大正十二年大塚製作所を經營自動車部分品、航空部品製作を開始す昭和十一年株式會社(三十萬圓)に改組す同時に試驗機部を設け硬度計を製作好評を博す昭和十三年百萬圓に增資す同社タイヤーチエンは日滿支の全需要を獨占せんとしつゝあり【趣味】ゴルフ【家族】六名【住所】(本社)東京京橋(工場)瀧野川區西ヶ原町一三八八【電話】王子二三一一・二八九一・三三五四

大塚寅松

【現職】日本製鐵、日本化學工業各(株)常務取締役、磐城電氣、東洋電氣工業、鐵興社、昭和特殊製鋼、東部硫酸販賣、木戸川水力電氣、日本電化工業、横濱耐火煉瓦、北海電氣興業各(株)取締役【出生】明治二十一年新潟縣新井町【續柄】柳吉五男【學歷】明治四四年東大星學科卒大正三年同大學

電氣工學科卒【經歷事業】東京計器製作所技師としてスペリー式探照燈の製作を完成次いで大正九年日本製鍊會社に入り現に常務取締役たる傍ら頭掲諸社の取締役たり【趣味】スポーツ【宗教】淨土眞宗【所稅】二五一七圓【家族】妻廣子(明三一年生工學博士棚橋寅五郎長女)外一男一女【住所】東京市本鄕區駒込東片町一一〇【電話】小石川四六八六

大塚榮吉

【現職】大塚工場、ヤマトメタル商會、朝鮮砂金鑛業各(株)社長、南部鐵道大宮瓦斯、日本染絨各(株)取締役、石井鐵工所、東京芝浦電氣各(株)監査役、御嶽登山鐵道(株)顧問【出生】明治元年四月大垣市俵町【續柄】吉次郎長男【學歷】工手學校第一期卒【經歷事業】年少桑葉摘機を發明す二十歲上京三田農具製作所に勤務次で松井兵次郎工場技師長兼支配人たる事約十年此の間發明考案無數明治三十四年大塚工場を設立歐洲大戰時に長足の發展を遂げ大正七年四月之を株式會社となし社長に就任す各一流鑛山を始め廣汎なる販路を有し本邦最大の鑛山機械專門工場と稱さる【趣味】謠曲、仕舞、書道【所稅】三一九三三圓【家族】長男肇、同妻春子外【住所】東京市芝區三田豐岡町五八【電話】三田一六

【位階勳等】從五位勳四等【公職】貴族院議員、東京商工會議所顧問、日本工業俱樂部會長【現職】大橋本店(株)頭取、京城電機、大淀川水力電氣各(株)社長、日本硝子、大日本麥酒、臺灣電化各(株)會長、理化學興業東京電燈、三井信託、白木屋(株)取締役【出生】文久三・七【續柄】佐平長男【經歷事業】同人社に學び次で越佐毎日新聞を發刊明治廿年博文館を創立同卅四年亡父の遺志を繼承大橋圖書館を設立現に其の監事なり、更に大橋育英舍を設立衆議員議員市會議員に當選大正十五年貴族院議員に勅選さる【功賞】紺綬褒章同章飾版【趣味】將棋【宗教】眞言宗【所稅】二五二四二圓【家族】妻ます子(明一〇生)長男進一(明一八生)外【住所】東京市麹町區三番町二二ノ一三【電話】九段四二一一(2)

大橋新太郎

【現職】東亞纖維株式會社代表取締役日本紡毛株式會社專務役、日本更生纖維工業組合理事長【經歷事業】事務所淺草區雷門一ノ三【電話】(84)三一六〇・八一〇三【趣味】釣【住所】豐島區西巢鴨三ノ五五五【電話】(86)一〇三一

大橋傳右衛門

【位階勳等】從三位勳二等【公職】貴族院議員【現職】國際電氣通信(株)社長華北電信電話(株)監査役【出生】明一八・一二【續柄】富山縣八三郎長男【學歷】明四三東大法科政治科卒、高文合格【經歷事業】遞信省郵便貯金局事務官北海道遞信局副事務官、東京爲替貯金局副事務官、遞信書記官幷遞信大臣秘書官、大臣官房秘書課長、遞信省參事官、大臣官房文書課長遞信省郵務局長同省經理課長遞信次官更に法制局長官、內閣書記官長兼調査局長官、昭和十一年九月貴族院議員に勅選【家族】妻ちせ(明二五生)長男周治(大四生)外一男【住所】東京市小石川區林町九二【電話】大塚三五〇〇

大橋八郎

【現職】東京印刷(株)會長、日本書籍共同印刷、東京インキ、五庄堂證券印刷、大宮染工場、共同印刷製本部各(株)社長【出生】明八・八兵庫縣【續柄】森垣治右衞門四男佐平養子【經歷事業】義兄貴族院議員大橋新太郎を扶けて博文館の經營に當る明治三十一年博文館印刷所設立、大正十四年四月歐米視察歸朝後精美堂と博文館印刷所とを合併共同印刷株式會社を設立社長に就任【功賞】昭和八年十二月紺綬褒章拜受【趣味】讀書【所稅】四〇〇四四圓【家族】

大橋光吉

妻幸子(明一四生大橋新太郎妹)長男松雄(明三七生)外【住所】東京市小石川區久堅町七四【電話】小石川九三九

大河原芳五郎

【現職】大河原鐵工所經營主、鐵工業、【出生】明一四・三川崎市【續柄】神奈川縣大河原鐵五郎長男【經歷】明治二十一年上京某機械工場に入り激務の傍ら夜學校に通ふ後ち轉じて芝區國友工場に勤務せしが同三十九年四月獨立、芝區白金志田町に工場を設立し諸種の機械器具製作を開業し最近業務の發展に從ひ大森區なる現所に移轉擴張せり大河原鐵工所と稱し目下職工數十名を使用尚副業としてボールト螺子製作販賣に從事しつゝあり曩に志田町々會長東京市方面委員として功勞多く次で芝區會議員に當選す【趣味】圍碁【宗教】曹洞宗【所税】九六一圓【家族】母たけ(安政五生神奈川縣遠藤大藏長女)妻靜子(明二六生山口縣山本武吉四女)長男芳雄(大一一生)外一男二女【住所】東京市大森區桐里町六三五【電話】池上二三一(大河原鐵工所)同市大森區大森三ノ五〇(電話)大森六五五三(營業所)同市麻布區新廣尾町二ノ一〇六【電話】三田二三五七

【位階勳等】正三位勳三等子爵【公職】貴族院議員【現職】理化學研究所長、東京物理學校長、理化學興業、理研鍛造、理研金屬、理研重工業、理研壓延工業理研コランダム、理研ゴム工業、理研光學工業、理研鋼材、理研尼崎工場、理研自動車改造、理研製機、理研工作機械、日本空氣機械各株會長、理研電磁器(株)代表取締役、理研電具、日本マグネサイト化學工業各(株)取締役、理研輕合金、理研酒販賣、理研チヤック宮内製作所、滿洲特產工業、理研計器、東洋綴金具製作所(株)相談役、三興商會(株)顧問【出生】明一一・一二【續柄】子爵信好嚢子明四〇襲爵【學歷】明三六年東大造兵學科卒獨逸へ留學【經歷】東大卒業後同大學院に研究更に獨逸へ留學歸朝後東大助教授歷職大正三年工學博士號を受く同十四年退官後理化學研究所長就任後更に理化學興業會長就任今日に及ぶ現に理研ブロック總師として上揭諸職に在り【趣味】陶器【宗教】禪宗【所税】四三一五六圓【家族】妻一子(明九生先々代信古長女學習院女學部卒)嗣子信定(明四五生)外【住所】東京市下谷區谷中清水町一【電話】下谷四三七

大河内正敏

大久保忠雄

【現職】日本アルミナ工業株式會社庶務部長【出生】明治二十四年七月【學歷】法政大學中途退學【經歷事業】氏は事業家にして中外產業及礦山業に着手し狹氣の爲失敗し現在のアルミナ工業會社に入社し超人的活動を續けつゝある【趣味】讀書、郊外散歩(宗教)眞宗【住所】東京市日本橋區通り一ノ五(愛知ビル)【電話】日本橋(24)三七四三・四〇〇三

大久保麟之助

【現職】株式會社日本機械工具製作所專務取締役【學歷】橫濱高工機械科【經歷事業】東洋電機製造株式會社に學窓を出ると直ちに入社實際の製作研究にミッチリと沒頭すること六ヶ年此處に於て一步前進日立製作所龜戸工場に轉じ昭和十一年春同社を退社ここに獨立を決意株式會社日本機械工業製作所を開き現在に及ぶ【住所】城東區龜戸町三ノ二一三【電話】墨田(74)五六八六

大久保薫

【現職】東京府會副議長內務省防空委員會東京府補償審査會各委員松竹(株)取締役、淺草興行組合(株)專務取締役、淺草土地興行株常務取締役【出生】明一九・九茨城縣柿岡町【學歷】明四一日大法科卒【經歷】後日本新聞政治經濟部記者常盤興行常務取締役を經て松竹取締役に就任傍ら諸會社重役を兼め一方立憲政友會に所屬し政界に活躍す【趣味】俳句(號清泉)劍道【宗教】淨土宗【家族】母こう(安政六生)妻喜代子(明三〇生名古屋高女卒)長女和子【住所】東京市淺草區馬道三ノ四電根岸七六一

大久保源之丞

【現職】鐵工業【出生】明二・二【續柄】靜岡縣三枝八百太郎兼吉養子【學歷】大五中大卒【經歷】卒業後東京リベット株式會社に入り累進社長代理勤務たりしが同十二年現所に獨立す【事業】現在資本金十五萬圓高級ボールト・ナット・リベット・ワシヤー・ピンプシュ及是に從屬する火造及磨物製造販賣を營む海軍省指定たり【趣味】寫眞、園藝、大日本園藝普及會副會長城北園藝會長【宗教】佛教【所税】二四九八圓【營税】九二八圓【家族】妻こう(明三八生養父兼吉長女共立女子專門卒)長男富雄(大一四生)外二男一女【住所】東京市本鄕區駒込勸坂町一〇五【電話】駒込二五五二(工場)東京市向島區寺島町八ノ七四【電話】墨田四九六一

大久保繁

【現職】理研重工業(株)取締役、理研鍛造、東洋綴金具製作所各(株)監査役【出生】明一三・九長野縣上水內郡北小川村【續柄】仲之助二男【學歷】日大卒【經歷】卒業後中央新聞、萬朝報時事新報等歷勤曩に理研特許鐵鋼常務取締役たり昭和十三年十月現職に就く【趣味】和歌、盆栽【宗教】佛教【所税】六二六圓【家族】妻リヤウ(明二四生兵庫縣三木治平長女)嗣子孟(大一一生東京府立五中在)外一女【住所】東京市世田谷區北澤五ノ七七四【電話】松澤三一九〇

大久保朔

【現職】大川螺子製作所主【出生】明治二十八年十月靜岡縣【經歷事業】田岡工場、日本兵器工場に務む大正十三年獨立現地にて營業をはじむ【住所】東京市品川區大崎本町三ノ六二八【電話】大崎一〇六三

大川榮作

【現職】高千穗製機、大川農事、特殊繊維工業、壽土地建物各(株)社長、聯合紙器、大榮商會、日本物產取締役【出生】東京府大川平三郎長男【學歷】大正九年慶大卒【經歷事業】直ち大川田中事務所に入り同十五年樺太工業其他諸會社取締役を經て今日に至る【趣味】音樂、庭球【家族】妻長男榮一郎外【住所】東京市赤坂區新阪町一三【電話】赤坂〇六六八

大川義雄

【現職】高千穗製紙、特殊繊維工業各(株)副社長、南印繊維(株)代表取締役【出生】一八・六東京市下谷區【續柄】通久三男後大川家再興【學歷】東京物理學校に學ぶ【經歷事業】明治三十六年九州製紙に入社技術員として勤續二十年A模造薄模造等の製造に成功す後富士製紙江戸川工場長、臺灣紙業常務取締役兼技師長等に歷任後高千穗製紙副社長に就任此間歐米の製紙業を視察する事二回製紙パルプに關する特許三十數種を獲得す【趣味】寫眞、顯微鏡、大弓、自動車【宗教】淨土宗【所税】七九二圓【家族】妻トヨ子(明二八生東京府早川德太郎長女渡邊裁縫女學卒)長男理一郎(大七生桐生高校卒)外數子【住所】東京市向島區隅田町一ノ一三六九【電話】墨田八一八五

大島銑太郎

【現職】大島製作所(株)代表取締役、香取鐵工所(株)取締役【出生】明治二〇・八岡山市廣瀨町【續柄】彥三郎長男【學歷】明四二東京高工卒【經歷事業】初め久原日立鑛山に入り次で日立製作所設計部に轉ず更に明治四十五年久原鑛業佃製作所に轉じ機械製作の現場に出で自ら精密なる高級機

森二〇四六
【現職】株式會社大澤プレス製作所取締役社長【出生】明治二三・八福島縣白河町【趣味】音樂、茶道【宗教】日蓮宗【家族】妻、一男、二女【住所】東京市下谷區竹町十二番地【電話】下谷(83)四五七七

大澤常太郎

【現職】大康プレス重工業製作所所長【出生】明治三八年一二月三〇日【學歷】東京高工修業【趣味】旅行、音樂【宗教】日蓮宗【家族】妻、三男【住所】東京市本所區廐橋三ノ八【電話】墨田五一五

大澤康人

【現職】マスター・オブ・アーツ、日本紙業(株)常務取締役、四國銀行(株)取締役、土佐倉庫(株)監査役【出生】明三一相續【學歷】大五同志社大經濟科卒【經歷】更に米國に留學歸朝後母校講師たり後實業界に投じ土佐銀行頭取、四國銀行常務、土佐貯蓄銀行頭取及高知瓦斯會社其他諸會社の經營に關係せり【趣味】スポーツ【所稅】二五四五圓【家族】妻秋子(明三二生高知士族縣士屋可成二女)男順則(大一二生)外數子【住所】東京市世田谷區玉川田園調布二ノ六九六【電話】田園調布二八〇五

大脇順路

【現職】日本染料製造(株)東京出張所長【出生】明治二三・八福島縣白河町【續柄】源助二男分家【學歷】大三米澤高工卒【經歷】卒業後獨逸染料會社大阪砲兵工廠等に歷勤大正五年日本染料製造に轉じ累進現職に就く【趣味】旅行【宗教】禪宗【所稅】三九六圓【家族】妻マス子(明二九生栃木縣菊地欣之助妹宇都宮高女卒)長男懋(大一二生日本中學在)外數子【住所】東京市澁谷區幡ヶ谷笹塚町一三九二

高橋愿

【現職】松浦炭礦(株)常務取締役【出生】明一八・六滋賀縣東淺井郡大鄉村【續柄】德兵衞長男【學歷】明四二早大商科卒【經歷】卒業後滿鐵撫順炭販賣會社大阪支店長等に歷任後松浦炭礦常務に就任す【趣味】スキー、水泳【宗教】淨土宗【所稅】一三四三圓【家族】父德兵衞(安政二生現戶主)妻やす子(明二八生藤田重兵衞長女彥根高女卒)長男誠一(大四生京大法科卒日本通運大阪支部在勤)外數子【住所】大阪府濱寺町下石津諏訪森八五ノ五九【電話】濱寺二一七二・東京市牛込區市ヶ谷河田町八【電話】牛込六六三九

大森純一

【現職】本溪湖煤鐵公司(株)理事長、大倉事業、大倉鑛業、入山採炭、

械の製作に研究を重ねつゝありしが大正七年久原鑛業及日立製作所の兩者合併し株式會社日立製作所と組織變更さるゝに方り職を辭して同九年株式會社本城鐵工所に入り取締役兼技師長に就任す次で同十三年八月同社を辭し同十四年四月大島製作所を創立昭和二年工場を設け大型工作機械オイルバーナー瓦斯發生機械護謨製造機械を製作販賣し第二工場を近傍に建てしが昭和十二年十二月株式會社組織にし自ら代表取締役となる同十三年香取鐵工所取締役に就任す【趣味】讀書【家族】妻たま(明二七生神奈川縣井上喜代松五女平沼高女卒)長女芳子(大一三生府立第八高女在)外二女【住所】東京市大森區馬込町東四ノ四二四【電話】大森五三七二

大島孝吉

【現職】日本電器商事、鹿島汽船各(株)專務取締役、海南產業、南海食品各(株)取締役、大島商店主、貿易商【出生】明一七・四大阪市【續柄】幸七長男【經歷事業】夙に貿易商大島商店經營の傍ら諸事業に關係す【趣味】園藝【宗教】淨土宗【所稅】三五八五圓【家族】妻千代(明二六生廣島縣秋山勇之助三女)長男孝一(大二生慶大經濟學部卒神戶岩井商店勤務)外數子【住所】東京市品川區大井鹿島町三〇八二【電話】大

大崎新吉

西戶崎炭礦、中央自動車、南定炭鑛、本溪湖洋灰、本溪湖特殊鋼、三共自動車、丸の內ガラーデ各(株)取締役【出生】明二一・三【續柄】大阪府駒吉長男昭三相續【學歷】明四二東京高商卒【經歷】夙に實業界に投じ諸事業に關係し今日の地位を築く【趣味】讀書散策、盆栽【宗教】佛教【所稅】三六六圓【家族】妻チエ(明二八生島根縣石倉嘉太郎長女)嗣子安正(大九生)外數子【住所】東京市麴町區四番町一【電話】九段一三二七・滿洲國本溪湖煤鐵公司內

大來修治

【現職】日本氣化器製作所(株)取締役社長【出生】明一六・三松阪市【續柄】均長男【經歷事業】夙に操觚界に投じ東京人民新聞社を經て明治三十七年南勢新報社主筆となり日露戰役中渡滿遼東新報社に入り編輯長に就任次で取締役社長に進み爾後經營二十年昭和二年健康上之れを滿日に合併退社上京し悠々自適數年同七年現在を創立社長となり經營今日に至る【所稅】一〇〇七圓【家族】妻ハナ子(明二三生)長男修平(明四三生國大卒日本氣化器勤務)外二男【住所】東京市中野區櫻山町一三【電話】中野(38)三四六六
【現職】安田商事(株)專務取締役、東京建

大泉哲

物、第九八銀行、康德不動產、丸釘販賣所各(株)取締役【出生】宮城縣故政名四男【學歷】明治三十九年京大法科卒【經歷事業】大學卒業後安田銀行入り中村盛岡各支店長、大垣共立銀行取締役兼支配人、安田貯蓄銀行取締役、其他各銀行取締役を經て今日に至る【家族】妻はつ子、長男修一郎外二男二女【住所】東京市目黑區綠ヶ丘二二六八【電話】荏原三八六〇

大上五郎

【現職】高畑製作所々主、大上精機研究所々長【出生】明一七・一一・二五【經歷事業】吳海軍工廠を經て唐津製作所に勤務後大上齒切工場を創設昭和十年大上自動車部品研究所を設立昭和十二年高畑製作所改め現在に至る【所稅】三萬圓【家族】妻、三女【住所】東京市品川區大井城下町二七五二

大谷登

【位階勳等】勳六等【現職】日本郵船(株)社長、大日本航空、近海郵船各(株)會長、日清汽船、南洋海運、海外興業(株)取締役【出生】明七・三【續柄】福井縣麓長男【學歷】明二九東京商工卒【經歷事業】日本郵船入社海外各支店勤務大正十五年同社專務取締役昭和四年十一月副社長同十年十一月社長就任【所稅】六七一四〇圓【家族】妻タツ(明一八生)長男新一(大二生)外數子【住所】品川區上大崎長者丸二七五【電話】大崎一五八三

大竹定吉

【現職】機械工具金物商【出生】明二〇・一二【續柄】三郎兵衞長男【學歷】京華商業卒【經歷事業】卒業後岡原商店に勤務勤續十數年京橋區木挽町に營業所を設け獨立現業創始今日に至る【趣味】讀書【住所】麴町區三番町【電話】京橋一二五四

大野定雄

【現職】各種パッキング加工製造販賣革ベルト、加工品、携帶用電氣ブロアー、薪炭自動車發生爐用送風器各種工具販賣、株式會社西村製作所日本精密機械工業株式會社(各)監查役【出生】明二〇・一二生愛知縣名古屋市【續柄】東京府士族【學歷】明治大學【經歷事業】明治大學卒業後昭和六年五月迄東京火災保險株式會社昭和七年より昭和十二年迄醫療器製造販賣昭和十三年より現在の職に從事す【趣味】謠曲、野球【宗教】日蓮宗【家族】兩親は目下名古屋にて活躍中(舞踊界に於て)妻、長女(實踐女學校を卒業し目下三味線、日本舞踊)次男(明治學院中學部二年生)【住所】東京市品川區大井元芝町七七五大野商會【電

話高輪(44)一二七一

小野梧弐

【現職】日產自動車販賣株式會社常務取締役總務部長【出生】明二一・六・二〇生山口縣萩市【學歷】山口高等商業學校卒業(明治四十三年)【經歷事業】三井物產上海支店、中日實業株式會社、東洋造船鐵工會社(上海)取締役東西モーター株式會社取締役、昭和十年日產自動車株式會社に入り昭和十二年日產自動車販賣株式會社取締役總務部長となり昭和十四年五月常務取締役となり現在に至る【趣味】ゴルフ、圍碁、寫眞【宗教】禪宗【家族】妻悠(明治二十八年三月生東京市)【住所】東京市大森區田園調布一ノ一八六【電話】田調二七一六

小野義夫

【現職】ラサ工業株式會社、東洋人造肥料株式會社、昭和合成化學工業株式會社、ラサパルプ工業株式會社、各社取締役社長、日本鑿泉探鑛株式會社、高崎セロファン株式會社、晒粉販賣株式會社各社取締役、株式會社中山製鋼所、日本重化工業株式會社、國際信託株式會社各監査役【出生】明二三・一〇・二生大分縣【學歷】明治三十八年三月早稻田大學法科卒業【經歷事業】明治三十八年三月早稻田大學法科卒業後明治四十年古河鑛業株式會社に入社大正四年同社を代表し露都に派遣せられ歸朝後古河家經營に係る大阪製煉株式會社の重役に擧げらるる大正十一年當時社業不振のラサ島燐鑛株式會社に常務取締役として入社昭和四年代表取締役となる同時に本社を大阪に移し社業の挽回を圖り昭和九年取締役社長に就任し整理漸くなつて更生第一歩を踏出すに當り社名をラサ工業株式會社と變更し今日の發展の基礎を作れり現在ラサパルプ工業株式會社、昭和合成化學工業株式會社、國際信託株式會社、湯淺伸銅株式會社、會社中山製鋼所を初め數社の重役として活躍して居る【趣味】讀書、碁、【宗教】【家族】妻銳(明一四大分縣女日本女子大學家政科卒)養子嗣正(大四分家弟生長男早稻田大學商學部本科在學中)長女愛(明四十四佛英和高女專修科卒)【住所】東京市大森區北千束町六二五兵庫縣武庫郡精道村打出寺關地一番地芦屋三〇八六【電話】芦原(08)二〇一七

小野耕一

【公職】貴族院議員【現職】東京府多額納稅者、東洋機械、大日本航空工業、豐畑炭鑛、內外食品、開發營業、東洋鋼鈑、扶桑紙業、松菱殖產各(株)社長、日本觀光、大日本電力、京濱電力(株)取締役【出生】明一(大一一生)長男金雄【續柄】先代金六長男【學歷】更に佛國リオン大學に財政經濟學を修め、小野系諸種の事業管掌す【功賞】昭和三年六月紺綬褒章を賜ふ【家族】妻あさる(明二〇生)長男金雄(大一一生)外【住所】東京市麴町區飯田町一ノ二五【電話】九段二五三

小野繁

【現職】辰巳倉庫(株)社長、東洋高熱工業(株)取締役小野商店名代表社員【出生】明三二【續柄】田中豐藏三男小野陽之助養子【學歷】大一四京大經濟學部卒【經歷】夙に横濱倉庫に入社昭和八年小野商店及辰巳倉庫を創立同十二年辰巳倉庫を株式會社に改組す【趣味】碁旅行【宗教】遊行時宗【所稅】五一九圓【家族】妻正子(明三三生神戸高女卒)長男辰郎(昭三生)二男京治(昭六生【住所】東京市大森區入新井四ノ五九電大森五三四二・營業所横濱市鶴見區大黑町一三【電話】本局〇六二七・〇七四七・鶴見二四八一

小野隣

【現職】本社小川鐵工所相談役兼志村第二工場長【出生】明治二十九年七月千葉縣君津郡【續柄】千葉縣平民戸主長五郎三男【經歷事業】昭和十二年志村中臺三五八小川鐵工所志村第二工場を經營【宗教】眞言宗【家族】三人【住所】板橋區志村中臺三五八【電話】板橋一一五五

小川信太郎

【現職】東京商工會議所議員、自動車製造事業委員、中央自動車(株)社長日本自動車工業(株)會長、其他【出生】明二一・五【續柄】靜岡縣勝太郎弟【學歷】明四二大倉商業卒【經歷事業】卒業後大倉組に入り大正二年日本自動車に轉ず次で中央自動車を設立同十三年中央自動車株式會社と改組し社長となる【趣味】謠曲、ゴルフ【宗教】禪宗【所稅】四六六二圓【家族】妻あさ(明二五生靜岡縣松本初太郎長女)長男浩正(大五生)外數子【住所】東京市中野區中野驛前町三【電話】中野三八五〇

小川菊造

【現職】合名會社小川鐵工所長【出生】明治二五六千葉縣君津郡出身【續柄】千葉平民戸主長五郎二男【經歷事業】大正十年豐島區池袋一丁目六七二昭和十二年三月板橋區志村中臺三五八第二工場【趣味】登山【家族】七人二男四人女【住所】豐島區池袋町一丁目七六二番地【電話】大塚(83)一二三二・六七四三

小川勝康

【現職】日本藥業機械製作所主【出生】明治三十三年【續柄】平民【經歷事業】化學、製藥、石鹼、食料品、製劑、製造用諸機械、化粧品、塗料、製油、製糖用、眞空、蒸溜乾燥、眞空ポンプ、眞空濾過機、遠心分離機、壓濾機、特許磁器製三本ロール並ニ耐酸用各機械鐵槽、鐵塔輸送機其他、特殊工業機械設計製作【趣味】盆栽【家族】二人【住所】本所區龜澤町二ノ五【電話】スミタ(74)三六五〇

小川英太郎

【現職】小川鐵工所主【出生】明治三十八年六月廿日【續柄】元次郎長男【學歷】築地工手學校卒【經歷事業】明治四十二年一月以來ボール盤一貫作業父子三代にて今日の名聲を築く【趣味】寫眞撮影【宗教】禪宗【家族】十三人【住所】芝區白金志田町三〇【電話】高輪(44)五八六四

小川彌太郎

【現職】商工省專門委員、日本鋼材聯合會事務委員、社團法人鐵鋼聯盟常務委員、日本製鐵(株)囑託【出生】明二一・六【續柄】島根縣萬次郎長男【學歷】大五東大法科卒【經歷】直に渡邊商事參事營業部長となり千代田織物、東洋製油、第一電機各會社の重役を歷任大正九年汽車製造(大阪)に入り同社營業部長兼庶務課長に就任し次で昭和八年日本鋼材專務たり先に日曹製鋼(大島製鋼)專務取締役、服部製作所、日本ゴールドレッヂ、伊勢電氣鐵道、三島鑛山、丸一商會の各取締役に任ず【趣味】讀書、旅行【宗教】眞宗【所稅】二八一六圓【家族】妻眞佐子(明三一生群馬縣金子竹太郎長女桐生高女卒)嗣子透(大一一生成城學園在)外數子【住所】東京市世田谷區代田一ノ四一九【電話】世田谷三四四五

小川長春

【現職】東京府スフ織物工業組合理事大和毛織(株)專務取締役【出生】明一三新潟縣村松町【續柄】長忠二男明四〇分家祖父平次右衞門は村松藩の家老にて維新の際勤王を唱へて活躍す【學歷】明三九京都帝大法科獨法科卒【經歷】年少父を喪ひ母の手に鞠育せられ殊に縣產業界の恩人として德望篤かりし伯父本間新作に愛育さる帝大卒業後大和毛織會社創立に參畫し設立と共に入りて經營の衝に當り爾來漸次發展今日の大をなさしめたり現に專務取締役として依然全力を傾注せり【所稅】六二八九圓【家族】長男潤一(明四三生京大卒興銀勤務)外一男二女【住所】東京市芝區白金三光町二五七【電話】高輪七四八〇

小澤義一

【現職】內外商會(株)取締役、東邦採鑛、臺灣ゼニスパイプ、多々良製作所各(株)監査役【出生】明一七・六靜岡縣田方郡江間村【續柄】小澤民次郎長男【經歷】夙に大阪に出で片山肥料問屋に勤務後日本海上保險東洋海上保險會社を經て比律賓拓殖產業に入社比律賓群島馬尼剌へ渡航し歸京後新竹製糖會社東京出張所兼務同十三年赤司事務所に入り果進赤司鑛業深坂炭礦監査役となる後內外商會其他諸會社に關係す【趣味】園碁【宗教】眞宗【所稅】八六二圓【家族】母せん(慶應三生)妻かね(明三一生靜岡縣前島彌作長女)長女敏惠(昭四生)【住所】東京市杉並區井荻三ノ四〇【電話】荻窪四一一〇

小澤浩

【現職】東邦產金(株)專務取締役、黑部銅山開發(株)取締役、松本電機計器(株)監査役【出生】明七・一〇【續柄】山梨縣堀內左兵衞五男小澤家相續【學歷】明治二十八年早大卒【經歷】初め操觚界に活躍し大正六年實業界に轉じ諸種の事業に從事し昭和八年帝國產金興業會社を創立し更に東邦產金株式會社の創立せらるゝや其專務取締役に就任し現在に及ぶ【趣味】盆栽、骨董、書畫【宗教】基督教【家族】長男達郎(明四三生明治學院英文科卒)二女たつ子

小澤仁之甫

【現職】北樺太鑛業土威鑛業所長【出生】明治二十九年十二月【學歷】大正八年東京外語露語科卒【經歷事業】大正八年三月三菱商事に入社續いて三菱合資會社查業課に轉勤同十五年北樺太鑛業創立と共に入社調查課長庶務課長を經て現在に至る【趣味】スポーツ【宗教】佛教【住所】品川區大井原町五三二〇

小笠原貢橘

【現職】丸ノ內昭和ビル（日東化學工業KK）支配人兼營業部長【出生】明治三十六年東京市【學歷】明治四十二年東外語【經歷事業】大日本製糖【趣味】ゴルフ、讀書【住所】東京市品川區五反田六ノ四五九【電話】大崎一四七九【位階勳等】勳四等【公職】衆議院議員【現職】昭南鑛業(株)社長、松本喜三郎商店(株)取締役【出生】明一八・四【續柄】愛知縣長左衞門三男大八分家【學歷】明四四東大法科獨法科卒【經歷事業】卒業後臺灣銀行東京支店支配人兼同東支店支配人華南銀行調查業務審查第一課各課長に歷任【趣味】文學【宗教】眞宗【所稅】一六六四圓【家族】妻榮子（明二八生）長男康郎（大五生）外數子【住所】東京市豐島區池袋三ノ一五五七【電話】大塚四一五八

小笠原三九郎

【現職】昭和電力(株)專務取締役、加越鐵道、江ノ島電氣鐵道各(株)取締役【出生】明一二・一一【學歷】明三八慶應義塾理財科卒【經歷事業】在學中明治三七年米國萬國博覽會石川縣出品人代表として出席卒業後三井銀行に入り同四十二年歐洲へ出張同四十四年歸朝後各支店長を經て本店調查課長昭和六年昭和電力會社に轉ず【趣味】讀書、旅行【宗教】佛教【所稅】二〇五九圓【家族】妻ハナ(明一二生)長男信一（明四〇生立大商科卒東邦電力社員）同妻明子(明四三生)外孫【住所】神奈川縣鎌倉山住吉【電話】鎌倉一五五九

小原喜三郎

【現職】各種工作機械、土木鑛山機械製作小原製作所主、株式會社芳德商會社長【出生】明治三九川口市【學歷】海軍工機學校卒【經歷事業】大正九年現在の地にセーバー專門製作として創業昭和十年右の他旋盤ミーリング等に染手好調を見るや同十三年更に土木鑛山機械に進出川口市並木町に數千坪の工場擴張して飛躍的發展を遂ぐ【趣味】讀書【宗教】眞言宗【家族】父、妻、女子二【住所】川口市本町三ノ四三【電話】川口二六六八

小原得治

【現職】株式會社小原製作所取締役社長【出生】明治十四年十二月八日【續柄】小原又太郎長男【學歷】工業大學機械科卒業【經歷事業】大正六年創業合資會社として設立す昭和拾四年三月株式組織に變更し至今日【趣味】讀書【宗教】佛教【家族】妻外三人【住所】東京市牛込區市ヶ谷加賀町二ノ二四・東京市本所區江東橋四ノ二〇【電話】本所五四二

小原俊二

【現職】株式會社小原商店社長【出生】明治十六年【經歷事業】化學工業藥品商小原商店を創立し今日に至る【趣味】圍碁【住所】東京市小石川區關口町一九二・東京市日本橋區小舟町

【位階勳等】正四位勳三等、【現職】臺灣合同鳳梨(株)專務取締役【出生】明一九・七

小濱淨鑛

【續柄】神奈川縣三治郎四男兄泰次郎方より分家【學歷】明四五東大法科經濟學科卒【經歷】直に富山縣屬を拜命大正二年文官高等試驗に合格爾來富山縣氷見郡長、廣島兵庫各縣理事官、視學官內務書記官、衞生局保健課長等に歷任次で歐米各國に出張を命ぜられ歸朝後同十三年社會局事務官兼社會局書記官社會局福利課長となり次で福井縣知事に榮轉昭和七年臺灣總督府內務局長に轉任臨時國勢調查部副部長兼任す同十一年官を辭し翌十二年八月現職に就任【趣味】讀書、運動【宗教】淨土宗【家族】妻直子(明二九生島根縣天野千代丸長女)嗣子純孝（大五生臺北高商卒）長女清子(大八生)外四女【住所】橫濱市鶴見區東寺尾町一五七四【電話】鶴見三六〇五

小穴秀一

【現職】東京電氣組合長、東京電機工業組合聯合會理事長、東京府鐵鋼製品工業組合監事、早稻田大學講師、小穴製作所(株)社長、日本無線電信電話、日本炭酸瓦斯、日本味噌各(株)取締役【出生】明一四・四【續柄】長野縣人彌三郎二男【學歷】明三八東大電氣工學科卒【經歷】東京電力淺野セメント各會社技師を經て九州電燈鐵道株式會社技師長に聘せられ明治四十三年獨逸に留學し獨逸聯邦バーデン大公國カールスルー工科大學電氣科長アーノルド氏に就き具さに電氣機械器具製造法を研修し後ち英米佛等の各大工場に於て刻苦實習する事數ヶ年大正二年六月歸朝直ちに早稻田大學講師となる同三年二月電氣工場小穴製作所を開業後ち之を株式會社に改組し自ら社長に就任す大正十年七月歐洲大戰後の歐米電氣事業界を視察歸途アメリカを經て翌十一年四月歸朝せり【趣味】讀書野外運動【所稅】五七六八一圓【家族】母もと(安政六年長野縣丸山圓衞三女)妻しづ(明二一生東京府中村清藏三女日本高女卒)二男秀治(明四四生日大卒)外數子【住所】東京市淺草區橋場町二ノ五ノ七【電話】淺草六〇〇八

小關良平

【現職】天日本鑛業(株)常務取締役【出生】明二三・四山形縣東田郡川手向村【續柄】傳八郎長男大一四相續【學歷】大六東大法科經濟科卒【經歷】直に住友製鋼所入所販賣主任となり同十四年住友合資に轉じ東京販賣店勤務副支配人を經て住友別子鑛山支配人兼新居濱製作所長に任じ後現職に就く昭和三年商工業視察の爲歐米に航す工業俱樂部、電氣俱樂部會員たり

【趣味】蹴球、庭球【宗教】淨土宗【所稅】三六七五圓【家族】母忠(明二生)妻勝子(明二八生山形縣國井彦十姉奈良女高師卒)長男皓平【明元生】外【住所】東京市澁谷區原宿三ノ二二四【電話】青山六〇九

小高丑男

【現職】小高製作所所主、株式會社小高機械製作所專務取締役【出生】千葉縣江隅郡古里村【續柄】平民【經歷事業】小學校卒業と共に機械工となり十六歳の年に職長となり大正七年一月廿四歳の春工作機械に着手し大正十二年一月南千住工場より現在に移り現在の盛大を迎へたり【功賞】千葉縣下の小學校に六千圓寄附す【宗教】眞言宗【家族】妻シン、長女敏江、次女サワ、長男正雄【住所】東京市荒川區尾久町六丁目六二〇【電話】下谷七八一一

小屋夏吉

【現職】安立電氣(株)社長、東北金屬工業(株)取締役、弘電社(株)監査役【出生】明一九・九大分縣中山香町【續柄】精吾二男大八分家【學歷】明四五日大卒【經歷事業】卒業後帝國電球中國電球營業部長を經て弘電社支配人となり昭和六年監査役、同年安立電氣專務に同十三年十二月社長に就任【趣味】圍碁【宗教】神道【所稅】七〇二三圓【家族】妻たい(明一五生)【住所】東京市澁谷區長谷戸町四九【電話】澁谷三六一

小津和平

【現職】東京自動車商組合副組合長、松永商店、目黒ボデイ製作所、三和產業、東京メーター製造各(株)社長【出生】明二三・一一桑名市矢田町【續柄】竹内彌右衞門五男秀祐養子【經歷事業】大正五年日露貿易會社を創立大阪、ハルピン、モスコーに營業所を置き活躍露國革命後內地に引上大正十二年六月松永商店の改組に際し取締役に就任昭和四年九月社長に就任【趣味】ゴルフ、書畫【所稅】二八一二圓【家族】養父秀祐(文久三生現戸主)妻玉枝(明二五生)長女まさ子(大八生)外數子【住所】東京市品川區大井康塚町四七六一【電話】大森四二四〇

岡和一

【現職】萩森炭礦(株)社長、宇部セメント製造、宇部窒素工業、朝鮮セメント、安豐鑛業各(株)取締役、宇部鑛業日本發動機油各(株)相談役【出生】明六・六山口縣船木町【續柄】山口縣治助二男明二三相續【學歷】明治法律學校中退【經歷事業】明大中退後父祖の遺業たる石炭の採掘に從事後德山に到り生絲製造業、海陸貨物運輸人夫供給請負業、船舶業等を經營傍ら東西石油長岡天然瓦斯各取締役たり後鈴木商店に入り次で帝國石油專務、出羽石油專務、旭石油專務、長門起業炭礦專務、宇部鑛業產業、東京自動車商組合副組合長、宇部鑛業會社等に歷任す【趣味】書畫、骨董、園藝【宗教】禪宗【所稅】六三〇九圓【家族】妻キイ子(明二七生東京府北村寅吉長女【住所】東京市赤坂區仲ノ町二二【電話】赤坂二六六一

岡崎久次郎

【現職】岡崎機械製作所主、旋盤製作專門【出生】明治二九・四札幌市【續柄】國治二男【經歷事業】幼兒より辛酸を嘗め十九歳上京二十二歳獨立現業を創立從來は英式六呎旋盤專門製作たりしも時局に鑑み從來の全齒車式旋盤の缺點を補足せる理想的精密高級旋盤製作【宗教】日蓮宗【家族】妻りうの他長男瑞夫(昭和九生)外一女【住所】東京市葛飾區掘切六二〇

岡崎峻

【位階勳等】勳四等【公職】衆議院議員(神奈川縣第三區選出)【現職】大日本機械工業、日米商店、マキ自動車製造大日本工作機製造各(株)社長、昭和絹靴下、東海鑛業、北海水力電氣各(株)取締役【出生】明七・一神奈川縣【續柄】東京府安之助長男【學歷】明二二東京高商卒【經歷事業】直に三井物產入社後日米商店創立、明治三十四年以降外遊十數回、大正四年世界大戰中、帝國議會を代表して英國に使す憲政會創立者【功賞】紺綬褒章下賜【趣味】野球競馬、寫眞【宗教】禪宗【所稅】七五一三九圓【家族】妻ふさ(明九年東京府守安瀧次郎姉)長男俊郎(明三三生ハワイ大學卒、日米商店取締)同妻斐子(明三五生千葉縣伊藤善吉從妹)外【住所】芝區白金今里町七七【電話】高輪一四一〇

岡田與吉

【公職】東京ネームプレート工業組合理事【現職】岡田ネームプレート製作所所主【出生】明治參拾五年五月四日生【經歷事業】橫田ネームプレート製作所に勤務、昭和拾貳年拾月現在地に獨立營業すネームプレート組合組織す【趣味】旅行【家族】妻千鶴子【住所】東京市澁谷區下通リ五ノ一九【電話】高輪(44)六七三一

岡田吉大

【現職】東洋ファイバー(株)取締役兼營業部長、帝國堅紙(株)常務取締役【出生】明二五・一〇京都市【續柄】滋賀縣小八郎五男家は祖先玄慶卿(寶曆十三年九月卒)より歷代江州八幡に住す先代は貿易界先覺者【學歷】八幡商業卒【經歷事業】卒業後株式會社岡田商店取締役となり桑港支店長として在任八年歸朝後帝國堅紙入社昭和五年現職に就く【趣味】謠曲、圍碁、寫眞【宗教】眞宗【所稅】二二八六圓【家族】妻東子(明三三生岐阜縣中川了介妹中津川高女卒)長男敬三(大一三生)外數子【住所】東京市澁谷區代々木初臺町五三六【電話】四谷九九七

岡田壯四郎

【現職】日新染布、日本高振電氣興業各(株)社長、日清紡績(株)取締役、昭和人絹(株)監査役、南洋貿易(株)相談役【出生】明一〇・九【續柄】栃木縣小倉憲信四男正次郎養子【經歷事業】實業界に入り南洋貿易、東京摩耶モスリン紡績、七尾セメント各社に關係す【宗教】淨土宗【所稅】二六二九五圓【家族】妻ふじ(明一二生)長男正衞(明三九生)【住所】東京市豐島區巢鴨二〇七【電話】大塚一四七三

岡田顯三

【現職】藤倉電線(株)常務取締役、藤倉工業、巴川製紙所、弘電社、三弘各(株)取締役、南千住製作所、日本鑄鋼所取締役【出生】明七・一栃木縣安蘇郡植野村【續柄】半平長男明三九相續家累代名主【經歷】十一歳上京叔父善八經營の藤倉電線工場に入る後斯業研究の爲め米國に航し滯在約五ヶ年叔父の物故するに及び同工場を同族と共に合名組織に改め明治四十三年三月更に株式に改組藤倉電線今日の大をなさしむ傍ら諸事業に關係す【所稅】五七九三三圓【家族】妻十八子(明一二生神奈川縣關東常吉長女)男浤一(大七生)外一女【住所】東京市麹町區九段二ノ六ノ二二【電話】九段一七七

岡田周平

【現職】東京消火器工業組合理事長、東京消火器業組合長、岡田商會(株)社長、專賣特許實用新案岡田式泡沫消火器、化學的自動消火裝置、陸海軍需品消火器、遞信省承認消火器、其他消防機具製造販賣業【出生】明二一・六滋賀縣甲賀郡宮村【續柄】宗次郎二男明四五分家【經歷】夙に防火に關する發明に沒頭効力顯著の消火劑及岡田式消火器を發明大正九年岡田商會と號し企業化次で自動三輪泡沫消火機倍パス式泡沫發生機等專賣特許實用新案登錄五十數件を獲得何れも陸海軍遞信各省の制定品として十數回受賞昭和十一年三月株式(資本金二十萬圓拂込濟)に改組受註殺到の爲同十三年七月城東區南砂町に敷地七百五十餘坪建坪五百餘坪の工場新築第一第二工場を合併す同十四年三月東京消火器工業組合理事長に選任さる【趣味】發明研究【宗教】淨土宗【家族】妻邦子(明二

五生富山縣出身富山高女卒）養嗣子奬（明四一生山西源三郎甥明大商科卒岡田商會常務）長女文子（明四五生奬妻）其外二男二女【住所】東京市深川區森下町二ノ七【電話】本所七六〇九（營業所）同區高橋二ノ五【電話】本所八二三・四九〇（工場）城東區南砂町一ノ九四六【電話】本所四八九二

岡本勘英

【現職】宮田製作所（株）取締役兼關東營業所長【出生】明二六・三東京市日本橋區【續柄】鉞太郎長男【學歷】明四四慶應商工卒【經歷】卒業後宮田製作所に入り曩に販賣店代表社員たり昭和九年同所の株式に改組後現職に就任す【趣味】日本音樂【宗教】日蓮宗【所稅】二〇八二圓【家族】妻アサ子（明三二生千葉縣蒔田良三郎二女）長男正（大一五生）外二女【住所】東京市品川區大井倉田町三二〇八【電話】大森二三三七

岡本英

【現職】成瀨正行事務所主任、旭石油（株）取締役【出生】明五・四【續柄】三重縣小林遙三男恒二郎養子明二三相續【學歷】明二三室蘭中學卒【經歷】卒業後三井銀行に入り勤續約三十年大正九年成瀨正行事務所に入る曾て濃飛電氣取締役たり【宗教】眞宗【所稅】四二五圓【家族】妻ミネ子（明一五生）

奥村隆三

【趣味】園藝、旅行【宗教】禪宗【家族】妻不死子長男隆、長女久美子【住所】東京市大森區久ヶ原町一七五

奥田美計

【現職】日本電興株式會社、大同信號中央防水布各株式會社社長【出生】明治七年三月彥根市【續柄】益藏長男【學歷】明治三十二年東京高工電氣化學科出身【經歷事業】卒業後古河礦業日光電氣精鋼所に勤務累進同所長となる【家族】妻秀尾【住所】東京市中野區東鄉町六【電話】中野二〇一二

奥村亀太郎

【出生】愛知縣南設樂郡東鄉村富澤明治三十九年【續柄】愛知縣平民【學歷】東京商工學校【經歷事業】昭和十年三月開店【趣味】讀書、旅行【宗教】佛教【住所】下谷區御徒町三丁目六十八番地【電話】下谷六二一八【現職】奥村板金プレス製作所所長工卒業【趣味】旅行【家族】妻、一男、一女【住所】東京市本所區石原町四ノ二六【電話】墨田（74）二八一四

荻原拳吉

【現職】横濱護謨製造株式會社專務取締役【出生】明治七年一月二十五日生【續柄】竹良四男【學歷】東京帝國大學理科物理科【經歷事業】少年時代より秀才の譽高く明治三十一年大學卒業するや陸軍砲兵學校教官に任ぜられ明治三十九年シーメンスシュッケルト會社電氣技師として招ぜらる明治四十三年東京電燈株式會社營業副長に轉ず昭和十一年横濱ゴム製造株式會社の專務取締役に就任し今日に至る【趣味】スポーツ【住所】芝區田村町五ノ七（會社）【電話】芝二六五六・一四五二

尾形祐壽

【現職】株式會社北辰電機製作所專務取締役、富士航空計器株式會社常務取締役【出生】明治二十年【學歷】橫濱商業學校卒業【經歷事業】學校卒業後實業界を志し住友銀行四谷・深川支店長を經て昭和七年新橋內幸町各支店長を兼任して令名あり後北辰電機株式會社に迎へらる忽ち經營の才幹冴え一家の見識を持して活躍北辰重機今日の大あるは全く此の功績に負ふ處大である昭和十三年二月富士航空計器株式會社常務に就任す【趣味】スポーツ【住所】大森區田園調布三ノ六〇六【電話】用園調布二〇九一

荻原健

【現職】荻原製作所所長、マスノリ商店店主【出生】明治三十三年十月【趣味】旅行、カメラ【住所】東京市足立區本木町二丁目一五四八番地【電話】足立三八二一

尾上喜市

【現職】株式會社ミクニ商會販賣部主任、ダシツユカツ

岡野悌二

町の出身二十七歳なり【續柄】清吉の長男【經歷事業】埼玉縣川口市合名會社稻垣兼吉商店入社昭和八年昭和十二年退社現住所にて營業を開始す【趣味】寫眞カメラ【宗教】佛教【家族】七人【住所】板橋區志村清水町一七九番地【電話】板橋一一〇〇

岡野光司

【現職】磐城炭礦株式會社常務取締役昭和石炭株式會社取締役【出生】明治三年十一月【學歷】東京高商卒【經歷事業】後茨城採炭、茨城無煙炭販賣、その他の各重役に進む後同上會社に轉じ取締役、販賣部長を經て今日に至る常磐炭に關する我國の權威【趣味】長唄、釣【宗教】禪宗【住所】東京市芝區白金三光町二五一【電話】高輪五九七五

岡部正樹

【現職】旭紡績取締役【出生】明一三・六生【續柄】京都市衞齋三男【學歷】明四一東京高商卒【經歷事業】卒業後川崎銀行京都電鐵島津製作所等に歷勤、大正九年旭紡績に關係現在に至る【趣味】謠曲【宗教】佛教【家族】長男徹（明四四生）【住所】澁谷區上智町六【現職】富樫商會機械部主任【出生】明治三四年四月二二日神戸市【續柄】戸主【學歷】大正一四年慶應義塾大學經濟學部卒業

奥村秋三

テンイングオイル販賣【住所】江戸川區平井三丁目【電話】(68)一一一(五)

尾形直吉

【現職】武藏野合同、東正工業(各)株社長木更津電燈、東飯能通運各(株)取締役、城東伸銅、洛西館各(株)監査役、藤倉電線(株)顧問【出生】明一〇・七【續柄】山梨縣人尾張中納言高家の後裔尾形嘉平次三男【學歷】明三二陸軍工科學校卒更に研數學館物理學校等に學ぶ【經歷】夙に陸軍工廠、古河鑛業會社、三井物產會社等に歷勤次で大正四年藤倉電線株式會社に轉じ勤續多年累進製作課長を經て監査役に就任更に武藏野鐵道會社常任監査役、千葉水電會社監査役等を兼ねしが現時藤倉電線會社顧問にして外に上揭各要職に在り【趣味】園碁、茶の湯、華道【宗教】佛教【家族】妻やへ(明二〇生東京府宇田川德左衞門三女)男三男(昭二生)女節子(大一一生)あり男義直(明四〇生北海道帝大農學部卒臺灣總督府專賣局勤務)は其妻榮子(海軍中將植村茂夫三女)を伴ひ分家し男重直(明四四生滿洲國軍醫少佐東京慈惠醫大卒)は其妻宜子(陸軍少將南保貞次四女)を伴ひ亦分家し女靜枝(明三九生)は東京府平野熙に嫁し女久枝(大三生)は陸軍大將麥刈隆嗣子隆教に嫁せり【住所】東京市豐島區長崎南町一ノ一八一二【電話】落合長崎二四一九

尾城卓二

【現職】合資會社興亞精機工業所長【出生】明治三十七年十二月十八日【學歷】明治大學法科卒業【趣味】野球撞球【宗教】佛教【家族】妻、二男、一女【住所】東京市淀橋區上落合一ノ四一〇二【電話】大塚一一〇五【現職】中央朝鮮協會、東洋協會各理事、金倉鑛業、北九州炭礦各(株)社長西部炭礦(株)取締役【出生】明一一・七【續柄】愛媛縣士族尾崎敬止長男現戶主【學歷】明三五東大政治學科卒【經歷】明治三十六年三井銀行に入り爾來京都、廣島、長崎各支店に歷勤す大正二年辭して日支合辨中日實業株式會社を興し專務取締役となる又中國綿業、中國銀行、東洋鹽業、東洋運鐵、日本鋼管シヤフト、日本絹絲紡績、中華電業、中華毛織、東京絹織紡績、大正電氣、金華紡績等々十數會社の重役に推さる同六年鄉里松山市より立候補して衆議院議員に當選同十一年東洋拓殖株式會社理事となり同十五年之を辭す著書に歌集「有漏雜染」「喫茶去」隨筆「秋花譜」「春草譜」等あり【趣味】文學旅行【宗教】禪宗【所稅】二〇〇〇圓【家族】妻キク(明一七生山口縣中村好照長女)二女陽子四女有子【住所】東京市澁谷區原宿一ノ一〇六【電話】青山一三〇八

尾崎敬義

【位階勳等】從四位勳五等、【現職】沖電氣、沖電線各(株)取締役、沖電氣證券(株)監査役【出生】明二〇・一【續柄】三重縣靈弟明四五分家【學歷】明四三京大電氣工學科卒【經歷】卒業後遞信管理局技手、同技師、遞信局技師兼通信技師、遞信技師兼臨時電信電話建設局大阪出張所市外線路課長、大阪遞信局工務課長等に歷任し昭和二年退官沖電氣に入社取締役兼技師長を經て現に上揭諸職に在り外遊二回【所稅】六六六〇圓【家族】妻スガ子(明二五生文學博士井上哲次郎二女)男勇雄(大三生)外數子【住所】東京市澁谷區千駄ヶ谷町三ノ四九六九【電話】青山一二二三

押田三郎

【現職】朝鮮興業(株)監査役【出生】明一一・六【續柄】鳥取縣大坪雄太郎弟完之養子大一二相續【經歷】夙に實業界に投じ明治三十七年現社創立と共に入社支配人を經て取締役に昇任現に之が監査役たり【趣味】謠曲【宗教】天台宗【所稅】二二三圓【家族】妻種子(明一九生養父二女)長男長雄(明四〇生早大商科卒)外二女【住所】東京市

込區矢來町八八【電話】牛込二六八一

長正義

【現職】株式會社三誠社代表(品川區大井林町二七二)【出生】大正二年四月十六日【續柄】栃木縣義武九郎長男【學歷】立正中卒【經歷事業】創立大正八年電線業三誠社を昭和十三年父より受繼今日に至る【趣味】園碁、旅行【家族】父義武九郎、母文子妻敏子【住所】神奈川縣片瀨町南濱(乃木高等女學校前)【電話】高輪六五七〇・四六一四

加藤幸一

【現職】諸機械工具商東洋ベアリング製造株式會社代理店、片倉シルクブロック製品加工販賣【出生】大二・三・二六【續柄】戶主長男【學歷】日大工科卒業【經歷】弘中重工株式會社【宗教】眞宗【所稅】二〇〇〇圓【營稅】二〇〇〇圓【家族】妻ヒナ子、長男友士【住所】東京市京橋區槇町二丁目五番地(宅)東京市淺草區駒形二丁目五番地【電話】淺草八四三九・京橋(56)八六一三

加之部

【出生】明二二・八・一八生【經歷事業】本邦金庫の開祖として山田金庫店を經營す【宗教】日蓮宗【家族】長男嘉男(慶應義塾大學卒)次男孝德(早稻田大學入學中)三男幹之助(日大三中入學中)【電話】京橋(56)六五四・七六九六

加賀榮太郎

【現職】三昭製作所所主(サンショウマイク專門製作)【出生】明三六・九・五神奈川縣橫濱市中區元町一丁目【續柄】德太郎長男【學歷】川崎市立工科學校卒業【經歷事業】學校卒業後新潟鐵工所及東京瓦斯電氣株式會社に就職せるも退社後獨立現工場を創設し現今に至る【趣味】釣魚、旅行、寫眞【宗教】禪宗【家族】妻ふみ江(明治四十一生)長男正昭(昭和三小學生)外男子二人【住所】東京市蒲田區新宿町一三六二【電話】蒲田五五五七

加藤時雄

【現職】加藤鐵工所所主【出生】明三五・一・一九【學歷】早稻田大學商科卒業【趣味】撞球、スポーツ【宗教】佛教【家族】妻、三男、二女【住所】東京市王子區王子町七〇七【電話】王子三七六〇

加藤嘉一

【現職】東京市京橋區二丁目七番地株式會社日本保健研究所社長【出生】明三五・七・一九生【趣味】運動【宗教】佛教【住所】東京市赤坂區表町二丁目十三番地・東京市京橋區京橋二丁目七番地(商榮ビル)【電話】京橋(56)〇〇六三・〇〇六四・〇二八〇・〇八一八・〇九九八

加藤武男

(株)取締役、三菱社、旭硝子、三菱鑛業、東京鋼材、東京海上火災保險、三菱海上火災保險、明治火災保險、三菱商事、三菱信託各(株)監査役【出生】明一〇・六栃木縣【續柄】昇一郎長男【學歷】明三四慶應理財科卒【經歷事業】三菱合資會社入社、神戸支店長代理、同副長大阪支店副長、京都支店長大阪支店長、本店銀行部總務課支配人、常務支配役兼任理事代理等に歷任大正八年八月三菱銀行創立各要職就任後常務取締役に就く【趣味】讀書、ゴルフ【宗教】神道【家族】母ユキ(安政二生)妻なみ子(明四一生池田成彬妹)長男武彦(明四一生慶大卒)二男次郎(明四三生慶大卒)【住所】牛込區市谷河田町九【電話】牛込二八六一

加藤辰彌

【位階勳等】從五位【公職】鐵道省交通協議會委員【現職】昭和倉庫(株)社長中日實業(株)取締役【出生】明一五・九生【續柄】重錄長男【學歷】明四〇東京高商卒【經歷事業】直ちに東京商業會議所に奉職、明治四十二年米國商業會議所の招聘により渡米、第二次西園寺第一次山本內閣首相秘書官、第三次山本內閣首相秘書官、大正十三年以降實業界に轉ず【趣味】事業、野外運動【所稅】二七五五圓【住所】赤坂區青山南町六ノ一二六【電話】青山五三二〇

加藤郁二

【位階勳等】從七位勳六等【現職】在鄕陸軍步兵中尉、橫濱商工會議所常議員、日本蟹罐詰水產組名聯合會長、輸出蟹罐詰水產組合、日本水產罐詰輸出業水產組合、橫濱海產乾物罐詰貿易商同業組合各組合長、神奈川縣水產會長、橫濱市水產會副會長、帝國水產會、大日本水產會各評議員、日本漁業(株)社長、加藤清樹商店(株)代表取締役、北千島水產(株)監査役、千島漁業(資)代表社員【出生】明一二・二神奈川縣鎌倉郡豐田村【續柄】小串董一郎二男清樹養子先代は舊幕臣三井物產橫濱支店支配人退職後獨力製茶海產物罐詰輸出業に成功大一〇長逝す【學歷】明三二橫濱商業卒【經歷】日露戰役出征後家業に從事養父他界後株式に改組爾來益々發展旺んに支那及び米、獨、英各國に輸出し業界代表勢力となる傍ら公事に盡瘁す【趣味】漢詩書道【所稅】一二六二圓【家族】妻正子(明一五 養父清樹長女東京興風女學校卒)長男眞樹(明三七生米國ベーツカレッヂ卒)外三男六女【住所】神奈川縣鎌倉町大町七一〇【電話】一二〇一(店舖)橫濱市仲通二ノ一五【電話】本局六一四・三六五七【現職】梓川電力(株)取締役、日本化工、昭和化工各(株)監査役【出生】明一三一【續柄】栃木縣昇一郎二男【學歷】明四一京大獨法科卒【經歷】曾て京都鐘紡分工場に勤務後各種の事業に關係し最近其の東邦電力に合併するまで合同電氣株式會社常任監査役たりき又信貴生駒電鐵株式會社監査役たりしことあり現に頭揭會社重役として知らる【趣味】旅行【宗教】神道【所稅】二六五一圓【家族】妻イサオ(明二六生廣島縣田邊香藏長女)【住所】東京市大森區新井宿一ノ二三一八

加藤農夫

加藤顯次郎

【現職】日本タイプライター(株)取締役技監【出生】明二五・七東京市麻布區本村町【續柄】久藏二男大六分家【學歷】明四二築地工手學校卒更に三田英語學校、電機學校高等科に學ぶ【經歷】明治三十九年芝浦製作所に入り工具設計課員たり後日本タイプライター會社工場現場監督、日本出納器株式會社技師長、日本タイプライター本社技師長技術顧問を經て澁谷に林營社を創設經營せしが大正十五年再び現社に復歸し現職に就く邦文タイプライター考案者たり特許第八四六六一號其他十數件を獲得す【趣味】音樂、旅行【所稅】一六〇〇【家族】妻ヨシ(明二八生打矢清四郎四女秋田高女卒)長男洋一(大一五生)外數子【住所】東京市麻布區本村町二〇九【電話】三田四六一五

加藤藤松

【現職】大島製作所(株)社長【出生】明一四・四新潟縣【續柄】寅太郎五男大元分家【經歷】大正元年城東大島町に於て製紙機械及附屬品の販賣を開業事業の發展と共に曩に株式に改組し業態愈々良好斯界に重きなす【趣味】旅行、書畫、骨董【宗教】佛教【所稅】一〇〇九九圓【營稅】一九一六四圓【家族】妻美惠子(明二三生東京府福田龜太郎長女築地高女卒)嗣子正吉(大三生青山學院卒)【住所】東京市京橋區築地一ノ一四【電話】京橋六七八四

加藤子郎

【現職】上毛電力(株)副社長、上毛森林土地(株)專務取締役大川(名)理事【出生】明九・六【續柄】靜岡縣【學歷】東京高商附屬商業教員養成所卒【經歷】卒後大垣岡山各商業學校教諭、日銀、名古屋銀行、安田信託、名古屋支店等に歷任、昭和六年上毛電力入社累進同十三年現職に就く曩にに濱松市助役たり【趣味】謠曲、撞球【所稅】三一七七圓【家族】妻カネ子(明二二生)三男秀雄(大七生)外二男二女【住所】東京市目黑區鷹番町一六一【電話】荏原五〇一六

加瀨忠作

【現職】加藤製藥所主、電解錫錬業【出生】明一七・三新潟縣【學歷】明三七東京藥學校卒【經歷】卒業後更に帝大藥學科修了後帝國製藥會社に奉職製藥方面を擔當する傍ら大正七年現所に工場を設け硫酸銅製造を營む同十二年會社を辭し工場を改築錫の電氣分解を本業とするに至る【事業】昭和九年二月吾嬬製鋼所の電解工場並機械の一部を讓受け新規裝置には專賣特許を獲得爾來益々發展現に資本金十九萬圓向島區吾嬬町西三及東一に工場を有し錫の年產百屯年商七十五萬圓に達す【趣味】探訪的旅行、植物病理研究【宗教】眞宗【所稅】一六八〇八圓【營稅】三六三四圓【家族】妻作子(明二六生)長男忠男(大八生早大在)外二男二女【住所】東京市向島區吾嬬町西三ノ二三【電話】墨田三四〇七(營業所)麴町區丸ノ內二ノ一八

加藤木保次

【位階勳等】從四位勳四等【現職】日本人絹聯合會專務理事【出生】明一九・二平市【續柄】加藤周太郎二男【學歷】明四三東北大農科卒【經歷】夙に北海道廳技師、朝鮮總督府勸業模範場技師、慶尙南道內務部產業課長、同農務課長兼大邱專賣支局技師、咸鏡南道內務部農務課長、朝鮮總督府勅任技師等に歷任昭和五年退官後橫濱市理事勸業課長たり昭和十三年十月現職に就く曾て歐米に出張する事二回に及ぶ【趣味】寫眞【家族】妻民子(明二五生北海道山峰德吉長女)長男親郎(大三生)外一男一女【住所】橫濱市神奈川區新子安一七一

加勢清雄

【位階勳等】正四位勳三等【現職】沖繩製糖(株)社長【出生】明治一五年七月米澤市【續柄】清隆二男【學歷】明治四二年東大法科政治科卒高文合格【經歷事業】秋田、新潟、埼玉各縣理事官、警察部長、島根、愛知、福岡各縣內務部長、北海道土木部長、宮崎、福島、高知各縣知事に歷任、昭和四年官界勇退一ヶ年間歐米各國を漫遊す次で盛岡電燈社長を經て昭和十三年十月興銀系を代表現職に就任せり【所稅】一二五七【家族】妻愛子(明二四生)嗣子忠雄(大二生東大政治科在)【住所】東京市澁谷區千駄ヶ谷町四ノ五八〇ノ三【電話】青山三九五五

賀來佐賀太郎

【現職】熱帶產業株式會社々長【出生】明治七年二月十一日【學歷】東大卒【趣味】讀書、スポーツ【宗教】眞宗【住所】日本橋區室町二ノ一【電話】日本橋三四二五

【現職】日本コンクートボールリ株式會社

加賀山　學

專務取締役【出生】明治十四年【續柄】福井縣士族【學歷】明治三十三年東京帝國大學工科卒業【經歷事業】卒業と同時に元鐵道院に入り累進して今の鐵道省の工務局長となり昭和七年官界を去り同社に專務取締役として手腕を振ひ今日に至る【趣味】ゴルフ【住所】京京市杉並區阿佐谷五ノ三九【電話】荻窪二一二一

川井源八

【現職】三菱電機(株)會長、菱美電機商會(株)取締役、三菱重工業、三菱商事、東京鋼材、日本無線電信電話各(株)監査役【出生】明治七年一月、會津若松市【續柄】源吾甥明治二十七年分家【學歷】明治二十七年東京高商卒業【經歷事業】東京高商卒業後直三菱銀行に入り次で三菱倉庫に轉じ爾來三菱に一貫し曩に三菱合資理事會員たり現に前記諸職に在任す【趣味】ゴルフ、讀書【所稅】四八二〇三圓【家族】妻竹、長男保外【住所】東京市澁谷區幡ヶ谷本町一ノ一〇【電話】四谷〇六一二・東京市麴町區丸ノ內二ノ四【電話】丸ノ內(23)二一三一—九

【現職】川口商會主【出生】明治三十一年三月廿日【學歷】慶應義塾大學理財科大正十年卒【經歷事業】株式會社淺湯七左衞門商店に大正十二年—昭和十二年迄仕入部長として在職の他日本精機工業株式會社取締役として歐米諸國を歷訪地に精密機械工具商店を創立【趣味】運動、園藝【宗教】佛教【所稅】五千圓【譽稅】一萬五千圓【家族】妻すみ子、長女菊子、長男敬次、次男昭江【住所】品川區大井坂下町二七二二【電話】大森八一九六・京橋區木挽町四ノ二【電話】京橋(56)八一九六・七二一一

川口達雄

【現職】高島屋(株)取締役【出生】明治二五・一二・【經歷】昭和八年東京支店宣傳部長に拔擢され同十五年同店最初の洋行者として歐米を視察し歸朝後全店總支配人を經て昭和十一年取締役に選任さる【趣味】文學美術洋畫【住所】東京市赤坂區青山南町三ノ五四電青山二四三八

勝口勝太

【現職】東京市城東區大島町二丁目二五川口製作所所主【出生】島根縣鹿足郡津和野町【續柄】平民【學歷】東京工學院機械科【經歷事業】大正二年より日立製作所に六年間勤務、大正七年■原製作所創立當初より專ら鑛山並に水力電氣用諸機械の設計製作に從事し、其間設計、製作、營業等の各般に亘り實に前後廿有餘年の經驗を有し昭和十一年末同所を辭し獨立現在に及ぶ【家族】母ナミ、妻、長女晴子、長男康男淳吉二人【住所】東京市江戸川區小岩町三ノ一八三二【電話】小岩三六四

堅一

【所稅】二四五一圓【住所】東京市城東區北砂町四ノ一一五三【電話】本所(73)三五六六

川崎孝之助

【現職】川崎化學研究所々長並に川崎商會經營者【出生】明治二十八年五月【經歷事業】日本高周波重工業株式會社販賣部勤務退社後獨自の研究せる完成バイトをニッポン號として發賣、【趣味】芝居、旅行【家族】妻、子供一人【住所】東京市大森區鈴ヶ森【電話】大森七〇四七

川崎守彥

【現職】王城炭礦(株)專務取締役兼鑛業所長、立正產業、常磐炭販賣各(株)取締役、正法護持財團常務理事【出生】明二〇・二【續柄】東京府芳次郎二男【學歷】慶應義塾卒【經歷】父の事業を扶け現に前揭の職に在り石炭鑛業に關し專心研鑽を重ね其造詣頗る深し【家族】父芳次郎(安政二生)母とら子(慶應二生神奈川縣鈴木幸次郎長女)妻とめ子(明二三生東京府高橋實圓四女)【住所】東京市芝區二本榎一ノ五二【電話】高輪二二六二

川合芳次郎

【現職】王城炭礦、立正產業、常磐炭販賣各(株)社長、正法護持財團總裁【出生】安政二・一〇三重縣上野【續柄】伊助四男【經歷】明治八年大阪に於て米穀仲買商を營み同十二年橫濱に移りて兩替商を開き其後美術工藝品を經營す同二十三年第三回內國勸業博覽會橫濱市總代となり同二十六年米國に開催の第一回萬國宗教大會議に日蓮宗代表として又閉龍世界大博覽會神奈川縣總代として列席し歸朝後其記念として同二十七年橫濱市に妙鏡山川合寺を創建し京都府日圓山燈明寺(國寶)甲府市日圓山妙松寺を末寺とせり同二十八年第四回內國勸業博覽會神奈川縣總代となる同二十九年東京貯金銀行を創立次で銀行及炭礦生命保險、火災保險、製紙、製油の各會社を創立し之が經營に任じ業界に其名を謳はる同三十五年立正大學創立に際し校地校舍を同四十年早稻田大學へ巨資を寄附せる外篤行勞からず【宗教】號を妙鏡日圓と稱し熱烈なる日蓮宗信者として知られ大正八年財團法人正法護持財團を創立現に總裁たり【所稅】六二八圓【家族】妻とら子(慶應二生神奈川縣鈴木幸次郎長女)二男晃(明二〇生慶應義塾卒會社重役)及其妻【住所】東京市芝區二本榎一ノ五二【電話】高輪二二六二

川合晃

【現職】理學博士、大日本油脂(株)取締役兼技師長【出生】天阪府【學歷】大阪高工修大一一東京高工電氣化學科五東北大理學部化學科各卒【經歷】直ちに花王石鹼本舖長瀨商會研究部主任となり昭和三年同社長に隨伴歐米を視察歸途カルホルニヤ州スタンフオード大學に學びマスター・オブ・アーツの學位を受く歸朝後同社研究部長を經て昭和十年三月現社創立現職に就く先是昭和九年前揭學位を授與されしが石鹼研究に依る博士は本邦二人目なり【所稅】五〇〇圓【住所】東京市世田谷區松原町四ノ一三〇【電話】松澤三七七九

川上金熊

【現職】日本電線(株)川崎工場長【出生】明一〇・七【續柄】鹿兒島縣彥太郎三男【學歷】明二九東京高工機械科卒【經歷】卒業後南北油橫濱貯油所、寶田石油橫濱電線製造所、ケーブル工場古河電氣工業を經て大正十年現社に轉じ漸次席を進めて昭和八年現職に就任す【所稅】三五七圓【家族】妻あい子(明二四生)長男眞弘(大正五生正則中學卒)外一男二女【住所】東京市品川區大井金子町六二三四

川田小三郎

【位階勳等】從四位勳三等、在鄉海軍主計少將【現職】財團法人三笠保存會評議員、日本海運(株)社長、日東鑛業汽船日東炭業各(株)常務取締役、日東燃料、廣和汽船、東亞貿易、森田工業各(株)取締役、相模瓦斯(株)監査役【出生】明一六・二【續柄】香川縣槇次二男【學歷】明四三東大法科同四五海軍經理學校各卒【經歷】卒業後累進昭和八年海軍少將に陞る其間大湊要港部主計長吳海軍々需部々員兼第三課長、經理局第三課長、軍令部出仕に歷補する後事業界に入り曩に丹後瓦斯社長、飯野商事取締役たり【所稅】二四八圓【家族】妻甲子(明二八生香川縣長尾重吉二女)嗣子重治(大一四生)【住所】東京市世田谷區玉川奥

佐久郡臼田町【續柄】清造三男分家【學歷】明四四京都帝大工學部電氣科卒【經歷】卒業後金澤電氣瓦斯會社シイメンスシュッケルト電氣會社、九州電燈鐵道會社、川北電氣企業社各技師を歷任大正十二年十月合資會社東光商會を創立電氣並に土木請負業を開始す爾來發展株式に改組す曩に昭和電氣工業株式會社取締役、大阪變壓器株式會社顧問たりし事あり【趣味】圍碁撞球【宗教】佛教【所稅】三八〇圓【家族】妻茂登惠外數子【住所】東京市澁谷區千駄ヶ谷町五ノ八四九【電話】四谷六五一三

川村三郎

【現職】合資會社川崎鑄鋼所社長、株式會社東京發條製作所取締役【出生】明治二八・三【學歷】東京高等商業卒【經歷事業】明治四二―大正十四、東京鋼材株式會社、大正十三年東京鋼材建築株式會社創設常務取締役就任昭和三年右各社退社、昭和十年合資會社川崎鑄鋼所創設同社社長、昭和十三年株式會社東京發條製作所取締役就任【趣味】旅行【宗教】佛教【家族】妻峯枝、長男晴司、次男昌男、三男邦雄、四男幹雄長女房子【住所】東京市目黒區原町一三六二【電話】荏原(08)五二一一・川崎市小田原町一ノ九一【電話】川崎四三六一

川北福三郎

【現職】神奈川縣輸出布帛製品工業組合聯合會理事長、橫濱輸出織物加工品同業組合理事長、神奈川縣東亞輸出組合理事、神奈川縣工業試驗所理事、橫濱市太田町々會副會長、川北商會、丸宮商店各(株)社長、絹綿布類加工品輸出商【出生】明二五・四【續柄】福井縣川北喜三郎二男【學歷】福井中學卒【經歷事業】初め貿易商ミカド商會に勤務後ち辭して歐米各國の輸出織物業界を視察大正八年カナダトロントに於て獨力川北商會を創立絹綿布の加工品輸出商を開業す次で之れを株式に改組其取締役社長に就任後其業務を實弟に委ね氏は橫濱市に在りて專ら買付に從ひカナダ及歐洲中南米に迄商網を擴げ業態旺んなり【趣味】ゴルフ、犬弓、飼犬【宗教】日蓮宗【所稅】四六三圓【家族】妻綠(明三〇生朝鮮壬生一夫二女仁川高女卒)長男博(大九生神奈川一中在)外二女【住所】橫濱市中區本牧荒井町五一【電話】本局九七八(川北商會)同市中區太田町六ノ八一【電話】本局四五七八・四三七三

河西長三郎

【現職】全國海陸仲仕業組合聯合會副會長、河西コークス製造(株)社長、中央運送(株)專務取締役、本間組、東京本間組各(資)代表社員【出生】明一一・二靜岡縣濱名郡新居町【續柄】中村次平男河西家養子分家戶主【經歷事業】十九歲橫濱市に來り朝田又七に仕へ二十七歲本間事務所に轉じ爾來人夫請負業に從事大正十二年四月合資會社本間組と改組と同時に日本郵船會社、近海郵船會社の專屬人夫請負人として今日に至る又昭和四年一月河西コークス製造株式會社(橫濱市神奈川區所在)を創立し燃料コークス及カーボンの製造に從ひ現に海軍の指定工場たり外に頭揭の職に在り曾て橫濱港人夫組合長たり【趣味】圍碁【宗教】日蓮宗【所稅】三一五六【家族】長男市藏(明四一生慶大經濟科卒河西コークス會社常務取締役)及其の妻【住所】橫濱市神奈川區臺町一四【電話】神奈川一六五八(本間組)橫濱市中區海岸通五ノ二五【電話】本局〇九五〇

河西市藏

【現職】河西コークス製造(株)常務取締役【出生】明四〇・一二橫濱市【續柄】河西長三郎長男【學歷】昭七慶大經濟學部卒業【經歷】父長三郎の主宰する河西コークス製造株式會社に入り父を輔けて只管業務の發展に努力し昭和九年其常務取締役に就任す最近日本貿易振興會主催國際親善實業視察團員として世界を一周せり【趣味】旅行、自動車操縱、ゴルフ【宗教】日蓮宗【所稅】三八一圓【家族】父長三郎(明一一生現戶主)妻茂登子(大三生東京府村上喜代次長女双葉高女卒)【住所】橫濱市神奈川區臺町一四【電話】神奈川一六五八

河原正貴

【現職】大同製鋼(株)帝發工場長、聖自動車製造(株)取締役【出生】明一〇五【續柄】岡山縣菊太郎五男【學歷】明四〇米スタンフオード大電氣科卒【經歷】卒業後米國ジーイーカンパニーに入り歸朝後芝浦製作所入社試驗課長、鶴見工場設計課長歷任傍ら帝國發條會社取締役を兼ねしが昭和九年帝國發條の大同電氣製鋼所合併と共に同社に轉じ帝國發條製作所工場長に就任す【趣味】運動、圍碁【宗教】基督教【所稅】七五二圓【家族】妻きぬ代子(明二二生宮城縣紺野繁三郎二女共立女子職業卒)長男正巳(大一一生)外六女【住所】東京市目黒區鷹番町九二【電話】荏原五三二八

【位階勳等】從四位勳三等、在鄉海軍少將【現職】理研金屬、理研光學工業、理研電具各(株)取締役【出生】明一五・八【續柄】清造三男分家【學歷】明四四京都帝大工學部電氣科卒【經歷】卒業後金澤電氣瓦斯會社シイメンスシュッケルト電氣會社、九州電燈鐵道會社、川北電氣企業社各技師を歷任大正十二年十月合資會社東光商會を創立電氣並に土木請負業を開始す爾來發展株式に改組す曩に昭和電氣工業株式會社取締役、大阪變壓器株式會社顧問たりし事あり【趣味】圍碁撞球【宗教】佛教【所稅】三八〇圓【家族】妻茂登惠外數子【住所】東京市澁谷區千駄ヶ谷町五ノ八四九【電話】四谷六五一三

川村三郎

【現職】合資會社川崎鑄鋼所社長、株式會社東京發條製作所取締役【出生】明治二八・三【學歷】東京高等商業卒【經歷事業】明治四二―大正十四、東京鋼材株式會社、大正十三年東京鋼材建築株式會社創設常務取締役就任昭和三年右各社退社、昭和十年合資會社川崎鑄鋼所創設同社社長、昭和十三年株式會社東京發條製作所取締役就任【趣味】旅行【宗教】佛教【家族】妻峯枝、長男晴司、次男昌男、三男邦雄、四男幹雄長女房子【住所】東京市澁谷區千駄ヶ谷町五ノ八四九【電話】四谷六五一三

川北福三郎

【現職】神奈川縣輸出布帛製品工業組合聯合會理事長、橫濱輸出織物加工品同業組合理事長、神奈川縣東亞輸出組合理事、神奈川縣工業試驗所理事、橫濱市太田町々會副會長、川北商會、丸宮商店各(株)社長、絹綿布類加工品輸出商【出生】明二五・四【續柄】福井縣川北喜三郎二男【學歷】福井中學卒【經歷事業】初め貿易商ミカド商會に勤務後ち辭して歐米各國の輸出織物業界を視察大正八年カナダトロントに於て獨力川北商會を創立絹綿布の加工品輸出商を開業す次で之れを株式に改組其取締役社長に就任後其業務を實弟に委ね氏は橫濱市に在りて專ら買付に從ひカナダ及歐洲中南米に迄商網を擴げ業態旺んなり【趣味】ゴルフ、犬弓、飼犬【宗教】日蓮宗【所稅】四六三圓【家族】妻綠(明三〇生朝鮮壬生一夫二女仁川高女卒)長男博(大九生神奈川一中在)外二女【住所】橫濱市中區本牧荒井町五一【電話】本局九七八(川北商會)同市中區太田町六ノ八一【電話】本局四五七八・四三七三

河村達藏

【現職】紀長伸銅所(株)社長、服部時計店、東京光學機械各(株)取締役【出生】明二三・七【續柄】埼玉縣欽三郎二男【學歷】大四東大工科機械工學科卒【經歷事業】卒業後遞信省管船局に勤務後東京高等商船教授を兼ね大正十二年退官服部時計店に入り取締役に就任傍ら同店直係たる紀長伸銅所社長たり【宗教】天臺宗【所稅】一五七三三圓【家族】妻貞子(明二九生東京府服部玄三妹東京女學館卒)男隆一(大九生)外【住所】東京市牛込區市ヶ谷仲之町二三【電話】牛込(34)三二四五

河井浩

【現職】森永煉乳、森永食料品工業各(株)專務取締役、森永煉乳、森永東北農產、森永三島煉乳、森永八丈煉乳、森永臺灣殖產各(株)取締役、森永牛乳(株)監查役【出生】明六・八萩市【續柄】惣太郎長男大元相續【學歷】明一九東京高商卒【經歷】卒業後日本橋鈴木商店三井物產會社、品川毛織大井分工場長、東京製紙取締役、橫濱電線取締役兼支配人、同常務取締役、橫濱護謨社長等に歷任、昭和六年四月森永煉乳常務取締役に就任後現職に就く【趣味】園藝、圍碁、旅行、植物研究【宗教】日蓮宗【所稅】一五四九圓【家族】妻いね(明一三生東京府荒川鐵五郎長女)嗣子洋一(明四〇生慶大法科卒古河電工勤務)外一女【住所】東京市大森區山王二ノ一八四四【電話】大森六五三一

河田源三

【現職】帝國製麻株式會社常務取締役【出生】明治廿二年十二月【學歷】明治四十年滋賀縣立商業卒【經歷事業】夙に北海道土地會社取締役就任、日本麻糸會社事務取締役、同社の帝國製麻と合併後現職となる【住所】東京市大森區山王一ノ二八五〇

河路寅三

【現職】三菱鑛業(株)會長、三菱石炭油化工業、雄別岩礦鐵道、南樺太岩礦鐵道各(株)社長【出生】明一〇一〇彥根市【學歷】明治三十二年東京高商卒【經歷事業】卒業後直ぐ三菱商事に入社

河手捨二

若松、門司各支店長本所に石炭部長監査役歴任【趣味】ゴルフ、碁、庭球【所税】五〇〇四圓【家族】妻あい外【住所】東京市澁谷區長谷戸町五二【電話】澁谷二八六一・東京市麹町區丸ノ内二ノ四【電話】丸ノ内(23)二一三一

河橋憲司

【現職】五福電機工業株式會社代表取締役【出生】明三六・八・一五廣島縣賀茂郡三津町【經歷事業】吳海軍工廠勤務、株式會社マコト商會電氣部主任株式會社双葉商會營業主任、昭和七年十一月獨立創業(五福電機工業所)同十年四月工場設立、同十四年四月五福電機工業株式會社設立代表取締役就任【趣味】スポーツ、寫眞【宗教】眞宗【家族】妻輝子(明治四十二年生大妻高女卒)長男活定(昭和十三年生)【住所】東京市赤坂區高樹町十二番地七號【營業所】東京市神田區美土代町三番地ノ四號【電話】神田(25)三三九二・〇八九三

金杉英五郎

【位階勳等】勳三等、醫學博士【現職】貴族院議員、慈惠會醫科大學長、昭和生命保險(五)社長【出生】慶應元・七【續柄】千葉縣與右衞門三男叔父恒養子【學歷】明二〇東大醫科別科卒、翌年獨逸留學耳鼻咽喉科を專攻【經歷事業】獨逸フェルツブルグ大學助手、明治二十五年歸朝同三十四年學位を受け大正四年衆議院議員に當選同八年米國華府開催國際勞動會議に列席次で中央衞生會委員、慈惠大學議員に勅任同八年昭和生命保險社長に就任【功賞】昭和三年叙勳三等瑞寶章【趣味】詩文、書畫【宗教】禪宗【所税】一八六四圓【家族】妻たき(明八生福岡縣大藪房次郎長女)男恒彌(明二九生)外【住所】東京市芝區神谷町一八【電話】芝三三〇〇

金井仙次郎

【現職】シチズン時計(株)專務取締役日東精機(株)取締役、金森商店(資)代表社員【出生】明一一・一【續柄】山梨縣宮本敏甲五男トラ入夫【經歷事業】養父增吉經營の時計商に從事大正五年東京支店開設、都下時計卸商の團體たる五日會幹事長【宗教】佛教【家族】長男桝太郎(明四〇生)同妻すみ江(大元生)其一女外二男【住所】横濱市神奈川區鳥越町二三【電話】神奈川三八四

金森安平

【現職】金井商店(名)代表社員、一般藥品鐵金及研磨材料商【出生】明一四・五【群馬縣邑樂郡渡瀨村【續柄】勇次郎三男【經歷】明治二十六年藥種商黑田市之助商店に勤務同三十九年日本橋區本町四丁目八番地ノ二に獨立開業後資本金十萬圓の合名會社に改組す得意先は昭和肥料、日本電氣工業各會社、造兵廠、東京工廠、火工廠、陸軍被服本廠、兵器支廠、糧秣本廠、横須賀海軍工廠、陸軍衞生材料廠、各地衞戍病院、全國同業者鐵金及研磨材料小賣商等大阪、神戸、名古屋、滿洲、支那方面にも其販路を有す年商五十萬圓に達す傍ら東京製藥金井研材藥品株式會社並に合資會社赤玉製菓所重役たり【所税】一三〇〇圓【家族】妻かつ子(明二五生東京府星野寅次郎長女)長男啓輔(大三生東京藥專卒)外數子【住所】(店舗)東京市日本橋區本町四ノ八ノ二【電話】茅場町四八六六・四八六七

金井潤三

【現職】三井物産(株)調査課長【出生】明一八・三【續柄】長野縣澤長男明四一相續【學歷】明四〇東京高商卒【經歷事業】卒業後三井物産に入社、臺北臺南、大阪、倫敦、カルカッタ、門司各支店、マンチエスター出張所、東京本社勤務、神戸支店長代理、天津、門司、名古屋各支店長を經て現職に就く【所税】三五七四圓【家族】妻フミ(明三八生新潟縣島倉祐次郎三女)男邦夫(大五生早大在)外數子【住所】東京市品川區五反田六ノ一九一【電話】大崎一三三六

金澤彌三郎

【現職】全國菓子商組合聯合會常務理事、東京菓子同業組合相談役、東京菓子卸商業組合理事長、日本製菓(株)監査役、磯錦商會(資)代表社員、菓子卸問屋【出生】明一六・一一大阪府泉南郡樽井村【續柄】豐吉三男分家【經歷事業】夙に東京市淺草區馬道小路製菓所に勤務明治三十九年下谷區御徒町に現業を創始大正九年現地に擴張移轉す【趣味】圍碁、書畫、骨董【宗教】眞宗【所税】五五〇圓【營税】一七八圓【家族】妻シホ子(明二二生大阪府岡本三郎女)長男貞太郎(明四二生桐生高工卒)同妻花子(大一生高田高女卒)外三男一女【住所】東京市本所區太平町一ノ三〇【電話】墨田三六一三

金澤冬三郎

【現職】大日本製糖(株)常務取締役、大正化學工業(株)社長、有隣生命、日東化學工業、臺灣パルプ工業、內外ビルデング(株)各取締役、東邦炭礦、大阪會館各監査役【出生】埼玉縣勘次郎三男【經歷事業】明治三十六年慶大政治科卒初め時事新報社に入り通信員として渡鮮次で安東木材廠に勤務歸朝後大日本製糖に入り秘書役庶務課長、東京工場長、同總務部理事、大阪工場長を經て今日に至る【趣味】ゴルフ【家族】妻愛子、長男廣一郎外【住所】東京市品川區大井鹿島町【電話】大森二八四七

金澤久

【現職】東京耐火煉瓦、關東窯業、內外商事(資)代表社員【出生】明三〇・五福島縣東白河郡高城村【續柄】精之助四男代々名主役を勤む【學歷】大八早大政經科卒【經歷事業】直に淺野同族會社に入り在社七ヶ年大正十五年之を辭し石城耐火煉瓦株式會社專務取締役に就任後同社の日本窯業株式會社に合併せらるゝや辭す現時頭揚の職にあり在社七ヶ年大正十五年之を辭し石城耐火煉瓦株式會社專務取締役會長、八十二銀行(株)社長、片倉製絲紡績(株)取締役【出生】明一七・一一【續柄】【經歷事業】夙に學を卒業後大日本製糖に入り通信員として渡鮮次で安東木材廠に勤務歸朝後大日本製糖に入り秘書役庶務課長、東京工場長、同總務部理事、大阪工場長を經て今日に至る【趣味】ゴルフ【家族】妻愛子(明二四生岩波虎作二女)養子五郎(明三五生片倉武雄弟)長女てい(明四四生三輪田高女卒養子五郎妻)【住所】東京市小石川區金富町六【電話】小石川(85)六六六

片岡範爾

【現職】日本熱處理株式會社專務取締役【出生】明治二五年三月二五日廣島縣高田郡有保村【續柄】淳吉四男【學歷】廣島明道中學校卒【經歷事業】東京鍛工所(株式會社)へ入社其後退社の上現會社の取締役に就任す【趣味】圍碁【宗教】眞宗【家族】妻みさ子(三四歳)長女初枝(昭六生小學生)【住所】荏原區小山町一一五【電話】荏原七二一六

片倉五郎

【現職】片倉生命保險(株)專務取締役日本機械工業(株)取締役【出生】明三五・一一【續柄】長野縣光治五男昭四兼太郎養子【學歷】大一四東大法科卒【經歷事業】片倉製絲紐育支店勤務昭和八年片倉生命保險に轉じ副支配人を經て專務取締役となる【趣味】ゴルフ、讀書【宗教】眞言宗【家族】妻てい(明四四生三輪田高女卒)長男康行(昭九生)外【住所】東京市小川區金富町三五【電話】小石川〇三六六

片倉兼太郎

(株)取締役會長、片倉(名)社長、片倉製絲紡績(株)各取締役會長、八十二銀行(株)頭取、太陽商事、美篤商會、信州電氣(株)社長、昭和興業、薩摩製絲、中央電氣各(株)取締役【出生】明一七・九長野縣諏訪郡岸村【續柄】【經歷事業】夙に學を卒業後大日本製糖に入り秘書役庶務課長、同總務部理事、大阪工場長を經て縦横に活躍昭和九年父歿後一切の業務を繼承今日に及ぶ

片岡親一

【現職】東京農業大學理事兼幹事、日本ドライアイス、三崎製氷、石巻製氷各(株)取締役【出生】明一一・八【續柄】神奈川縣永左衞門長男【經歷】夙に冷藏業を經營暴に帝國冷藏日本ドライアイス各常務取締役たりしが現時上揭諸職に在り【趣味】園藝現に小田原に果樹園經營【宗教】淨土宗【家族】父永左衞門(萬延元生)母まつ(萬延元生)妻とめ(明一三生神奈川縣露本富三郎三女)長男龍夫(明六生東京商大卒第一銀行員)【住所】東京市杉並區高圓寺一ノ三【電話】中野二五八三

片山馴一

【現職】東京螺旋管製作所所主【出生】明治三二年七月岡山縣後月郡青野村大字北山四九六【續柄】篤三三男【學歷】東京高等商船學校出身【經歷事業】昭和三年片山商會を創立同五年本所に螺旋管製作所を設立同七年大森區堤方町に移轉同十一年大森五丁目に本邦最大の新工場を完成す【趣味】旅行【所稅】三一七三五【住所】東京市大森區大森五丁目五十四番地【電話】大森(06)六一二〇

【現職】日本鋼材(株)專務取締役、岸本商事、日印通商、東亞鑛石各(株)常務取締役電業社原動機製作所、東京機械工業各(株)取締役、岸本商店(株)監査役【出生】明二五・一二【續柄】廣島縣吉五郎二男【經歷】曩に上海內外棉株式會社尼崎市岸本製鐵所等に歷職現に上揭重役たり尙曩に日印通商取締役兼支配人、日本鐵瓦合資會社代表社員たり【所稅】三一〇五圓【家族】母なほ、妻幸子(明三一生大阪府廣塚卯兵衞長女高女卒)長女妙子(昭元生)【住所】東京市世田谷區成城町四二五【電話】砧二五一一

門田勝次郎

【現職】宮本鉛工業株式會社深州區千石町二ノ一【電話】(73)二八〇一・五四八〇・三〇六〇・六五九六【住所】麻布區霞町八【電話】(48)四二二五

【位階勳等】勳三等【公職】大倉組(名)副頭取、東京委員【現職】大倉組(名)副頭取、東京高速鐵道、金福鐵路公司各(株)社長【出生】慶應三年九月【續柄】士族亘二男【學歷】慶應義塾修明二四東大工科土木科卒【經歷事業】歐米に留學歸朝後山陽鐵道に入社後大倉組に轉じロンドン支店長を經て取締役副社長になる【功賞】大正十年紺綬褒賞拜受、昭和三年勳三等を賜ふ【家族】妻リヨ(明一四生)男正二(明三三生)同妻マリ子(明三九生)外【住所】赤坂區新坂町五一【電話】青山三九四〇

門脇壯介

【現職】北滿洲金鑛(株)取締役、北滿洲產業研究所理事長、杉頭奉志團常務理事、西水羅、金光、釜谷、星山、鳳岡、靈臺山各鑛山代表者【出生】明一九・九山口縣柳井町【續柄】嘉太郎男【學歷】早大並海軍兵學校修【經歷】夙に橫須賀海兵團に入團し累進海軍兵曹長に任じ此間新兵教育係、橫須賀海軍機關學校教官、軍艦榛乘組等に歷補し曾て其製作に係るモーターボートは畏くも皇后陛下(現皇太后陛下)御嘉納の榮に浴し猪苗代湖御用邸に御採用遊航され同時に秩父宮殿下水泳教官を仰付られ洋服二着袴一具等を下賜せらる歐洲戰亂當時佐鎭管下の前記乘組員として地中海方面に出動凱旋後豫備役編入被仰付次で水戶市山形鑛山勤務を經て東京丸ビルに營業所を設け洋酒、繊詰、食料品直輸入商を創始し更にBMWオートバイ直輸內商秩父商會を經營す滿洲事變後奉天に愛國團體杉頭奉志團、滿洲支部を設置、次で新京哈爾濱漠河等に事務所を設けて砂金鑛脈調査に從事し北滿漠河を中心とする砂金地帶採掘權を獲得昭和十年六月北滿洲金鑛會社を設立現職に就任し更に現時朝鮮各地の上揭諸鑛山を經營中にして近く之等を統合し新鑛山會社設立の準備を進めつゝあり尙目下頭揭諸職を兼ね曾て奉天にて製藥業九喜洋行を經營し又奉天省昌圖にて花崗石山採掘事業に從事せり滿鮮鑛業界有數の逸材たり【住所】東京市目黑區上目黑五ノ二五三七【電話】青山一二五六(事務所)同市麻布區內幸町一丁目大阪ビル二號館電銀座五一八一

片岸清太郎

【位階勳等】從七位勳六等【現職】哈爾濱皮革(株)專務取締役、日露開運(株)代表取締役、日露實業、小林毛皮貿易各(株)取締役、三益興業、日本拓業各(株)監査役【出生】明一一・七奈良市手貝町【續柄】福太郎長男(明一三相續【學歷】明三六和佛法律卒【經歷】卒業後大藏省主計局に奉職大正八年日露實業入社祕書役、監査役、常任監査役　歷任現に其取締役たる外前揭會社の經營に當る【趣味】讀書、旅行【宗教】淨土宗【家族】妻しげ子(明二五生岐阜縣石原保之二女名古屋高女卒)長男濟(大元生東大文科卒法大商業講師)外一女【住所】東京市牛込區白銀町三五【電話】牛込二九九一

【現職】株式會社電成社社長【經歷事業】明治四十四年創立昭和四年株式會社に組織を變更現在に至る芝浦モートル代理店【趣味】讀書、ゴルフ【家族】東京市大森區山王二丁目【住所】東京市大森區木挽町五丁目三番地【電話】銀座三六一二・四二一八

勝田悌治

【公職】東京鍍金業組合評議員及輸出進興會社委員【現職】富士岡鍍金工場主【出生】明治四十二年壹月廿五日生靜岡縣駿東郡富士岡村中山【續柄】故實長男【學歷】專修商業學校卒業【經歷事業】學校卒業後富士瓦斯紡績株式會社に就職後退社の上現工場を創設し現今に至る【趣味】運動【宗教】淨土宗【家族】妻かほる(明治四十二生)長男久仁夫(昭四生小學生)次男(昭十生)外二人【住所】荏原區戶越町一九九(營業所)蒲田區仲蒲田一ノ三【電話】大崎八五二一・蒲田四〇一〇

勝又仁四

【現職】東京粉碎機製作所々長【出生】明治卅八年四月一日【學歷】東大經濟科卒【經歷】事業昭和八年歐米視察から歸朝奈良機械に入社昭和十一年獨立して東京粉碎機製作所を創立粉碎機メーカーとして今日の成功を得る【趣味】寫眞【家族】妻及子供四人【住所】東京市品川區北品川五ノ四七四【電話】大崎二六七〇

勝侯英

【現職】安宅商會、ホーン各(株)東京支店支配人、石川製陶所(株)取締役品川燃料(株)監査役【出生】明二八・一金澤市【續柄】正德長男大二相續【學歷】明四五金澤商業卒【經歷】直に株式會社安宅商會に入り累進して東京支店支配人代理たりしが後支配人となり以て今日に至る傍ら頭揭諸職に在り【趣味】謠曲、圍碁【宗教】眞宗【所稅】七三五九圓【家族】妻テイ(明三三生大阪府山本卯右衞門五女)及德次郎【住所】東京市芝區白金今里町七七【電話】高輪五三七四

神田正吉

【現職】三菱鑛業、三菱石炭油化工業、留萌

神田象太郎

【現職】東京府多額納稅者、龜戸コークス(名)代表社員【出生】明・五九神戸市【經歷】夙に三井物產に勤務明治三十年辭して現所に龜戸コークス製造所を設立大正六年十二月合名會社に改組す現に年產額六萬噸賣上額四百萬圓を突破す【所稅】二二五〇二圓【家族】妻たつ（明六生兵庫縣今村幾太郎養子）長男謙太郎(大二生慶大卒)外數子【住所】東京市芝區高輪南町二八【電話】高輪三三六九

神吉英三

【現職】東北振興化學(株)常務取締役黑部川電力(株)專務取締役、富山電氣ビルデング(株)監査役【出生】明二〇兵庫縣【學歷】明四四慶大理財科卒【經歷】直ちに三井物產會社に入り本店營業部、横濱、ジヤワ、新嘉坡、紐育各支店に歷勤大正十二年轉じて東京時事新報社に入社す爾來營業局次長兼廣告部長、營業局長、理事、監査役、函館水電會社、取締役、支配人を經て現職に就く交詢社清交社各會員たり【趣味】讀書【宗教】佛教【家族】長男貞一(慶大經濟科卒)【住所】東京市澁谷區伊達町八五【電話】高輪二〇三七

【現職】財團法人攻玉社評議員、日獨理化工業研究所長、神谷組工業所主、丸ノ内工業所(資)代表社員、帝國土木(株)相談役、土木建築請負業【出生】明三・一福岡縣赤間町【續柄】友五郎二男明四五分家神谷家は人皇第五十九代宇多天皇の第四皇子光遠卿正三位中納言清氏親王より第七十七代の末裔なり鎌倉時代にては佐々木高綱、建武中興時代にては葛ケ嶽城主宗像大宮司氏貞近代にては故團琢磨男爵等はいづれも同門家系中の人なり【學歷】明四二攻玉社工學校卒【經歷】卒業後九大工科大學土木科助手として三ケ年間土木工學の聽講研究をなし次で九州水力會社員武藏水電會社土木課長等歷勤後ち現所に木建築請負業を開始爾來小湊鐵道、關東水力、小田原急行、朝鮮水力等の諸會社を得意先とし關東大震災後は鐵道省復興局其他一般諸官廳の請負工事に特に力を注ぎ業務隆昌の一途を辿り今日に至る尚現在各地に於て望見する專賣特許萬年電柱(鐵筋コンクリート電柱)鐵筋コンクリート組立家屋アクアシット・セメント防水劑等は何れも氏の發明に係る鐵道協會工學會土木學會各會員たり【趣味】南畫、骨董【宗教】神道【家族】妻壹岐子（明二六生石川縣八田和一郎妹金澤高女卒）長男光一(大六生)外一男二女【住所】東京市澁谷區景丘町四九【電話】高輪一七五二

笠井眞三

【位階勳等】從六位工業博士【現職】小野田セメント製造、朝鮮小野田セメント製造、滿洲小野田セメント製造關東州小野田セメント製造各(株)社長【出生】明治六年十月山口縣吉敷郡宮野村【學歷】明治二十九年獨逸ミユンヘン大學卒【經歷事業】明治二十三年實父の創立に係る小野田セメント製造會社の委囑により渡歐、獨逸ハンブルヒ工業學校及ブラウンシユワイヒエ工部大學を經てミユンヘン大學卒業ドクトルフイロソフイエーの學位を受く廿九年小野田セメント會社の技師に轉じ卅七年取締役に大正七年社長に各就任し昭和五年同社が大分セメントと提携し其の大株主となるや同社相談役に就任昭和八年關東州小野田セメント、朝鮮小野田セメント各取締役社長を兼任何れも現任す【家族】妻シズ、男康一、同妻駿子、外【住所】山口縣小野田町【電話】五六

笠島勝次郎

【現職】昭和電線電纜(株)取締役、東商會(名)社員【出生】明九・四東京市【續柄】東京府重易二男明四二分家【學歷】明三七 東大工科機械學科卒【經歷】卒業後三田土ゴム製造、横濱電線工務部長、古河電氣工業、横濱電線製造所技師、本社工場長、同所長等に歷任し昭和九年六月合名會社東商會を設立其の社員となり尚昭和十二年八月以降昭和電線電纜取締役たり【趣味】散歩、讀書【宗教】淨土宗【所稅】一二〇〇圓【家族】妻キヤウ（明二〇生東京府土田政次郎長女女子學習院卒）長男和介(明四一生農學士農林省勤務)外三男【住所】東京市大森區田園調布三ノ八五【電話】田園調布二三二六

笠原

【現職】小倉石油（株）横濱製油所長【出生】明二五・四【續柄】岡山縣文吾三男【學歷】大八早大理工科卒【經歷】直ちに現社に入り累進東京製油所主任を經て昭和八年現職に榮進す尚曩に歐米に留學す【趣味】圍碁、釣魚、スポーツ【宗教】佛教【所稅】三五〇圓【家族】妻吉野（明二九生仙臺市三好氏女臺北高女卒）長男越郎(大一二生神奈川縣立二中在)外三男一女【住所】横濱市鶴見區東寺尾一三五四【電話】鶴見二四三八

梶井剛

【現職】日本電氣株式會社專務取締役【出生】明治二十年七月【經歷事業】明治四十五年東京帝國大學工科電氣科卒業後遞信省に入り間もなく電話事業研究のため歐米に視察、歸朝後遞信官吏練習所教官となる後電信電話各課長工務局長を歷任し確固たる地位を築く後住友本社に入社參事の資格を以て日本電氣株式會社專務に就任す昭和十三年工學博士の學位を獲得す【趣味】ゴルフ【宗教】佛教【家族】七人【住所】東京市大森區山王一ノ二八一二【電話】大森五〇〇〇

樺山愛輔

【位階勳等】正三位勳三等伯爵【公職】貴族院議員社團法人日米協會副會長社團法人國際文化振興會理事【現職】財團法人國際協會各理事、三井報恩會監事、千歲火災海上再保險、函館船渠、三光紡績、東京ゴルフ各(株)取締役、日本製鐵、三井信託、輪西鑛山各(株)監査役、日本製鋼所、大井川鐵道各(株)相談役【出生】慶應元・五鹿兒島縣【續柄】從一位大勳位伯爵故資紀長男【學歷】米國アムハースト大學文科及ドイツに留學【經歷事業】海外留學十餘年にして歸朝明治四十四年日英水力電氣會社を創立次で日本製鋼所會長其の他重要會社取締役に就任、尚大正十四年以降貴族院議員に列す昭和四年ロンドン軍縮會議、帝國全權隨員並に國際議員會議參列員として出席す同年米國二大學より名譽法學博士の學位を贈らる【趣味】ゴルフ、撞球、銃獵、乘馬、謠曲其他

樺山資英

【位階勳等】正五位勳三等、法學博士【公職】貴族院議員【現職】滿洲棉花(株)社長、日魯漁業、旭邦石油各(株)相談役【出生】明三・七鹿兒島縣【學歷】明二四エール大法學部卒後大學院に學び次で法學博士の學位を受く【經歷事業】明治二十七年陸軍省御用掛を拜命大本營に出任略【趣味】讀書美術、圍碁【所稅】六六〇三圓【家族】妻球麿子(明一四生子爵高島友武養妹)五女繁子(大五生)【住所】東京市四谷區大番町二八【電話】四谷八〇六五

各務鑛三

【現職】文展招待(無鑑査)文展審査員各務クリスタル製作所主、裝飾用高級硝子容器製作業【出生】明二九・三岐阜縣笠原町【續柄】各務鈴三郎長男【學歷】大正五年東京高工圖案科卒業【經歷】滿鐵に入社同社硝子工場に在勤十五ヶ年昭和五年社命により獨佛兩國に留學專ら硝子工藝品の研究視察を行ひ歸朝後昭和九年六月東京市蒲田の現所に匿名出資による工場を設置して裝飾用高級硝子容器製作業を創む尚氏は

鎌木誠一

生】東京市荏原區中延町一〇五一明治二十九年十二月十三日【學歷】早稻田大學理工科【經歷事業】株式會社大阪鋼管製造所監査役、大正十二年六月就任、株式會社羽田パイプ製造所、取締役昭和十年六月就任獨立開店昭和十三年十一月【趣味】旅行【宗教】日蓮宗【所稅】五百圓【營稅】三千五百圓【家族】妻、男子四人【住所】京橋區築地三丁目五【電話】京橋(56)〇五九七・七四二四

亀井正俊

【現職】日本塗裝工業(株)社長【續柄】兵庫縣龜井家養子【學歷】大正十一年京大經濟學部卒【經歷事業】直に名古屋市役所に奉職市長川崎卓吉秘書を命ぜられしが翌年辭して現社に入り取締役大阪支店長に就任昭和五年先代愼平長逝後社長に就任す傍ら東京府代用病院井ノ頭病院主、日本籐製品商會主として各經營を主宰せり【趣味】野球、登山、旅行【家族】養母ユキ(明一六生)妻カッ子(明三七生養父愼平妹ミッ長女山脇高女卒)長男愼(大一三生)外一男一女【住所】東京市世田ヶ谷區玉川田園調布二ノ七〇二【電話】田園調布二五五五

風間誠一

【位階勳等】正五位勳三等、在郷陸軍航空兵大佐【現職】日本ピストンリング(株)常務取締役【出生】明一二・七【續柄】高知縣秀與二男本名秀員【學歷】明三六陸士卒【經歷】卒業後陸軍少尉任官爾後累進航空兵大佐に陞る其間飛行第三聯隊、立川第五聯隊、第三聯隊長等を歷補兵役轉換後石川島飛行機械製作所參事となり昭和十一年現社顧問に就任次で現職に就く【趣味】銃獵、撞球【宗教】神道【家族】妻麝知(明二三生神戸高女卒)【住所】東京市杉並區大宮前五ノ二七二【電話】荻窪四八四二

香川景次

【現職】香川商會代表社員【出生】明治五・一〇神戸市【學歷】高輪中學校卒基督教英語學校【經歷事業】昭和七年以降父業たる現業に從事同九年之を繼承す【趣味】讀書、スポーツ【家族】妻暢子(釜山高女卒)【住所】神田區仲町二ノ五【電話】下谷六三六八

香川此部秀

【現職】日本ビストンリング(株)常務取締役【出生】明一二・七【續柄】高知縣秀與二男本名秀員【學歷】明三六陸士卒【經歷】卒業後陸軍少尉任官爾後累進航空兵大佐に陞る其間飛行第三聯隊、立川第五聯隊、第三聯隊長等を歷補兵役轉換後石川島飛行機械製作所參事となり昭和十一年現社顧問に就任次で現職に就く【趣味】銃獵、撞球【宗教】神道【家族】妻麝知(明二三生神戸高女卒)【住所】東京市杉並區大宮前五ノ二七二【電話】荻窪四八四二

我部政男

【現職】日本塗裝工業(株)社長【續柄】兵庫縣龜井家養子【學歷】大正十二年京大經濟學部卒【經歷事業】直に名古屋市役所に奉職市長川崎卓吉秘書を命ぜられしが翌年辭して現社に入り取締役大阪支店長に就任昭和五年先代愼平長逝後社長に就任す傍ら東京府代用病院井ノ頭病院主、日本籐製品商會主として各經營を主宰せり【趣味】野球、登山、旅行【家族】養母ユキ(明一六生)妻カッ子(明三七生養父愼平妹ミッ長女山脇高女卒)長男愼(大一三生)外一男一女【住所】東京市世田ヶ谷區玉川田園調布二ノ七〇二【電話】田園調布二五五五

鏡三省

【現職】昭和機械工具製作所會計主任【出生】明治二十九年五月三日埼玉縣兒玉郡【學歷】日本大學法律科卒業【趣味】政治、讀書【宗教】禪宗【住所】東京市荏原區下神明町四八一【電話】荏原二九二六・東京市目黒區下目黒四丁目九〇〇番地【電話】大崎(49)〇〇八〇【現職】鋼管及材料商鎗木誠一商店主【出

和六年東京支店長に進み同十三年十一月現職の儘同店取締役に選任さる【趣味】寫眞【所稅】三〇七九圓【家族】妻美佐(明三七生神戸市藤井松四郎長女兵庫縣第一高女卒)長男信一(昭九生)外一男一女【住所】東京市牛込區市ヶ谷仲之町一三【電話】牛込三一一三

上島清藏

【現職】日本アルミニューム工業組合理事長、古河電氣工業(株)取締役兼金屬部長、日蘭商事(株)代表取締役、日本輕金屬(株)常務取締役、東邦金屬製鍊(株)取締役顧問、伸銅共販、中華電氣製作所、青島電氣、秋田工場各(株)取締役、中日實業、關東電化工業(各)株監査役【出生】明一八・一〇三重縣名賀郡花垣村【續柄】龜松二男【學歷】明四〇上海東亞同文書院卒【經歷】直に古河合名會社に入り累進上海支店長に擧げられ次で支那政府と古河住友の合辨事業たる株式會社中華電氣製作所專務取締役に任じ其後東京に歸任し現に頭揭の職に在りて海外金屬資源の開發獲得並に本邦非鐵金屬工業の發展に努力す【趣味】庭球ゴルフ【宗教】眞言宗【所稅】一二五一〇圓【家族】妻芳枝(明三〇生茨城縣清長女水戸高女卒)長男精一(大一〇生慶大豫科在)外二男一女【住所】東京市大森區田園調布三ノ一一六【電話】田園調布二〇〇二

鍵和田眞平

【位階勳等】勳六等【現職】陸軍工兵少尉、昭和肥料(株)取締役、川崎鐵工(株)社長、臺灣拓殖(株)囑託【出生】明一四・八神奈川縣足柄下郡足柄村【續柄】傳次郎二男【學歷】明四〇京大機械科卒【經歷】卒業後芝浦製作所を經て石川島造船所設計課主任となり電氣起重機の發明を宗成昭和三年九月昭和肥料に轉じ理事兼企畫課長、川崎工場建設事務所機械長を經て取締役に列す又曩に昭和鋼管建設部長、日本電氣工業電極工場長たり歐米視察二回日獨戰役に從軍す【趣味】戶外運動【所稅】一八一二圓【家族】妻ちか子(明二五生靜岡縣高辻貴一養子東京府立第三高女卒)二男良治(大八生青山學院卒)外數子【住所】東京市澁谷區青葉町一【電話】青山七九一四

蒲田善藏

【公職】東京ゴムベルト商業組合理事【現職】蒲田商店を個人經營を以つて設置、專らコンベヤーベルト、ゴムベルト、ゴムホース及び其他一般工業用ゴム製品の製造販賣の事業を營む【出生】京都府中郡口大野村二〇五番地【經歷事業】店主蒲田善藏氏は過去三十餘年間傳導調帶事業に攜はり其間斯界の先驅者として幾多の研鑽を積み斯界の爲めに幾多の功蹟を殘せり發明考案に於てベルト類の特許及新案登錄を認可されしもの數十件に達せり全國主要都市に出張所及代理店を有し其業蹟亦綽々たるものにて主なる經歷を擧ぐれば川口羽田調帶株式專務取締役約五ヶ間在任、東海護謨工業株式會社(舊蒲田調帶株式會社)取締役社長五ヶ年在任、昭和護謨株式會社(舊東京護謨工業株式會社)調帶部日本總代理店、ダンロップ護謨株式會社調帶部日本總代理店【宗教】佛教【家族】三人【住所】東京市芝區新橋四丁目四番地【電話】芝(43)二三八二・二五五二

柏倉吉三郎

【現職】池貝鐵工所(株)取締役【出生】明一七・一一山形縣東村山郡豐田村【續柄】九郎兵衞長男【學歷】明四一東京高商卒同專攻科修【經歷】直に高田商會に勤務し大正六年現社に轉じ營業課長、工作機械部販賣課長、營業部長を經て現職に就任す【趣味】旅行【宗教】淨土眞宗【所稅】一三二七圓

【家族】妻千代(明三七生千葉縣神子源次二女千葉高女卒)長男吉雄(明四五生高千穗高商卒)外三男三女【住所】東京市淀橋區西大久保三ノ五一【電話】四谷七一二八

【現職】北支那開發(株)理事、興中公司(株)取締役【出生】明二九・一二【續柄】石川縣清平長男【學歷】大九東大法科卒【經歷】同年三菱造船入社同十一年三菱合資々料課に轉じ昭和四年總務部勤務後三菱商事庶務業務各課長を經て同十三年十一月北支那開發の創立と共に理事に就任す【趣味】運動讀書【宗教】眞宗【所稅】五八五圓【家族】妻澄子(明三五生東京府河合辰太郎二女府立一高女卒)長男英夫(大一一生成城學園中學部在)外【住所】東京市澁谷區幡ヶ谷笹塚一一四六【電話】四谷三九二三

宮谷清松

【位階勳等】從四位勳三等、【現職】帝國鐵道協會理事、關東產業團體聯合會常務委員、京王電氣軌道(株)專務取締役大日本電力、北電興業各(株)常務取締役、愛國化學工業(株)社長、八王子瓦斯、東部證券各(株)取締役【出生】明一五・一鳥取市片原町【續柄】健五郎長男明一七相續【學歷】明四〇東大卒【經歷】卒業後高文合格、臨時鐵道國有準備局事務官兼遞信書記官、鐵道院參事、大阪運輸事務所長、本省貨物課長、門司鐵道局長、東京鐵道局長、鐵道省監督局長、經理局長を經て運輸局長となり昭和四年東京市電氣局長に就任翌年五月辭任す【趣味】旅行、登山、讀書、ゴルフ【宗教】眞宗【所稅】二五六八五圓【家族】妻きわ子(明二八生東京府相馬久吉妹)男正雄明四三生東京大卒)外二男【住所】東京市淀橋區下落合四ノ一七〇五【電話】大塚三〇八〇

箕　正太郎

【現職】東洋耐火練瓦(株)專務取締役【出生】明一六・三東京府相馬久吉妹)男縣彌太郎長男昭五相續【學歷】卒業後三井物產大阪支店に入り在勤滿四年次で門司、神戸、大連、印度等に轉々し此間榮枯盛衰の貴重なる體驗を積む大正十一年以降可兒柳田兩家經營の現稱柳田ビルブロー常任監査役に就任更に二代目神谷傳兵衞の知遇を得て事業界に今日の大を成せり【宗教】眞宗【所稅】四四三四圓【家族】妻きぬ子(明三六生茨城縣八松源次郎子)長男孝夫(明三七生東大工科卒伯林三菱商事勤務)同妻節子(明四〇生柳田榮二女精華高女卒)其二子及一女【住所】東京市小石川區久堅町二六【電話】小石川一六九三

可兒信夫

【位階勳等】正五位勳三等【公職】長く海軍大學校教官、海軍研究所勤務の位置に在りしものなるが先年離現役の恩命に接し直に葛研究所を創立し航空計器の生產に當ると共に發光塗料の研究に從事しつゝあり【現職】株式會社葛製作所取締役社長、國產工業合資會社代表社員【出生】明治十九年七月三十日【續柄】戸主【學歷】英國グラスゴー大學卒業、瑞西(殊にチューリヒ大學)獨、佛各大學研鑽【經歷事業】夜光塗料の最優秀品を國產化すべく多年研鑽せる結果終に昭和十三年十一月理想的優秀品を得るに成功し今や逆に海外輸出せんとするの狀況に達したり【功賞】明治四十二年海軍機關學校卒業に際し御前講演の光榮に浴し恩賜時計を拜受せり【趣味】乘馬、スキー【宗教】佛教【所稅】二〇一〇【營稅】會社營業稅一一〇〇〇【家族】長男公一(長岡高工)次男公英(成城中學)五男五郎(東中野小學校)妻八重子(杉田定一女)先年歿す【住所】東京市中野區東中野華洲園【電話】中野(38)七三三八大塚(86)二二〇

葛　貞修

き之部

【位階勳等】從五位勳三等【現職】輿羽電燈、帝國合成工業各(株)取締役【出生】島根縣大東町義三郎二男【學歷】早稻田大學卒【經歷事業】初め大東町郵便局長に任し次で諸會社重役に歷任今日に至る【宗教】眞宗【家族】長男東太郎外母タツ、長女孝子外【住所】東京市本鄕區富士前町七三【電話】大塚五〇五三

木村小左衞門

【現職】株式會社光良商會專務取締役【出生】大正三年九月一日生【續柄】平民【學歷】慶應義塾大學經濟學部卒、【經歷事業】明治四十三年創業昭和十三年八月株式組織に改組現在に至る【趣味】ゴルフ、讀書【住所】千葉縣市川五ノ九七五・本所區綠町三丁目六番地【電話】本所(73)三五九二・三五九三

木村宰明

【現職】東京實業株式會社取締役社長【出生】明治二三・七・八【學歷】東京中央大學法科卒業【趣味】旅行、茶道【住所】東京市澁谷區八幡通二ノ一六【電話】澁谷(46)〇三〇六

木村榮吉

【現職】木村組鐵工所經營【出生】長崎縣明治一七・二【續柄】伊作長男【經歷事業】長崎造船、淺野造船、內田造船等を經て昭和十一年木村組鐵工所を創立して現在に至る【功賞】勳七等【趣味】日本精神の研究【宗教】眞宗【所稅】三九五〇圓【家族】妻春代、長男博治、次男誠【住所】橫濱市鶴見區菅澤町二二三【電話】鶴見三一四九

木村辰治

【現職】不二興業(株)會長(金剛山電氣鐵道、大東紡織各(株)取締役、日立製作所、東京運河土地、朝鮮貯蓄銀行、朝鮮製鍊各(株)監査役【出生】明一五・四東京市日本橋區小網町【續柄】愛知縣加藤次郎市三男直吉養子【學歷】橫濱商業修【經歷事業】夙に貿易商黑田商店モーター商會、高田商會、銀座販賣店、自動車販賣所主任等に歷勤後同志と八洲自動車株式會社を起し常務取締役に就任改組後代表取締役となる【所稅】一六一七圓【家族】妻カウ子(明一九生福島縣早津末松長女)長男繁(明四二生早大商科卒山中商會勤務)外數子【住所】東京市澁谷區長谷戸町四三【電話】澁谷一二六〇【現職】大日電線(株)取締役、旭電化工業、原町紡績各(株)監査役【出生】明一八・七【續柄】東京府巳之助長男昭三相續【學歷】明四二慶大理財科卒【經歷事業】曩に古河合名會社殖產係長たり後諸會社に關係す【所稅】一〇二四圓【家族】母ふじ(明元生東京府高幡庄太郎長女)長女慶子(大四生)【住所】東京市大森區山王一ノ二七〇三【電話】大森二六二六

木村次雄

【現職】日滿亞麻紡織(株)常務取締役【出生】明二〇・四【續柄】秋田縣竹治二男明二九相續【經歷】夙に帝國製麻日本製麻等に歷勤京都人絹合資會社代表社員を經て昭和九年現職に就任

木村彖次郎

木村利吉

木村治助

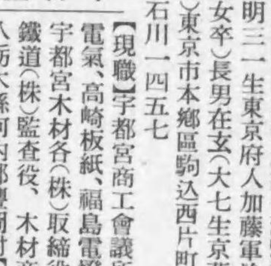
卒）長男慶太郎（大六生東北帝大在）外數子【住所】橫濱市神奈川區宮ヶ谷町一三【電話】神奈川一八六六

木村寶三郎

【現職】木村寶業（株）取締役、木和（資）出資社員【出生】明三四・九【續柄】和歌山縣平右衞門孫【學歷】高千穗高商卒【經歷事業】更にハーバート大學に學ぶ歸朝後三百年の歷史を持つ父業たる木材實業株式會社の經營に當る東京ロータリークラブ、交詢社、日本橋クラブ各會員たり【趣味】洋書、俳句【宗教】淨土宗禪門に參ず【所稅】三〇七圓【家族】祖母のぶ（女久三生）父平右衞門（明一四生現戶主）母八百代（明一七生）妻八重子（明三八生子爵東胤祿長女女子學習院卒）次男文治（昭九生）外數子【住所】東京市牛込區市ヶ谷田町三ノ二〇【電話】牛込二五〇

木下茂

【現職】山一證券株式會社取締役社長【出生】明一八【學歷】明治四十二年早大卒業【經歷事業】大正三年入社【住所】東京市麹町區二番町一〇ノ一一【位階勳等】海軍主計大佐正五位勳三等功五級【現職】合名會社木下國明商店代表社員【出生】長野縣上伊那郡中澤村【學歷】明治卅四年早稻田專門學校政治經濟科卒業【經歷事業】大正十四年より埼玉縣大宮町に織物工場を經營す大正十四年橫須賀市港町一番地に納品部を設け事業の發展に伴ひ各地軍港に出張所を設け誠實敏速を主義とし經營今日に至る【趣味】圍碁【所稅】三五九六圓【住所】東京市目黑區上目黑二ノ一七三五【電話】澁谷一二五一（營業所）東京市牛込區揚場町八番地【電話】牛込四七五一・一〇八九



木下國明

【位階勳等】從七位勳六等【現職】在鄉陸軍工兵中尉、富士瓦斯紡績（株）常務取締役【出生】明一八・一〇千葉縣山武郡千代田村【續柄】故貴族院議員木內重四郎甥【學歷】明四二東大工科機械科卒【經歷事業】卒業後富士瓦斯紡績に入社初め小山工場勤務大正元年社命に依り歐亞綿業視察に派遣歸朝後川崎工場の創設に功あり次で小山工場主任技師、本社工業部長、官廳用達部砲印」研磨布工場を經營す

木內直

取締役等を經て現職に就く曩に西伯利亞事變に出征す【趣味】讀書、文藝【宗教】日蓮宗【所稅】六三三〇圓【家族】父佐平（安政二生）妻ミル子（明二九生故富士紡績監査役伊東要藏長女津田英學塾卒）長男誠（大九生東京高校在）外數子【住所】東京市本鄉區駒込上富士前町七三【電話】大塚五二〇二

木內信常

【位階勳等】從七位【現職】株式會社木內工業所、東京化學工業株式會社（東京市大森區大森一ノ二一）亞領海事株式會社、ベニヤグルー株式會社各社長、日清化學工業株式會社專務取締役【出生】明一七・二一七生【學歷】神戶高等商業學校卒業【經歷事業】神戶高商卒業後商業學校教諭を拜命從七位を賜ふ後實業界に轉じ森六商店支配人となり昭和四年木內工業所を起しベニヤ板製造用強力接合劑大豆、グルー等の製造をなし大に成功し斯くてベニヤグルー株式會社及び日清化學工業株式會社を創立し業務を大に發展せしめ輸入カゼインの防遏に停大なる功績を成すまた東京化學工業株式會社を經營し合成樹脂工業、植物油脂（落花生油、胡麻油當り胡麻、澱粉、豆粉を製造し猶木內氏の發明になる紙屑再成機、金屬代用看板等の製作に邁進しつつあり【趣味】スポーツ、謠曲、釣魚【宗教】佛教【家族】妻タケ、長男近信（明治四十三年生、帝大法卒滿洲中央銀行支店長）長女保子（大元梯茂雄に嫁す）次男常男（德島高工卒）【住所】東京市大森區大森一ノ二【電話】大森六六一八・三二四六

木全環

【現職】奉天機器製造（株）技師長【出生】明一九・五【續柄】愛知縣人延猛四男【學歷】明四二名古屋高工卒【經歷】名古屋市建築部、臺灣總督府、橫河橋梁東京支店機械煖房部技師東亞鐵工所東京支店技師長、名古屋出張所長、取締役兼東京支店長等に歷勤、昭和十三年現職に就く【趣味】寫眞、旅行【宗教】禪宗【所稅】四五九圓【家族】妻貞子（明二五生千葉縣四宮榮次郎長女）長男勳（明四五生名古屋高工機械科卒）【住所】東京市杉並區荻窪二丁目一一八【電話】荻窪二五四六

木島秀太郎

【現職】木島スプリング製作所主【出生】明二七・一一・一八【續柄】平民【經歷事業】明治四十二年より本所スプリング製作所に勤務、後同所を圓滿に退社した大正十三年より本所龜澤町三ノ二一【電話】本所（73）六六七五

菊地金藏

【現職】菊地鐵工所【出生】明一八・四・一二【續柄】平民【經歷事業】大正元年現住所で諸機械製造業を開始し昭和五年より正面盤專門製作に從事し今日に及ぶ同所は小型正面盤の元祖として大型強力工作機のメーカーとして其の確實性を謳はれて居る分工場は江戶川區東小松川三丁目二五〇九番電話江戶川五一五である【趣味】義太夫【家族】三人【住所】東京市深川區高橋四ノ一五ノ二【電話】本所（73）六四七

菊地孝

【現職】福島鐵工機械組合理事長、福島製作所（株）專務取締役【出生】明二二・一〇福島縣伊達郡粟野村【續柄】喜左衞門男【經歷事業】夙に藤田鑛業會社伊達工場に入り累進經理課長たりしが大正九年福島製作所を創立支配人を經て現職に就く【趣味】旅行、狩獵【宗教】佛教【所稅】一二五圓【家族】妻きの、長女京子外一女【住所】福島市新町五四・（株式會社福島製作所）福島市六反田一【電話】一〇〇五

【現職】菊池工業所主、ボイラー及タンク製造業【出生】明二〇・七東京府小笠原島【學歷】築地工手學校卒【經歷事業】後大藏省臨時建築部、甲野時計製作所工場長等

菊池武一

に歴任昭和二年菊池工業所を設立ボイラー及タンク其の他鐵工業一般の製造業を創始し煖房裝置、換氣裝置煤煙防止裝置、蒸汽罐、煙突鐵骨タンク、消毒器等の製作を行ひ、今日の盛大を致す工政會、衞生工業協會、日本工業會、月島工業會、東京鐵工機械同業組合、東京化機學械工業組合、東京工場協會月島支部、永代消防署後援會、工學院同窓會、日本產業青年共勵會等の各役員たり【所稅】九九一圓【營稅】二六九圓【家族】妻ハナ（明三六生東京府近間仙太郎長女）【住所】東京市大森區北千束町四〇四【電話】荏原五四一一（菊池工業所）同市京橋區月島通七ノ七【電話】京橋三三六五

菊本直次郎

【現職】三井（名）重役待遇、壽重工業、壽纖維工業各（株）會長、日本パルプ工業（株）社長、東邦パルプ工業（株）取締役【出生】明・三九三重縣上野町【續柄】舊伊賀藤堂藤堂藩士保有二男明一六相續保有第八十三國立銀行創立者【學歷】明二五慶大理財科卒【經歷事業】卒業後三井銀行大阪支店、和歌山支店次席、神戸、函館各支店次席、本店調査課深川支店長兼箱崎倉庫主任大阪支店長、本店營業部長、常務取締役筆頭常務等歷任昭和九年三月會長に就任昭和十一年八月辭任後日本パルプ工業、壽重工業等の經營に關與す曩に歐米各國を視察す【趣味】書畫、骨董、圍碁・俳聖芭蕉の蒐集家【所稅】九八四四圓【家族】妻ひさ（明一四生三重縣宮川治部之介三女）長男保夫（明三〇生慶大理財科、英國劍橋大學各卒、三井信託社員）同妻多賀子（明四一生東京府雨宮鐵郎妹）外一男【住所】東京市赤坂區青山南町六ノ一一六【電話】青山一二〇一

菊島辰男

【現職】合名會社アサヒ總本店製作所所長【出生】明治三十七年一月【學歷】早稻田高工卒業【趣味】研究、旅行【家族】妻、二男二女【住所】東京市芝區濱松町三丁目三番地【電話】芝二七〇七

北澤茂作

【現職】北澤電機製作所（名）代表社員電氣機械器具製作業【出生】明三一・一【續柄】長野縣音松二男大一一分家【經歷】曩に山脇電機製作所を經營昭和十一年資本金二十萬圓の北澤電機製作所を設立代表社員に就任す海軍指定工場たり【所稅】二三九圓【家族】妻サダヨ（明三四生長野縣佐々木伊勢太郎二女）長男和喜（昭八生）外數子【住所】（北澤電機製作所）東京市品川區南品川四ノ四八二【電話】高輪三三八一・五四六

北原今朝吉

【現職】荏原電業社（株）社長【出生】明一五・二【經歷】明治四十二年東京電燈に入社勤續三年獨立關西東北北海道地方の配電工事に從ひ大正十年一月大森區入新井に開業東京電力の委託店並に京濱電氣其他諸會社特約店として電燈電力工事に從ふ昭和四年現地に移轉次で資本金十萬圓の株式に改組す【趣味】園藝【所稅】一四九四六圓【營稅】五二八四圓【家族】妻ユミ子（明二二生）長男重秋（大六生）一男二女【住所】（荏原電業社）東京市蒲田區東六鄉一ノ七【電話】蒲田三三二九

北上正

【公職】產業報告會理事長、工作機械組合理事【現職】北上機械製作所長【出生】新潟縣新潟市出身明治二七年生【續柄】新潟縣平民【學歷】新潟商業出身【經歷事業】大正九年拾月豐島區池袋町プレーナ專門工場設立昭和十一年板橋區志村前野一一〇五移轉現在に及ぶ【宗教】佛教【家族】妻、一男二女【住所】東京市板橋區志村前野町一一〇五【電話】板橋九五三

清田房次郎

【現職】清田商店、横濱清田商店、山ノ坊無煙炭礦、巣鴨驛合同運送各（株）社長、三四石炭（株）會長、南北運輸（株）取締役、石炭商【出生】明二四・九東京市【續柄】神奈川縣先代房次郎長男昭一〇相續前名泰靖【學歷】大三慶大理財科卒【經歷】夙に父創業の清田商店に勤務株式に改組と共に取締役に就任先代歿後社長に就任す【經歷事業】現在取扱炭は傍系會社の採掘炭の外に九州炭は三井物產會社より又常磐炭は大倉鑛業會社及沖ノ山炭礦等より仕入れ東京を中心に近縣一帶の各工場、同業者官廳方面を主なる得意先とし目下年商高二百五十萬圓に上る資本金百萬圓【趣味】戸外運動、圍碁【宗教】眞言宗【所稅】二七四一六圓【家族】母げん子（慶應二生）妻ツル子（明二九生神奈川縣越光彌七二女東京高女卒）長男隆彥（大一一生）外數子【住所】東京市澁谷區宇田川町二六【電話】青山一六八四・（清田商店）東京市芝區西芝浦二ノ六【電話】三田一一八五（4）（出張所）荒川區南千住三ノ一四七【電話】淺草一〇三三（巣鴨支店）本鄉區駒込上富士前町一〇三【電話】大塚五七一四（高濱町出張所）芝區高濱町一【電話】三田四七一六

清家瑩三郎

【現職】清家（名）代表社員、日本デイゼル工業（株）副社長【出生】明一六・二愛媛縣【續柄】松太郎三男（明三四分家【經歷事業】明治四十一年韓國漢城財務監督局主事となり合併後朝鮮總督府に奉職大正七年大正海上火災保險創立事務に關與せるが後小田柿家保全會理事長たり「唐の太宗」の著あり【趣味】ゴルフ、和歌【宗教】日蓮宗【所稅】八六〇圓【家族】妻美佐雄子（明二三生滋賀縣小田柿捨次郎姪東京府立第三高女卒）養子和子（昭二生東京府藤本愼吾長女）【住所】東京市麻布區笄町一八一【電話】赤坂四七八八

岸義男

【現職】矢作工業（株）取締役、矢作水力、木曾川電力、梓川電力各監査役【出生】明一五・四【續柄】東京府幹太郎長男【學歷】東亞商業卒【經歷事業】卒業後電業社、東京電化工業常務取締役、電氣精鋼所監査役、東海電氣、南信電力各常務取締役等歷勤昭和八年五月矢作工業常務取締役に就任す【趣味】園藝、狩獵【宗教】眞言宗【所稅】五八一圓【家族】妻モリ（明三〇生秋田縣高橋勇吉姉秋田高女卒）弟浩三（明二二生）其妻子【住所】東京市淀橋區下落合一ノ四〇六【電話】大塚三四〇七

岸田政太

【現職】昭和礦業（株）取締役兼新幌內鑛業所長【出生】佐賀縣萬次郎長男【學歷】明治四十年京大工科卒【經歷事業】三菱に入り筑豐炭礦技師長となり次で飯塚鑛業會社技師長を經て昭和七年昭和礦業會社に入り今日に至る【家族】妻のぶ、長男正二外一男一女【住所】東京市世田谷區北澤町二ノ一二四

喜多正雄

【現職】大洋工機商會支配人、合資會社モエヌヤ建築社代表社員【出生】富山縣高岡市明治三八年一〇月二〇日【續柄】平民善三郎長男【學歷】富山縣高岡中卒【趣味】圍碁【宗教】淨土眞宗【家族】妻久子（明三六）長男雄一郎（昭八生）長女志津子（昭和二生）次女年子【住所】東京市京橋區室町二ノ五【電話】京橋二三四四・五九八四

狐崎武夫

【現職】狐崎無線電氣製作所（株）社長狐崎（名）代表社員【出生】明二〇、四函館市【續柄】武吾長男【學歷】明四一東京高工電氣科卒業【經歷事業】直に芝浦製作所に勤む捲線係絕緣係各主任歷任【趣味】謠曲、盆栽【家族】妻カ

ツ【住所】横濱市神奈川區日吉町一九三
○【電話】日吉二〇六一

く之部

久保田藤造

【現職】久保田鐵工所(株)(東京市有樂町東日會館)專務取締役兼東京支店長、日本鑄鐵管(資)代表社員、滿洲久保田鑄鐵管(株)監査役、尼崎製鐵(株)取締役【出生】明治三十年十一月權四郎二男として生る【學歷】早稻田大學商科卒業【經歷事業】前記各社重役【所稅】二八五三一【家族】妻千代(明治三八・一生和歌山谷井虎之助女)長男陽一(大正一五、一〇生、成城高校尋常科在學)長女喜代子(大正一三、一二生成城高女在學)【住所】東京市世田谷區成城町三四五【電話】砧一九

久保田久夫

【現職】東京城南輕機工業組合理事株式會社久保田工具製作所社長【出生】明治二九年七・十六靜岡縣袋井町【續柄】平民三男【學歷】明治四十一年袋井小學校卒【經歷事業】明治三十八年久保田工具製作所創立、昭和十三年十二月久保田工具製作所を株式に組織現社長【趣味】寫眞及旅行【宗教】曹洞宗【家族】妻きへ(明治三四生靜岡縣堀內成瀨氏三女堀內高女卒)長女多喜子(昭和二年生糀谷町小學校五年)【住所】東京市蒲田區糀谷町二ノ六一二【電話】大森(06)三二五三

久保田四郎

【現職】日本油脂(株)常務取締役、油脂部長、朝鮮油脂、大連油脂工業、奉天油脂、日本石鹼、高壓化學工業(株)取締役、特許洗劑、硬化油販賣、グリンセリン販賣各(株)監査役【出生】明二一・二【續柄】男爵樞密顧問官讓四男周輔養子明三七相續【學歷】明四五東大工科應用化學科卒【經歷】卒業後神戸鈴木商店に入り後合同油脂グリセリン常務取締役理事兼總務部長を歷勤昭和十二年六月現職に就く【所稅】四一三一圓【家族】妻靜穗(明三三生奈良縣大輪田才次郎長女奈良女高師附屬高女卒)男彰(大九生東京高師附屬中在)外一女【住所】東京市小石川區駕籠町一五二【電話】大塚一五四三

久保田積藏

【位階勳等】勳六等【現職】大日本煉炭(株)社長、大同產業、大同生藥工業、庶路本岐炭礦各(株)取締役、大鳳工程公司(資)有限責任社員【出生】明一六・二熊本縣葦北郡百濟來村【續柄】長重弟當家祖先は菅公に致仕す【學歷】明四一東大法科大學獨法科卒【經歷】直に朝鮮銀行に入り鎭南浦、吉林哈爾賓各支店長、本店支配人、營業局長、滿洲業務部長兼庶務部長、大阪支店長、東京支店支配人等に歷任す【所稅】七七七圓【家族】妻るい子(明二三生群馬縣針谷邦雄妹)長男正夫(大三生)外二男一女【住所】東京市澁谷區原宿二ノ一七〇【電話】青山三五七四

久米又藏

【現職】原(名)理事、日本ハマライト、朝鮮農林、富岡製絲各(株)監査役【出生】明一〇・三【續柄】神奈川縣又七郎長男【學歷】横濱商業卒【經歷】夙に原合名に入り輸出部支配人を經て昭和十年理事となり同十三年五月日本ハマライト創立と共に現職に就く【所稅】一三二一四圓【家族】養母じゆん(安政三生)妻薫(明二一生長野縣小島相陽二女)長男利郎(大二生)外一男二女【住所】横濱市中區本牧和田町一一三【電話】本局四一六

久埜茂

【位階勳等】正四位勳二等【現職】西部共同火力發電(株)常務取締役【出生】明一七・一〇米子市【續柄】龜吉長男昭二相續【學歷】明四四東大法科大學獨法科卒高文合格【經歷】爾來通信事務官補、遞信局事務官補、遞信局副事務官兼戰時船舶管理局事務官、管船局書記官、遞信書記官兼高等海員審判官臺灣總督府交通局參事、遞信大信官房秘書課長同監察課長、廣島遞信局長、遞信省郵務局長兼遞信官吏練習所長等に補任昭和十一年三月官界を勇退す大正十年歐米出張【趣味】スポーツ畜犬、修養談【宗教】佛教【所稅】三三九〇圓【家族】妻富子(明二八生鳥取縣木村吉兵衞妹)嗣子春雄(大一〇生)外一男三女二弟【住所】東京市小石川區駕籠町一七一【電話】大塚〇〇六

久保良輔

【位階勳等】正五位勳三等【現職】在鄕海軍機關大佐、信越石油鑛業(株)代表取締役、東邦石油、棚橋組各(株)取締役【出生】明一五・二【續柄】讓次二男【學歷】明三七海軍機關卒【經歷】累進海軍機關大佐となり昭和二年豫備役被仰付後燃料協會常務主事、日本揮發油顧問、東邦石油常務取締役兼製油部長を經て同十三年二月信越石油鑛業代表取締役となる【趣味】書道、刀劍、釣魚【宗教】日蓮宗【所稅】一六二圓【家族】妻靜子(明二八生鳥取縣荒山泰妹鳥取高女卒)二女和子(大七生東京女高師在)【住所】東京市板橋區常盤臺二ノ二〇【電話】板橋五四二

【公職】タイ國横濱駐在名譽領事、横濱商工會議所議員【現職】倉田重工業株式會社取締役社長(横濱市神奈川區守屋町電話神奈川(4)代表一一三一・一三三六番)株式會社横濱塗料工商會取締役社長【出生】明治十八年七月二十五日生【續柄】喜作次男【學歷】米國ボルテックニック・ハイスクール卒業【經歷事業】靑年時代渡米同地ハイスクール卒業歸朝後家業たる船舶工業請負及機械類販賣に從事大正六年横濱市平沼に倉田組鐵工所を設立諸機械製造及造船並に船舶修理を開始し後神奈川區守屋町子安海岸に工場移轉株式に改組昭和二年乘合及貨物自動車ボデー製作部を增設し今日に至る【趣味】運動、讀書【宗教】佛教【家族】妻、子供、男子二名女子二名【住所】横濱市神奈川區澤渡二一番地【電話】神奈川三二一二

倉田猛郎

倉田龜之助

【現職】磐城炭礦(株)常務取締役、石城證券(株)取締役【出生】明三〇・八【續柄】故龜吉長男松本樓主資產家小坂梅吉甥昭五相續因に先考龜吉は磐城炭礦會社專務取締役外諸會社の重役たりき【學歷】大一二東大採鑛冶金科卒【經歷】初め三井鑛山會社に入り

同社田川鑛業所に勤務す後獨逸に留學三年次で磐城炭礦會社鑛業技師となり現時同社常務取締役として知らる【趣味】スキー、旅行等【所稅】三二三圓【家族】母りう(明三生東京府士族原田重厚二女)妻輝子(明三八生東京府清水幸一郎妹御茶ノ水高女卒)長男吉之(昭五生)外一男五女【住所】東京市本鄕區湯島三組町七四【電話】下谷六八六〇

倉持長吉

【現職】東京府多額納稅者、倉持商店(株)社長、玩具問屋【出生】明八・七・茨城縣結城郡西豐田村【續柄】諏訪重二郎二男明二五養家相續前名鼎當家弘化年間より豐田屋と稱し玩具商を營む【經歷】夙に家業に從ひ昭和十二年改組從業員百三十名販路全世界に及び年商高約四百萬圓を計上しつつあり傍ら明治三十八年玩具、雛人形、問屋、組合頭取となる外に玩具卸商、同業組合長、東京實業組合聯合會副會長、東京商工獎勵館商議員對露輸出組合監事、對佛瑞白輸出組合理事、東京商工懇話會幹事長等たりき【所稅】一九一〇六圓【家族】妻ちやう(明一一生養父長吉長女)長男誠一(明三五生)外一女【住所】東京市小石川區雜司ヶ谷町一二七【電話】牛込一一九五(店舗)同市日本橋區馬喰町一ノ一【電話】

倉敷定

浪花一一四一(4)・(直轄部)同市同區橋町三ノ七【電話】浪花三一九一(2)

【現職】東京金屬工業(株)社長、唐津熱錬工業所主【出生】明二三・一〇久留米市【續柄】萬藏長男【學歷】大三早大商科卒【經歷】卒業後南阿喜望峰に航し某商會に勤務大正五年ヤマト商會創立同十年歐洲來商業ビルブローカー銀行支配人となり後倉敷ビルブローカー商店開業次で日本事務器商會日阿商會等の經營に任ぜしが昭和八年唐津熱錬工業所を創設金屬熱處理を開始同十二年東京金屬工業株式會社を創立專ら爆彈、砲彈及軍器製造に從ひ今日に至る【趣味】圍碁、旅行、讀書【宗教】日蓮宗【所稅】七四二圓【營稅】一八三圓【家族】妻貞子(明三三生前川儀太郎二女)男豪夫(大一一生)外一男二女【住住】東京市大森區山王二ノ一九一四【電話】大森八一六七

倉橋三平

【現職】財團法人錦城學園理事長、倉造元【出生】明九・六【續柄】父玉社中學校卒業工手學校機械科卒業【經歷事業】父業繼承現在に至る【趣味】書畫【宗教】眞言宗【所稅】二一六七五【營稅】二〇一七五【家族】妻春子、長男重光、幸雄、照夫、吉雄、貞雄、長女房子、花子、八重子、靜子、順子、澄江【住所】(工場)城東區南砂町三ノ三【電話】本所四六九・三二九八【住宅】京橋區小田原町一ノ六【電話】(56)二六

黑澤丑之助

【現職】東洋工業社製作所長【出生】明治三十五年八月十二日【學歷】早稻田工科卒業【經歷事業】帝大航空研究所に五ヶ年勤務後退所【趣味】テニス【家族】妻、子供三人【住所】東京市品川區大井南濱川一六八〇【電話】大森(06)四二八二・八九六六

黑川竹太郎

【現職】工作機械販賣業、黑川商店主【事務所】東京市日本橋區通二ノ三(中央ビル)電話日本橋(24)四六二一【住所】同市本所區厩橋一ノ一六

國澤新兵衛

【位階勳等】正四位勳二等工學博士【公職】帝國軍人後援會理事【現職】日本通運(株)社長、朝鮮京南鐵道(株)取締役會長、華中鐵道(株)取締役、【出生】元治元・一一【續柄】舊高知藩士四郎右衞門三男【學歷】明二二東大土木科卒【經歷事業】九州鐵道會社技師、鐵道廳技師、遞信技師等に歷任明三十九年滿鐵理事に就任夙で副總裁、理事長となり大正八年退社昭和三年朝鮮京南鐵道取締役會長同十二年日本通運社長に就任大正四年學位を受け大正九年衆議院議員に當選又帝國鐵道協會長、帝國內燃機會社取締役會長に就任【趣味】謠曲【宗教】神道【所稅】二三七五圓【家族】妻清(明四〇生)外二男【住所】東京市澁谷區千駄谷一ノ五六

工藤弘壽

【現職】東京製作所主【出生】明治四十二年十二月廿日山形縣東村山郡大郷村字船町【續柄】故清藏長男【學歷】名古屋高等工業學校卒業【經歷事業】學校卒業後現製作所を創設し現今に至る【趣味】スポーツ【宗教】眞宗【所稅】六〇〇【家族】妻滿二二〇〇【營稅】(明治四十二生高女卒)長男弘(昭十四生)【住所】東京市大森區新井宿六ノ六〇二【電話】大森五六四八

栗原和三郎

【現職】方面委員、司法保護委員、栗原和三郎商店主、紡織機械製作販賣業【出生】明一六・三東京市【續柄】栃木縣和市長男【經歷】夙に家業たる紡織機械製作販賣業に從事し大正十年其業務一切を繼承自ら經營の第一線に立ち堅實方針の下に逐年業容を擴大し以て今日の盛業を招來せり【宗教】淨土宗【家族】妻チカ子(明二〇生)長男輝夫(大三生早大商學部卒)外一男二女【住所】東京市本所區緑川町二二【電話】本所〇九二五、八四九〇、九四七〇

栗山晉

【現職】株式會社栗山電機製作所取締役社長【出生】鹿兒島縣明治三十五年【學歷】東京電機學校【經歷事業】日立製作、明治電機を經て昭和八年個人經營栗山電機製作所を創立昭和十三年株式會社に改組代表取締役に就任して現在に至る【趣味】カメラ、撞球【宗教】淨土宗【住所】東京市目黑區中目黑二ノ六〇五【電話】大崎四七六

欅木幹雄

【現職】日本郵船事務取締役、近海郵船、朝鮮郵船各取締役【出生】山口縣明治三七東京高校卒【經歷事業】卒業と同時長崎商業教諭となり翌年日本郵船入社營業部副長、內航課長、副參事、同主事、大阪、上海、神戸各支店長を經て昭和十年現職に就く【住所】東京市澁谷區代々木山谷二〇六【電話】四谷七〇三六

窪添正彌

【現職】九川商店經營【出生】明治三十二年二月二日【學歷】高知縣々立中學卒業【趣味】讀書【宗教】神教【家族】妻二人【住所】深川區牡丹町一丁目七番

地【電話】深川(64)三〇六八・一四六二

鞍掛駿郎

【現職】株式會社鞍掛機械製作所社長株式會社東京電氣爐製作所社長【出生】明治三十年【經歷事業】丸ノ内日下部商店營業部にありて敏腕のきこえ高し其の後獨立鞍掛商會を起し昭和十四年十一月株式に改組同時に東京電氣爐製作所を株式に組織變更社長たり【住所】東京市京橋區銀座西一ノ三【電話】京橋六七〇六・五七一八

櫛原周一郎

【現職】東京皮革商業組合理事、東京皮革青年會々長、淺草皮革商工納稅組合副組長、東京革商組合評議員、櫛原商店主內外諸皮革靴鞄原料及袋物腕革運動具用革卸商【出生】明三一・二長野縣下伊那郡座光寺村【續柄】麻績太郎長男【經歷事業】明治四十五年上京して日本橋區の織物問屋に勤務大正五年入營同九年義兄の死に遭遇し其遺業たる合名會社藤田商店を繼承後之を個人經營に移し今日に至る。現に櫛原商店と稱し內外諸皮革、靴、鞄原料並に袋物、腕革、運動具用革卸商を營み特に銀座印傳人木踵の發賣元として知られ最近國策製品絹化學擬革工業の研究に沒頭して其製品を販賣し又新意匠履物東洋向靴を發賣して各方面に歡迎せられつゝあり葛飾區及淺草區に直營工場を有し年商高七十萬圓內外に上る【趣味】俳句、圍碁、撞球【宗教】曹洞、禪宗【所稅】一一二六圓

鞍掛駿郎

【出生】明治三十年【經歷事業】丸ノ內日下部商店營業部にありて敏腕のきこえ高し其の後獨立鞍掛商會を起し昭和十四年十一月株式に改組同時に東京電氣爐製作所を株式に組織變更社長たり【住所】東京市京橋區銀座西一ノ三【電話】京橋六七〇六・五七一八

櫛原周一郎

【現職】東京皮革商業組合理事、東京皮革青年會々長、淺草皮革商工納稅組合副組長、東京革商組合評議員、櫛原商店主內外諸皮革靴鞄原料及袋物腕革運動具用革卸商【出生】明三一・二長野縣下伊那郡座光寺村【續柄】麻績太郎長男【經歷事業】明治四十五年上京して日本橋區の織物問屋に勤務大正五年入營同九年義兄の死に遭遇し其遺業たる合名會社藤田商店を繼承後之を個人經營に移し今日に至る。現に櫛原商店と稱し內外諸皮革、靴、鞄原料並に袋物、腕革、運動具用革卸商を營み特に銀座印傳人木踵の發賣元として知られ最近國策製品絹化學擬革工業の研究に沒頭して其製品を販賣し又新意匠履物東洋向靴を發賣して各方面に歡迎せられつゝあり葛飾區及淺草區に直營工場を有し年商高七十萬圓內外に上る【趣味】俳句、圍碁、撞球【宗教】曹洞、禪宗【所稅】一一二六圓

窪田國和

【現職】東京化學工業用諸機械製作業【出生】明一五・四山梨縣東山梨郡八幡村【續柄】利行二男分家【經歷】十九歲上京二十七歲機械工業界に入り深川區猿江裏町に數十坪の工場を設け獨立東京化學工業機械工業所を創立大正六年現地に移轉す【事業】營業課目は特許自働粉末秤量機、特許液體自働定量機製劑用機械其他化學工業機械各種夙に內務省衞生試驗所の推奬を受け內地、朝鮮、滿洲臺灣北中支等に販路を有す【宗教】日蓮宗【住所】東京市京橋區銀座西一ノ三【電話】本所一三二一

熊澤政一

【現職】東京化學工業機械製造所主、本所區綠町三ノ五【電話】本所一三二一【現職】工學博士、釧路炭礦(株)取締役顧問、東洋水銀鑛業、ヤマト試錐機製作、金馬鑛業各(株)取締役、ヤマト工作所技監【出生】明七・一長崎縣南高來郡島原町【續柄】日下部進長男【學歷】明三一東大工科採鑛冶金科卒【經歷事業】直に三菱合資會社に入り相知炭坑長、高島炭坑長を經て三菱鑛業採炭課長、三菱合資參與等に歷任す昭和二年共立試錐研究所を創立次でヤマト工作所を開設現に上揭諸職にあり尙昭和九年北海道天鹽に大水銀鑛を發見之が開發を志し傍ら砂金採取船工方面を指導せり此間大正十四年學位を受け又曩に早大講師たり【趣味】謠曲、徒步主義【宗教】日蓮宗【所稅】三四〇圓【家族】父進(嘉永六年)母ヨシノ(慶應二生長崎縣士族大竹小兎吉妹)妻操(明一六生京都府野田鶴雄妹)長男智(明三六生理學士五高教授)同妻壽惠子(明四〇生福岡高女卒)外二男及孫一男一女【住所】東京市牛込區余丁町七一【電話】四谷三七六一

熊澤政一

【現職】熊澤機械(株)專務取締役【出生】明一四名古屋市【續柄】福岡縣新五郎男【學歷】攻玉社土木科卒【經歷】卒業後兵庫縣土木課、山陽鐵道會社鐵道院、朝鮮總督府、九州鐵道等歷勤後昭和七年丸ノ內商工株式會社を創立同十三年現稱に改む諸機械並新古部分品商として業界に知らる【家族】妻さわ子(明一六生)【住所】事務所ノ東京

源平恭央

【現職】合資會社アジア機械製作所代表社員【出生】明治三四生靜岡縣【經歷事業】大正十三年機械製作所を創立現在は合資會社代表者【趣味】つり及旅行【宗教】日蓮宗【家族】妻かつ子長男【住所】東京市江戸川區東小松川町四丁目一五八一

九鬼治郎

【現職】日化燃料(株)社長、九鬼商事(株)取締役、日本食料品工業社代表者【出生】明二〇・一〇【續柄】三重縣小林藤吉郎弟先代紋七養子分家【學歷】大四東大法學部卒【經歷事業】歐洲大戰直後歐米各國を視察歸朝後中華企業株式會社に入り次で朝鮮無煙炭礦、清明鑛業、東洋紙工印刷、日本木工各會社重役に歷任大正十二年東京煉炭製造所を設立し昭和十三年日化燃料株式會社と改稱せり【趣味】謠曲、乘馬、旅行運動【宗教】眞宗【家族】妻つね子(明二七生先代紋七長女四日市高女卒)長女ふみ子(大九生三輪田高女卒)【住所】東京市赤坂區青山南町一ノ一【電話】赤坂四九九四

小林一三

【現職】東京電燈(株)會長社長、日本輕金屬(株)社長、日本發送電參與理事【出生】明一六・一山梨縣菲崎町【續柄】甚八長男【學歷】明二五慶應理財科卒【經歷事業】初め三井銀行に入り在勤十餘年明治三十八年阪急の前身箕面有馬電鐵の創立に奔走之に成功次で阪急社長に就任遺憾無く無く其手腕を發揮す後迎へられて東京電燈副社長兼營業部長に就任昭和八年社長に進み次で現職の儘會長に就任す曩に歐米を視察す著書多し【趣味】書畫、骨董、俳句【宗教】禪宗【所稅】三四三一八圓【家族】妻コウ(明一五生大阪府丹羽市藏養子)長男富佐雄(明三五生東京外語卒)同妻富士子(明三七生東京府平賀敏六女神戸女學院卒)【住所】東京市麴町區永田町二ノ二五【電話】銀座五〇八五・大阪府池田市一九六七【電話】池田二二〇五

小林正直

【位階勳等】勳六等【現職】國榮產業、甲州金山各(株)社長、太平洋海上火災保險、北海道石綿開發各(株)取締役【出生】明六・四【學歷】明二六同志社卒【經歷事業】直に三井物產に入り神戸香港各支店詰、長崎、門司等の支

市京橋區新富町三ノ一ノ三【電話】京橋五〇二八

川詠藏

【出生】明一三八【學歷】明三九東大卒【經歷事業】昭和八年同社入社現職に至る【趣味】圍碁【家族】四人【住所】東京市麻布區材木町十一【電話】青山六一六七

充

店長歷任、昭和九年一月同社を勇退す【功賞】昭和二年紺綬褒章同年同章飾版各下賜及佛國政府より勳章贈與【趣味】讀書骨董【宗教】禪宗【所稅】四二七九四圓【家族】妻かつ（明一八生京都府岡野源三郎妹）長男傳太（明三七生東京農大卒）外二男二女【住所】東京市澁谷區大和田町六五【電話】澁谷九八八

小林勝馬

【現職】代用品工業組會第四部副部長山王商會主【出生】佐賀縣佐賀郡鍋島村大字鰐久二三二六【續柄】士族【學歷】早大中途退【經歷事業】昭和三年淀橋區諏訪町一九五山王商會を創設す【宗教】禪宗【家族】妻、二男一女、住所】東京市淀橋區諏訪町一六〇【電話】牛込六九四二・東京市淀橋區諏訪町一九五山王商會【電話】牛込二〇六六・六九四一

【現職】合資會社小林隆夫商店主【出生】明治貳拾參年參月拾六日生【續柄】戸主【經歷事業】昭和元年十月七日創立精密機械工具度量衡機製作販賣を目的として創立邇來業務進展繁忙のため昭和十年合資會社に改組現在に至る【趣味】釣【家族】參人【住所】東京市蒲田區蒲田壹丁目拾番地ノ貳【電話】蒲田二八七五・三三八六・大森二九一〇

小林隆夫

小林順義

【現職】東京機器工器工業株式會社總務部長【出生】明治十九年【趣味】園藝【住所】東京市大森區調布大塚六六〇

小林安義

【現職】久保田鐵工所（株）（東京市有樂町東日會館）東京支店次長兼總務課長【出生】明治三十五年四月十三日廣島縣先考榮之助二男として生る【學歷】昭和三年慶應義塾大學經濟學部卒業【趣味】讀書【宗教】曹洞宗【家族】妻武子）明治四二・四生本府伊勢丑摩郡駒井村【續柄】雅治弟昭二分家【學歷】大元米國オハイオノーザン大學商科卒【經歷】直にオーバーランド自動車會社に入り次で紐育森村組に轉ず同九年歸朝内外編物會社を創立常務に就任し現時更に上掲諸職を兼ぬ【趣味】【學歷】明治大學商科出身【經歷事業】昭和十三年現協和製作所設立新しき技術を以て第一線に雄飛する氏は粘り強き意志と剛毅なる氣魄を以て事を成す將來の發展性は大いに期待すべきである【趣味】酒、盆栽【住所】横濱市中區蔣田町東谷九〇五番地【電話】長者町三一九六

小林雅一

【現職】小林機械製作所々主【出生】明治三十六年十一月一日【經歷事業】本所堅川加藤鐵工所にてプレッシヤーブロワー、空氣壓搾機の薀奥を得て現在獨立、該製作所を本所横川町に設立現在深川區高橋に移轉今日の基礎を得たり【趣味】音樂、スポーツ【宗教】眞宗【家族】母、妻【住所】深川區高橋五ノ一【電話】本所三〇九〇

小林茂

【現職】東京靴下工業組合理事長、東京編織機（株）代表取締役、内外編物（株）常務取締役、東洋編物工業（株）監査役【出生】明二二・一一山梨縣北巨摩郡駒井村【續柄】雅治弟昭二分家【學歷】大元米國オハイオノーザン大學商科卒【經歷】直にオーバーランド自動車會社に入り次で紐育森村組に轉ず同九年歸朝内外編物會社を創立常務に就任し現時更に上掲諸職を兼ぬ【趣味】

小林次郎

【學歷】明治大學商科出身【經歷事業】昭和十三年現協和製作所設立新しき技術を以て第一線に雄飛する氏は粘り強き意志と剛毅なる氣魄を以て事を成す將來の發展性は大いに期待すべきである【趣味】酒、盆栽【住所】横濱市中區蔣田町東谷九〇五番地【電話】長者町三一九六

ゴルフ【宗教】基督教【所稅】一五八三圓【家族】妻千壽子（明三一生）東京府清水由松二女青山女學院卒）男惠太郎（大一〇）外一男【住所】東京市赤坂區青山北町六ノ四八【電話】青山四八九六

小林義一

【現職】パケング劑【出生】明治二十九年十一月九日【續柄】平民【學歷】早稻中を經て專門學校卒【趣味】運動【宗教】佛教【家族】三男一女【住所】東京市淀橋區諏訪町一九五【電話】牛込二〇六六

馬勝

【現職】清水組（株）常務取締役【出生】明二一・三山梨縣【續柄】平三郎二男【學歷】明四五日大法科卒【經歷】初め鄉里に於て教職に携はり後上京して日大を卒へ土建界の雄清水組に入り理事、庶務部長、常務理事を經て昭和十二年同組の株式に組織變更と同時に現職に就く氏は何人の紹介何等の緣故も有せずして同組に入れるもの今日の地位は異數とせらる曩に東京鐵骨橋梁製作所理事たり【趣味】運動【宗教】禪宗【所稅】三五六二【家族】妻とり子（明三〇生東京府吉田萬吉四女）長男義生（大九生）外一男三女【住所】東京市牛込區市ヶ谷加賀町二ノ二【電話】牛込七三三三【現職】吉岡製線所主、特殊金屬細線製作業【出生】明二二・一二【續柄】茨城縣吉岡定吉三男後小林家相續【經歷】夙に上京し製線業に從事大正十二年獨立して吉岡製線所を設立す特殊金屬細線の製作を專門とす【宗教】禪宗【家族】妻ふじへ（明二四生茨城縣小林加藤太長女）二男成光（昭五生）【住所】吉岡製線所東京市淀橋區戸塚町二ノ二四二【電話】牛込四七四五・〇七九五

小林清吉

【現職】ライオン石鹸（株）副社長【出生】明三五・一東京市【續柄】富次郎二男昭四分家【學歷】昭三慶大經濟學部卒【經歷】昭和四年父經營のライオン石鹸會社に入る在學中南洋諸島を視察す【趣味】テニス、散歩、乘馬【宗教】基督教【所稅】二〇五三圓【家族】妻シゲ（明治四二生中村藤一長女東洋英和女卒）長女百合（昭五生）外三女【住所】東京市小石川區駕籠町一五九【電話】大塚二三〇八

小林寅次郎

【現職】東北電燈、東北送電各（株）社長、黒澤尻電力（株）取締役【出生】明一二・一長岡市【續柄】久左衞門二男【學歷】明三五京大工科大學電氣工學科卒【經歷】直に東京電燈に入り千住發電所長、水力部建設部長等に歷任後明治電氣會社を設立大正六年鳴瀨川水力電氣社長に就任後之を東北電燈會社と改稱し現に上掲諸重役たり尚最に日露戰役に從軍し又米國に渡航す【所稅】一三〇八圓【家族】妻澄子（明二〇生東京府士族米川幸太郎長女）嗣子幹太郎（大八生青山學院中等科卒）外一女及養子並孫二【住所】東京市世田谷區北澤二ノ二五四【電話】世田谷二五四五

小林久治

【現職】小島特殊機械製作所（株）常務取締役【出生】明治十八年十月【續柄】平三郎二男後分家【學歷】藏前工業學校修【經歷事業】十六歲上京精工舍に入り刻苦奮闘する事多年、明治四十二年獨立して小島製作所を起こす次で中野に移轉此の間銅、眞鍮、鐵等のシヤフトパイプの矯正機の發明に沒頭昭和八年完成製作販賣せるに好評を得たり現在幾多の變遷を經て株式會社小島機械製作所に改組自ら常務に就任す【趣味】弓道【宗教】神道【家族】妻かね子（明卅六年生）長男修（大十三生）【住所】東京市蒲田區羽根谷町二丁目五八七番地【電話】羽田四七六

小島敏

【現職】小島憲一商店々主【出生】明治二十六年二月十一日【經歷事業】日獨アーク太陽燈、防空安全電氣笠の製作販賣に株式

小島憲一

會社白青社にあり其の前米國に遊び之れが輸入の端緒を造り現在其に小島憲一商店を新設發展の一路を辿りつつあり【趣味】音樂、繪畫【宗教】眞宗【家族】妻、二男一女【住所】芝區田村町四ノ十三【電話】芝四六五八

小島昇

【現職】諸機械工具商昭和商會主【出生】三十歳【學歴】中學卒【經歴事業】昭和商會を起し各種工具類販賣今日に至る【趣味】讀書【住所】日本橋區通三ノ八齋藤ビル【電話】日本橋二四〇七

小島正治郎

【現職】東京護謨株式會社常務【出生】明治三十五年二月十一日【學歴】早大卒【趣味】讀書、スポーツ【宗教】眞宗【家族】妻、二男一女【住所】淀橋區上落合一ノ一一九【電話】大塚三五〇五

小島哲治

【現職】日產化學工業(株)總務部長代理、臺灣肥料、中越電氣工業、中島屋各(株)監査役【出生】明二七・一東京市本鄉區【續柄】文吉二男大一四分家【學歴】慶應商業修【經歴】夙に大日本人造肥料に入り庶務係、株式係、祕書課長代理、祕書課長兼參事等歷任後日產化學工業と改稱現職に就く【趣味】文學、美術【宗教】淨土宗【所稅】四三六圓【家族】妻ヒロ(明三四生東京府中島熊太郎三女立教高女卒)【住所】東京府北多摩郡吉祥寺二六八三【電話】吉祥寺五二四

小島亮平

【現職】櫻田機械製造所(株)專務取締役【出生】明九・一山梨縣石和町【續柄】菊島要一郎弟七郎平養子明四一相續【經歴】明治三十二年櫻田機械製造所に入り大正九年同所の株式會社に改組と共に常務取締役兼營業部長となり後專務に進む【所稅】八五四圓【家族】妻フサ(明一三生養父二女)養子雅人(明三〇生田中幸吉二男仙臺高工卒)同妻ヨッ子(明三八生)其一男【住所】東京市深川區富岡町二ノ五【電關】本所〇六一一

小出睦三

【公職】蒲田警防團第一分團長【現職】睦商會主(自動車販賣及修繕業)【出生】明治十六年十一月貳日東京市品川區南品川五ノ一七七【續柄】故太平二男【學歴】新潟縣高田市商業學校卒【經歴事業】學校卒業後自轉車商を營み後現業に轉出現今に至る【趣味】釣魚【宗教】眞宗【家族】妻さだ子(明卅六生)長男昭一郎(昭二生府立六中生)長女朝子(昭五生小學生)外に女子二人【住所】蒲田區東蒲田一ノ五【電話】蒲田二三七七

小出義男

【現職】明治製菓(株)常務取締役兼製乳部長、極東煉乳、朝日牛乳各(株)取締役【出生】明一八・二長野縣上伊那郡赤穗村【續柄】半七長男明二二相續【學歴】明四三東大農學部農藝化學科卒【經歴事業】直に農商務省に奉職次で山口縣農務課長兼農事試驗場長、福岡縣農事試驗場長等に歷任大正九年スマトラ興業會社に入社同十年明治製糖會社に轉じ同十二年現社取締役兼製乳部長に就任次で常務に昇任す【趣味】園藝【宗教】天臺宗【所稅】二八三一圓【家族】妻信子(明二五生東京府町野五八三女東洋英和女學卒)長女簡子(大八生東京府立第八高女卒)【住所】東京市蒲田區原町二五二【電話】蒲田三一〇二

小池一郎

【現職】日本農藥株式會社、旭電化工業株式會社取締役【趣味】スポーツ【所稅】六七九【住所】豐島區雜司ヶ谷一ノ三四【電話】牛込(34)三〇一七

【位階勳等】在鄉海軍機關大尉【現職】湯淺電池(株)代表取締役、日本電氣化學研究所(株)社長大正組(株)會長、屋井乾電池(株)取締役、日本蓄電池、北海滿俺各(株)

小山文吉

相談役、三井物產(株)囑託【出生】明一五・七【續柄】東京府金太郎長男【學歴】機關學校卒【經歴事業】海軍少機關士として日露戰役に從軍機關大尉に進みたるも病のため豫備役となり次で三井物產に入社先年同社を代表して湯淺電池株式會社代表取締役に就任す

【趣味】繪畫【宗教】日蓮宗【家族】つる(明二六生)嗣子吉男(大五生)外二女【住所】東京市目黑區中目黑二ノ五一八【電話】大崎三八一三

小平浪平

【現職】日立製作所社長、大阪鐵工所、東京瓦斯電氣工業各取締役會長、日本產業、日產火災海上保險、日本電信電話工事各取締役【出生】明七・四【續柄】栃木縣惣八二男大三分家【學歴】明三三東大電氣工科卒【經歴事業】直ちに小坂鑛業電氣主任技術者となり爾來廣島電氣會社主任技術者、東京電燈勤務、久原鑛業所電氣部管掌等に歷任し明治四十四年日立製作所創立事務に鞅掌大正九年株式改組と共に專務取締役となり次で社長に就任す曩に工業品規格統一調査會委員、製鐵事業委員會委員、工作機械製造事業委員等に就任す【功賞】昭和三年十二月工業界盡瘁の廉に因り綠綬褒章下賜【所稅】一四六八一一圓【家族】妻也笑(明二〇生東京府小室俊夫叔母)長男良平(明四一生)外一男【住所】東京市本鄉區湯島三組町六九【電話】下谷(83)三三四

小藪雅也

【現職】礦山用安全燈、礦山用電氣機器製作、變型鈑發條類プレス加工工作一般、小藪製作所【出生】明治二八年九月三日【續柄】戸主【學歴電話】中學校卒業【經歴事業】立花鐵工所勤務昭和五年より現在の業務に從事す【宗教】門徒宗【家族】家族六人(男子一人、女子三人)【住所】品川區四ノ九九一番地【電話】大崎(49)四四〇二

小菅增太郎

【現職】染料商茂彌合名會社々長、東王染色工業所々長(事務所)神田區佐久間町三ノ三八【電話】(83)二三八五・七一三七【出生】四八才【學歴】中學卒【經歴事業】大正十二年より獨立營業す【趣味】旅行、酒【家族】五人【住所】目黑區柿ノ木坂九〇二【電話】荏原六九一五

小穴秀一

【現職】小穴製作所社長【出生】明治一四年四月【學歴】東大明治三十八年電氣工學科卒【經歴事業】東京電力淺野セメント各會社を經て明治四三年獨に留學同三年小穴製作の社長となる【趣味】讀書【所稅】五七六八一【家族】妻シヅ、次男秀次外數氏【住所】東京市淺草區橋場町二ノ五【電話】淺草六〇〇八

小國清

【現職】日本化學油脂研究所々長【出生】明治四一年一〇月【續柄】利平三男【學歴】福島商業卒業【經歴事業】夙に油業關係に從事日本化學油脂研究所を創設して今日に至る【家族】妻、子供三人【住所】下谷區西黑門町二二【電話】下谷七六〇五

小早川一夫

【公職】可鍛組合理事、町會評議員【現職】小早川可工業株式會社々長【出生】明治三七年九月二八日【經歴事業】小早川氏の祖先は代々大和片桐藩の武家で當時鑄物屋として開化の時代に更生嚴父秀氣氏其後小早川可鍛鑄造所を設立隆々發展を見昨今亡父秀氣の後をついで小早川可鍛工業株式會社に改組取締役社長となる【功賞】世界寫眞術コンクールに入賞【趣味】寫眞【宗教】淨土宗【所稅】一〇七一【營稅】二八二【家族】妻加津、四男二女【住所】本所區厩橋三ノ二八【電話】墨田(74)四二六二

【現職】日本火熱工業(株)常務取締役兼技術部長、日本高熱工業(株)常務取締役【出生】明二一・三岡山縣玉島町【續柄】中原爲次郎二男良造養子明四四相續【學歴】明

小高榮

四一東京高工機械科卒【經歷】卒業後母校附屬工業補習學校講師補助となり次で中島鐵工所、横濱英商館ダブリユー・エム・ストロン商會機械部歷勤大正三年東京市下谷區に諸機械製作業開始更に三上商會工業部、富士水電工業部大宮工場長を經て同十年獨立小高工場設立昭和三年重油燃機發明完成日本燃油機と改組取締役たり同十年日本火熱工業入社現職に就く【趣味】園藝【宗教】禪宗【家族】妻英子(養父良造二女三輪田高女卒)長男公男(大二生早大理工科卒東京ロール勤)外一男一女【住所】東京市豐島區西巣鴨二ノ二一三六

小泉長藏

【現職】各種接合劑製造所【出生】明治十九年八月七日【續柄】平民【學歷】山形中學卒業【趣味】カメラ【家族】妻、子供三人【住所】東京市深川區住吉町二ノ九【電話】本所七三六三

小西長治郎

【現職】小西安兵衞商店(株)常務取締役、大日本特許肥料(株)專務取締役末廣肥料(株)監査役、小西(名)代表社員【出生】明一九・八【續柄】東京府森定吉長男大四先代安兵衞養子同一五分家【經歷】夙に先代を輔佐し改組後現職に就く【所稅】五〇八九五圓【家族】妻うた子(明二六生養父安兵衞五女東京女學館卒)三女洋子(大一〇生)【住所】東京市赤坂區氷川町五一【電話】赤坂三六四五

小平濱次郎

【位階勳等】從七位勳五等【現職】在鄕陸軍主計中尉、那須硫黃製造業【出生】明二・一二栃木縣下都賀郡吹上村【續柄】重太長男明三〇相續【學歷】明二五東京高商卒【經歷】明治二十七年長崎商業學校教諭を拜命翌年日本郵船に入社各地支店に歷勤し同四十年明治製糖會社會計課長となり次で調度課長たりしが大正六年辭任し爾後獨力那須硫黃鑛山の經營に當り昭和七年改組す此間日清日露兩役に從軍し又曾てメキシコ國名譽領事を囑託さる【趣味】寫眞、書畫【宗教】天台宗【所稅】一〇三圓【家族】妻鈴子(明一二生栃木縣刑部章次郎二女)長男武夫(明三七生早大卒明治製糖社員)外二男五女【住所】東京市本鄕區駒込西片町一〇ヘノ二七【電話】小石川三四七三

小熊信一郎

【現職】北海道多額納稅者、函館商工會議所常議員、日本製罐、臨港バス、研精工業、三國コンクリート工業、小熊倉庫各(株)社長、辨天倉庫、東洋美裝工業各(株)取締役、小熊商店(名)代表社員【出生】明二八・六【續柄】北海道幸一郎長男【學歷】大八慶大理財科卒【經歷】更にハーバート大學に學び歸朝後小熊商店の經營に當り傍ら諸會社に關係す【趣味】スキー、水泳、乘馬、ゴルフ【宗教】佛教【所稅】三九九〇圓【家族】祖母タマ(嘉永五生新潟縣大崎藤吉三女)父幸一郎(慶應二生現戸主北海道多額納稅者)外【住所】函館市仲濱町三【電話】二二五(本邸)同市鮫川一八【電話】一一七四(別邸)東京市小石川區關口町一八〇【電話】牛込一六七二

小谷一郎

【現職】日本モルタイト(株)社長、日本神藥研究所、小谷製藥所、アスベスタスモルタイト研究所各所長【出生】明一〇・一一東京市麻布區【續柄】種美長男明三一相續【學歷】明三三東大工學部選科卒【經歷】直ちに大藏省技師を拜命同四十年淺野石油株式會社に入り爾來南北石油會社横濱貯油所主任技師、故淺野總一郎秘書役、淺野スレート會社總務部長、日本セメント會社工場長等に歷任大正十三年五月アスベスタスモルタイト研究所を創立專賣特許及各種特許十八件、實用新案十二件、英米佛各國特許五件を獲得昭和五年現社を設立す發明協會、建築學會、工業化學會、電氣化學會、化學工業協會、建築資料協會各會員【趣味】茶道【宗教】神道、日蓮宗【家族】妻初音子(明三八生熊本縣內田才喜長女双葉高女卒)長女佳子(東京女學館在)【住所】東京市目黑區中目黑四ノ一二四二【電話】大崎二四一六

小岩增太郎

【現職】東京塗料商工組合長、帝國塗料(株)專務取締役【出生】明二三・一二【續柄】岐阜縣傳十郎二男【經歷】初め東京市土木課勤務大正十年帝國塗料株式會社に轉じ昭和六年取締役次で同九年專務取締役の要職に就き現に其任に在り傍ら同業の發展に盡瘁する所多く至誠の士として知らる【趣味】謠曲【宗教】眞宗【家族】兄定治(明二二生現戸主)妻てつ子(明三〇生岐阜縣松岡辨之丞三女)長女美紀子(大一二生)【住所】東京市深川區白河町一ノ一ノ六【電話】本所六四九二

近藤利兵衞

【現職】東京府多額納稅者【出生】明治十九年三月【續柄】福島縣白井遠平六男先代利兵衞養子大八【學歷】明四二慶大理財科卒業【經歷事業】更にコロンビヤ大學に經濟學を專攻歸朝後大正八年先代歿後近藤利兵衞商店社長となり後ち近藤商事株式會社と改組す大正九年八月蜂印香竄葡萄酒を蜂ブドウ酒と改稱す傍ら諸會社に關係す【功賞】曩に恩賜財團濟生會に金五萬圓を寄附し紺綬褒章を賜ふ【趣味】俳句、讀書、ゴルフ【宗教】眞宗【所稅】一一二六〇四圓【家族】妻富子(明二九年生養父四女東京女學館卒業)長男利郎(大一〇生)外數子【住所】東京市麴町區二番町二丁目五番地【電話】九段(33)一九五〇

近藤賢二

【現職】日本カーボン株式會社々長【出生】明治七年四月三日【學歷】明治二十七年同志社大學卒【趣味】讀書、音樂、謠曲【宗教】眞宗【家族】妻、二男二女【住所】横濱市神奈川區神奈川通九ノ三五〇【電話】神奈川三二三一

近藤晋

【現職】保土谷曹達、東洋曹達各(株)常務取締役、化學鹽業、富山化工業各(株)取締役、晒粉販賣、名古屋パルプ製造各(株)監査役【出生】明一七・二東京市【續柄】大分縣黑川正治二男當家再興【學歷】明四〇早大商科卒【經歷】卒業後千壽製紙、小倉製紙所、滿鐵日用品調辨所、磯村工業所を經て大正四年保土谷曹達入社同八年常務となる【趣味】銃獵、小鳥、犬【宗教】日蓮宗【所稅】三二四八圓【家族】妻孝子(明三〇生島根縣小笠原招藏二女日本女子大卒)長男正一(昭五生)外一男【住所】東京市世田谷區玉川田園調布二ノ七三七【電話】田園調布二二四四

近藤信雄

【現職】双葉工業(株)社長、京濱機械製作所、南邦纖維各(株)取締役、双葉(資)代表社員、諸機械並製紙原料販賣業【出生】明二七・七東京市麴町區【續柄】井口榮治三男近藤家再興【學歷】大六早大理工科電氣科卒【經歷】直に貿易商に從事し大正十五年双葉合資會社に改組す現に上揭業務を營み印刷局、王子製紙、其他官衙工場等に納入せり【趣味】乘馬、書畫、骨董【宗教】日蓮宗【家族】妻たま子(明三二生東京府川上民治妹淑德高女卒)嗣子信一(昭三生)【住所】東京市品川區五反田五ノ七八【電話】大崎一三八八

河野哲夫

【現職】櫻田機械製作所(株)取締役【出生】明二〇・一二福岡市【續柄】貫三郎二男【學歷】明四三熊本高工機械科卒【經歷事業】卒業後陸軍省、横濱鐵工所等に歷勤明治四十五年櫻田機械製作所に入り技師たる事約五ヶ年辭して大阪に鐵工業を經營七年櫻田機械製作所に復社作業部長兼工場長を經て取締役に列す尙曩に株式會社境川鐵工所取締役たり【趣味】旅行、圍碁、園藝

【所税】二〇三圓【家族】長女喜美子（大六生府立第七高女卒）外數子【住所】東京市城東區北砂町五ノ八〇【電話】本所二八二九

河野彬

【現職】島屋商會主、專賣特許・實用新案河野式珈琲サイフォン製造發賣元【出生】明二七・七東京市【學歷】大一〇九大醫學部卒業【經歷】大正十四年より理化學醫療用玻璃器製造に從事し傍ら珈琲、紅茶沸器の發明に沒頭すること多年遂に昭和四年七年の二回に亘りて特許を受け河野式珈琲サイフォンの名稱にて製作發賣し現在內地各デパートは勿論廣く海外にも輸出す尙前記の外玩具、雜貨、直輸出部を兼營し又松風陶器株式會社代理店たり更に昭和六年より池之端治療院を經營し物療科を設け一般患者の治療に從事す主要科目は腦神經系統病なり【趣味】讀書、寫眞【宗教】神道【家族】母、妻、子供一【住所】東京市下谷區上野池端七軒町三七【電話】下谷一四六七

【位階勳等】正六位【現職】大藏省顧問、日華實業協會々長、日本貿易振興協議會理事長、中支那振興（株）總裁、橫濱正金銀行取締役、日銀參與理事【出生】明四・一一【續柄】香川縣惟時長男先代劍道砲術に達

兒玉謙次

し舊藩時代砲兵少佐に任じ維新後宮內省劍道師範たり【學歷】明二五東京橫商豫科卒【經歷事業】初め會計檢查院屬拜命明治二十七年橫濱正金銀行に入り爾來孟買支店計算主任、同支店長、上海支店長、取締役に歷任大正十一年頭取就任後平取締役となる昭和十三年十一月中支那振興總裁に就任す曩に絲價委員會委員、國際貸借審議會委員、商工審議會顧問、輸出組合中央會々長、橫濱商工會議所顧問に任ず【功賞】昭和三年正六位を賜ひ同十一年九月滿洲國より勳三位に敍せらる【趣味】庭球、野球【所税】六二九二圓【家族】妻いと（明一五生東京府富田又錄長女）長男惟正（明三三生）外【住所】東京市麴町區九段二ノ二【電話】九段一四七四

兒玉益彥

【現職】兒玉商店（株）社長、日本タンカー（株）取締役、愛國石油（株）取締役【出生】明八・八鹿兒島縣【續柄】勝衞叔父【學歷】鹿兒島縣立中學校卒【經歷事業】橫濱松下回漕店に入る東京井田商店橫濱出張所主任、加藤商店橫濱出張所主任、同本店營業主任等に任ず大正五年獨立現業を創始【宗教】神道【所税】一四〇〇四圓【家族】妻きみ（明一八生）長男益男（大一一生）外一女【住所】東京市麻布區我善坊町三〇【電話】赤坂二二五七

駒井久吉

【現職】高砂企業社長【出生】明治一四年二月【學歷】明治四十年京大獨法科を卒業【經歷事業】大阪商船會社に入社し本社、大連、高雄各支店に歷勤す大正七年同社を辭するや學友原邦造氏の望みにより同氏の關係ある高砂企業其他に縱橫の才腕を揮ひ現に頭揭諸職に在り【趣味】讀書【家族】妻チヱ子、男正男、外一男三女【住所】目黑區洗足一四八八【電話】荏原五二一九五

越田德兵衞

【位階勳等】從四位勳三等、【現職】太平洋漁業（株）常務取締役【出生】明一六・二【續柄】石川縣定次郞長男幼名德次郞【學歷】明三六水產講習所卒【經歷事業】同四十四年農商務省技手を拜命大正五年技師に進み水產局勤務兼水產講習所教授たりしが同十年辭任現社に入り現職に就く曩に漁業條約改訂會議出席の爲め莫斯科に派遣され又米國及歐洲各國を視察す【趣味】讀書【宗教】淨土宗【所税】三二八六圓【家族】妻八重（明二二生東京府谷田泰一妹京都府立第一高女卒）長男榮一（大一一生府立六中在）外五女【住所】東京市世田谷區玉川奧澤三ノ九二八【電話】田園調布二九五九

巨勢泰八

【位階勳等】從四位勳三等功四級【現職】海軍少將、理研鋼材（株）取締役【出生】明一二・一一【續柄】佐賀縣寬吾長男【經歷事業】夙に海軍に入り少將に累進昭和二年豫備役被仰付同十一年理研ピストンリング人事部長就任後現職に就く【趣味】柔道、釣、謠曲【宗教】禪宗【所税】一三四圓【家族】妻千代菊（明一三生佐賀縣芹田次郞長女）嗣子泰正（大二生兵學校卒）外【住所】東京市世田谷區世田谷二ノ二〇五九【電話】世田谷三五五三

今野幸助

【現職】日曹朝鮮鑛業株式會社副社長【出生】四十九歲【學歷】京都帝國大學理科卒【經歷事業】日本曹達株式會社庶務課長を經て百年山タングステン會社、龍鳳鑛業會社の經營に當り現在に至る【趣味】讀書【家族】男子一名【住所】品川區南濱川一九〇六【電話】大森七六六七

鄕古潔

【現職】三菱重工業（株）常務取締役、大日本航空、滿洲航空各（株）取締役【出生】明一五・一一【續柄】岩手縣玉三郞長男【學歷】明四一東大法科卒【經歷事業】直に三菱合資に入り次で三菱商事庶務課長、同漢口支店、若松支店長を經て三菱造船總務課長となり大正十三年歐米視察十四年歸朝後同社神戶造船所副長兼總務部長に就任昭和三年取締役兼本店營業課長となり同七年三菱航空機常務に就任同九年六月三菱重工業常務就任同年外遊す曩に漢口日本商業會議所會頭、兵庫縣工業懇談會副理事長たり【所税】二一八三五圓【家族】父玉三郞（安政四生現戶主）妻直枝（明二四生故工學博士松田武一郞長女福岡高女卒）三男雄三（大一〇生成蹊學園高等科在）外二男三女【住所】東京市品川區上大崎長者丸二八二【電話】大崎三五七七・神奈川縣大船町山內六四五【電話】大船一七

粉川竹治

【現職】合資會社粉川製作所社長【出生】新潟縣長岡市大正二年生【續柄】新潟縣平民【學歷】長岡中學卒東京藏前高工機械科卒【經歷事業】東京市麻布の父の工場に勤務昭和十四年獨立現住所に合資會社粉川製作所を設立社長となる【趣味】讀書、旅行【家族】妻一人【住所】東京市大森區久ヶ原町七三番地【電話】池上六三〇

後藤銀作

【現職】鐵工業【出生】明三四・七【續柄】靜岡縣民五郞二男【學歷】築地工手學校卒【經歷】高木工業所に勤務實務を習得したる後昭和二年獨立して鐵工業を開始し爾來經營機宜を得て克く今日の業礎を築けり【趣味】旅行【宗教】眞宗【所税】一八〇〇圓【營税】三八一圓【家族】妻はま子（明三七生東京府小田信雄姉高女卒）長男博司（昭八生）外二女【住所】東京市蒲田區南六鄕二ノ三【電話】蒲田三四二五

後藤吉忠（叔久）

【位階勳等】勳七等靑色桐葉章【現職】株式會社太陽無機コロイド工業所（東京市京橋區寶町三ノ七齋藤ビル）專務、株式會社セメントペニヤ工業所取締役【出生】明治二十八年十月二日【續柄】平民【經歷事業】明治四十二年より滿洲、大連、營口に於いて特產物を商ひ在滿三年後大正六年合資會社後藤一郞商店を設立昭和六年に株式會社に變更し專務となり滿洲及び沿海洲の特產物輸入商、昭和十二年太陽無機コロイド研究所を設立昭和十三年に株式會社太陽無機コロイド工業所を設立經營す【功賞】西比利亞出征に依り勳七等靑色桐葉章【趣味】植木【宗教】曹洞宗【營税】八〇〇〇圓【家族】長女十七歲【住所】市川市八幡町字菅野一六〇【電話】北八幡三〇八

【現職】大井電力（株）取締役兼土木部長【出生】明一八・一〇月生山形縣【學歷】明治四三仙臺高工土木工學科卒【經歷事業】早川電力會社技術主任となり同社取締役

後藤茂

にして土木部長の要職にあり【趣味】撞球、繪畫【宗教】佛教【所税】八一七圓【家族】妻清子（明二三生金野金治長女仙臺高女卒）長男壯介（大三生東大卒工學士）外二男二女【住所】東京市世田谷區羽根木町一六三二【電話】松澤二三九一

後藤大吉

【公職】東京熔接材料器具商業組合專務理事、東京酸素熔斷器工業組合理事、江東熔接工業組合專務理事【現職】合資會社後藤酸素商會代表社員【出生】明治參拾壹年拾壹月貳拾六日生千葉縣【經歷事業】大正拾參年五月後藤酸素商會設立昭和拾參年一月合資會社後藤酸素商會に變更す【趣味】寫眞【宗教】禪宗【家族】妻子五人【住所】東京市本所區綠町四丁目三十二番地ノ壹【電話】本所(73)六四一二・八九五七

さ之部

佐藤忠彌

【現職】佐藤鐵工所(株)取締役社長【出生】明三〇・一秋田縣尾去澤【經歷事業】夙に北海道に渡り小樽市手宮町なる鐵道省工場に勤續する事多年後上京石川島造船、月島機械等に勤務技術の練磨に努む大正十二年獨立京橋區月島九丁目に創業し今日に及ぶ至誠努力の士たり【住所】深川區枝川町二ノ八【電話】本所一四八・五一五一

佐藤圭三

【現職】三和工業合資會社代表社員【出生】明治三八年一一月一八日【經歷事業】昭和八年以來鑛山用安全燈同パイプ溝切機其の他製作を個人にて經營し昭和十四年七月合資會社組織とし今日に至る【住所】東京市淀橋區角筈二丁目七十九番地

佐藤玉雄

【現職】東亞工業所主【出生】明治四十四年四月十一日生【續柄】平民【經歷事業】昭和六年より一四年五月迄丸善鐵工所營業部長として勤務敏腕を振ひ後圓滿退社し昭和十四年六月獨力にて東亞工業所を創立しボイラーを主とし化學機械、鑛山機械の製造販賣に從事す【趣味】寫眞【宗教】日蓮宗【家族】四人【住所】城東區大島町三ノ一一〇【電話】本所一六五五

佐藤慶藏

【位階勳等】正五位勳三等【公職】海軍大佐【現職】株式會社藤崎鐵工所取締役社長、日本電波機械株式會社取締役【出生】明治二一年一二月一日【續柄】戸主【學歷】明治四十三年海軍兵學校卒業【經歷事業】多年驅逐艦長及驅逐隊司令等歷任昭和一一年一二月退役【趣味】圍碁【宗教】佛教【家族】一男二女【住所】東京市大森區調布大塚町七五三

佐藤保

【現職】佐藤保商店(株)社長、地金問屋業【出生】明治二一年一月千葉縣香取郡大須賀村【續柄】壽三郎長男【學歷】明治四五年青山師範卒業【經歷事業】東京府下各小學校訓導たる事多年大正十二年獨立現業を開始爾來遂年發展曩に資本金五十萬圓にて株式に改組現在從業員三十餘名各統制組合に納入年商高八百萬圓を計上す【宗教】天台宗【所税】四二七二圓【家族】父壽三郎（現戸主）妻ふさ、長男千壽、外二男三女【住所】東京市麴町區富士見町一ノ七（店舗）東京市神田區須田町二ノ一三【公職】東京電氣爐工業組合專務理事、東京電氣熔接機械器具工業組合監事【現職】東京電熔機株式會社代表取締役（五萬圓）

佐藤諫吉

昭和電氣爐株式會社代表取締役（十萬圓）【出生】明治二九年七月二日茨城縣【續柄】戸主【學歷】工業專門學校【經歷事業】大正五年二月品川區北品川に東京電氣熔接機製作所を創立昭和一二年組織を合名會社に變更昭和十四年四月株式會社に變更昭和十四年四月昭和電氣爐株式會社を設立【家族】母、妻、長男、次男【住所】東京市品川區南品川二ノ六六番地（電話）高輪(44)四六一二

佐藤景太郎

【現職】旭鑛山機械製造株式會社取締役兼支配人【經歷事業】古河鑛山に永年勤務後旭鑛山機械製造株式會社の前身旭鑛山機械製造所に入社現在に至る【住所】蒲田區新宿町一三四四電話【蒲田】三〇四八・五三五五【現職】東京羅紗卸商業組合副理事長、佐藤太三郎商店(株)專務取締役、太陽毛織太陽毛絲紡績各(株)取締役、日東毛絲紡績(株)監査役、東京正織(資)代表社員、毛織物並綿布洋服商【出生】明二七・九【續柄】愛知縣中島虎次郎二男大八太三郎養子養父太三郎明治三十三年獨立現業を開始し現に佐藤太三郎商店佐藤貿易會社、太陽毛織會社各社長、豐濱織物會社取締役たり【經歷事業】氏夙に養父を輔けて家業に從ひ大正十三年十二月組織を資本金一百萬圓拂込濟の株式會社佐藤太三郎商店に改め專務取締役に就仕す仕入は夫々一流會社より供給を受け製品は宮內省、陸軍被服廠、海軍々需部、警視廳、遞信省、鐵道省、東京、横濱、大阪、京都、名古屋各市役所及各市電氣局、東京電燈、東京瓦斯其他各地方官廳及私設鐵道市內各デパートに納入する外滿支、南洋に迄販路を開き年商內高六百萬圓內外を計上す【宗教】眞宗【所税】八五九一圓【家族】養父太三郎（慶應三生）養母ため子（明八生）長男爲太郎（大八生）外一男二女【住所】東京市麴町區六番町一二ノ三【電話】九段二六〇七

佐藤嘉三郎

佐藤助九郎

【公職】富山縣多額納税者、柳瀨村長同產業組合長【現職】富山鐵道、佐藤工業各(株)社長、高岡銀行、中越銀行、五十七銀行、北陸信託、高岡電燈、出町電燈、立山酒造各(株)取締役【出生】明二九・一〇富山縣東礪波郡柳瀨村【續柄】先代助九郎二男昭和六相續前名健太郎【學歷】大七早大政經科卒【經歷】家累代農業の傍ら土木建築請負業を營む先考亦家業の傍ら實業界に活躍又村長、貴族院議員等に歷任して功績不尠氏夙に父業に從ひ現時上揭諸職に在り【住所】東京市麴町區一番町一八ノ二【電話】九段二四三二

佐藤正樹

【現職】竹中工務店(株)監査役【出生】明二三・七【續柄】岐阜縣金三郎長男【學歷】明四二名古屋商卒【經歷】直に竹中工務店に入社累進會計課長、庶務課長、東京支店副支配人を歷任株式會社に改組と共に現職に就く【趣味】俳句號里宇【宗教】眞宗【所税】一四七八圓【家族】母千代（明五生）妻君子（明三三生愛知縣熊澤玉五郎五女名古屋裁縫卒）長男靖夫（大八生慶大在）外三女【住所】東京市小石川區戸崎町三【電話】小石川三九九〇

佐々木宗勝

【現職】岩淵電氣工業株式會社取締役【出生】明十八年【續柄】埼玉縣出身【學歷】大正二年早稻田大學理工科卒業【經歷事業】大正九年同社に入社事業的手腕を有し絕倫の精力を傾け今日岩淵電氣のあらしめた功勞者である【趣味】謠曲【住所】東京府武藏野町

吉祥寺二七三〇

佐々木佐一郎

【公職】品川大井警防團副分團長【現職】株式會社佐々木製作所主【出生】明治貳八年五月五日宮城縣仙臺市東一番町【續柄】故雄吉六男【學歷】東京計器株式會社へ入社其後退社の上獨立現工場を創設現今に至る【趣味】事業【宗教】眞宗【家族】妻あき(明治卅三生)長男一郎(大正十三生)二男昭男(昭元生)三男猛、長女賢子、次女子鄕子、三女弘子【住所】品川區大井鈴ヶ森町二二三三【電話】大森八九四四

佐々木民治

【現職】合名會社明光堂鐵工場代表社員【出生】明治參拾貳年六月七日【學歷】函館工業卒業【經歷事業】昭和四年明光堂鐵工場設立昭和九年十月合名會社設立主なる製品としては製罐機械及罐詰機械昭和十三年四月事業擴張と共に工作機械製作に從事【家族】四人【住所】本所區龜澤町一丁目二番地【電話】本所二四五三

佐々木清三郎

【現職】株式會社佐々木精機製作所取締役社長【出生】明治三十二年五月二十九日【續柄】末太郎次男【經歷事業】米山高等工業學校卒、住友伸銅所を經て大正十五年荒川區尾久に工場を創立、昨十四年九月新工場(葛飾區金町)に移轉同十月株式會社に改組社長に就任して現在に至る【趣味】唄【宗教】曹洞宗【所稅】二五〇〇〇圓【家族】ヤマ子、長男俊一郎【住所】東京市葛飾區金町一ノ二〇〇【電話】新宿二七〇

佐々木彌太郎

【現職】寫眞化學工業(株)取締役兼技師長【出生】明一七・一一北海道【續柄】東京府士族彌長男【學歷】明四三京大理工科製造化學科各卒【經歷】卒業後日本醋酸會社技師オリエンタル寫眞工業會社工場長、同社監査役、植村科學研究所取締役を經て昭和十二年現職に就く工業倶樂部會員たり【趣味】ゴルフ【宗教】淨土宗【所稅】二六七圓【家族】父彌(安政二年現戸主)母その(明七生宮城縣島田幸三郎六女縣立高女卒)嗣子寛(大六生早稻田第一高等學院理科在)外一男一女【住所】東京市豐島區目白町二ノ一六五〇【電話】牛込五四五七

佐々木高之助

【現職】三菱鑛業(株)取締役兼茂山鑛山長【出生】明一三・四東京市日本橋區北島町【續柄】第一銀行相談役勇之助三男後分家【學歷】大二東大工科機械科卒【經歷】直に汽車製造に入社鑄工場主任設計課長を經て米國に派遣歸朝後東京支社支配人兼作業課長兼檢査長取締役兼東京支店長等を歷任後現職に就く【趣味】長唄、圍碁、將棋、園藝【宗教】淨土宗【所稅】六一六八圓【家族】妻輝子(明三一生故男爵斯波忠三郎長女跡見女學卒)長男敬一郎(大一五生)外一女【住所】東京市小石川區鷄籠町二五七【電話】大塚〇三六六

佐々木和三郎

【現職】佐野文司鐵店主、鐵材商【出生】明三二・五横濱市【經歷】横濱市中區扇町古鐵商伊藤小太郎商店に勤務すること八ヶ年大正十年退店同市に於て銅鐵其他建築用鐵材の仲介業を營み震災後は太平佐太郎と共同にて建築用鐵材鐵板の販賣を開始し昭和二年同氏と分離して現所に店舗を移轉擴張し昭和四年頃より豫て取引關係ありし名古屋の銅鐵商伊藤信廣商店と契約を結び同店の商品を委託販賣することゝなり爾來順調發展の步調を辿り今日に及べり【事業】現在二ヶ所に倉庫を有し店員十數名年高內高二百萬圓內外を算す【趣味】旅行、寫眞【宗教】眞宗【所稅】二五〇四七圓【營稅】二四五〇圓【家族】妻春子(明三九生橫濱市伊藤堪二女女子商業卒)長男敏明(大一四生)外二男一女【住所】橫濱市中區蓬萊町二ノ六五【電話】長者町三九七四

佐野文司

佐野欽太郎

【現職】潛水材料代表社員【出生】長野縣高井郡【經歷事業】夙に現業に從事し大正十三年現社を創立代表社員に就任【趣味】旅行【住所】荒川區南千住町八ノ九六

佐野利平

【位階勳等】正八位【現職】株式會社高橋鐵工所庶務主任【出生】明治卅七年六月四日【續柄】東京府戸主【學歷】法政大學法文學部英法科【趣味】旅行、讀書【宗教】日蓮宗【家族】四人【住所】市川市宮田一三〇八

佐竹庄三郎

【現職】三洋商會代表者【出生】明治二十二年九月二日【經歷事業】昭和十二年壹月創立オートグラフ復寫機、各種醫學用機械メーカーとして知られる【趣味】義大夫・碁【宗教】禪宗【住所】東京市本鄕區湯島一丁目三番地城邊ビル【電話】京橋(56)九八三六(3)

佐竹義一

【現職】東京ゴム同業組合、東京ゴム商研交會各理事、寶町三丁目町會副會長、東京ゴム倶樂部幹事、日本自動車飛行機タイヤ製造、日本再生ゴム、日本パッキン、千代田紡織各(株)監査役、佐竹ゴム商店主、建築用及土木用各種ゴム製品一般ホース附屬金具類販賣業【出生】明一四・一二東京市淺草區【續柄】士族佐竹市太郎長男因に佐竹家は會祖父佐竹周左衞門以來藩士として松平侯に仕へ祖父清三明治戊辰の會津役に際し靑龍隊士として奮戰し落城と共に戰死す父市太郎亦白虎隊に加はり先年七十八歲を以て沒せり【經歷】十一歲迄淺草區田原町誓願寺學校に學び其後歸鄕して電氣器具商に從事明治四十二年二月上京し京橋區井田護謨商店に入り支配人となる後其株式に改組と共に常務取締役に就任大正十年辭して獨力佐竹ゴム商店を開業今日に至る【事業】取扱品目は總ゆるゴム製品を初めホース附屬金具類等を網羅し販路は鐵道省を初め官民各方面に及び市內六分地方四分の割合なり目下從業員二十餘名を使用し年商內高數十萬圓に達す【趣味】撞球、謠曲【宗教】佛教【所稅】二一二一〇圓【營稅】一二〇〇〇圓【家族】妻イシ(明一五生)嗣子博三(明四〇生)長女ヒデ(明四二生大妻高女卒)及孫【住所】東京市京橋區寶町三ノ一【電話】京橋五〇〇六・二五五〇・三六〇四

佐々田彰夫

【位階勳等】從六位勳六等【現職】三井物產(株)監査役、仙石原地所(株)專務取締役、東洋レーヨン、箱根溫泉供給各(株)取締役、諸會社各重役【出生】島根縣濱田町勝美長男【學歷】明治三十八年日本大學卒【經歷】直ちに判檢事登用經試驗に合格し司法官試

補檢事會計檢查官會計檢查院書記官等に歷任、大正四年退官三井物産に入り今日に至る【趣味】讀書、散歩【宗教】神道【家族】妻とめ、長男正一外數名【住所】東京市澁谷伊達八四【電話】高輪七四一六

佐脇哲郎

【現職】萬年電池社(合資)代表社員、樺太水產工業(株)取締役【出生】明二三・七三重縣一身田町に生る【學歷】東京水產講習所出身【經歷】日魯漁業(株)ソ聯國營漁業部等歷勤後北洋に於て漁業及罐詰製造業經營本年七月現合資會社創立萬年電池及ランプ充電機等の製作に從事【住所】東京市赤坂區青山北町三ノ七

佐伯萬藏

【現職】佐伯精密工作所【出生】明治二十七年十二月五日【續柄】士族【經歷事業】昭和九年より現在の業務に從事實用新案、國策パイトホールダ製作、精密工具製作【家族】七人男子二人女子三人【趣味】盆栽【宗教】日蓮宗【電話】大塚(86)三四七八

佐谷庄太郎

【現職】清水式無砂精米麥機製造發賣元合資會社清水商會支配人【出生】明治十九年岐阜縣高山市に生る【住所】東京市神田區末廣町一七

佐原誠

【現職】東京絕緣電線工業組合理事長、千代田電線(株)專務取締役【出生】明二三・六長野縣南安曇郡梓村【續柄】彌太郎二男【學歷】明四五東亞同文書院卒【經歷】直ちに橫濱電線會社に入社大正二年古河合名會社に轉じ爾來上海支店長、本社販賣課主任等に歷任し昭和六年古河傍系帝國電線製造所常務となり同十一年同樣古河傍系の現社に轉じ現職に就く【趣味】圍碁、旅行、ゴルフ【宗教】加特力教【所稅】二〇九二圓【家族】妻みはる(明二三生東京府佐原士佐次郎長女日本高女卒)三男拓也(大七生慶大豫科在)外一女【住所】東京市大森區田園調布三ノ一三四【電話】田園調布三三五四

佐竹義文

【位階勳等】正四位勳三等【現職】東洋電化工業(株)副社長群馬水電(株)相談役、東邦電力顧問【出生】明九・一一【續柄】東京府萬三長男【學歷】明三六東大英法科卒【經歷事業】同年高文合格爾來福井、岡山、山梨、鹿兒島、奈良、滋賀、福岡各縣事務官、同警察部長、內務部長、鳥取、香川、和歌山、愛媛、熊本各縣知事歷任退官後東京電力會社常務、郡馬水電會社專務等に就任【趣味】詩作、ゴルフ、謠曲【宗教】淨土宗【所稅】三六三三圓【家族】妻リヨウ(明一十生山口縣士族野村盛康妹京都府立專攻科卒)嗣子義美(明四一生東京工大卒)同妻みつ子(大五生秋山正八三女)外一男二女【住所】東京市荏原區小山町五〇八【電話】荏原六九三六

左近司政三

【位階勳等】從三位勳一等、在鄉海軍中將、北樺太石油(株)社長【出生】明一二・六米澤市【續柄】舊米澤藩士佐近司政記男六藏養子【學歷】明三三海軍兵學校卒同四五海軍大學卒【經歷】明治三十五年海軍少尉に任官爾來累進昭和三年海軍中將に陞る此間第一艦隊參謀、海軍省軍務局々員、英獨駐在矢矧艦長、海軍省人事局第一課長、長門艦長、海軍省人事局長兼海軍將官會議員、資源局參與、練習艦隊司令官、海軍次官第三艦隊司令長官、佐世保鎭守府司令長官等に歷補倫敦海軍會議に全權隨員たり昭和九年三月豫備役となり翌十年七月中里前社長の後を承けて北樺太石油の社長に就任今日に及ぶ昭和十一年六月渡露約三ケ月間ソ聯當局と會談昭和十六年末迄更に五ケ年試掘期限延長問題の解決促進に努め遂に新協定の成立を見るに至らしめたり【趣味】謠曲、讀書【宗教】佛教【所稅】六三〇一圓【家族】養母すて(明三生)妻ふさ子(明十九生東東府士族小島守氣女神戶女子學院卒)【住所】東京市大森區田園調布二ノ七五六【電話】田園調布三一〇一

佐野精一

【現職】日本電氣工業(株)專務取締役姬川電力、昭和火災各(株)取締役、中央電氣工業、昭和肥料、東洋紡績工業飯山鐵道、磐城電氣各(株)監查役【出生】明一五・二津市中新町【續柄】舊久居藩士嘉衞二男陸軍少將林猶之助兄大一二相續【學歷】明四三東大政治科卒【經歷事業】卒業後東京電燈會社、信越電力會社經理課長、同取締役支配人飯山鐵道取締役、昭和肥料、東洋毛絲各監查役、姬川電力取締役を歷任昭和九年日本電氣工業會社專務取締役に就任す【所稅】八八九圓【家族】妻鶴子(明二二生東京府石原晉太郎妹)嗣子弘毅(明四二生東大卒三井銀行員)外一男【住所】東京市澁谷區原宿二ノ一七〇ノ二【電話】青山四四六

齋藤富造

【現職】齋藤鐵工所の主【出生】明治三三・四・一【經歷事業】人絹製造用機械製作者として有名なるも昭和十四年六月頃より工作機械をも製作する樣になつた【宗教】佛教【住所】東京品川區東品川四ノ四六【電話】高輪(44)六六二九

【公職】鑄造組合理事【現職】合金鑄造化學工業齋藤二工場工場長【出生】明治二一・二・五新潟縣【續柄】惣三郎五男【經歷事業】二十年來化學用諸機械、各種耐酸用ポンプ、高級硅素鑄鐵其他各種合金製作品を以て現在ケーニヒアイゼンの通稱を有す【趣味】野球【宗教】淨土宗【所稅】六四六【家族】妻千代子、長女弘子【住所】澁谷區幡ヶ谷榮町九一九(事務所)【電話】四谷(35)六〇七五

齋藤貞二

【位階勳等】正五位勳六等工學博士【現職】日本油脂(株)取締役【出生】明二二・八靜岡縣【續柄】宇左衞門五男【學歷】大二京大製造化學科卒【經歷事業】爾來橫須賀海軍機關學校、大學各教官を歷任昭和三年技師に轉じ同六年退官【宗教】曹洞宗【所稅】二七八八【家族】妻嘉子【住所】神奈川縣鎌倉町大町一一五一【電話】八四四

齋藤定藏

【現職】高壓容器、高壓バルブ製作、幸機械製作所所主【出生】明治三四・九埼玉縣川越市【經歷事業】昭和六年より昭和十二年迄日本高壓工業株式會社技術部にて研究し昭和十二年四月現在の地に創業【趣味】旅行【宗教】天臺宗【家族】妻、父、男子四名女子二名【住所】板橋區志村中臺町八四番地【電話】板橋四七八

齋藤幸太郎

【現職】各種工作機械製作販賣、齋藤機械製作所所主【出生】明治四四・十【學歷】長岡高等商業學校卒【經歷事業】昭和七年電氣化學工業株式會社入社、昭和十年株式會社篠原機械製作所入社、昭和十一年齋藤機械製作所創立現在に至る【趣味】運動【宗教】佛教【家族】妻千代子、長女弘子【住所】豐島區雜司ヶ谷三三二【電話】牛込四二八〇・本鄉區西片町廿一【電話】小石川(85)五八七

齋藤松太郎

【現職】齋藤鐵工所主【出生】明二三【經歷事業】サンドブラストの帝都に於ける草分け的存在にして現在製作種目として前記の外鑄物機械及設備一式、ガソリン蒸餾機、乾燥機、排風送風機其他化學機械を揭げ最新に於ける活躍振りは注目すべきものがある【趣味】カメラ、旅行【住所】東京市深川區千石町二ノ六・同右【電話】本所(73)六九三六

齋藤省三

【現職】齋藤省三商店專務取締役、昭和鐵工株式會社專務取締役【出生】明治一六・三【學歷】京大法科大學經濟科【經歷事業】卒業後齋藤製作所東京支店勤務經營の衝に當り大正一年獨

立ボイラー・ラヂエター・蒸氣消毒器等の製作を始め昭和六年株式會社に改組目下陸海軍其他諸官衙及滿支、濠太羅、南洋方面に進出す【趣味】書畫【宗教】日蓮宗【家族】母及甥並姪【住所】東京市蒲田區女塚三ノ四【電話】蒲田二六六七

齋川義文

【現職】バイトフイーラー株式會社取締役【出生】明治二二・一・二【趣味】讀書【宗教】日蓮宗【家族】妻、子供三人【住所】東京市中野區小淀町二六番地・東京市京橋區銀座一丁目五番地(銀一ビル)【電話】京橋六六五五・七一六七・七一六八

坂井克行

【現職】合名會社坂井商事社長【出生】明治四二・八【續柄】戸主【學歷】橫濱商業專門學校卒【經歷事業】大正十五年より人造皮革、人造護謨其の他化學機械方面に使用するパッキング等に就き研究し來り昭和十年前記製品の製造販賣を目的として營業開始爾來事業進展に伴ひ昭和十四年三月合名會社に改組現在に至る【宗教】古神教【家族】妻女の他男二名【住所】蒲田區安方町九四【電話】蒲田三八六四

坂口廣喜

坂井庄次郎

【現職】合名會社坂井商事社長【出生】明治二十八年一月【經歷事業】少年時代より機械製作に從事轉じて橫濱の機械類輸入の某商會に勤務二十四歲にして輸入機械販賣を開業傍ら發動機の國產化に苦心研究を續け昭和元年頃サカイ發動機を完成國內は勿論海外迄其の名聲を博し昭和八年頃よりマシンツール等精密機械の各部門も製作以て今日に至る【趣味】事業【宗教】佛教【住所】東京市葛飾區小谷野二六一【電話】淺草五三七八

【現職】鈴木光學レンズ製作所支配人兼營業部長【出生】明治三十二年一月二十三日福岡縣宗像郡福間町に生る【續柄】戸主【學歷】立教大學商學部卒業【經歷事業】大學卒業後直ちに帝國冷藏株式會社入社五年にして退社東京映寫機製作所設立小型映寫機の製作に從事昭和五年鈴木光學レンズ製作所へ入所今日に至る【趣味】讀書、スポーツ【家族】妻、三男一女【住所】東京市荏原區小山町六一七番地

坂本忠三郎

【現職】東亞商會主【出生】明治三六年十二月【經歷事業】始め鐵道資料研究會を主宰し後日本鑿岩機株式會社日興社の各顧問となり又前者の營業課長となり昭和十四年八月同社を退くと同時に獨立鑿岩機の製作販賣をはじむ【住所】大森區入新井町三ノ一〇二

坂本正男

【現職】玉川鐵工所長【出生】大正元年八月十二日【趣味】旅行、茶談【住所】東京市世田ヶ谷區新町三ノ五一一【電話】世田ヶ谷三六四五

坂本修作

【位階勳等】正八位【公職】陸軍砲兵少佐【現職】日本鑛業會理事、古河(名)理事【出生】明一七・五【續柄】埼玉縣人小林吳十郎三男與惣治郎養子大一五相續【學歷】明四〇東大工科採鑛冶金科卒【經歷】卒業後古河鑛業會社に入社足尾銅山、飯盛鑛山、好間炭坑、久根銅山歷勤、鑛業課長取締役に歷

任後ち現職に就く【所税】一四七五八圓【家族】妻節子(明三六生福岡縣森永顯太郎姪)【住所】東京市澁谷區穩田一ノ四【電話】青山五五一二

坂梨哲

【現職】日之出漁業、日本海水工業、東邦化學工業各(株)社長、東京不動產(株)監査役【出生】明四・五福岡縣【續柄】磯吉長男【學歷】明三〇東京高商卒【經歷事業】坂梨合名、坂梨商事會社等を設立、又亞細亞煙草、東亞煙草、中國葉煙草、中和公司、旭セメント等に關係又福岡縣會議員衆議院議員として活躍す【趣味】青年の養成【宗教】眞宗【所税】二五八八圓【家族】妻ウタ子(明一九生山口縣兒玉郡乘四女)長男仁(明三六生三井鑛山會社員)外一男【住所】豐島區駒込一ノ二【電話】大塚五〇一一

坂下忠雄

【現職】大同製鋼(株)取締役、支配人兼東京支店長、三陸水電(株)專務取締役、三泉工業(株)代表取締役【出生】岩手縣宮古町【學歷】大三早大政治經濟學部卒【經歷事業】直に東京鋼材機會社に入り碌々商店營業主仕等を經て大正八年大同電氣製鋼所に入社爾來勤續大正十年東京出張所長となり後取締役に列し支配人、東京支店長を兼ね大同製鋼と改稱後も引續き在任す傍ら三泉工業等に關係す【趣味】野球、柔道、大弓、撞球【宗教】禪宗【所税】二七六七圓【家族】妻一枝(前文部省督學官東京科學博物館長秋保安次長女京華高女卒)【住所】東京市小石川區戸崎町三【電話】小石川四九一二

坂手利重

【現職】東京鍍金工場主【出生】明治十九年生【續柄】岡山縣平民【經歷事業】大正五年芝區愛宕町二ノ九東京鍍金工場(ニッケルメッキ專門)品川區南品川五ノ七東京鍍金品川工場(アルカリ工業に使用する容器等)蒲田區羽田本町七〇一東京鍍金工場(鉛、錫亞鉛、カドミューム等、金屬鍍金)【宗教】眞言宗【家族】五人、妻【住所】蒲田區羽田本町七〇一【電話】羽田(04)〇七七九

坂田秋生

【現職】坂田(名)輕井澤味噌(資)各社長【出生】明二四・九富山縣西礪波郡【續柄】三郎三男明三三相續【學歷】石川縣立一中卒【經歷】卒業後實業界に投じ現に頭揭會社主宰者たり氏特許及新案權數件を有す【趣味】讀書、登山【宗教】眞宗【所税】一九三圓【家族】妻あやの(明二七生富山縣加賀谷四郎二女石川縣立高女卒)長男昕生(大五生早大理工科在)外一女【住所】東京市小石川區大塚坂下町一一四【電話】大塚一一六

酒井吉之助

【現職】酒井吉之助商店々長、諸機械商、株式會社酒井製作所社長、喞筒土木鑛山機械製作【出生】明治三十八年十一月十日【續柄】戸主【學歷】大正十五年福島高等商業學校卒業【經歷事業】先代經營酒井吉之助商店に入店勤務昭和八年先代沒後事業繼承、

襲名、昭和五年酒井製作所創設社長となる昭和五年より歐米視察各國旅行昭和六年末歸國【趣味】ゴルフ、刀劍【宗教】禪宗【所税】一〇、一六〇圓【營税】二一五四圓【家族】妻絢子(大正三年生府立第一高女卒)長男重邦次男勝元三男昭和十四年十二月一日生【住所】(營業所)京橋區八丁堀四ノ七【住居】蒲田區仲蒲田一ノ一八【電話】蒲田二二四三

酒井金之助

【現職】東京鐵道船舶機器製造工業組合理事兼調査委員長、東京內燃機關製造工業組合調査員、東京鑛山土木機械製造工業組合代表、統制委員調查副委員長、東京府鐵鋼製品工業組合聯合會統制副委員長、酒井工作所主、一般內燃及蒸汽機關車並ロードローラー製作業【出生】明二八・七福島縣【續柄】海軍大將醫從六位友賢孫【經驗】夙に佐藤機械製作所勤務後上京大正七年本邦最初のガソリン機關車及モーターカーの製作を開始昭和四年ロードローラー製作に進出道路平均轢壓差動裝置並三枚安全桿裂置の特許を受け工場建坪千八百餘坪、資本金三百萬圓、從業員三百名年商高五百卅萬圓を計上す其の製品は內務省土木局、鐵道省、農林省、帝室林野局並各營林署、各府縣廳、各市役所、滿洲國、朝鮮總督府、民間會社等に納入す【趣味】謠曲、浪曲【宗教】日蓮宗【所税】二八六八圓【家族】妻照子(明三〇生)養子智好(大一三生府立三中在)【住所】東京市芝區西芝浦三ノ一【電話】三田九三〇・三三九・三五四五(エンヂン工場)同四ノ四【電話】三田九九三(蒲田工場)同市蒲田區糀谷町二ノ六八八【電話】大森三一三四

酒井一郎

【現職】東亞セルロイド(株)常務取締役【出生】明治十一年一月【續柄】岩榮三郎長男【學歷】明七・一東京市芝區【續柄】業【卒業後】卒業後眞綿製造業を創め次でセルロイド製造業兼營大正八年現社に入り會計主任を經て同十一年現職に就く【趣味】旅行【宗教】禪宗【家族】妻フサ子(明一六生西家長女)養子正吉(明三九生早大卒遞信省勤)長女芳枝(明三九生養子正吉妻淑德高女卒)外孫二人【住所】東京市世田谷區玉川奥澤町一ノ一

澤藤電機株式會社

【現職】日本電線、東京電線、日本故銅統制各(株)社長、滿洲電線(株)取締役【出生】明一四・九【續柄】東京府千吉郎長男明三九相續【學歷】明三九早大政經科卒【經歷事業】直に古河鑛業に入り尼ヶ崎工場長たりしが大正七今日に至る【宗教】佛教【家族】妻みほ(明一八生)長男忠(明三五生)他四男【住所】東京市板橋區志村中臺町三九八

澤藤忠藏

【現職】東京玻璃器商同業組合代議員日本硝子製品輸出組合總代員、三引硝子商會(資)代表社員、理化醫療玻璃器、硝子壜販賣業【出生】滋賀縣【學歷】縣立八幡商業卒【經歷】京都市の藤川商店に勤務大正四年上京日本橋區多勢商店に入り同十一年本所菊川町に於て硝子食器及理化學用硝子器のブローカーを開業大震災後知人難波德四郎と提携同十三年四月京橋區北槇町に三引硝子商會を創立同十四年六月神田區東福田町に移轉昭和一三年一月資本金二千圓の合資會社となし其代表社員に就任後難波氏脫退に依り氏の個人經營となる其の後深川區八名川町に轉じ同五年二月更に現所に移轉九年五月一萬圓に十一年八月二萬圓に增資す【住所】東京市本所區東兩國四ノ五六【電話】本所三五九七

澤幸次郎

崎山刀太郎

年日本電線事務取締役となり當時不振の同社經營に盡瘁後社長に進み尙東京電線社長を兼ね更に昭和十三年日本故銅統制社長就任今日に及ぶ此間母校早大維持員に推さる【趣味】相撲、柔道【所税】一四二九二七圓【家族】妻たけ(明二四生東京府近藤鐵藏二女)長男義一【住所】小石川區大塚仲町四一【電話】大塚(86)一〇四五

寒川恒貞

【現職】海外企業組合常務理事、電業社電動機製造所、東海電極製造、東海乾電池、東洋刃物、日本起重機製作所、東極產業、東極鑛業、東京機械工業各(株)社長、大同製鋼所、日本アルミニューム、木曾川電力、大笹生鑛山、朝鮮ドレッヂ鑛業、東朝鮮鑛業各(株)取締役、琴平電鐵、日蘭商事各(株)相談役、矢作水力(株)顧問【出生】明八・六香川縣香川郡太田村【續柄】先代恒吉長男大二二相續前名安太郎【學歷】明三五京大電氣工學科卒業【經歷】卒業直に深川電燈技師長に就任次で川越電氣鐵道、箱根水力電氣、德島水力電氣各技師長歷任後名古屋電燈顧問、四國水力電氣監査役兼顧問、福澤桃介顧問、電氣製鋼所常務取締役を經て大正四年十月電業社電動機製造所を創立す曩に南信電力、東洋刃物、大同電氣製鋼所、木曾川電力、四國水力電氣各社々長たり大正三年歐米電氣事業を視察す【功賞】紺綬褒章【趣味】圍碁、哥澤、書畫、骨董【宗教】眞言宗【所税】三四八五六圓【家族】妻シゲ子(明一〇生香川縣久保榮吉妹)長男恒一郎(明三八生工學士東海電極製造常務取締役兼技術部長)同妻貞子(明四四生香川縣入江祐吉妹丸龜高女卒)及其一女【住所】東京市品川區上大崎三ノ三〇〇【電話】大崎三六〇

里見謹吾

【現職】豐國鑛業、豐川石油鑛業(株)常務取締役、豐川石油鑛業(株)常任監査役【出生】明二一・六東京市【續柄】舊金澤藩士孰長男【經歷事業】明治四十年より操觚界に入り初め國民報記者たり次で北陸新聞、みくに新聞主筆を經て上京し電通政治記者として中央政界に出入し次で德富蘇峰氏の國民新聞政治記者新愛知の理事兼東京支局長に任ず更に原敬氏に知られて其機關紙中央新聞の政治部長編輯長を經て帝國通信社客員たり次で大正十年十月松山社長の下に讀賣新聞政治記者たりしも豫て床次竹二郎と相識り其政友本黨樹立と共に大正十三年二月政治經濟通信社を創立し爾來床次氏の政治顧問として中央政界の表裏に活躍し日刊通信紙の發行と共に月刊「政治經濟」及び「議會の內面暴露」其他の著書あり尙ほ議會記者倶樂部總代の一員として活躍十數年床次氏の歿後斷然政界を去りて實業界に轉じ現に頭揚の職に在り【趣味】旅行【宗教】佛教【家族】妻安江(明二八生)長女文子(大六生)【住所】東京市目黒區上目黒五ノ二四八五【電話】青山六四一〇

定近俊一

【位階勳等】正八位【公職】在鄉陸軍主計少尉【現職】森永煉乳(株)常務取締役、森永製品臺灣販賣(株)取締役【出生】明一九・二宇都宮市【續柄】源之進長男【學歷】明四〇生早大商科卒【經歷】直ちに森製菓會社に入り曩に販賣配給係勤務を經て昭和三年現社創立販賣課長となり同八年取締役に就任し後常務に昇進す【趣味】スポーツ【宗教】禪宗【所税】五四四圓【家族】妻忍(明三〇生靜岡縣岩崎光姉三島高女卒)長男一夫(大一二生)外二男四女【住所】東京市目黒區自由ヶ丘二三三【電話】碓原二三六一

眞田繁次

【現職】江戸川精機工業株式會社社長【出生】明三九・一〇【續柄】東京市眞田彌太郎長男【經歷】夙に輸出輕金屬製作事業に携り後江戸川精機工業株式會社を起しターレット專門製作に從事し今日に至る【所税】一五〇〇〇

清水一雄

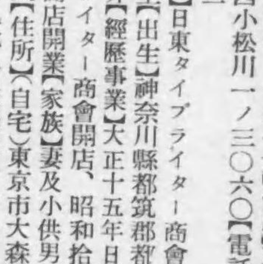
【位階勳等】正八位勳六等【現職】清水組(株)副社長、日本耐火防腐(株)取締役、榮進社長、東京鐵橋梁製作所各(資)無限責任代表社員【出生】明七・二津山市【續柄】東京府入江正遠三男清水家養子【學歷】明三三東京帝大法科英法科卒【經歷事業】養家の事業たる清水組經營に當る【趣味】事業及後進指導【所稅】六〇〇〇圓【家族】妻シッ子(明一三生)長男正雄(明三七生)同妻紅子(大元生)外三男一女【住所】東京市小石川區大塚坂下町四二【電話】大塚九一七

清水井房吉

【公職】工業組合役員【現職】株式會社内外製鐵所工場長、合名會社清水井工業所所長【出生】明治三十二年九月【學歷】藏前高工卒業【趣味】スポーツ【宗教】佛教【家族】妻一男三女【住所】東京市城東區龜戸町六ノ二二【電話】墨田(74)七八七九

清水一松

【現職】株式會社北辰電機製作所社長、富士航空計器株式會社社長【出生】明治廿六年【學歷】東京帝國大學理學部【經歷事業】大學に於て精密電機器の研究を重ね麻布富士見町に研究所兼工場を設くやがて電氣溫度計を完成す工場は漸次發展の結果



清水莊平

目黒區洗足工場時代を經て昭和九年遂に蒲田區下丸子に總坪數二萬餘坪の近代的模範工場を新築同年九月株式會社に改組自ら社長に就任し非常時局下に於ける重要使命達成に健闘中である【趣味】スポーツ【宗教】日蓮宗【家族】七【住所】蒲田縣下丸子町三一二(北辰電氣製作所)・神奈川縣鎌倉町二階堂九九【電話】八〇三

清水十四造

【現職】堅型平面研磨機萬能研磨機專門製作株式會社昭和機工社、株式會社清水機械製作所社長【出生】明治三五三重縣【續柄】戸主【學歷】三重縣立津中學校卒【經歷事業】昭和二年芝區に清水機械製作所を創設精密機械製作を目的とす昭和十二年蒲田移轉株式會社昭和機工社と改組本邦唯一の堅型平面研磨機竝に萬能研磨機製作として邇來益々隆盛を極工場の狹溢を告げるに至り更に昭和十四年埼玉縣吹上町に株式會社清水機械製作所を創設現在に至る

櫻井朝則

五圓【家族】妻女子、一男一女【住所】東京市江戸川區西小松川一ノ三〇六〇【電話】江戸川二一三

【現職】日東タイプライター商會櫻井商店主【出生】神奈川縣都筑郡都岡村下川井【經歷事業】大正十五年日本タイプライター商會開店、昭和拾參年櫻井商店開業【家族】妻及小供男三人女二人【住所】(自宅)東京市大森區上池上町九七八(店舗)東京市麹町區有樂町二丁目二番地【電話】銀座四八四

清水幸三郎

【家族】妻博子、長男康也【住所】蒲田區東蒲田一ノ十二【電話】大森(06)七〇八一・蒲田五〇九〇

【現職】堅型平面研磨機、萬能研磨機專門製作、株式會社昭和機工社、株式會社清水機械製作所常務取締役支配人【出生】明治三一・三三重縣【經歷事業】昭和二年芝區三田に清水機械製作所を令弟十四造氏と創設昭和十二年蒲田新工場に移轉昭和機工社と改稱更に昭和十四年埼玉縣吹上町に株式會社清水機械製作所を創設同社社長清水十四造氏の後見役として卓越せる手腕を振ひつゝある【趣味】多趣味【家族】妻むめ子、長男裕司【住所】大森區大森七丁目二九〇【電話】大森七〇八一・蒲田區東蒲田一ノ十二【電話】蒲田五〇九〇

清水眞一郎

【現職】清水貿易各取締役【出生】明二三・一二【續柄】北海道彌吉長男【學歷】小樽中卒【經歷事業】卒業後清水同族合名入社次いで清水商事函館支店長を經て現在に至る【趣味】旅行【宗教】眞宗【家族】妻セッ(明三〇生)長女孝子(大六生)【住所】東京市蒲田區東六鄕一ノ一七【電話】三四二四

【現職】江東工業相互會東部支部長、江東工場協會大平支部、工場協會厩橋支部各役員、清水鐵工所經營主、シエービングマシンブレーナー專門製作所【出生】東京市淺草區【經歷】池貝鐵工所本多鐵工所歷勤後大正十四年東京市本所區厩橋二丁目に創業爾來漸次發展と共に昭和八年現所に工場を擴張移轉更に下請工場三ヶ所をも有し業績向上の一途を辿る傍ら同業の向上發展に盡力功勞多し【住所】東京市本所區石原町四ノ一一【電話】墨田四一三

清水松次郎

清水勇

【現職】各種スプリング製作業【出生】明治二十六年九月四日【續柄】平民【學歷】濱松商業出身【趣味】スポーツ【住所】東京市本所區四ノ橋際

清水長鄕

鐵業企畫各(株)社長大日公司代表【出生】明二一・三岡山縣後月郡芳井町【學歷】明四一早大政治經濟科卒【經歷】爾來岡山縣農會雜誌編輯主任國民新聞記者、讀賣新聞經濟部長、東京朝日新聞經濟部長等に歷職次で大正十三年昭和五年の兩回に亘り衆議院議員に當選し民政黨に所屬す後實業界に投じ現に前揭諸職に在り曩に楚山金鐵長城金鐵を各主宰す著書「農村經濟」「農村財政」外數種【趣味】讀書、旅行、盆栽陶器【家族】妻富子(明二六生清水宗勝長女岡山縣立高女卒)長男長輝(大七生早大在)外一男一女【住所】東京市澁谷區神山町二五【電話】澁谷三五〇九

清水幸一郎

【現職】淺野カーリット(株)常務取締役、朝鮮カーリット(株)取締役、關東證券、順安砂金、日本金雀各(株)監査役、美鳶社(資)社長、關東水力電氣(株)理事【出生】明三四・七【續柄】東京府泰吉長男【學歷】大一三米國コーネル大學土木科卒【經歷】歸朝後關東水力電氣入社後現職に就く【趣味】ゴルフ【宗教】佛教【所稅】七〇八圓【家族】妻八重子(明三五生神奈川縣入山田眞吉三女双葉高女卒)長男長一(大一四生)外一女【住所】東京市麹町區永田町二ノ一八

清水勇

【位階勳等】豫備陸軍主計少尉【現職】清水無砂精米麥機製造發賣元、合資會社清水商會代表者(無限責任)【出生】明三十五年【學歷】立教大學經濟科卒【住所】東京市本鄕區妻戀町八【電話】小石川三六六二(店舗)同市神田區五軒町三【電話】下谷一六八〇・五九三四

清水禧

【現職】國政調査會理事長、萬壽金鐵、朝鮮

【電話】銀座二三七七

清水朔郎

【現職】川西航空機、千代田毛織各(株)取締役、松本鐵次郎商店(株)監査役【出生】明二四・一二【續柄】富山縣永三三男大一二相續【學歷】關西大學及泰西學館修學【經歷】明治三十八年松本商店に入り計算記帳係販賣部勤務東京出張所新設主任、支配人、取締役兼東京支店長、專務取締役を經て取締役となる現に前揭諸會社重役たり【趣味】運動【宗教】眞宗【所稅】二三七六圓【家族】妻なみ(明二七生東京府石附鐘太郎長女淑德女學卒)【住所】東京市世田谷區池尻町五二二【電話】青山一五八一

清水康雄

【現職】清水組(株)會長、東京鐵骨橋梁製作所(株)社長【出生】明三四・二東京市【續柄】釘吉三男叔父滿之助養子昭四相續【學歷】早大專門部卒【經歷】當家は文化以前より江戸土着の家柄にて曾祖父喜助土建業を創始業界の先覺たり氏夙に祖業を繼承曩に合資組織を改組其會長に就任今日に至る【所稅】二〇二五五九圓【家族】妻貞子(明三九生東京府)長女松子(昭二生)外一女【住所】東京市牛込區市ヶ谷加賀町一ノ七【電話】牛込三二・神奈川縣鎌倉町扇ヶ谷一五三【電話】二六〇

清水莊平

【現職】北辰電機製作所、富士航空計器各(株)取締役社長【出生】明二六・一二【續柄】靜岡縣米作二男大一〇分家【學歷】東京物理學校卒業後東大物理科に學ぶ【經歷】夙に電氣計器の國產化に志し東京市麻布區富士見町に創業し電氣溫度計の製作に成功次で目黑區洗足工場時代を經て昭和九年一月敷地二萬餘坪延坪約四千坪の現工場を新設同年三月株式に改組社長に就任次で同十三年富士電機製造と資本技術の提携成り新に富士航空計器株式會社創立其社長を兼ぬ【事業】附錄「北辰電機製作所富士航空計器」參照【趣味】ゴルフ【宗教】日蓮宗【所稅】二六四七〇圓【家族】妻ハセ子(明二惠(明三五生東京府川井清二姉)長男正博(大一一生)外四女【住所】神奈川縣鎌倉町二階堂九九【電話】八〇三三(株式會社北辰電機製作所)東京市蒲田區下丸子町三一二【電話】高輪八〇八四(4)蒲田三九二五(4)

島田房吉

【現職】理研コランダム(株)專務取締役、理研光學工業(株)監査役【出生】明二四・一〇【續柄】椅男【經歷事業】橫濱アルフレッドハートリミテッド理化學興業會社等に歷勤昭和十年十月理研コランダム會社創立取締役兼支配人を經て同十二年專務に就任【趣味】讀書、邦樂【宗教】眞言宗【所稅】二六四圓【家族】妻ハセ子(明二五生矢野惣太郎長女)男次男(大一二生麻布中學在)外【住所】澁谷區代々木富ヶ谷一五一五【電話】澁谷二八八八

島田金次郎

【現職】東京シヤッター商會主、チエン・ファスナー製造販賣業【出生】明一四・六【學歷】日本法律學校【經歷事業】落合工業所、日本亞比酸工業會社、東洋自動車興業會社支配人等に歷勤昭和六年獨力東京シヤッター商會を設立す【趣味】園藝【宗教】神道【家族】妻ハツ二女芳江【住所】麻布區三光町五七【電話】三田五六三

島田利吉

【現職】日本鑛業(株)專務取締役、滿洲鉛鑛、滿洲鑛山各(株)社長、臺灣化學工業代表取締役、安泰鑛業(株)專務取締役、日產化學工業(株)取締役【出生】明一七・一【續柄】宮城縣幸次郎二男【學歷】明四〇東大採鑛冶金科卒【經歷事業】卒業後久原鑛業入社日立大瀨甲山各鑛山勤務を經て管理課長となりしが昭和四年日本鑛業創立と共に常務兼鑛山炭油各部長となり後現職に就く【家族】妻富貴子(明三一生栃木縣渡邊良姉栃木高女卒)男利夫(大二生成城高校卒)【住所】東京市世田ヶ谷區宇奈根町七九四ノ三【電話】砧六

島田藤吉

【現職】日本土木建築請負業聯合會副會長、建築業協會理事、島藤株(社)長【出生】明二八・一東京市深川區【續柄】藤吉三男【學歷】大七東大建築科卒【經歷事業】一時三井合名會社に勤務せしが幾許もなく辭し爾來家業に從ひ昭和七年七月遺業を繼ぐ次で從來の個人經營を資本金百萬圓の株式に改組す曾て南洋支那滿洲及歐米各國の建築業を視察し業界の爲めにつくすところ大【趣味】旅行、繪畫【宗教】眞宗【家族】妻富久子(明三三生根岸傳次郎長女)【住所】東京市麻布區宮村町一〇【電話】赤坂二五六(營業所)同市深川區新大橋一ノ一一ノ一【電話】本所一一三一・一一三二

島田純一郎

【現職】中越土木(株)社長、宇野鐵工所、精機製造、京北都市各(株)取締役近榮電氣(株)顧問【出生】明一八・七富山縣福岡町【續柄】先代七郎右衞門男大五分家【學歷】慶應義塾理財科修【經歷】初め小樽に於て雜貨商を營み逐年發展其間小樽區會議員、共同倉庫會社、北海道木材會社各取締役、北海道印刷會社々長等に任ず大正四年高岡米穀取引所理事長代理に就任又市會議員に當選副議長に推さる曾て共同生命保險會社常務、二ツ井商事會社取締役たり現に頭揭諸職に在り【趣味】謠曲、スポーツ、政治【宗教】眞宗【所稅】二八一七圓【家族】妻シゲ子(明二七生富山縣竹内友吉妹高松高女卒)長男純行(大一二生)【住所】東京市杉並區和田本町一〇六〇【電話】中野五七八二

島田乙駒

【位階勳等】從六位勳六等【現職】理研金屬(株)常務取締役、朝鮮理研金屬(株)取締役【出生】明二〇・二東京府【續柄】純一二男【學歷】明四三東大法科大學政治學科卒業高文合格【經歷】爾來遞信事務官同書記官に歷任大正六年退官茂木合名會社、大阪支店支配人、時事新報社大阪支店長等を經て同十二年興商社を設立木材事業を經營し又興東木材倉庫取締役たり昭和八年日滿マグネシウム會社常務に就任同十三年四月理研金屬と改稱す曩に歐米支を視察す【趣味】讀書、音樂、觀劇【宗教】禪宗【所稅】一五一二圓【家族】妻その(明二五生東京府福澤捨次郎長女)長男輝雄(大三五【電話】高輪〇九七五

島安次郎

【現職】鐵道會議々員、旅順工科大學商議員、汽車製造(株)取締役會長【出生】明三・八【續柄】和歌山縣人吉兵衞二男明三三分家【學歷】明二七東京帝大工科大學機械科卒【經歷】夙に參宮鐵道會社技師、關西鐵道會社汽車課等歷勤明治三十四年遞信技師に任じ爾來帝國鐵道廳技師、東京帝國大學、工科大學教授及講師、鐵道院理事、工作局長鐵道院技監、滿鐵理事等に歷任此間明治三十六年及同四十三年歐洲大正五年米國同八年滿鮮地方を昭和十三年北支及中支を各視察し大正二年二月學位を受く昭和九年現社取締役會長に就任す尙上揭の外曩に北支開發中支振興兩會社政府出資財產評價委員仰付らる【趣味】讀書【宗教】淨土宗【所稅】一四〇九六圓【家族】妻順(明一三生滋賀縣原田金之祐二女)長男秀雄(明三四年生東大工學部卒鐵道局技師、大阪鐵道局鷹取工場勤務)同妻と一子(明三二生男爵中村謙一長女女子學習院卒)外四男二女【住所】東京市芝區高輪南町四五【電話】高輪〇九七五

【現職】芝浦製作所(株)理事兼軍需品部長兼三重工場長、石川島芝浦タービン、芝浦工作機械、芝浦マツダ工業各(株)取締役、奉天製作所(股)董事【出生】明二三・

【位階勳等】正四位勳二等、工學博士【現

島村一郎

三靜岡市傳馬町【續柄】熊五郎長男先考は永年鐵道技師たり【學歷】明四二築地工手學校機械及電氣科卒【經歷】後芝浦製作所入社昭和十三年現職に就く曩に大井電氣取締役たり【趣味】俳句號紅霓石楠同人【宗教】禪宗【所稅】二〇〇圓【家族】妻靜子(明二九年生金澤第一高女卒)及一男二女【住所】川崎市京町一ノ九三【電話】三二〇五

島野亨二

【現職】日本理化學工業株式會社支配人、森電機株式會社監査役【趣味】スポーツ【所稅】一〇一六【住所】杉並區馬橋四ノ五〇〇【電話】中野三二〇五

白川儀一

【現職】各種高級工作機械製作、合名會社白川製作所主【出生】三重縣四日市袋町【經歷事業】昭和五年荒川區日暮里町七丁目に創業ボーリングマシンを主とせるも今事變に依り斯界隆盛に伴ひミーリングマシン、旋盤等各種工作機の高級品製作と進歩し昭和十四年八月同區町屋に數千坪の新工場を建設し移轉と共に合名會社に改組現在に至る【所稅】四千圓【營稅】五千五百圓【家族】妻の他三名【住所】東京市荒川區町屋三丁目一四〇〇・東京市荒川區日暮町八丁目【電話】下谷(83)五一五七

白石多士良

【現職】白石基礎工事株式會社(本社東京市丸ノ內丸ビル)取締役社長、白石基礎工業合資會社(本社東京市丸ノ內丸ビル)代表社員【出生】明治二十年十月二十七日生【學歷】東京帝國大學工科大學卒業(土木工學科)明治四十五年卒業【經歷事業】明治四十五年鐵道省技手、大正十二年帝都復興局土木部囑託、大正七年鐵道省技師、大正十二年帝都復興局土木部囑託、大正十二年昭和十年まで東京帝國大學工學部講師昭和五年より昭和六年まで朝鮮總督府土地改良部に招聘せられ昭和水利組合の水利事業並に附屬隧道、大堰堤、水力電水工事調査設計に從事す昭和八年白石基礎工業合資會社を創立し其の代表社員として現在に及ぶ主として壓氣潛函工法により建築基礎及土木鑛山方面の工事設計並に請負をなす【趣味】ゴルフ【住所】東京市麻布區飯倉町四ノ二二

白川一郎

【出生】明治四十四年三月七日【續柄】島根縣勝太郎長男【學歷】明大に學ぶ【經歷事業】修業後臺灣總督府に勤務次で實業界に入り臺灣物産、大正物産、新高拓殖各株式會社重役【趣味】旅行、讀書【家族】母カメ(安政六生)妻キミ子(明三九生)長男惠一(昭二二生)長女泰子昭和十年【住所】東京市目黒區大岡山八三

白石德三郎

【現職】白石甚兵衞商店、大東紡織各(株)常務取締役【出生】明三〇・一東京市【續柄】甚兵衞二男【學歷】大七東京高商卒【經歷】直ちに三井物産に入り次で東京モスリン紡織監査役、同取締役を經て常務取締役となり同社整理の要衝に當り大東紡織と改稱後も在職す尚家業白石甚兵衞商店常務たり【趣味】登山【宗教】禪宗【所稅】二〇六八圓【家族】妻好子(明三五生中村茂八四女)長男裕之助(昭五生)外二女【住所】東京市中野區氷川町一一【電話】中野二〇三六

鹽川脩次郎

【現職】化學工業醫藥品製造販賣【出生】明治三十三年九月二十六日生【續柄】戶主【學歷】大正一一年明治藥專卒業【經歷事業】卒業後帝大醫學部研究科へ入所大正一四年財團法人東京顯微鏡院製藥部技師に入所昭和三年三月陸軍々醫學校藥學部へ囑託入所昭和一三年九月現業をなす【趣味】事業、和樂【家族】五人【住所】大森區北千束町四〇一(事務所)神田區司町二ノ一一【電話】神田四八七〇

鹽野和正

【現職】國全工業株式會社社長、國全精機工具株式會社社長、鹽野和正商店代表社員【學歷】明治三七年七月一八日【經歷事業】昭和一三年五月國全工業株式會社を設立兵器部品航空部品自動車部品を製作昭和一四年四月鹽野和正商店を開店特殊鋼一般同年八月國全精機工具株式會社を創設切削工具一般の製作をはじめ現【家族】四人【住所】東京市麹町區一番町一五番地【電話】九段(33)三八一一

鹽原又策

【現職】三共、日本ペークライト、陸王內燃機、泰昌製菓、寫眞化學工業各(株)社長、東津窒素工業、大和釀造、臺灣生藥、住友アルミニューム、亞細亞アルミナム、昭和飛行機各(株)取締役【出生】明一〇・一橫濱市【續柄】長野縣又市長男【學歷】橫濱英和學校に學ぶ【經歷事業】明治三十一年橫濱絹物株式會社を創立取締役兼支配人に就任また高峰博士のタカヂアスターゼ發見に逸早く之が一手販賣權を獲得三十五年三共商會を同三十八年日本橋區同四十一年品川に製藥工場を設置大正二年三共株式會社を設立、業界諸會社を合併して今日の大を成す【功賞】綠綬褒章及紺綬褒下賜フランス勳章二種受領【趣味】美術【所稅】五七二四五圓【家族】妻千代子(明一九生)嗣子禎三(明四二生プリンストン大學卒)外數子【住所】澁谷區羽澤町一〇二【電話】青山九〇一

柴山源次郎

【現職】日本熱處理株式會社々長【出生】明治二〇年二月一〇日鹿兒島縣出水郡三笠村【續柄】源左衞門三男【學歷】中央大學經濟科卒業【經歷事業】日產火災保險會社に勤め昭和一四年三月退社の上現日本熱處理株式會社々長となる【趣味】碁【宗教】眞宗【所稅】四〇〇圓【家族】妻むめ(明三八生)長男豐昭和五生小學生)【住所】東京市蒲田區羽塚町四一五【電話】川崎二〇七〇

柴田甚太郎

【現職】京濱パイプ工業所主、株式會社京濱伸鐵所常務取締役【出生】明治四一年三月一〇日福岡縣福岡市千代町【續柄】故常吉長男【學歷】大阪府立西之田職工學校卒業【經歷事業】學校卒業後上京廿六歲の折獨立工場主たるも休業の上現在の營業を經營せるに至る【趣味】運動【宗教】天理教【所稅】二〇〇〇圓【營稅】八〇〇〇圓【家

族】妻靜江(十九歳)長女道代(九歳小學生)長男誠一(七歳)次男常義(三歳)【住所】蒲田區仲蒲田二丁目一〇【電話】蒲田四八四六・四四三九・五二四二(事務所)芝區新橋昭生ビル内【電話】銀座二四〇五

新保久吉

【現職】新保製作所(東京市蒲田區糀谷町二ノ六〇六)所長として技術報國、親和の經營振りは注目され主として軍部納入の工作機械製作に專念してゐる猶新潟鐵工と連關あるは注目に値する【出生】明治二七年二月一五日【續柄】平民【經歷事業】明治四十年(大正十二年)迄新潟鐵工所勤務し忠實と技術の優秀さを認められる大正十三年大森區新井宿に新保製作所創立昭和九年十二月業務擴張のため蒲田區糀谷町に移轉し旋盤、ミーリング、倣フライス盤、セーパー、ボーリングマシン、グラインダー、ブレーナーの製作に從事し糀谷一帶の工場地區建設の嚆矢をなす【趣味】盆栽草花、弓道、相撲【宗教】日蓮宗【所稅】一八二七〇圓【營稅】三九〇〇圓【家族】次女春江(二十二歳大輪海軍造兵中尉に嫁す)三女琴子(十九歳)長男秀男(十七歳)四女ふじ子(十五歳)次男久雄(十三歳)五女さち子(十歳)【住所】東京市蒲田區糀谷町二ノ六〇六【電話】羽田七二

新藤英松

【現職】全國萬年筆製造業組合聯合會長、東京萬年筆製造同業組合長、東京工場協會瀧野川支部副支部長、パンリー萬年筆製造及インク製造業造所主、萬年筆製造元、日本萬年筆製造元、日本萬年筆製造及インク製造業瀧野川支部副支部長、パンリー萬年筆製造及インク製造業【出生】明一四・八【續柄】群馬縣樋太郎長男【學歷】明三五群馬縣師範卒【經歷事業】爾來同校附屬小學校訓導及同縣下小學校長を奉職十餘年後イリヂユーム電氣熔接法を發明し大正三年現業を開始すパンリー萬年筆本舗たり尚曩に瀧野川町會議員、同學務委員、荒玉水道組合會議員たり【趣味】讀書【所稅】一二一圓【營稅】八四圓【家族】妻キヨシ(明二一生埼玉縣玉谷延造二女埼玉高女卒)長男榮一(東大理學部化學科卒家業從事)外一男二女【住所】東京市瀧野川區中里町二七〇圓【家族】妻貞子(明三六年生東京府岩堀小太郎女三輪田高女卒)長女萬里子(昭三生)【住所】東京市杉並區馬橋三ノ三八〇【電話】中野五一九二

新開廣作

【現職】東京芝浦電氣、芝浦マツダ工業各(株)取締役【出生】明二〇・九【續柄】香川縣秀胤八平二男【學歷】明四四東京物理學校卒【經歷事業】卒業後東京電氣に入社累進研究所長を經て昭和十四年五月東京芝浦電氣取締役に就任す【趣味】盆栽【所稅】四二〇一圓【家族】妻貞子(大二生)【住所】東京市大森區久ヶ原町八二三【電話】池上二五三

椎名芳胤

【現職】日本鑛業(株)常務取締役、日本產業汽船、日南鐵鑛各(株)取締役【出生】明二二・九【續柄】香川縣秀胤長男大元相續【學歷】明三〇大阪高商卒【經歷事業】卒業後同潤業並水產業自營明治四十年大阪瓦斯入社累進財務部長に就任大正五年久原鑛業に轉

椎野與七

【現職】東北振興纖維(株)社長、東北振興皮革(株)取締役會長、東北興業(株)理事、東北振興化學、東北振興パルプ各(株)取締役、東北振興アルミニウム(株)常務監査役【出生】明二一・六神奈川縣足柄下郡前羽村【續柄】東京府文次郎五男分家通稱圭一郎【學歷】大四東京高商專攻部卒【經歷事業】直に三井物產に入り倫敦支店詰本店業務課勤務等に歷任し昭和十一年東北興業會社創立と共に三井物產推薦により理事兼經理部長に就任す現時尚上揭諸重役を兼ぬ【趣味】庭球其他野外スポーツ【宗教】眞言宗特に觀音菩薩【所稅】一五二〇圓【家族】妻貞子(明三六年生東京府岩堀小太郎女三輪田高女卒)長女萬里子(昭三生)【住所】東京市杉並區馬橋三ノ三八〇【電話】中野五一九二

じ在鮮鑛山各出張所長歷勤後日本鑛業營業部長となり昭和九年五月現職に就く【趣味】運動、俳句【宗教】眞宗【所稅】二一八六三圓【家族】母クマ(萬延元生)妻鶴枝(明一六生香川縣手塚文雄妹香川縣立高女卒)養子六郎(明三〇生實弟大谷大學宗教哲學科卒明善高女教諭)同妻靜江(明三五生香川縣士族小比賀輝政三女高松高女卒)及其一男【住所】東京市品川區大井出石町五〇六五【電話】長高輪一五二一

澁谷辰三郎

【現職】日本水產(株)取締役兼捕鯨部長【出生】明一三・九長崎縣守弋四男【續柄】紀平合資會社、東洋捕鯨取締役兼支配人、日本捕鯨常務取締役、共同漁業取締役を經て昭和十二年四月現職に就任す【趣味】野外運動【宗教】禪宗【所稅】五八九四圓【家族】妻タミ子(明二一生長崎縣荒木喜又長女)長男歳久(明四三生慶大理財科卒日本油脂勤)外四男三女【住所】東京市澁谷區千駄ヶ谷五ノ八六七【電話】四谷二〇三四

澁澤敬三

【位階勳等】從四位子爵【現職】澁澤同族(株)社長、東京貯蓄銀行(株)會長【出生】明二九・八【續柄】篤二長男【學歷】大一〇東大經濟學部卒【經歷事業】橫濱正金銀行入社大正十四年第一銀行に入社取締役兼調査課長を經て現職に就く【趣味】庭球、乘馬、登山、水泳【宗教】天臺宗【所稅】一〇九三二八圓【家族】妻登喜子(明三五生)長男雅英(大一四生)外【住所】東京市芝區三田綱町一〇【電話】三田二九七

篠田淳三

【位階勳等】從五位【現職】常務取締役【出生】明二二・二愛知縣【學歷】大三東京帝大醫科大學藥學部卒【經歷】直ちに伊藤製藥部に勤務大正十二年英米獨各國に留學し同十四年德島高等工業教授に任じ退官後昭和十年五月常務に就任す尚昭和二年學位を受け又研究業績フラバノンの新合成法及福木色素の研究、フラボン色素の研究其他多數あり【功賞】昭和四年日本藥學會學術奬勵賞贈與【趣味】讀書、弓術【所稅】八三〇圓【家族】妻志津子(明二九生京都府牧克溫妹同府立第一高女卒)長男耕三(大一五生)外一女【住所】東京市小石川區原町一〇【電話】四谷二〇三四

正田貞一郎

【現職】東京機械製作所芝鑛業各(株)社長【出生】明六・二宇和島【續柄】義方長男【學歷】明二四東京高商卒【經歷事業】夙に祖業醬油釀造業に從ひ「龜甲正」の販路を擴大する傍ら明治三十三年日清製粉の前身館林製粉を創立同社今日の盛大を致さしむ其他諸事業に關係す【趣味】讀書、旅行【宗教】日蓮宗【所稅】二五七七三圓【家族】妻きめ(明一三生群馬縣正田文右衞門姉)二男建次郎(明三五生理學博士大阪帝大教授)其三子及數子【住所】東京市小日向臺町一ノ二二【電話】大塚(86)六三三〇

芝義太郎

【現職】東京機械製作所芝鑛業各(株)社長【出生】明六・二宇和島【續柄】義方長男【功賞】大正九年三月紺綬褒章下賜【趣味】旅行【宗教】禪宗【所稅】一五六三圓【家族】妻ムメ子(明一二生)長男轍一郎(明三二生)同妻文子(明三八生)外二男及孫【住所】東京市目黑區上目黑三ノ一七〇二【電話】澁谷一七九〇

下村貞成

【現職】旭航空工業株式會社常務取締役、北越石油株式會社取締役【出生】明治二一・七【學歷】明治四三山口商工卒【經歷事業】神戸瓦斯會社勤務、東京瓦斯副產會社會計主任に歷任し

後諸事業に關係目下上揭諸重役たり【趣味】劍道、【宗教】眞宗【家族】妻外二男一女【住所】東京市大森區北千束町六三八【電話】荏原五六〇〇

志賀常三

【現職】京濱機械製作所(株)專務取締役【出生】明一九・五京都府綾部町【學歷】早大機械科卒【經歷事業】卒業後東京計器製作所に入り累進小名木川工場長、設計部長歷任、大正十年獨立藤倉工業の下請たりしが昭和五年現所を創立す創業以來血壓計、顯微鏡を製作工場敷地二百餘坪、從業員百數十名陸海軍病院、各大學病院、外多方面に好評嘖々裏に改組す【趣味】旅行、圍碁【宗教】佛教【家族】妻せん子、長男弘一(早大政經科在)外三女【住所】東京市大森區大森町七ノ二三一【電話】大森三八六九

神保達

【現職】神保電器製作所(株)社長、大正電機製作所(株)取締役、電氣配線器具製作業【出生】明一八・一二【續柄】香川縣脇屋治太郎三男同縣速次郎養子【學歷】明三九築地工手學校電氣科卒【經歷事業】卒業後遞信省小坂鑛山、南海鐵道、日本電燈歷勤大正八年獨力神保電器製作所を創立し爾來發展昭和三年改組社長に就任今日に至る最近の業態躍進を續く【宗教】日蓮宗【所

稅五八〇〇圓【家族】妻幸枝(明二六生香川縣笠井清吉女)嗣子誠(大二一生東京工大卒)外一女【住所】東京市大森區北千束町五九二【電話】荏原二〇九二

淨園寺信一

【現職】三和伸鐵工業所(株)代表取締役、第一化學工業(株)取締役【出生】明三〇・一【續柄】北海道長八郎二男大八相續【學歷】旭川中學卒【經歷事業】東京起業貯蓄銀行旭川支店長日本生命保險會社東京支社城東出張所監督書記、第一化學工業會社取締役等を經て昭和九年宇津木伸鐵工業會社を起し常務取締役に就任す【宗教】日蓮宗に改稱代表取締役に就任次で現社名【家族】妻澄子(明三三生北海道中幾介長女旭川北都高女卒)長男一郎(大一三生)外三男三女【住所】東京市中野區宮園通二ノ二二【電話】中野六〇〇八

荘田平象

【現職】東洋電機製造(株)取締役【出生】明一六・四東京市神田區【續柄】平五郎二男大一〇分家【學歷】東京高工機械科卒【經歷事業】南京高工機械科卒業南造船所に入り大正九年同所電氣部の分離獨立し三菱電機設立するや轉じて工作課長就任翌年本店營業課長となる昭和九年現社に入り今日に及ぶ最に歐米に出張す電氣學會、電氣協會、電

氣俱樂部各會員たり【趣味】旅行、寫眞【所稅】九九九圓【家族】妻宮(明三五生東京府土屋保三女三輪田高女卒)長男修平(大五生早大卒)【住所】東京市小石川區林町五七【電話】大塚〇四二一

篠原義治

【現職】篠原機械製作所(株)社長、昭和工作機械製作所主【續柄】東京府初之助三男【經歷事業】機械工具商を志して東京に出で野中工具店に勤務大正十一年獨立【宗教】佛教【所稅】八七七八圓【家族】妻きわ(明三一生東京府島村彦太郎二女)男卓(大九生)外數子【住所】東京市本所區石原町四ノ二〇【電話】墨田五七二五

すゞの部

鈴木武夫

【現職】波立精工機製作所々主【出生】福島縣双葉町【續柄】平民【經歷事業】大正二年より基本工作機械の出版物出版昭和十一年より豐島區に工場設立工作機械製作【家族】妻一人【住所】東京市淀橋區諏訪町二番地

鈴木錠藏

【位階勳等】勳四等【現職】東硫化學工業(株)監査役【出生】明二一・二茨城縣眞壁郡下館町【續柄】繼長男明一七相續【學歷】明二六東京高商卒【經歷事業】直に朝鮮國內閣雇を拜命次て共同火災名古屋支店長、橫濱生命保險支配人、大同鑛理事長、硫酸販賣關東機械ナット、東京リベット製造、東京煉陶各取締役、東京硫酸常務取締役等に歷任又日本海員掖濟會理事兼橫濱支部長臨時宇品出張所長、科學智識普及會理事等に就任大正六年以降衆議院に當選二回に及ぶ【宗教】淨土宗【所稅】五〇二圓【家族】妻まつ子(明七生茨城縣士族永井德太郎二女)長男崧(明三一生慶大法科卒佛國法學博士帝國酸素勤務)外二男二女【住所】東京市淀橋區百人町二ノ一七八【電話】四谷二三八

【現職】鈴木重一商店專務取締役、美登里

鈴木重一

ヤルゲーヂ各發賣元【出生】明治四十三年三月佐世保市矢竹町に生る【學歷】昭和三年東京市立商業卒【經歷事業】芝區濱松町海老澤商店退店と共に京橋區木挽町一丁目に於て現業を開始す同十一年二月合資會社に改組す同十二年一月品川區大井水神町田野井製作所陸軍部主任を兼ね同十三年三月現組織に改組現職に就き同年十月蒲田區美登里工具製作所の監査役を兼ね都下機械工具界有數の人材たり【住所】東京市大森區市野倉町二八五番地【電話】池上五一〇・東京市京橋區木挽町三ノ二【電話】京橋(56)八三二四・九三二三

鈴木吉圀

【現職】日本建築紙工株式會社取締役社長、瀝青化學工業株式會社取締役【出生】明治二櫻ゴム株式會社取締役【出生】明治二十五年十一月六日生【續柄】宮城縣鈴木仲五郎次男【學歷】大正七年慶應義

鈴木要太郎

塾法科卒業【經歷事業】宮城縣鈴木仲五郎の二男明治二十五年十一月六日同縣三本木町に生る大正七年慶應大學法科卒業南昌洋行奉天支店長、山一商店支店長を經て同十三年日本建築紙工株式會社主事に轉ず會社は資本金五百萬圓にして創立以來一度も配當したる事なく株價僅かに金五錢なりし事もあり頽廢の極に在りしが異常の努力に依り入社四年目より六分の配當を開始するに至る認められて昭和二年常務、專務を經て昭和十二年現職に就く【趣味】劍道、謠曲、ゴルフ【宗教】曹洞宗【家族】妻いなよ(明治三四年生)長男榮一(大正二生)次男茂男(大一三生)三男育男(昭四生)長女和子(昭二生)次女恒子(昭一一生)【住所】東京市杉並區阿佐ヶ谷五丁目四十八番地【電話】荻窪二三四五

【現職】羽田調帶株式會社取締役營業部長、櫻金屬工業株式會社重役【經歷事業】羽田調帶株式會社の事業に身魂を打込み

同社の今日あるの基礎を成す【趣味】讀書【住所】東京市向島區向島須崎町【電話】墨田一六六〇

鈴木賢藏

【現職】特殊鋼協議會特約店【經歷事業】東鄕ハガネの河合鋼店に二十有餘年勤續勤務昭和十四年獨立前記の場所に營業所を置き特殊鋼販賣【住所】東京市芝區新橋五丁目一【電話】芝四六六三

鈴木圓治

【現職】鈴木圓治商店主、グリセリン製造業【出生】明二〇、一二岐阜縣【續柄】小島友吉次男【經歷事業】グリセリン製造業に從ひ指據經營今日の大をなす【趣味】謠曲【宗教】カトリック教【家族】妻三津(明二九生)長男勝太郎他四男一女【住所】目黒區戸町三六

鈴木正之助

【現職】各種工作機械、各種機械工具販賣鈴木商店主【出生】明三四・二【經營事業】大正十四年創業【趣味】旅行【家族】妻一男二女二【住所】川口市榮町三ノ四五【電話】川口二九七六

鈴木康雄

【現職】鈴木製作所主【出生】明治三三年五月二四日【經歷事業】昭和七年二月向島區寺島町一丁目二二三にプレナー專門製作として鈴木製作所を創設獨力にして全ゆる困難と闘ひ歩一歩地盤を築き漸時隆盛を極む後支那事變と共に業績は急速に上昇し昭和十二年三月寺島町一丁目二三一番地に七〇〇坪の工場を新築移轉す現在は第一種工作機械組合員として隆々たる躍進を續けつゝあり【趣味】讀書、研究【所得】一六〇〇〇圓【家族】五人【住所】東京市向島區寺島町一ノ二三二【電話】墨田(74)四三〇四

鈴木春之助

【現職】機械商、株式會社鈴木春之助商店社長【出生】明治三十八年【經歷事業】昭和六年機械商を志し麻布區新堀町七番地に店舗を經營す氏の敏腕は忽ち同機械街の雄となり昭和十三年八月二百坪に亘る大店舗を新築移轉し株式會社に改組社長に就任す【家族】五人【住所】麻布區新堀町十一【電話】(45)四五六一・四五〇七

鈴木八宇

【現職】鈴木發動機製作所主【出生】明治三一年一〇月二五日【經歷事業】昭和八年鑄物業兼發動機製作を開始す昭和十年より工作機械製造をなし現在はプレナーを專門製作す鑄物も自家鑄造なれば製品は精巧品との譽が高い尙ほ川口榮町一丁目會長として町政の爲め且つ銃後奉仕に寸暇を惜まず粉骨碎身して居る【趣味】研究【家族】八人【住所】川口市榮町一丁目四〇

鈴木幸平

【現職】鈴木光學レンズ製作所所長【出生】明治三十四年八月九日靜岡縣濱名郡新所村岡崎に生る【續柄】彌平三男【學歷】小學卒業【經歷事業】十九歳にして上京神田區美土代町伊藤ガラス店に入店二十一歳にして獨立京橋區銀座に店舗を持ち使用人十數人を雇入硝子及光學レンズの製作販賣を爲す關東大震災に出合閉鎖後神田區仲町に光學レンズ製作工場設置逐年の擴張神田區松住町十二、同十番地に機械工場增設本鄕區湯島二ノ一にレンズ工場を擴張陸海軍納入に努力十三年五月板橋區志村に土地三千三百餘坪の工場新設目下製作に努力しつゝあり【趣味】旅行【宗教】佛教【所税】二八七二六【營税】一二六〇〇【家族】妻、一女、五男【住所】東京市神田區松住町十二番地(自宅及營業所工場)板橋區志村志村町四二四【電話】赤羽三二〇九【電話】下谷(83)七三六・二六一六・五五一五【公職】警報團組長【現職】鈴木工作所【出生】東京市小石川區大塚坂下町【續柄】明治三十七年生東京府平民【經歷事業】昭和五年創業(現在に至る)鐵筋混凝土煙突、各種鐵筋混凝土、ボイラー煉瓦積工事設計、製圖營業【趣味】つりと玉突【家族】妻、長男榮助、長女みち子、二男弘【住所】豐島區西巢鴨町二ノ二七六五【電話】大塚(86)一九九四

鈴木吉嶋

鈴木由郎

【現職】鈴木由郎(株)商店社長、昭和寫眞工業中屋三由印刷所【出生】明一四・一〇靜岡縣中泉町【續柄】松藏四男先代銀十養子【經歷事業】金原銀行に勤務【所税】二二、八三〇【家族】妻せつ子明一五生山本平三郎養子)長男啓介(大五生)外【住所】東京市澁谷區千駄ヶ谷三ノ四九六【電話】青山二〇二七

鈴木正兼

【現職】味の素商店、東信電氣、昭和工業、犀川電力、昭和酒造各(株)社長【出生】明八・二【續柄】神奈川縣故先代三郎助弟【學歷】橫濱商業學校卒【經歷事業】亡兄三郎助を扶けて沃度製造を創め調味料味の素製造事業を共同經營今日の隆盛を致さしむ商工業視察のため歐米に出張昭和二年外務省囑託となる本邦食料工業界の代表的人材【趣味】謠曲・書道【宗教】淨土宗【所税】二四七〇〇〇圓【家族】妻マス子(明一一生)長男三千代(明三四生)同妻靜子(明三七生)其一男二女外數子【住所】東京市麹町區三番町九ノ二【電話】九段〇〇一一

鈴木忠治

【現職】機械工具商、小室工業株式會社關東總代理店(麻及革代用品、强加綿織物、防水「ジヤコール」加工製品、船來ミシン、船來ドリールギヤホップ、船來クロメーター【出生】明治二十五年生【續柄】戸主【學歷】鄕里商業學校卒業【經歷事業】靜岡縣榛原郡川崎町靜坡に生れ實業界に投じ昭和十年まで啓正式特許品製作所を兄と共に經營ポンプ類其他の優秀製作品を主として鐵道省、海軍省に納入組立式飛行機格納庫製作、納入など有名後獨立して現在に至る【趣味】競馬【家族】三人【住所】(營業所)東京市京橋區木挽町一ノ一(自宅)杉並區西田町一ノ四七一【電話】京橋(56)九五〇四【現職】大日本特許肥料(株)專務取締役【出生】明一一・二栃木縣下都賀郡岩舟村【續柄】藤吉長男【學歷】栃木縣立農學校卒【經歷】卒業後更に西ヶ原に於て肥培科學を專攻後國立農事試驗場に勤續十七年理想的肥料製造法を發明し十有餘種の專賣特許權を獲得す大正八年七月大日本特許肥料株式會社を創立爾後これが經營に傾倒す「肥料反應論」「窒素最少養素說」「窒氣窒素利用法」「肥料配合法」「機水論叢」外五十種の著書あり又雜誌「園藝の友」「肥料研究界」等を創刊す【功賞】昭和十年發明協會より優等賞を受く【趣味】角力、讀書【宗教】眞言宗【所税】四七八五圓【家族】妻セン子(明一一生)長男良德(明三五生九大卒)外二男【住所】東京市小石川區原町一〇【電話】大塚六四七九

鈴木吉代千

鈴木長太郎

【現職】日本ハマライト(株)常務取締役【出生】明二〇・一二米澤市【續柄】山形縣加藤印兵衞三男吉太郎養子【經歷】夙に橫濱市に於て生絲貿易に從事し大正七年日本絹撚會社專務に就任傍ら橫濱取引所員たりしが後ベークライト製造に成功昭和五年獨力橫濱人造樹脂工業所を創立同十一年現社を設立其業務一切を繼承し常務とし

て今日に及ぶ【趣味】寫眞【宗教】曹洞宗【所税】二三九圓【家族】妻ゆう(明三〇生伊藤久彌女米澤高女卒)外二女【住所】横濱市港區篠原町二二八【電話】神奈川九六〇

鈴木三郎助

【現職】鈴木三榮、吉野屋商店、有機酸工業寶製藥、寶製油、天津興業、カルピス製造各(株)社長、味の素本舗(株)鈴木商店專務取締役、東京寶塚劇場、臺灣合同鳳梨、昭和酒造、東邦金屬製鍊、東洋製罐各(株)取締役、東信電氣(株)監査役【出生】明二三・六神奈川縣葉山町【續柄】先代三郎助長男昭六相續前名三郎先考は「味の素」創製者にして鈴木商店今日の基礎を築ける人傍ら實業界に雄飛又化學工業功勞により綠綬褒章を下賜され勳四等瑞寶章を賜ふ【學歷】京華中學卒【經歷】夙に先考と相携へて味の素本舗鈴木商店の經營に當り大正六年渡米紐育に出張所を開設歸朝後同店取締役に就任同九年大阪支店長となり昭和二年常務取締役に就任先代歿後更に專務に進む現時尚上揭重役を兼ね【功賞】昭和十三年三月紺綬褒章下賜【趣味】ゴルフ演藝【所税】三九三八三八圓【家族】母テル子(明元生神奈川縣辻井繁七二女)妻公子(明三〇生石川縣麻生雄之輔長女)長男重明(大一一生學習院在)外二女【住所】東京市芝區高輪南町五九【電話】高輪三〇〇

鈴木誠一

【現職】日清紡績(株)取締役兼工場長、川越紡績(株)專務取締役【出生】明二〇茨城縣久慈郡世矢村【續柄】祐之介長男【學歷】明四二東京高工紡織科卒【經歷事業】後東京紡績深川工場に入り在勤七年次で大日本紡績飾磨工場本社工場に歷勤此間約六年後再び東京紡績に入り西新井工場勤務日清紡に合併後其工場長、京都工場長、岡崎工場長を經て昭和十年現職に就く【宗教】眞宗【所税】二六九九圓【家族】妻はる(明二四生茨城縣津田長城女水戸高女卒)長男繕一(大六生東北大醫科在)外一男五女【住所】東京市中野區高根町一【電話】中野五一四八

鈴木隆晴

【現職】帝國電氣(株)社長、東西電球(株)取締役兼調査部長、大東電氣械製作所、日本ラヂオ電話各(株)社長荏原洗足郵便局長、東京都市遞信局管內西部郵便局長會長、同管內局長協會理事長【出生】明一九・三梨郡日下部町【續柄】尊次郎二男明四三分家東京府在籍【經歷】東京電燈會社技手甲府電力會社技師等を經て大正八年關東電氣專務に就任し同十三年に至る日本電球工業組合聯合會理事、荏原山梨縣人會名譽會長其他二十八の公共事業に關係す【家族】妻きん子(明一九生甲府市山田忠藏妹九段和洋裁縫女卒)嗣子隆文(明四四生早大商學部卒東京電燈勤務)外一男一女(住所)東京市荏原區小山町五〇一【電話】荏原三六四一・六七六五

鈴木哲正

【現職】啓正式特許品製作所主、鎔接鐵骨ハウス製作業【出生】明一八・三靜岡縣川崎町【續柄】對正長男【學歷】鄉里中學校卒【經歷】夙に上京東武鐵道會社に奉職す其間カーバイト使用の列車內照明裝置を發明鐵道省に採用さる爾來專賣特許啓正式照明燈撒水ポンフ、啓正式除風吸揚器、鐵管足場組立金具等特許品四十數點を發明し大正八年現地に啓正式特許品製作所を設立す目下海軍主計少佐和田節三氏を東京工場長とし氏は大連工場を中心に活躍中なり【事業】昭和四年以降大連市に敷地七千五百坪の工場を設置し白露人技師十數名を招聘建築、鐵骨、鐵桁、機械、電氣器具等の研究に從ひ最近鎔接鐵骨クロバーハウス外二百三十餘件の特許を獲得北中支第一線部隊及滿鐵滿洲國內軍部方面に兵舍格納庫倉庫等の建築材料として廣く採用さる尙囊に耐火材料啓正式ガラモリート(乾式天井壁用材)を發明防寒防暑用建築資材として軍需用に納入せり尙大連工場に於て滿人公學堂出身者を選定鎔接工の養成に當れり【功賞】昭和六年乃至九年事變木杯一組及從軍記章【趣味】發明【宗教】日蓮宗【所税】一九四六〇圓【營税】二一七七圓【家族】妻みか(明二三生東京府島根伊之助二女裁縫女學校卒)長男義久(大一二生)及一男一女【住所】神奈川縣大磯町簾田七八四【電話】大磯一六六(本社及工場)東京市本所區吾妻橋三ノ七【電話】墨田〇一六九・一八二六(大連工場)大連市日吉町二【電話】伏見一九五〇・三三五四

鈴木平正

【現職】中屋三間印刷、正久双物製造正久双物販賣各(株)代表取締役、山本インキ(株)監査役【出生】明九・三靜岡縣中泉町【續柄】松藏長男【經歷事業】十五歲上京金原明善翁經營の中屋商店に入り十九歲支配人となり四十一歲其一切を譲り受け大正八年株式會社中屋印刷所と改組昭和六年十二月三間印刷を合併中屋三間印刷株式會社と改稱す東京印刷組合副組長東京印刷工業組合理事長等たり又曩に東京工場聯合會委員長に擧げらる【家族】母せん(安政二生)長男茂(明三二生慶大理財科卒中屋三間印刷專務取締役)同長男肇(昭二生)外數子二男實は今次日支事變に出征昭和十二年十月十四日上海近郊小宅に於て戰死す【住所】東京市芝區高輪北町四八【電話】高輪八二八

鈴木英次

【現職】東京ベタル製作所(株)代表取締役、大崎プレス工業所主、電球口金製造並自轉車ベタル製造業【出生】明二七・四千葉縣夷隅郡【續柄】麻生金藏三男分家【學歷】慶應義塾商工學校卒【經歷事業】直に帝國聯合電球會社に入り在勤數年大正六年現業を創始し同十五年現地に移轉昭和十年六月從來の自轉車ベタル製作事業を分離前揭會社を創立す【事業】電球口金製造、大崎プレスは市內各電球會社に納入し男女工六十名以上年商三十萬圓內外に達す【趣味】旅行【宗教】日蓮宗【所税】一四〇七圓【營税】二三〇圓【家族】妻はつ(東京府大類宇一郎長女渡邊裁縫女學卒)長女敏子(大一四生)外二女【住所】東京市世田谷區野澤町二ノ二〇一【電話】世田谷二四六五(工場)品川區大崎本町二ノ四〇八【電話】大崎一九二(2)

鈴木一來

【現職】小倉石油(株)取締役【出生】明一五・一福井縣勝山町【續柄】質明長男大四相續【學歷】明三九東大政治科卒【經歷】卒業後新潟銀行勸銀東洋拓殖を經て勸銀に復歸し累進重役席業務課長たりしが昭和十一年六月現職に就く曩に日蘇石油監査役たり【趣味】南畫【宗教】佛教【家族】母となか(安政四生福井縣宇野第太郎長女)妻とみ子(明二五生東京府酒井良明四女麵町高女卒)嗣子昭德(大一〇生麻布中在)外三女【住所】東京市目黒區下目黒四ノ八八〇【電話】大崎一九一四

鈴木元

【現職】古河電氣工業(株)常務取締役査業部長、滿洲電線(株)社長、昭和電線電纜(株)取締役【出生】明一七・一二【續柄】東京府一政長男大一四相續【學歷】明三九東京高商卒【經歷事業】卒業後古河合名に入社古河商事東京支店副長、大阪支店長、古河電氣工業會社營業部長、臨時販賣部長等に歷任後現職に就く古河王國中心人物の一人たり【趣味】俳句(號具國)【宗教】淨土宗【所税】一〇一九八圓【家族】妻富美(明

二五生 長野縣 奧澤喜十郎 長女 松本高女卒)弟貞(明三八生早大卒)同妻絢子(明四二生岐阜縣春日井佐吾一三女大阪夕陽丘高女卒)及其一子【住所】東京市淀橋區東大久保二ノ一七【電話】四谷四八九六

鈴木六郎

【現業】味の素本舖鈴木商店(株)取締役兼川崎工場長、昭和工業、鈴木三榮月島機械各(株)取締役【出生】明二三三【續柄】福岡縣桑野庫三六男味の素本舖社長故三郎助養子大八分家【學歷】明四四東大化學科卒【經歷】卒業後合資會社鈴木商店に入り大正六年現職に就く【趣味】謠曲繪畫、觀賞【宗教】淨土宗【所稅】五八三九圓【家族】妻トミ(明二五生養父二女東京女學館卒)長男鎭郎(大五生京大在)外一男三女【住所】東京市芝區高輪南町四五【電話】高輪一四二五

鈴木武治

【現職】旭航空部品(株)常務取締役、芝浦自動車工業(株)取締役【出生】明二九・四山形縣鶴岡市【續柄】庄兵衞三男【學歷】大一〇東大英法科卒【經歷事業】卒業後住友銀行本店に勤務し後同行よりハーバート大學に學ぶ歸朝後住友信託會社に轉じ昭和七年退社す「米國の個人信託實務」「米國に於ける社債の發行」「莊子のドル箱」の著あり【趣味】文藝、園藝、乘馬【宗教】禪宗

杉本重藏

工作機製造株式會社、株式會社恒川製作所、日本ラス工業株式會社監査役【出生】明治二十八年二月二十二日【經歷事業】自明治四十五年至大正七年三井物產株式會社大阪支店機械部勤務、自大正七年至大正九年株式會社日本製鋼所、自大正九年至昭和三年日本メタルラス製造所、株式會社瑞穗商會經營、昭和三年十一月大江工業商會、大江製作所自營昭和十一年三月二者同併改組大江工業株式會社となし代表取締役として經營現在に至る【趣味】狩獵謠曲【宗教】曹洞宗【所稅】四二〇〇【家族】妻ツネ、長男寬、次男利彥【住所】東京市品川區大井北濱川一〇四二・東京市芝區芝浦二ノ三【電話】二〇九六

杉政人

【位階勳等】從三位勳一等功四級海軍中將【現職】日本製鋼所社長【出生】明一三年八月【學歷】明三五海軍機關學校卒【經歷事業】明治三十六年海軍機關少尉任官昭和四年海軍中將に累進其間橫須賀鎭守府造機部長、艦政本部技術會議々員、同第五、第四各部長、鎭守府工廠長、艦政本部長兼將官會議々員、軍令部出仕等を歷任し昭和十年三月豫備役被仰付同十二年現社長に就任す【趣味】讀書・ゴルフ等【所稅】四〇六六圓【家族】妻敏子(明二五生東京府木村哲二妹山陽高女卒)【住所】東京市赤坂區青山南町五ノ三七【電話】青山二二六〇

杉浦啓二

【現職】日本マクロストツプ製作所長【出生】明治三十一年四月三日【學歷】早大理工科卒米國ミシガン大學卒【經歷事業】夙に研究心に富みマイクロストツプの完成に沒頭後米國へ遊學更に研鑽を積み此處に完成を見るに至り現在の日本マイクロストツプ製作所を創設するに至り其の間二・三の會社に關係し居れり【趣味】讀書、カメラ【宗教】眞宗【家族】妻、二男一女【住所】日本橋區本町二ノ三【電話】日本橋(24)二六三七・二六三九

杉浦儉一

【位階勳等】從四位勳三等【現職】東洋葉煙草(株)社長、復興建築助成、加藤製作所各(株)取締役、極東煉乳(株)監査役【出生】明一〇・一一【續柄】東京府讓三長男昭五相續【學歷】明三四東大法科卒【經歷】大藏省試補事官、專賣局參事、大藏省參事官、專賣局經理課長、同事業部長歷任後勸銀理事となり昭和九年辭任同十二年勸銀參與理事に任命翌年八月東洋葉煙草社長に就任す曩に滿鐵理事たり曾て歐米に出張す【趣味】釣魚、謠曲、書道、短歌【宗教】佛教【所稅】六三九圓【家族】妻とし(明一九生靜岡縣堀江榮三郎長女女子學習院卒)長男俊介(明四二生)外【住所】東京市荏原區中延町一〇八五【電話】荏原三四一七

杉山魯九郎

【現職】杉山(資)代表社員、山六商店主、綿布問屋業【出生】明五・一〇愛知縣大野町【續柄】武兵衞三男明三一分家廢米穀商たり【經歷】夙に上京深川市場なる細川久助商店蠟燭町澤商店歷勤後明治四十年獨力米穀商品取引店を開業次で大正五年綿布商を開業「山六」の商號を以て知られ今日に至る【宗教】佛教【住所】東京市日本橋區濱町三ノ四一【電話】茅場町三九六〇

杉山金太郎

【現職】全國製油聯合會長、豐年製油(株)社長【出生】明八・九和歌山縣海草郡川永村【續柄】元右衞門長男大二相續【學歷】明二七大阪高商卒【經歷】直に米國貿易會社に入り勤續十數年後中外貿易會社專務取締役を經て大正十三年四月現職に就任せり曩に合名會社葛城商會代表社員たり【所稅】二四四〇【家族】妻チヨ子(明一五生神奈川縣市川元八長女)長男元太郎(大七生慶大經濟學部在)【住所】東京市麻布區笄町一七七【電話】赤坂一四一〇

杉林健治郎

【現職】杉林黑鉛滿俺、高陵商事各(株)社長、杉林金屬精煉所(資)代表社員、杉林化學研究所長【出生】明二三・九【續柄】東京府與八郎長男【學歷】高岡中學卒經歷夙に叔父庄七經營の黑鉛滿俺精煉事業に從ひ大正十一年繼承昭和五年三月從來の資本金を二十五萬圓となし別に杉林化學研究所を設く昭和十二年八月東京電氣の資本を入れ杉林黑鉛滿俺を資本金五十萬圓の株式に改組す更に大正十一年資本金五萬圓を以つて合資會社杉林金屬精煉所を創立す【趣味】美術工藝、謠曲【所稅】九三七圓【家族】妻梅子(明二八生橋本初太郎三女)長男泰行(大一一生正則中在)外數子【住所】東京市品川區大井伊藤町五九二九【電話】大森二六一七

須郷武治

【現職】株式會社工業商會(東京市京橋區槇町三ノ五)專務取締役【出生】明治三二・一〇・二八【續柄】平民【學歷】大倉高商大正十年卒業【宗教】キリスト教【所稅】三六〇【家族】道也(十歲)女子(七歲)房子(四歲)富士子(一歲)【住所】東京市世田谷區世田谷一ノ一〇八

【現職】須關織物工場主、須關商店々主、中形生地卸商【出生】明二一・一栃木縣下都賀郡三鴨村【續柄】機業家山中仁重二男須關家養子分家【經歷】夙に蠶家の業務に從ひ分家と共に獨立せり【事業】曩に細番手のボイル三本絹五本絽リンネット明石及紅梅織等の高級中形生地の製織に成功昭和三年現所に新築擴張現に蕨の須關織物工場の外附近に專屬工場を有し年商內高十五萬圓を突破す【住所】東京市日本橋區久松町一七【電話】浪花四四七三

須關重平

【現職】守谷商會(株)取締役兼東京支店長、鈴木製作所、片岡精機各(株)取締役【出生】明二四・一二栃木縣犬伏町【續柄】達三二男【學歷】明四五日大商科卒【經歷事業】直ちに鑛山用機械商守谷商會に入り本店勤務同護謨部長、名古屋支店長、東京支店長等に歷任此間現職の儘取締役に選任せられ現時尚上揭重役たり【趣味】ゴルフ、圍碁將棋【宗教】佛教【所稅】一六九〇圓【家族】妻タミ子(明二八生東京市林傳六長女)長男康永(昭四生)外二女【住所】東京市中野區上ノ原町二八【電話】中野三四五一

須藤輝一

【現職】守谷商會(株)取締役兼東京支店長、鈴木製作所、片岡精機各(株)取締役【出生】明二四・一二栃木縣犬伏町【續柄】達三二男【學歷】明四五日大商科卒【經歷事業】直ちに鑛山用機械商守谷商會に入り本店勤務同護謨部長、名古屋支店長、東京支店長等に歷任此間現職の儘取締役に選任せられ現時尚上揭重役たり【趣味】ゴルフ、圍碁將棋【宗教】佛教【所稅】一六九〇圓【家族】妻タミ子(明二八生東京市林傳六長女)長男康永(昭四生)外二女【住所】東京市中野區上ノ原町二八【電話】中野三四五一【位階勳等】正五位男爵【現職】住友本社(一歲)【住所】東京市世田谷區世田谷一ノ一〇八

須藤松太郎

【現職】須藤製作所主【出生】東京市淀橋區戶塚町【續柄】平民【經歷事業】大正十二年獨立し淀橋區戶塚町に精密工具製作昭和十三年三百坪に同工場擴張【家族】妻一人、子供五人【住所】(工場)東京市淀橋區戶塚町二ノ二四一(自宅)同町二二五【電話】牛込二三八九・〇五九五

住友吉左衛門

男大十五相續【學歷】昭八京大文學部國史科卒【經歷事業】曩に歐米に留學現に住友本社社長たる外上揭會社に重役たり【功賞】昭和五年紺綬褒章同飾版を賜ふ【家族】母滿壽(明七生住友友親長女)妻春子(大二生西園寺八郎二女聖心女學校卒)長女邦子(昭一〇生)【住所】麻布區市兵衛町一【電話】赤坂〇四九二

住吉勇三郎

【現職】日本フキラメント工業組合常務理事、日本ビーピー電線(株)社長日本纖條(株)常務取締役、日本冶金新興バルブ工業各(株)取締役、川田電機製作所(株)監査役【出生】明二三・一神奈川縣秦野町【續柄】七五郎三男【經歷事業】夙に大藏省に奉職退官後神戶市鈴木商店大日本セルロイド帝國汽船會社、鈴木商店海產部、日本冶金取締役兼支配人、同常務取締役、日本フキラメント工業組合取締役等に歷任大正十一年九月學位を受く昭和十二年十二月退職直ちに現社に入り專ら技術的指導に任ず尚曩に歐米に留學す【宗教】佛教【家族】父智照(安政三生)妻りつ(明二九生富山縣田邊善一長女)【住所】荏原區中延一〇九五【電話】荏原五五四八

末常共介

【位階勳等】從四位勳三等功五級【現職】在鄉海軍少將、東京石川島造船所(株)取締役兼企畫部長【出生】明一四一萩市【續柄】正一三男昭七分家【學歷】明三六機關學校大六海軍大學校各卒【經歷事業】夙に海軍少機關士に任じ大正十五年海軍少將に累進す其間海軍機關學校教官、佐世保海軍工廠附、海軍艦政本部附、海軍大學校教官、吳海軍工廠造機部長、海軍技術研究部長等に歷補し昭和二年豫備役被仰付直ちに現社に入る尚ほ曩に日露戰役に從軍し又米國に出張す【趣味】謠曲、圍碁、將棋【宗教】眞宗【所稅】三五五〇圓【家族】妻君子(明二三生東京府吉田朋吉四女府立第一高女卒)嗣子泰男(大一三生)外五女【住所】東京市目黑區綠ヶ丘二三一九【電話】荏原三二〇三

砂谷智導

【現職】高砂鐵工株專務取締役、高砂試驗機製作所(株)社長、大矢鐵工所(株)相談役、高砂製作所(株)顧問【出生】明一八・一【續柄】富山縣智照長男【學歷】明四二東大工科大學機械科卒【經歷事業】夙に鐵道院技師に任官次で東北帝大工科專門部教授、同大學助教授兼附屬工學專門部教授、同大學教授に歷任大正十一年九月學位を受く昭和十二年十二月退職直ちに現社に入り專ら技術的指導に任ず尚曩に歐米に留學す【宗教】佛教【家族】父智照(安政三生)妻りつ(明二九生富山縣田邊善一長女)【住所】荏原區中延一〇九五【電話】荏原五五四八

菅原恒覽

【現職】土木業協會長、東京土木建築業組合顧問、鐵道工業(株)取締役會長、土木興業(株)相談役【出生】安政六・七岩手縣一ノ關町【續柄】文之丞二男先代俊藏養子明二九相續【學歷】明一九東大工科土木科卒業【經歷事業】爾來鐵道建築土木請負業を經營し次で甲武鐵道會社建築課長、同技師長、豆相鐵道技師長、川越鐵道監査役等に歷任し此間佐賀振業社囑託となり又外遊鐵道業務を視察す明治四十五年鐵道工業合資會社を創立大正七年株式合資會社に改組昭和八年五月現組織に改む尚曩に鐵道學校帝國鐵道協會を設立す【趣味】園藝、讀書【宗教】眞宗【所稅】七〇〇四圓【家族】妻スミ(明一一生廣島縣谷義郎妹)男恒三(明二五生早大商科卒)同妻富士子(明三〇生東京府日比野信一妹)外二男一女及孫二男【住所】東京市淀橋區柏木町四ノ八五八【電話】四谷〇一二六

菅榮一

【現職】日本洋傘地元卸商業組合、日本纖條會社常務取締役に就任す尚曩に多數會社に關係す【趣味】書畫、骨董【宗教】眞言宗【所稅】九二七圓【家族】妻かね子(明三七生愛知縣鈴木秀吉長女)長男宗三(昭二生)外三女【住所】東京市世田谷區北澤四ノ三二八ノ九【電話】世田谷二六六

隅屋吉二

歷】夙に上京芝區金杉雜貨製造販賣業坂本商店に勤務大正七年獨立本所區松坂町日本橋箱崎町同區矢ノ倉町を經て昭和九年現所に擴張移轉す【事業】目下販路は内地の外ジヤバ、邏羅、印度、中南アメリカ等に及び直營工場、專屬工場を有し店員三十名年商内高百萬圓に上る【宗教】淨土宗【所稅】六九八二圓【營稅】一〇三六圓【家族】六人【住所】東京市日本橋區横山町五ノ四【電話】浪花一〇一・二七三二

水津亨

【公職】陸軍主計少尉【現職】日產自動車販賣株式會社取締役金融部長【出生】明治十七年一月十八日【學歷】東京帝國大學法科大學卒業【經歷事業】明治四十二年七月株式會社三井銀行に入行昭和七年三月同行辭職同九年十二月日本產業株式會社囑託、合同漁業株式會社監査役、同十二年現職に就く【趣味】狩獵、釣【宗教】禪宗【所稅】二〇一二圓【家族】妻しげ(明治二十三年生、土浦高女卒業)長男肇(大正七年生第一高等學校理甲在學中)次女貞子(大十一生日本女子大學校在校中)次男博(大十三年生府立第五中學校在學中)三女秀子(大一五年生市立忍岡高等女學校)【住所】東京市本郷區駒込曙町二〇【電話】大塚一

關義孝

【公職】東京鐵工機械同業組合常理事東京重器製造工業組合理事、全國產業團體聯合會委員、東京府鐵鋼製品工業組合聯合會統制委員長、東京第一化學機器製造工業組合理事、東京第一風力機器工業組合監事、東京鍛壓機器製造工業組合創立委員長、全國鍛壓機器工業組合聯合會創立委員長【現職】株式會社關機械製作所取締役社長【出生】明治四年二月二十四日福井縣武生町に生る【學歷】三田慶應義塾、清國上海テクニンカルカーレーヂ、米國ボストン・インスチチユート・オブ・テクノロヂー【經歷事業】上海コスモポリタンドツク練習生、米國カリフオルニヤ州ユニオン造船所練習生、同ニユージヤジー州、トーマスエヂソン研究所、同ニユーヨーク州スケネクタデー・エヂソンウオークス實驗部、同州オーバン市マッキントッシシーモーア機械製造所設計部、英國バーミンガム在ウエーストブロンウイッチ、テーラー工場實修、獨逸エスセン市クルップ工場實修【功賞】一九三七年巴里萬博覽會より(グランプリー)最高大賞受領【趣味】乘馬、劍道、釣り【宗教】日蓮宗【所稅八三〇圓【住所】東京市小石川區原町拾番地【電話】大塚六六六三

關昇

【現職】芝浦シヤリング(株)代表取締役【出生】明治四十二年生れ【續柄】靜岡縣關廣吉三男【學歷】昭和三年東京華商業卒業【經歷事業】直ちに鐵業界に投じ昭和七年獨立シヤリング業開始業績頓に進展、昭和十二年株式に改組代表取締役に就任現在第一種シヤリングとして業界に飛躍東都斯業界の三指中に數へられ將來を囑目せらる【趣味】旅行、寫眞、ゴルフ【住所】東京市荏原區中延町一〇五四【電話】荏原三〇九五

瀨越正治

【現職】株式會社芝浦機械製作所取締役【住所】東京市芝區芝浦三丁目一番地【電話】三田(45)一九八六・三一六一

瀨尾俊三

【現職】社團法人日本バター協會常務理事、北海道酪農販賣利用組合聯合會事務理事東京事務所長【出生】明三〇・四札幌市【續柄】政治四男【學歷】大一一早大商學部卒【經歷】卒業後名古屋銀行に勤務大正十五年北海道酪農販賣利用組合聯合會主事となり次で東京事務所長たり、北海道製酪販賣組合東京出張所(東京市赤坂區田町七ノ三〇【電話】赤坂八四八・一六五九・一九二六)【住所】同市神田區多町二丁目一【電話】神田(25)二二七七

關山延

【現職】日本磨帶鋼工業組合聯合會、日本ゼンマイ工業組合、ポンプ工業組合各理事長、三國鋼帶(株)社長、高砂製作所(株)專務取締役、高砂鐵工、高砂森試驗機製作所各(株)常務取締役、國產放熱(株)代表取締役、理研輕合金、大東工業各(株)監査役【出生】明二八・八・八水戸市【續柄】舊水戸藩士木村寅次郎三男傳三郎養子分家【學歷】大七神戸高商卒【經歷】直に高砂生命保險會社に入社徴收課に勤務同九月四月高砂水力電氣會社經理部會計課長となり同十年一月同社の電氣化學化學工業會社に合併後其會計課囑託に任じ同年四月高砂工業會社用度部長に就任同十二年十一月高砂鐵工會社設立と共に其支配人となり取締役兼支配人を經て現に常務取締役たり尚上揭會社重役及び諸公職に任じ曩に日東合金會社取締役、日本放熱器煖房器共同販賣所各會社重役たり昭和七年四月壽府に開催の第十六同國際勞働會議に帝國資本家代表片岡安博士隨員として列席す【趣味】運動、水泳、擊劍等【宗教】時宗【所稅】四七九六圓【家族】妻美代子(明三六生東京府荻原辰五女三輪田高女卒)嗣子吉彥(大一三生)外一男一女【住所】東京市品川區五反田五ノ六八【電話】大崎一五二六

瀧根男

【現職】關根炭素燒工業所主【出生】明治三十三年二月十七日【經歷事業】大正十二年六月より燒入業に從事し孤軍奮闘遂に今日の大をなすに至る支變事變に從軍轟々たる武勳を立て歸還後は產業戰士として活躍す【住所】東京市本所區菊川二丁目十三【電話】本所(73)六二〇八

關島吉

【現職】關鑛業代表社員【出生】明十四茨城縣【學歷】青山學院商業部卒【經歷事業】大連商業に教鞭を執り大正七年砲手鑛山雲母の採掘に着手現在に至る【功賞】昭和四年朝鮮大博覽會にて產業開發功勞者として表彰【住所】世田谷區世田谷二ノ一一二二

【位階勳等】正五位勳三等【公職】海軍大佐【現職】愛知時計電機(株)東京出張所長兼兵器主任【出生】明一四年四月【續柄】愛知